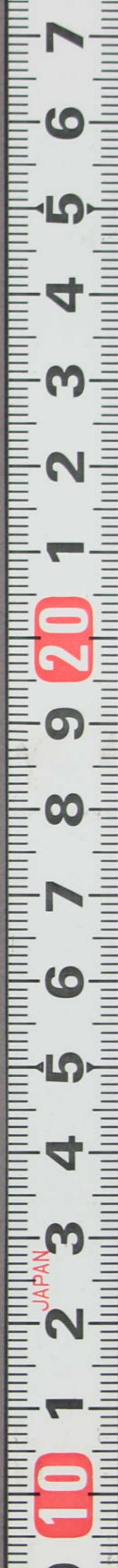


特別  
ル 3  
3617  
68



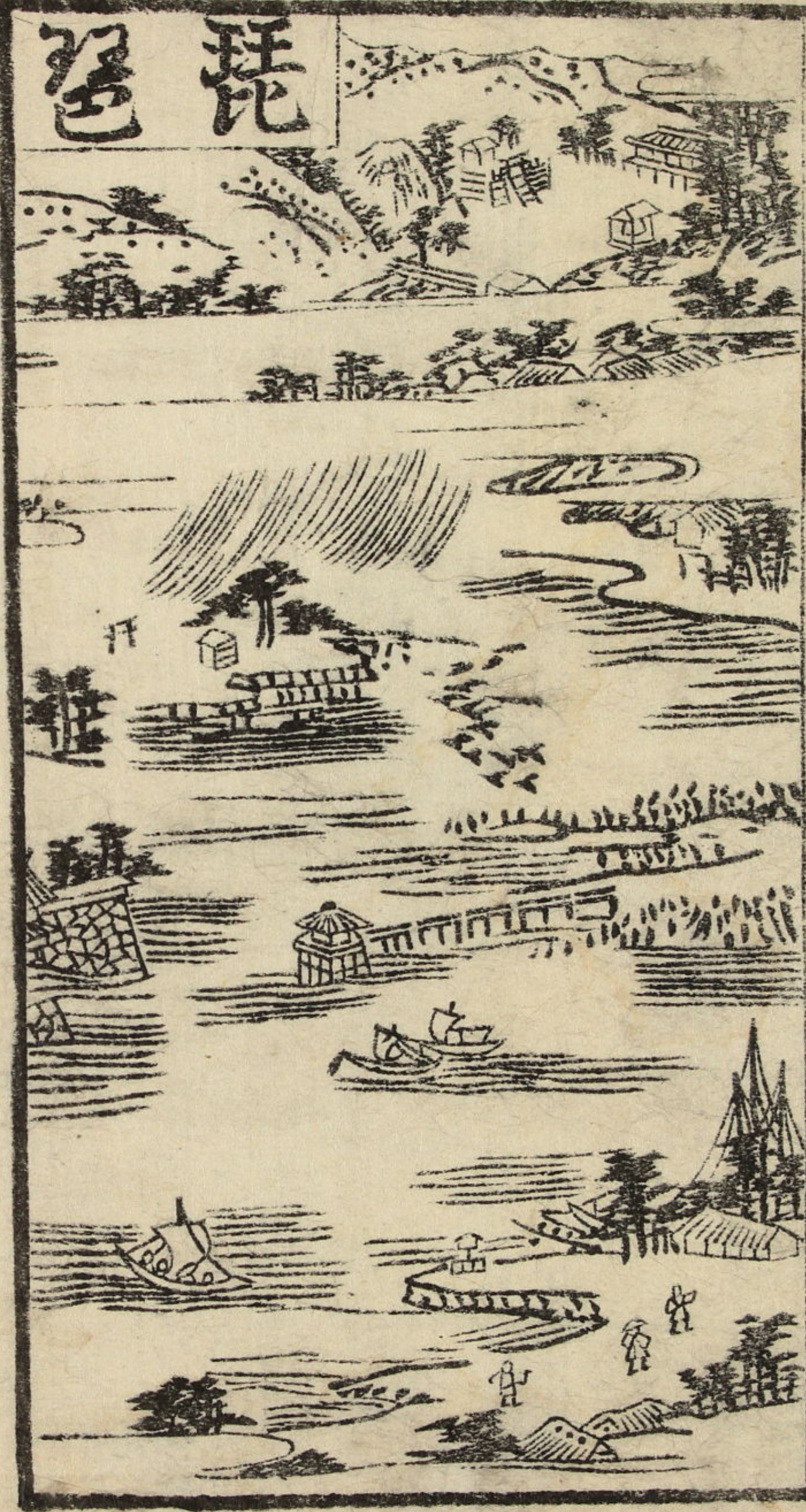
湖風景



碧水陳公

序

琵琶



東海兩道中懷寶圖鑑

凡例

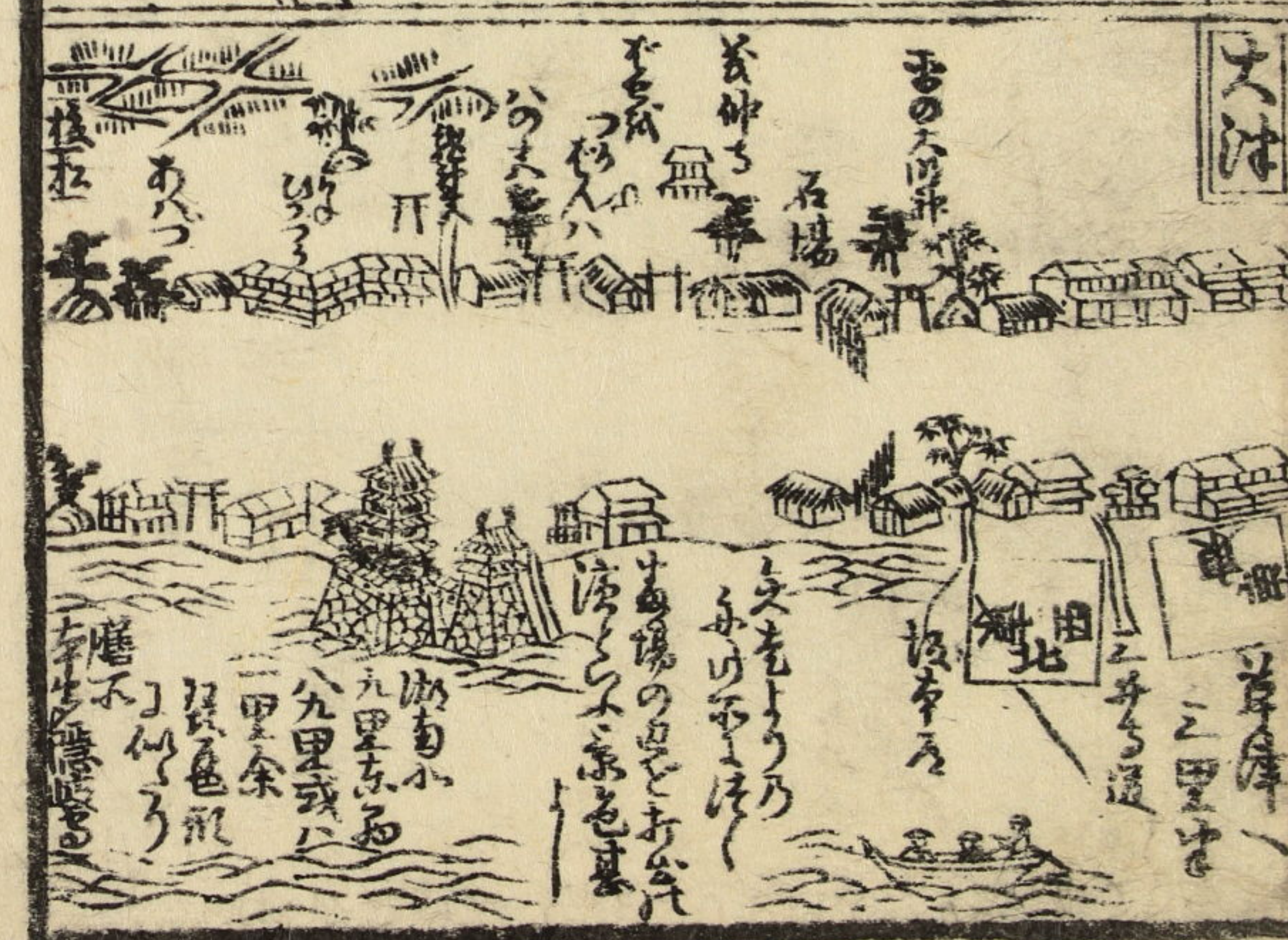
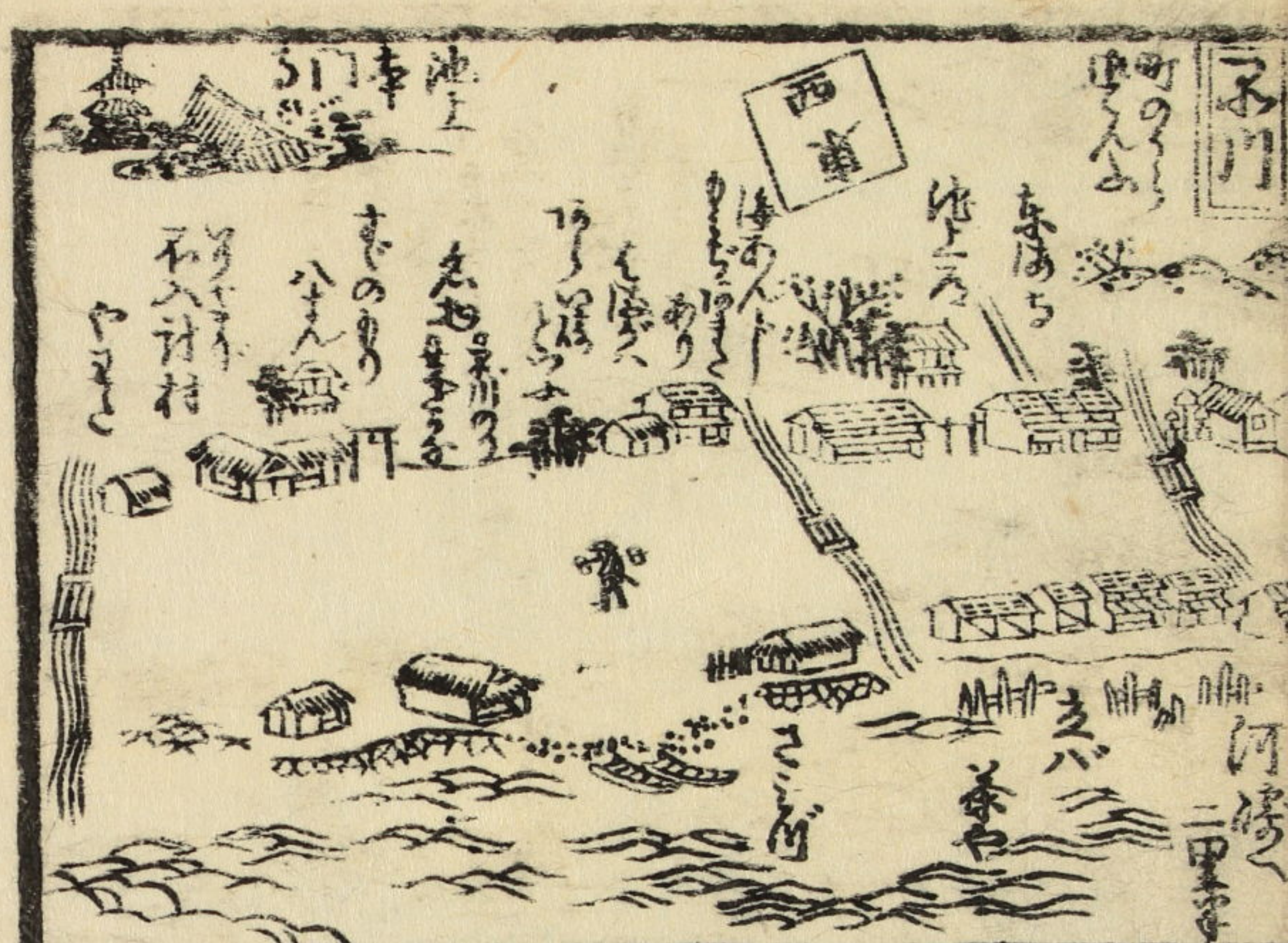
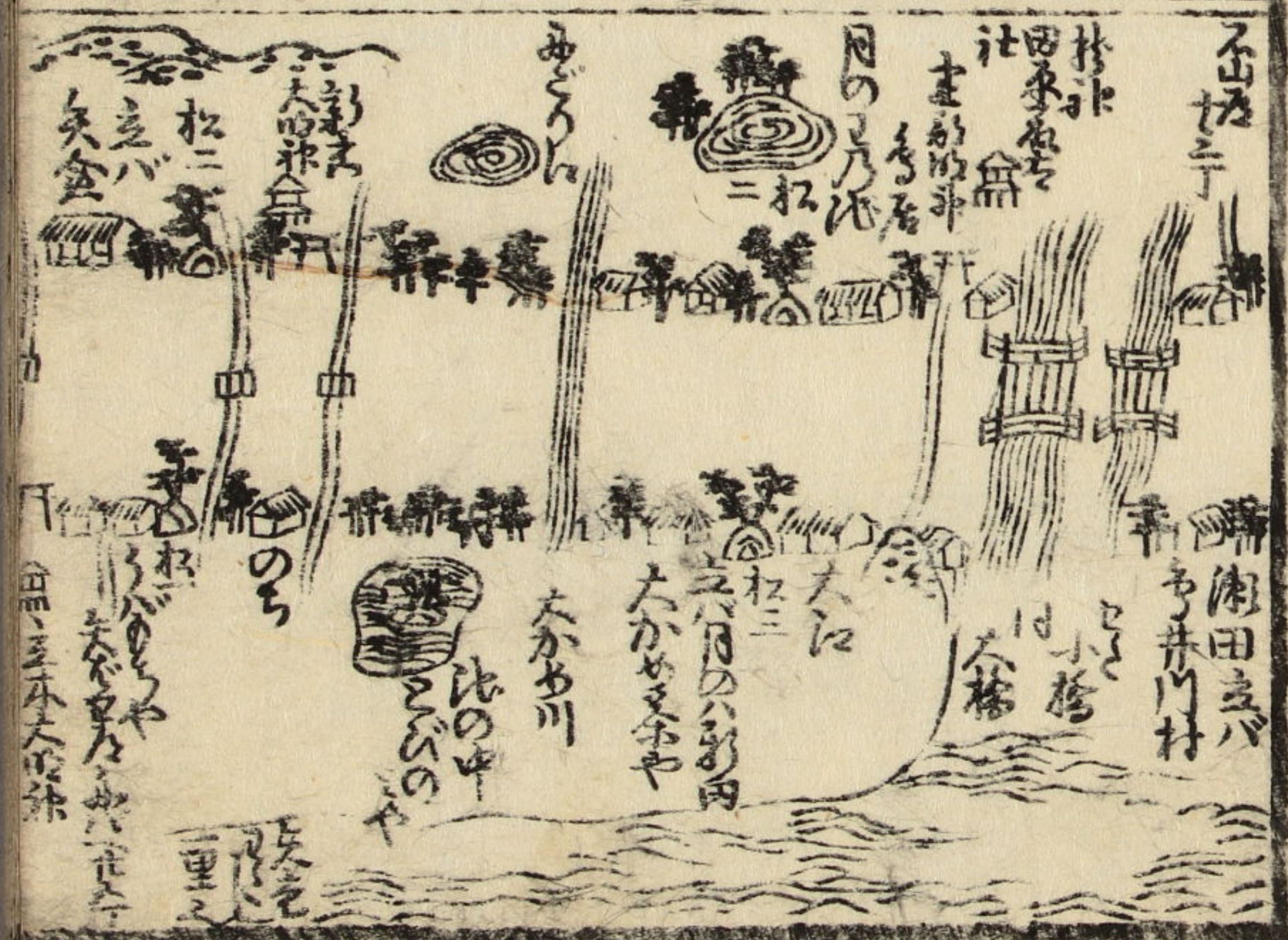
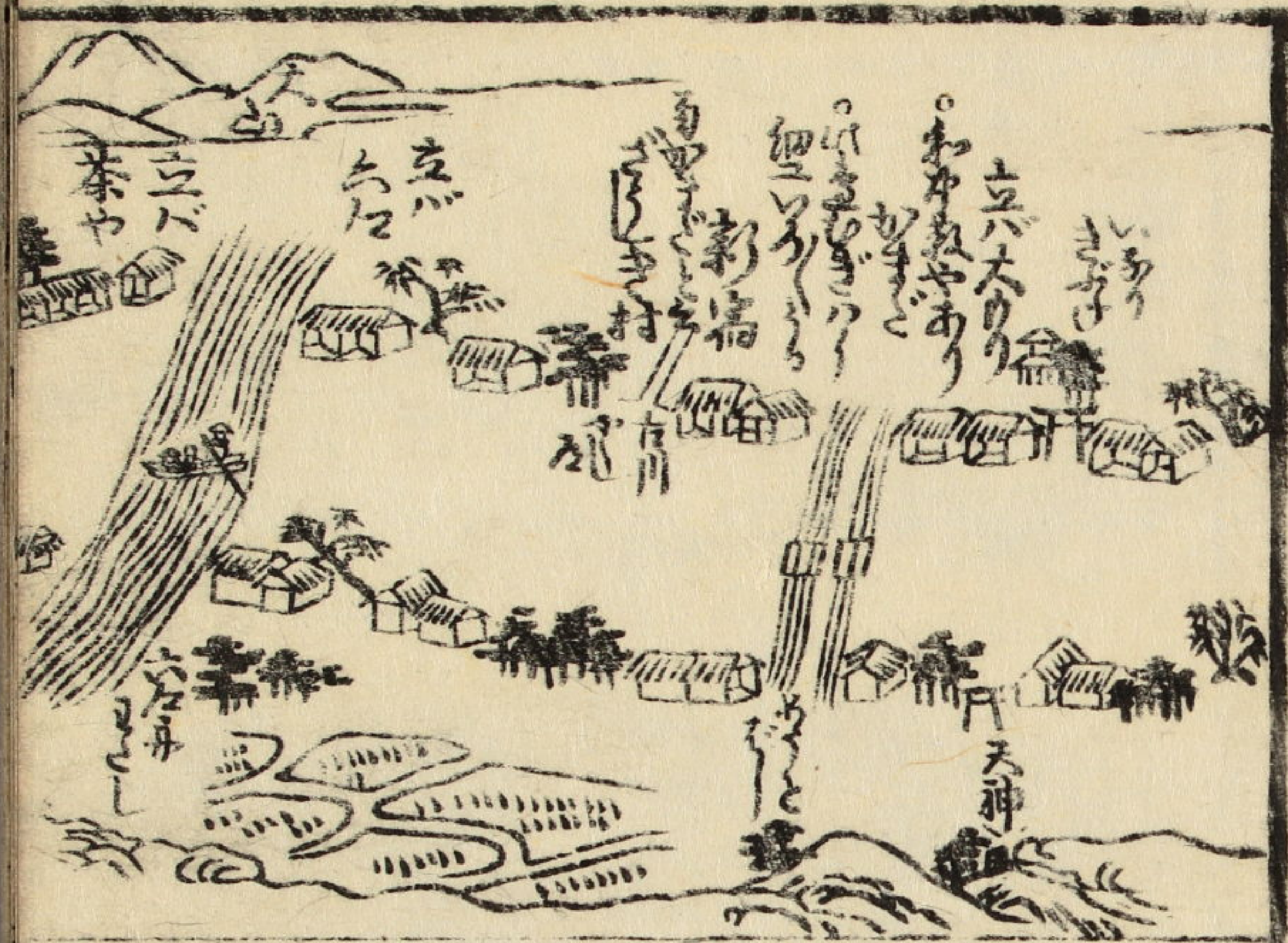
- 一 此兩道中記ハ上方方東海道を寫し下の方本曾路と寫して何處の處を以て重寶とす
- 一 紙を牧の面と一宿と定めて是を以て
- 一 東海及び上方を順に記し本曾路ハ上方と記す
- 一 東海道と上方より奥より述ぶるものと本曾路も是より順にしてあるを以て
- 一 中仙道作務路を介する略圖ありとの事

奥の書出守の且々妻く具の見安くむる

目録

- 中仙道 五七丁 糸宮道 五七丁 鎌倉 六丁
- 箱根湯 六九丁 善光寺 四七丁 秋葉 廿七丁 風車 廿七丁
- 寺坂越 五七丁 伏見廻 五九丁 日光 五八丁
- 名子 五七丁 六十一丁 大津 五七丁
- 本曾路 五七丁 六十一丁 大坂 五七丁



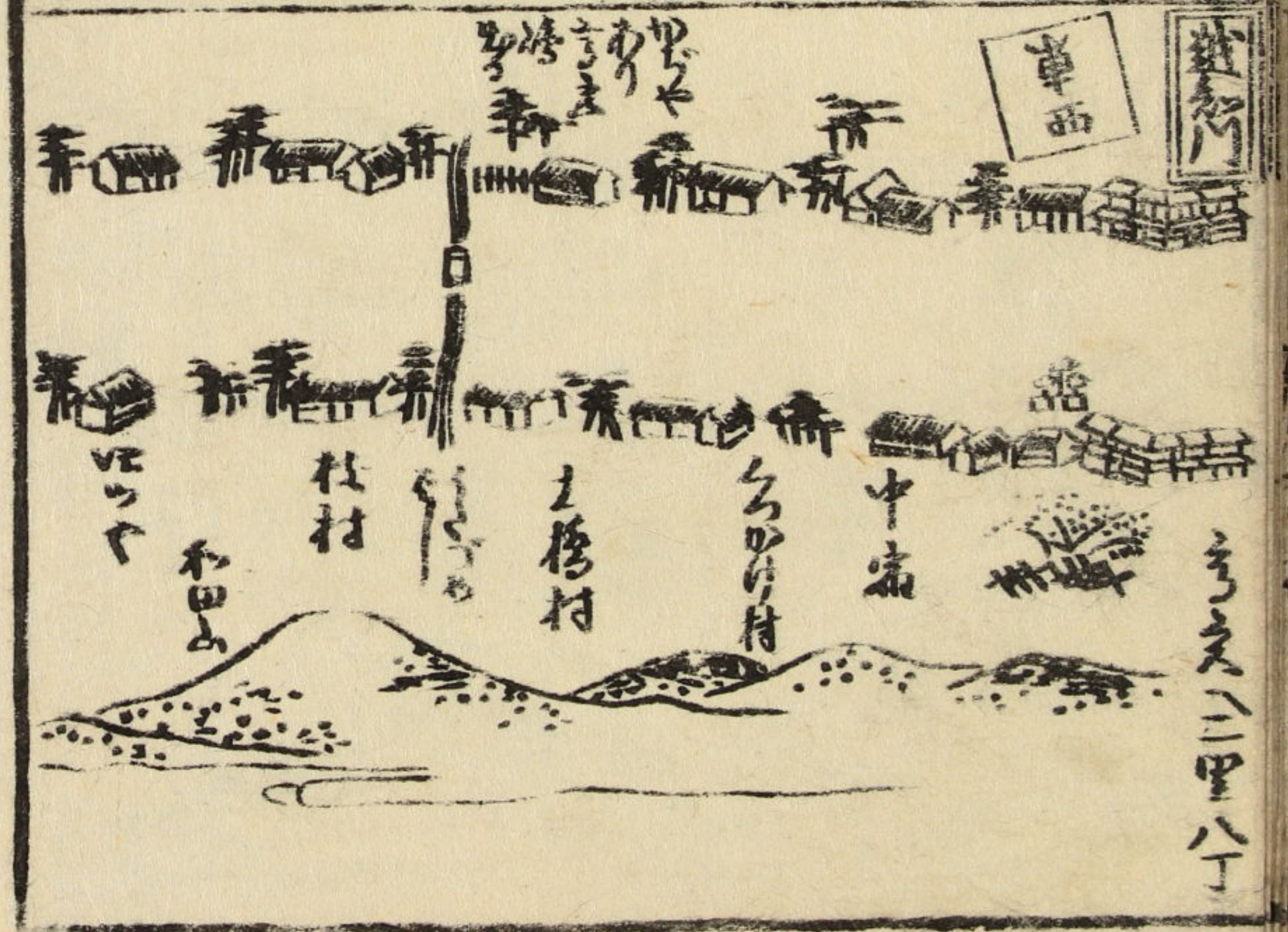
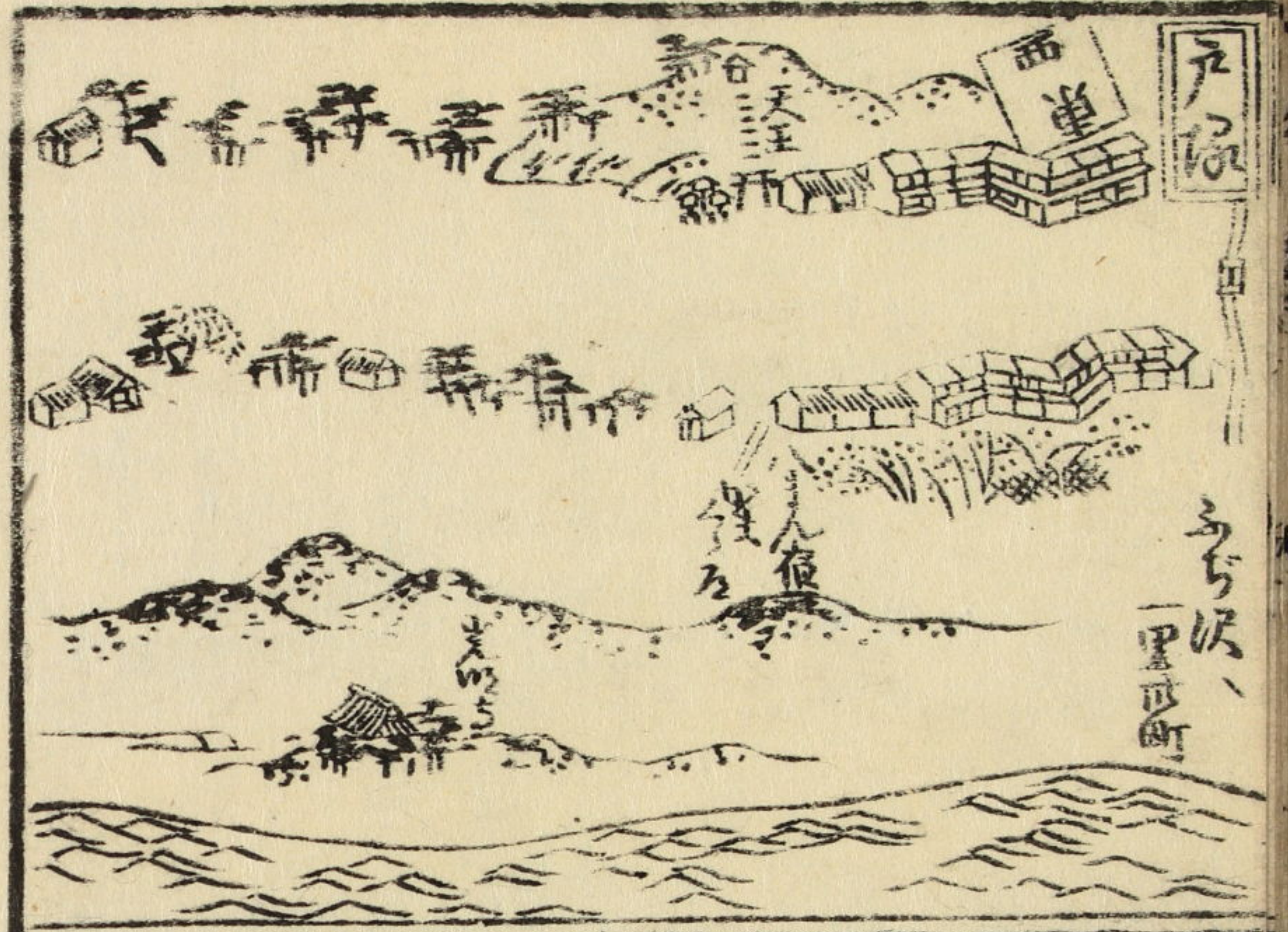
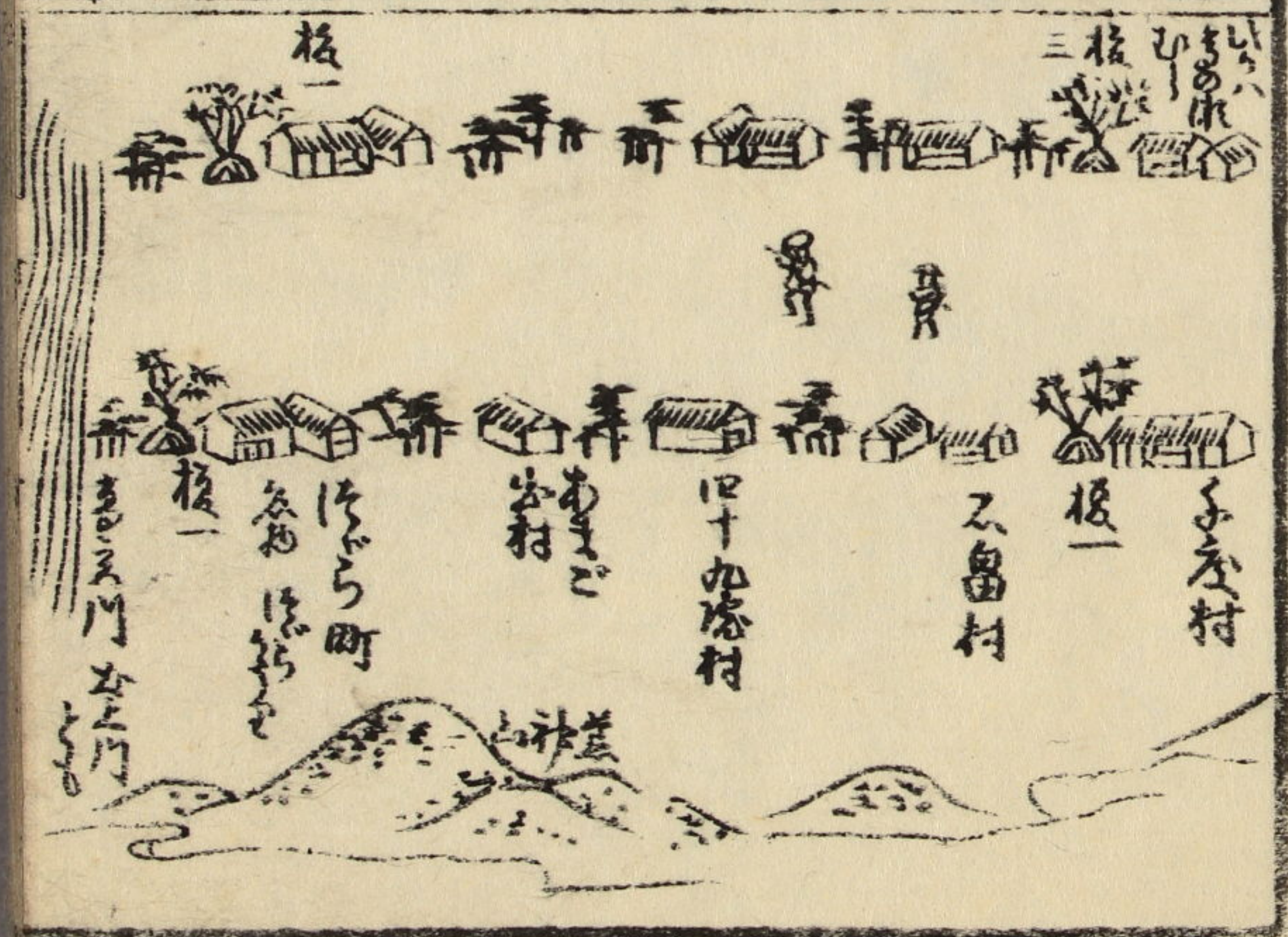
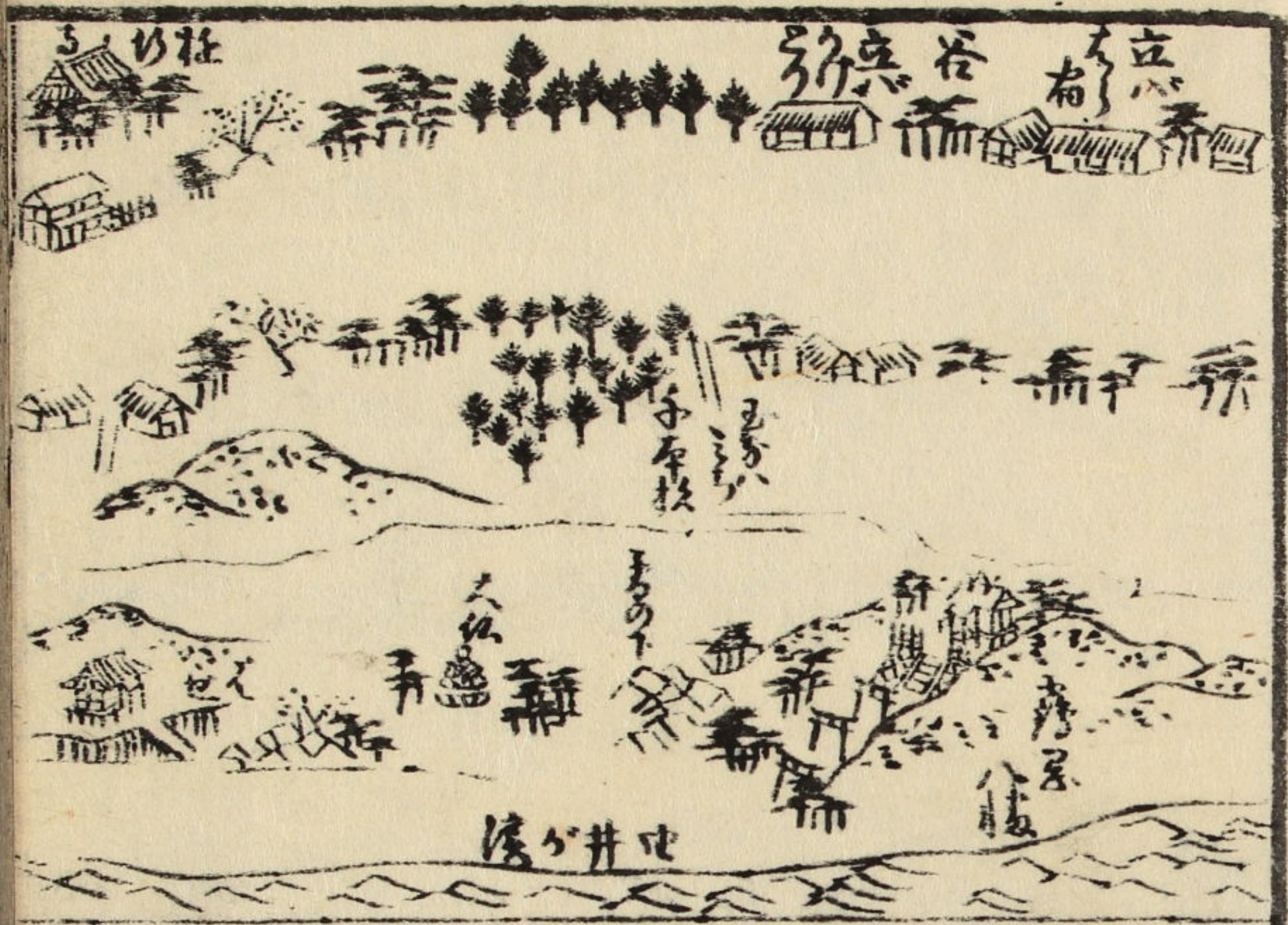


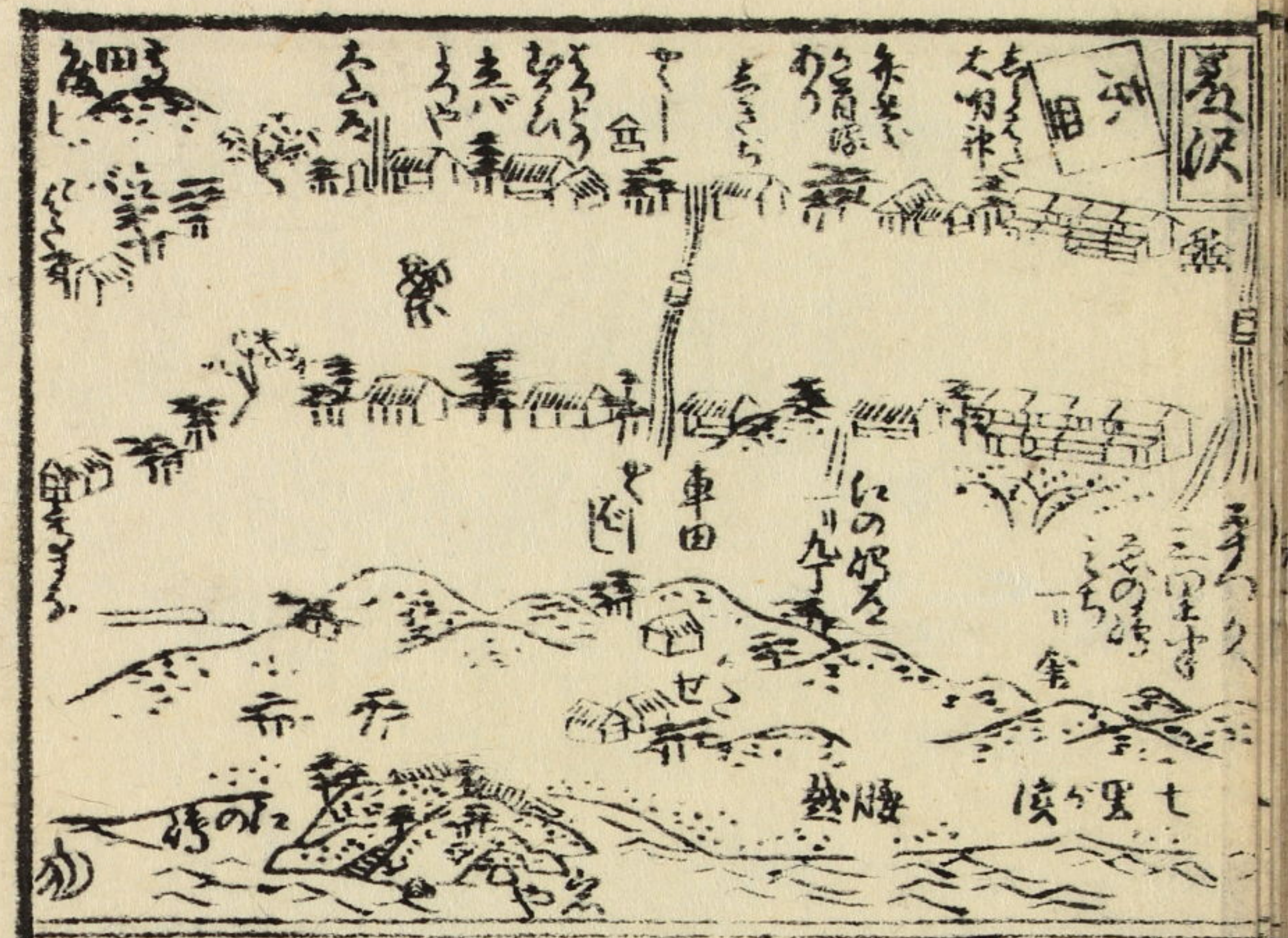
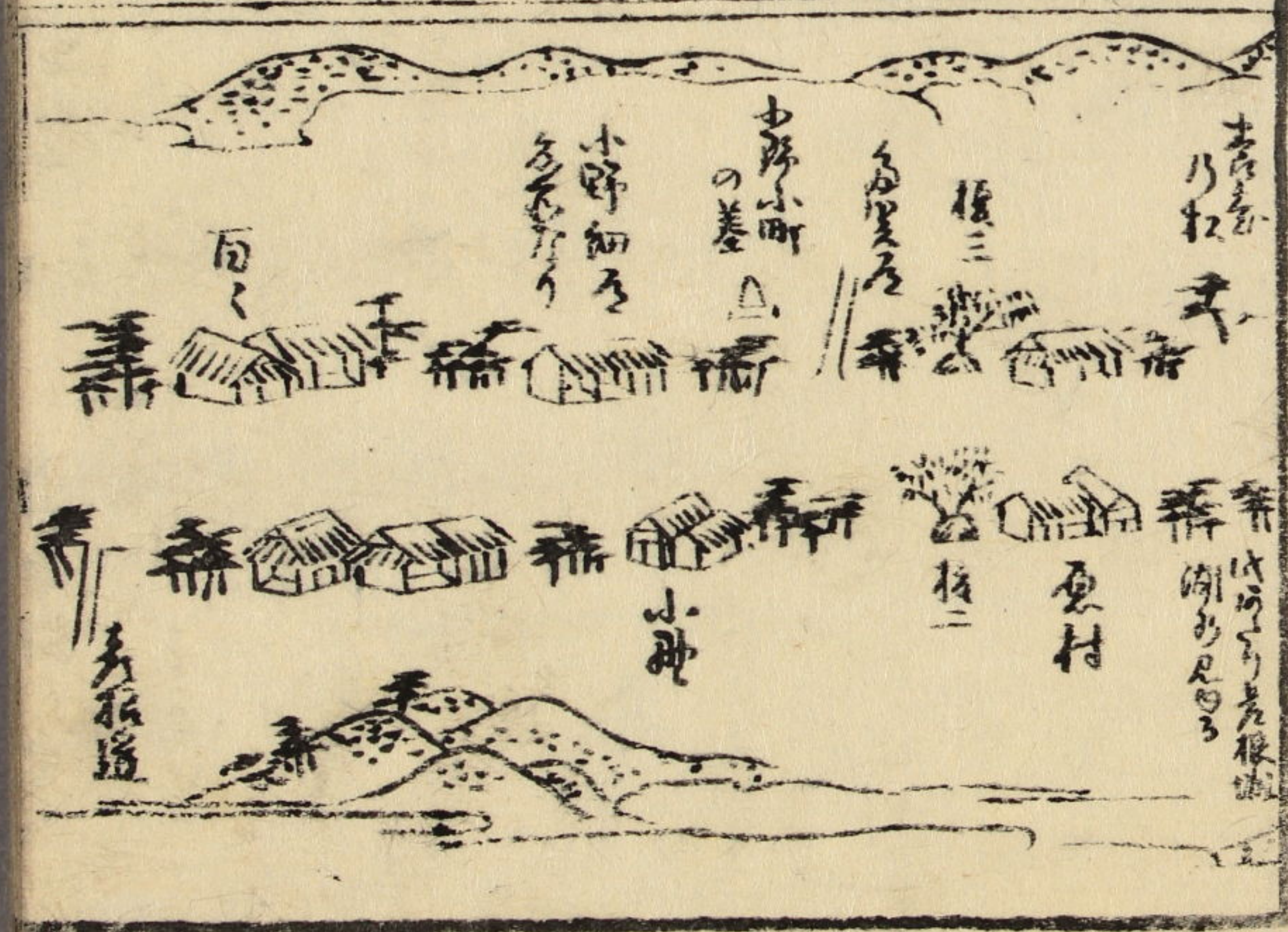
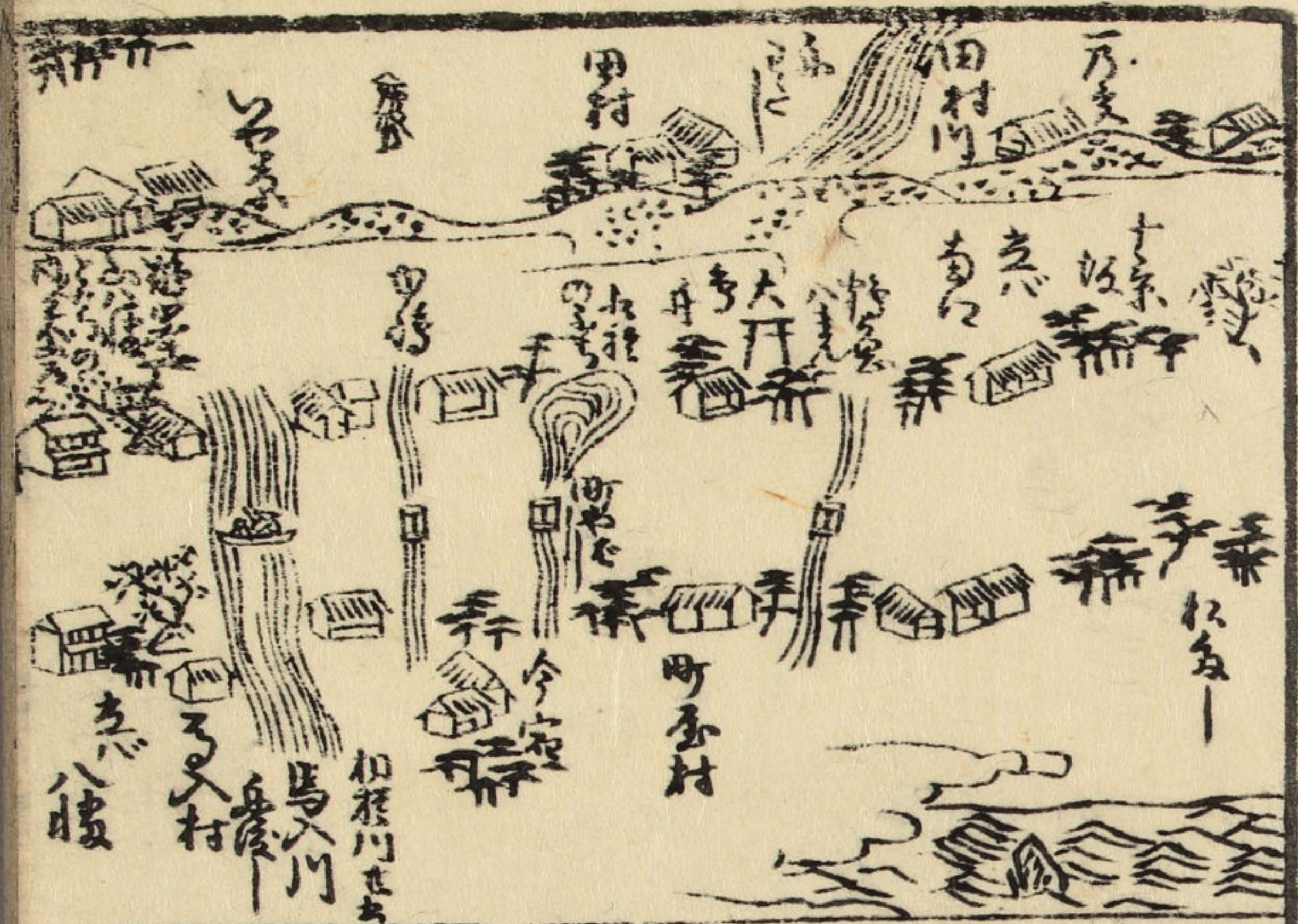


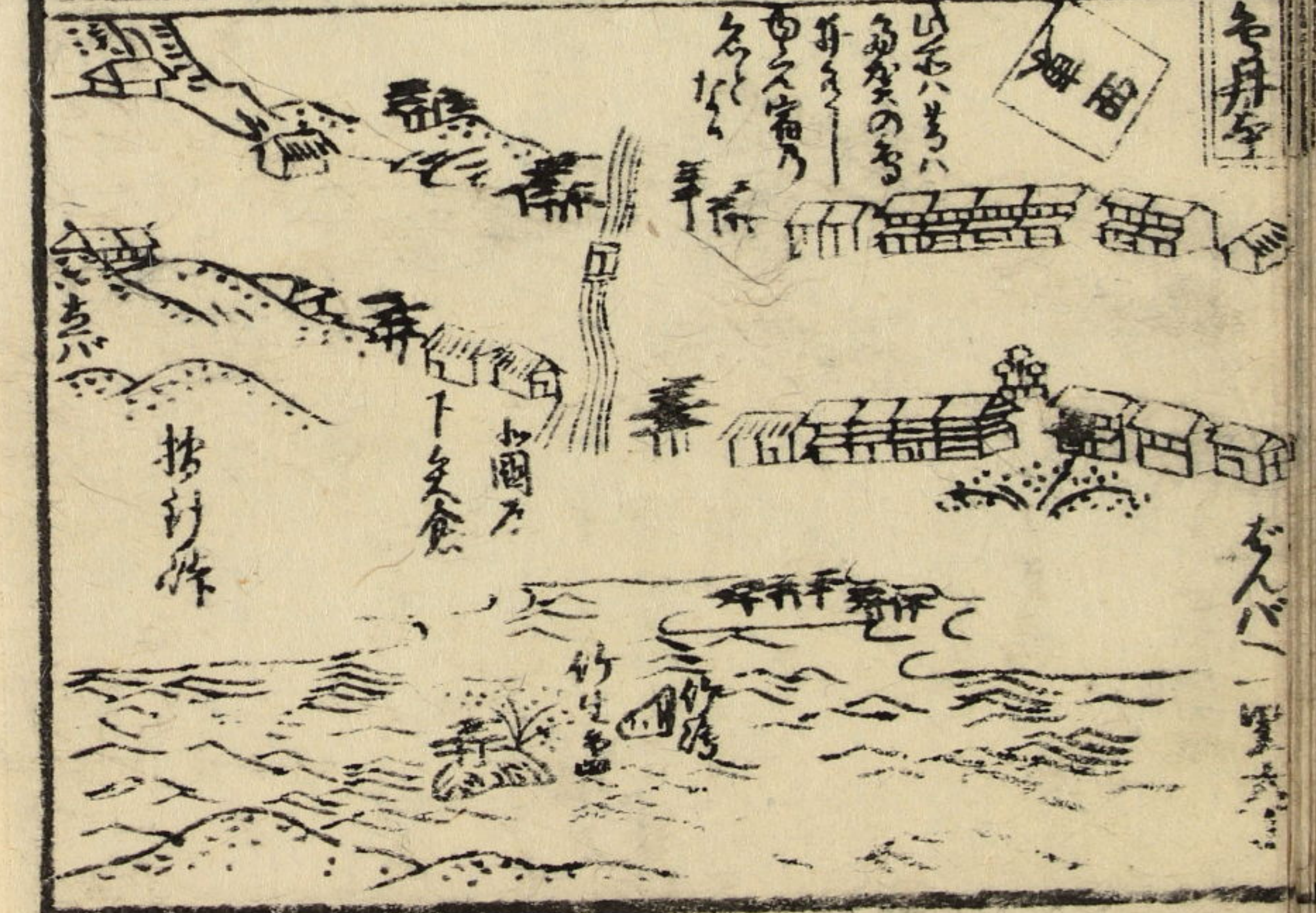
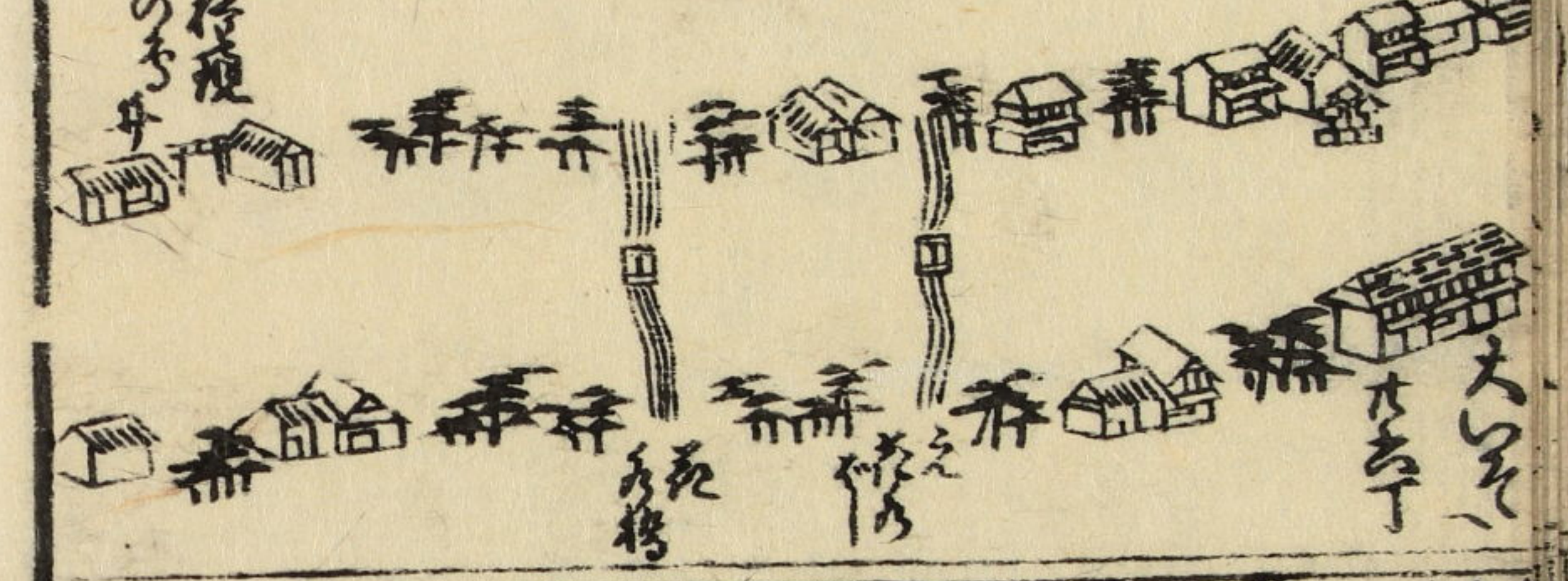
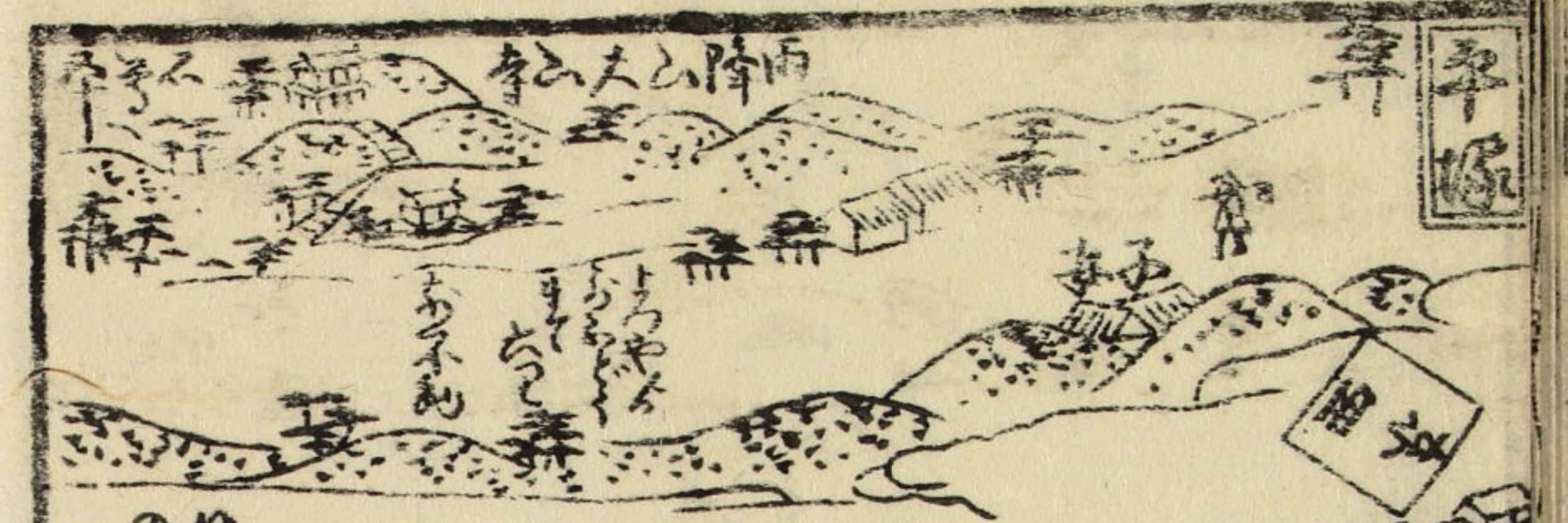
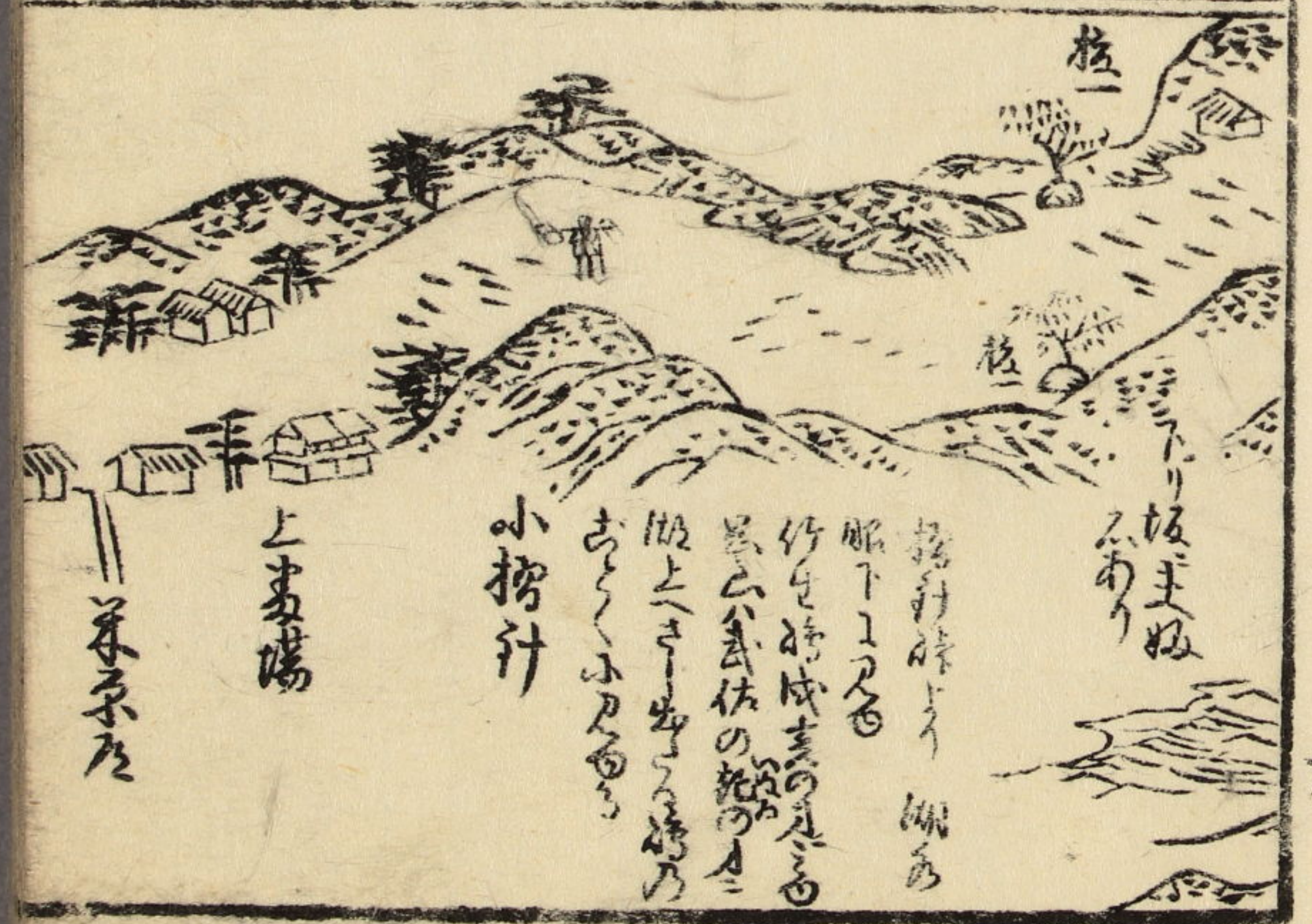
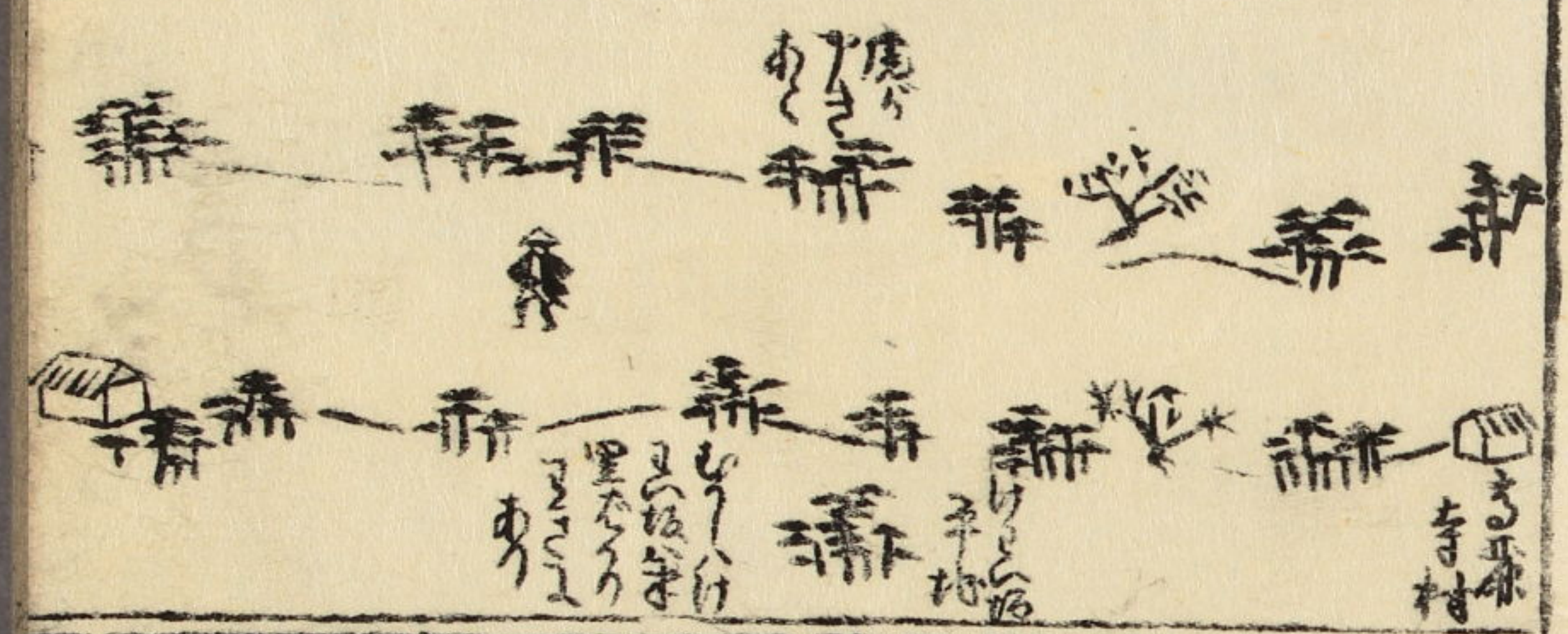




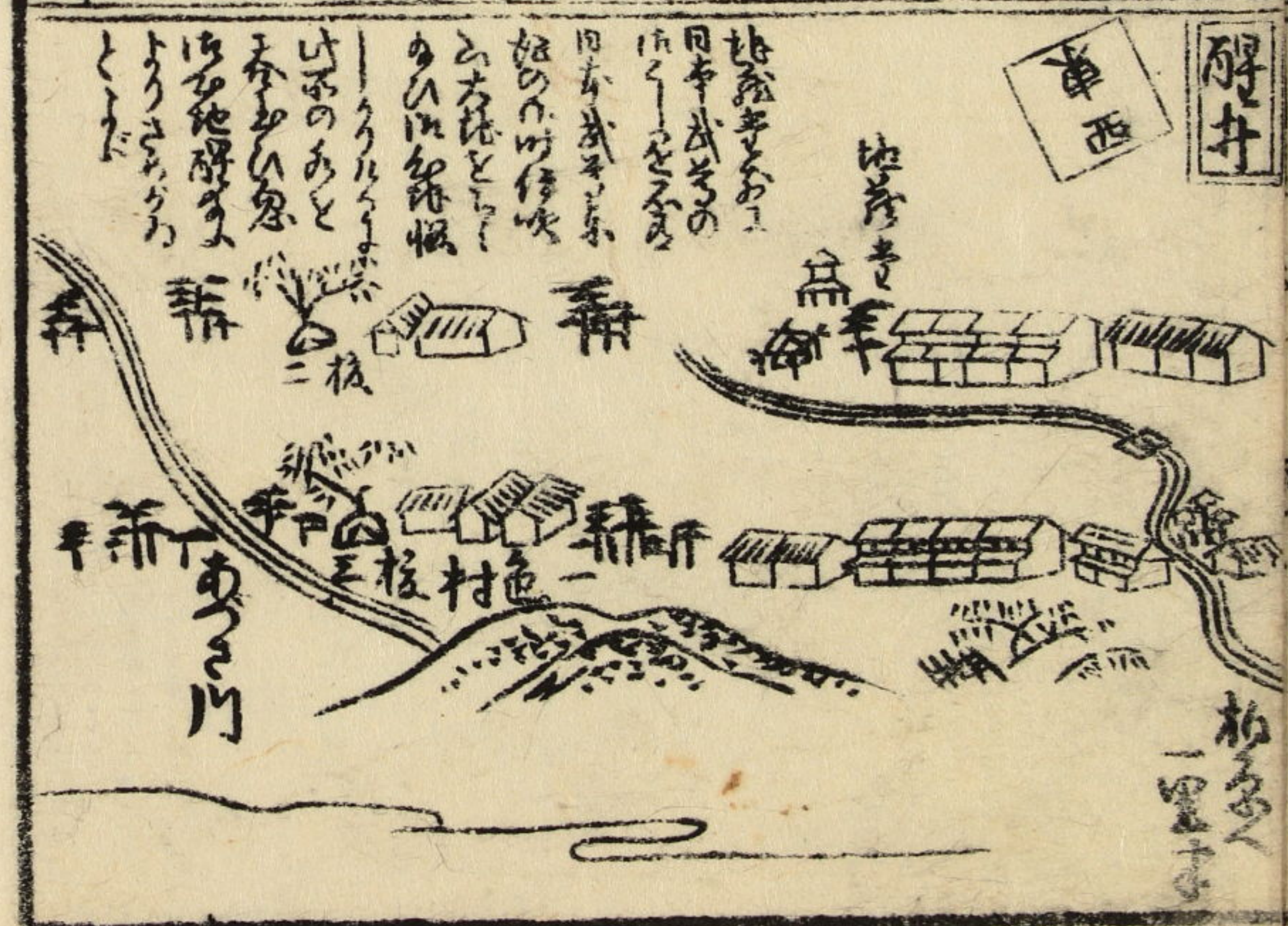
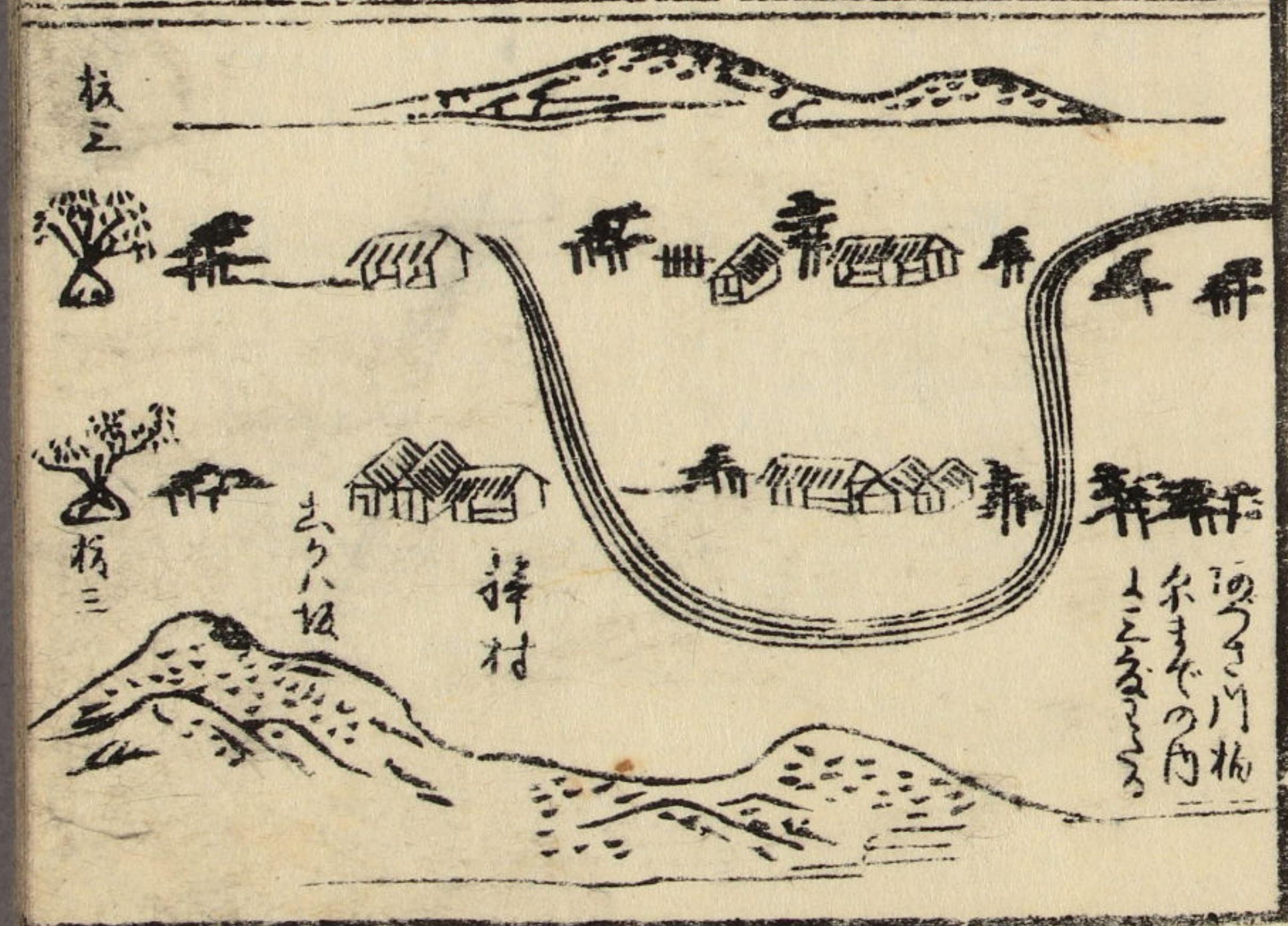
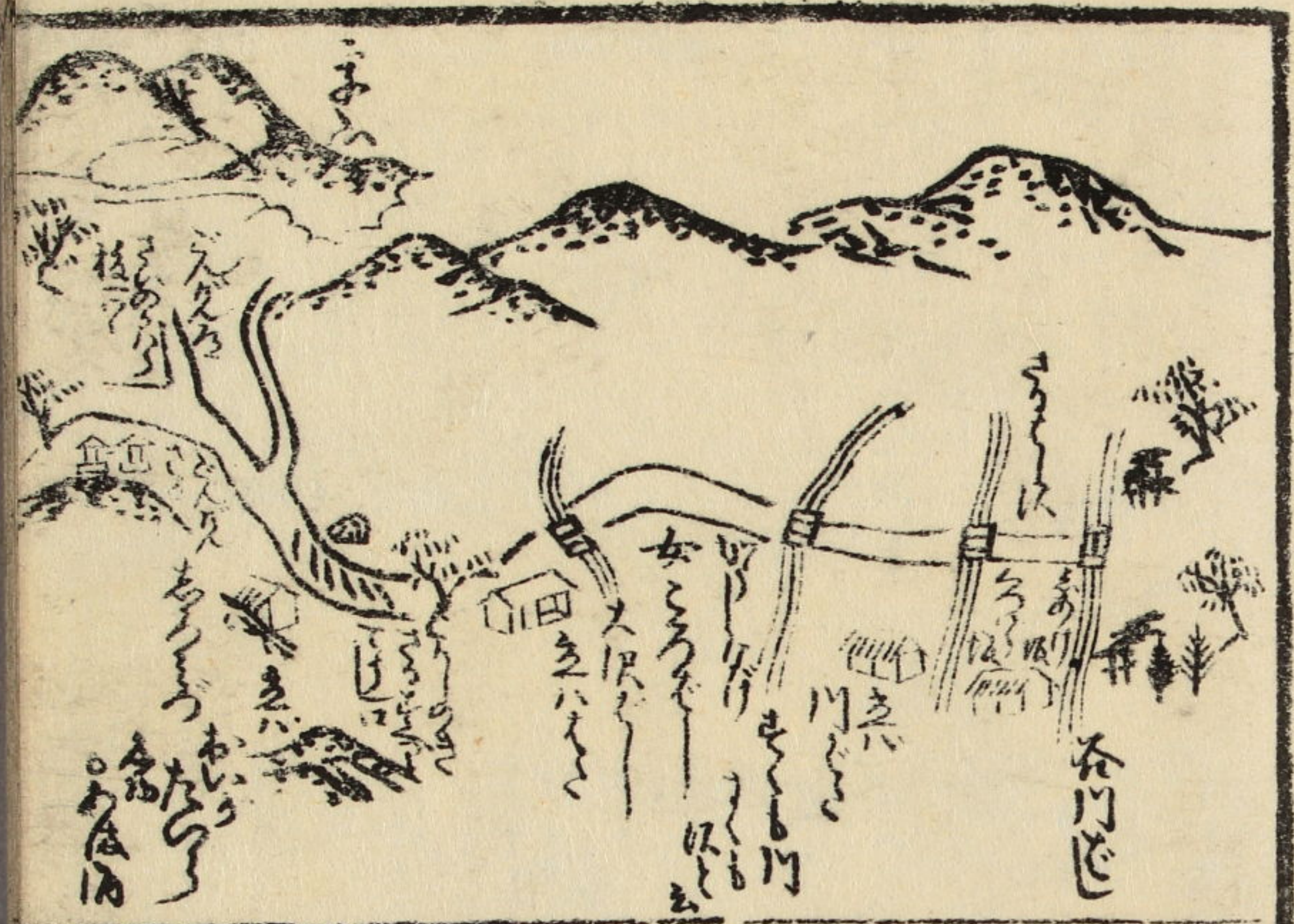




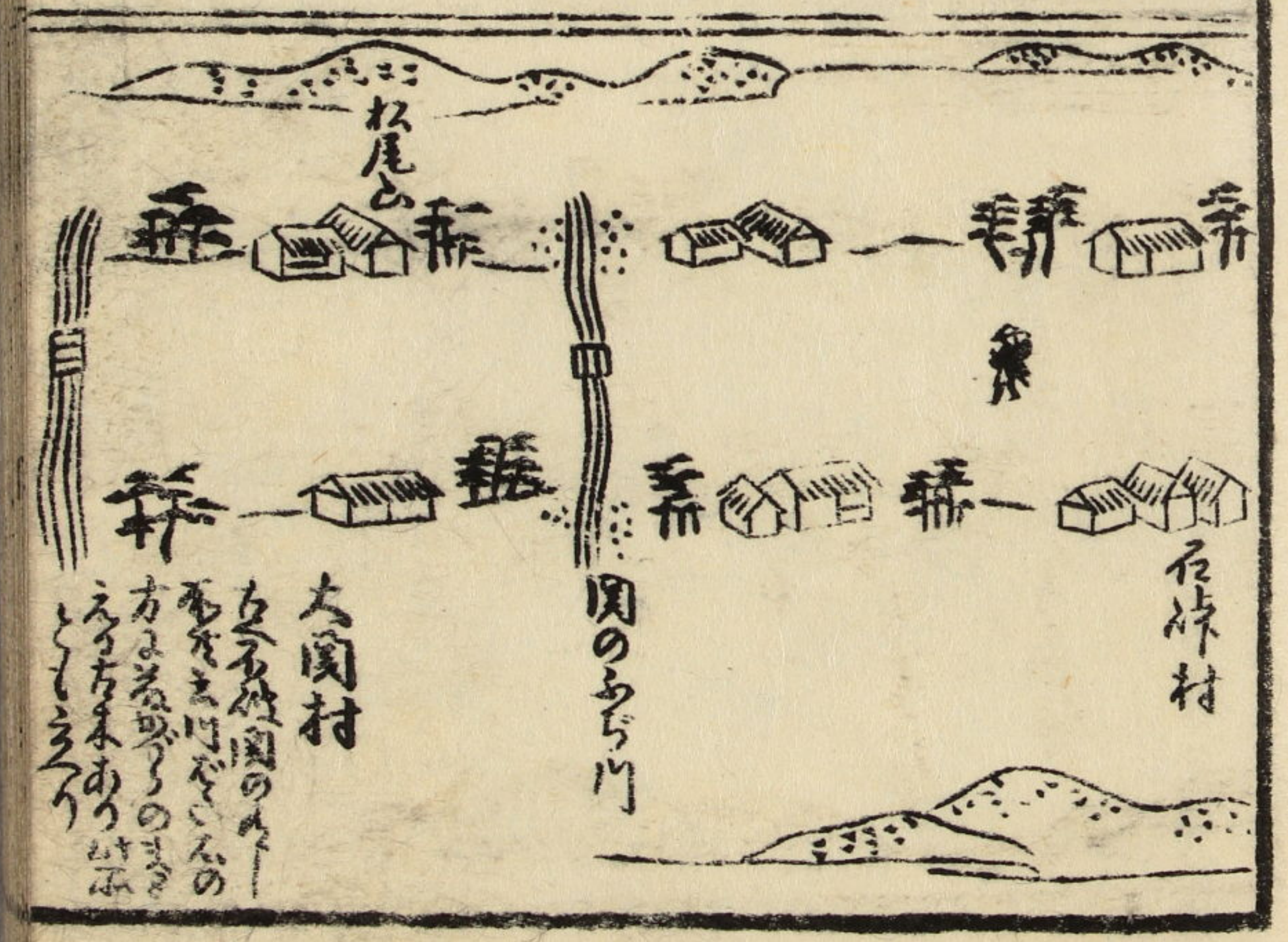
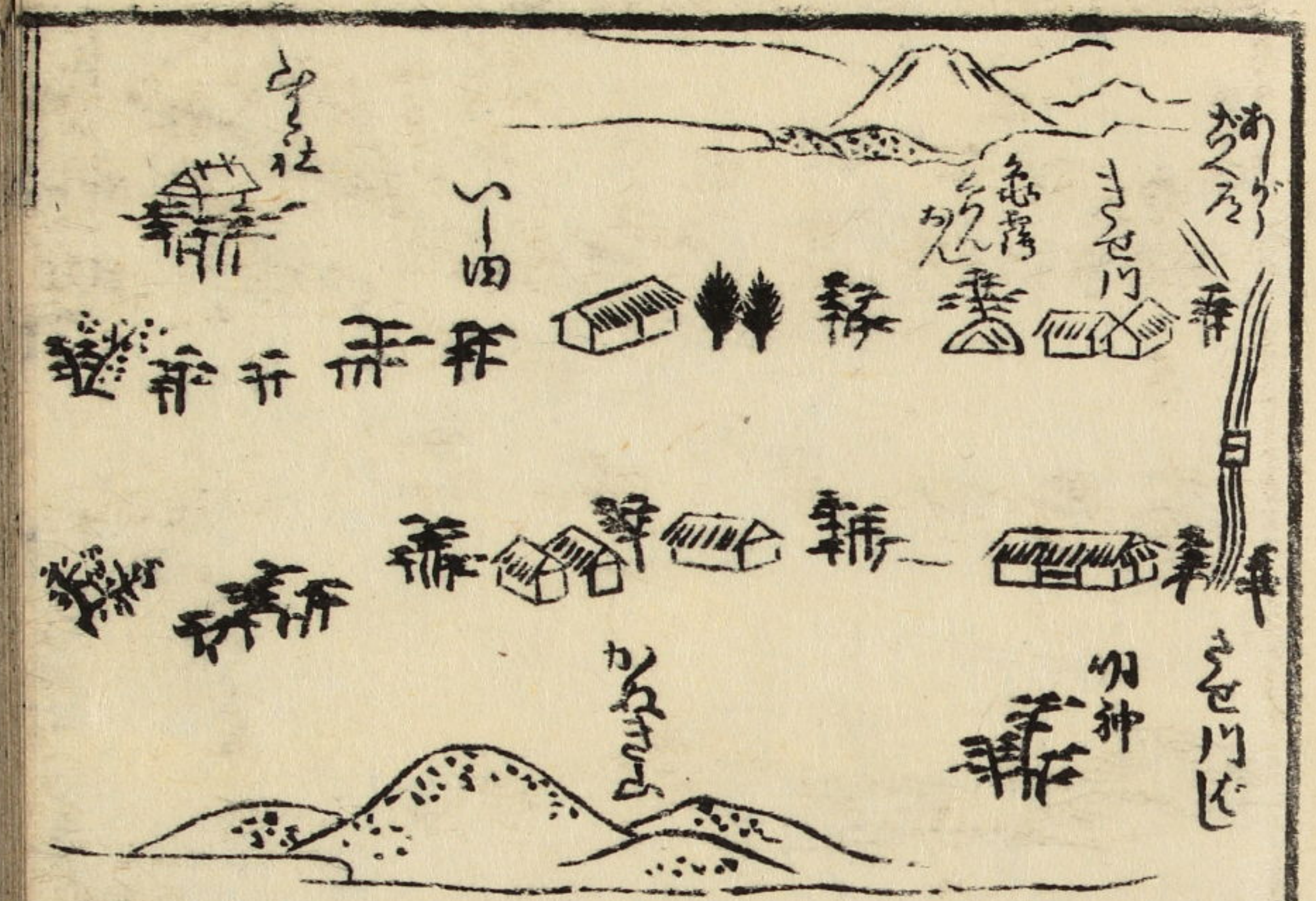




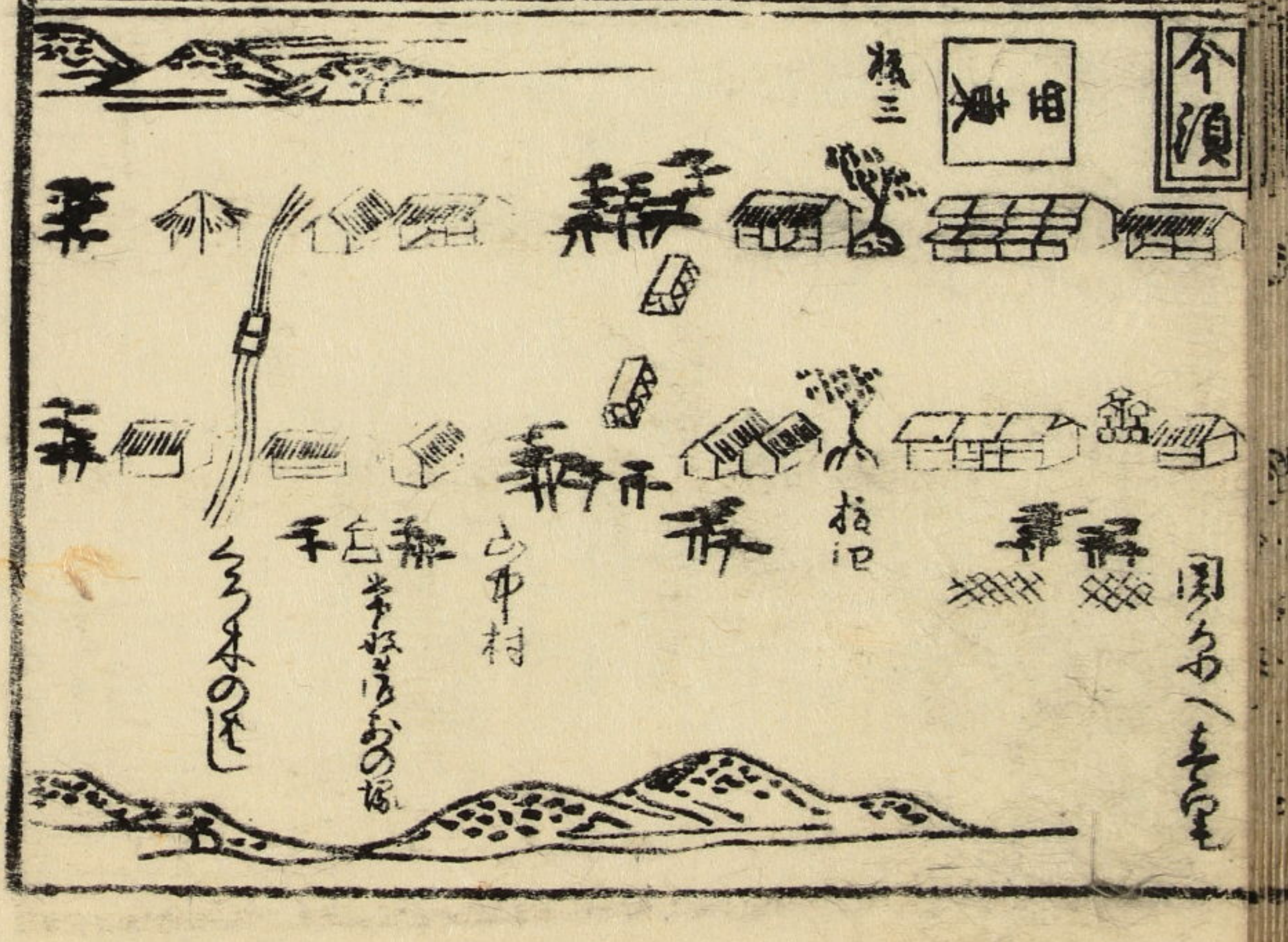
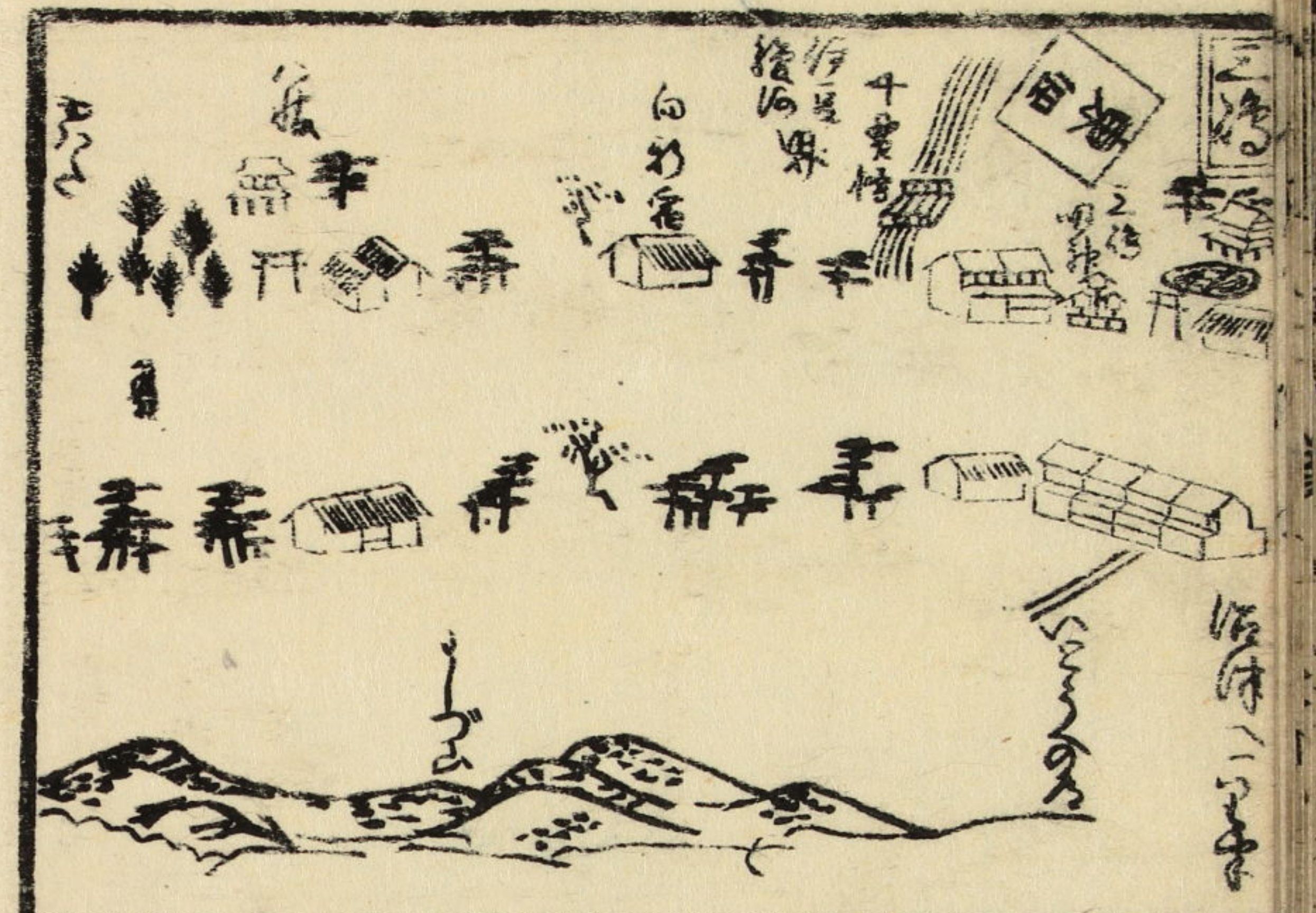




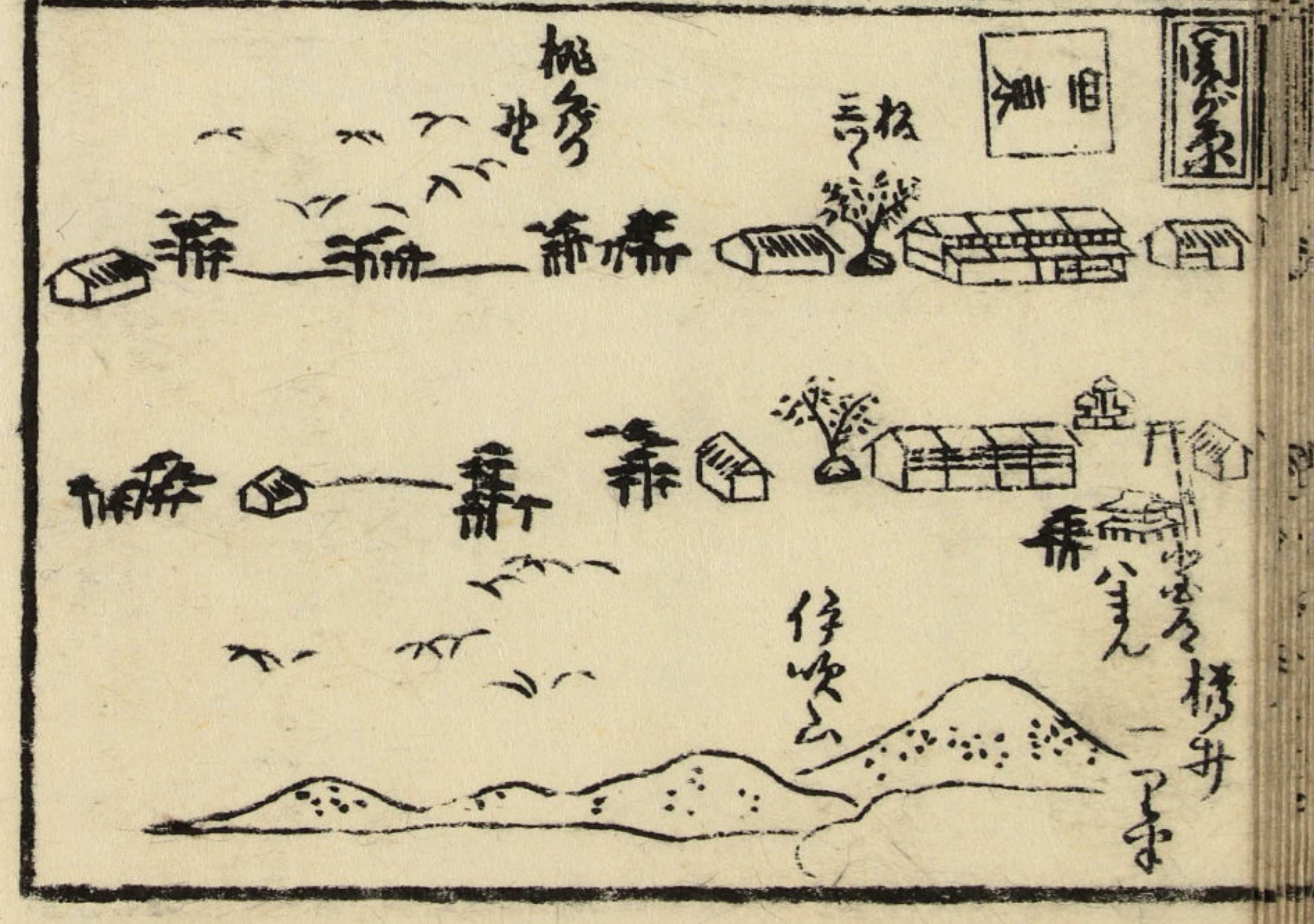
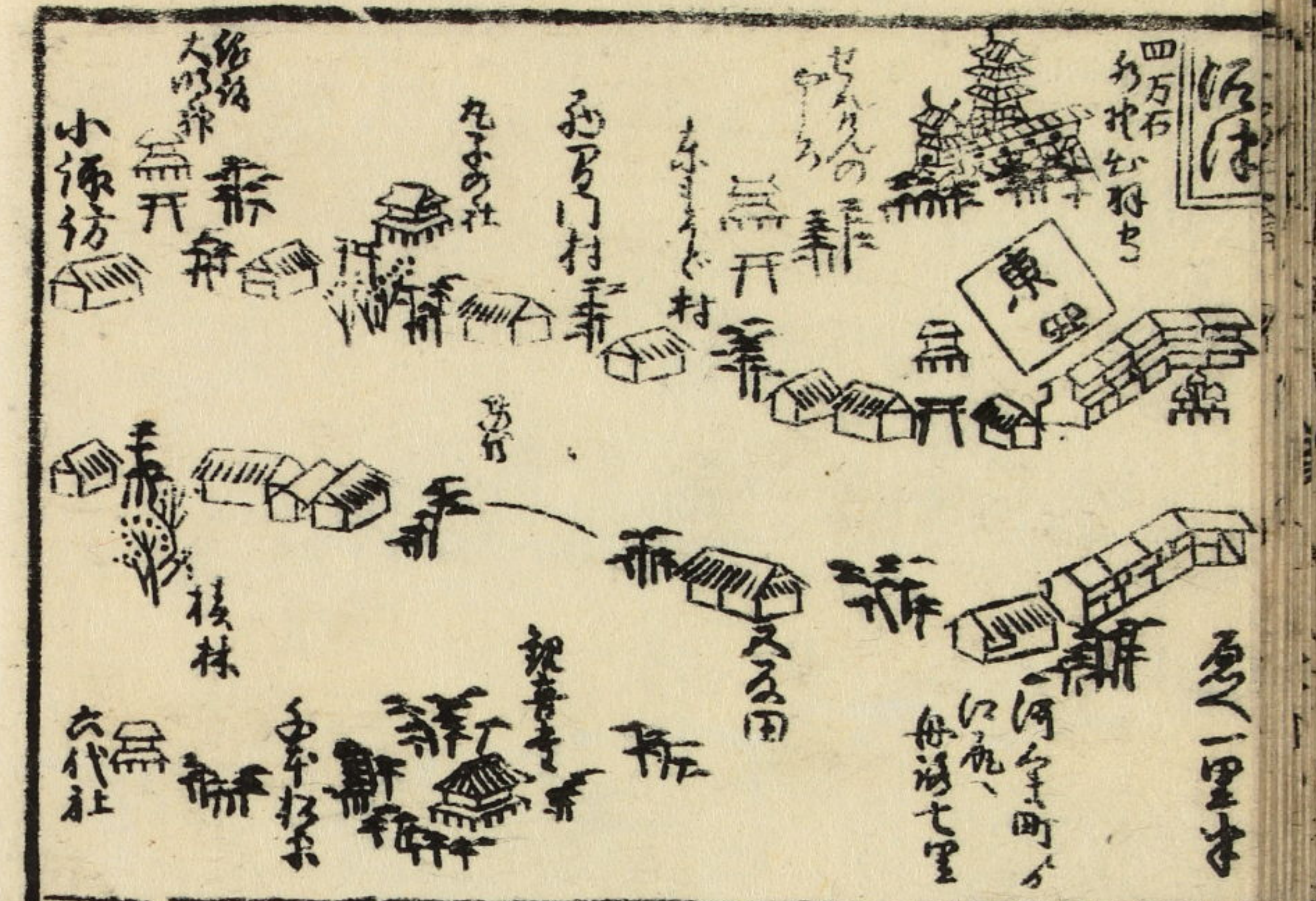
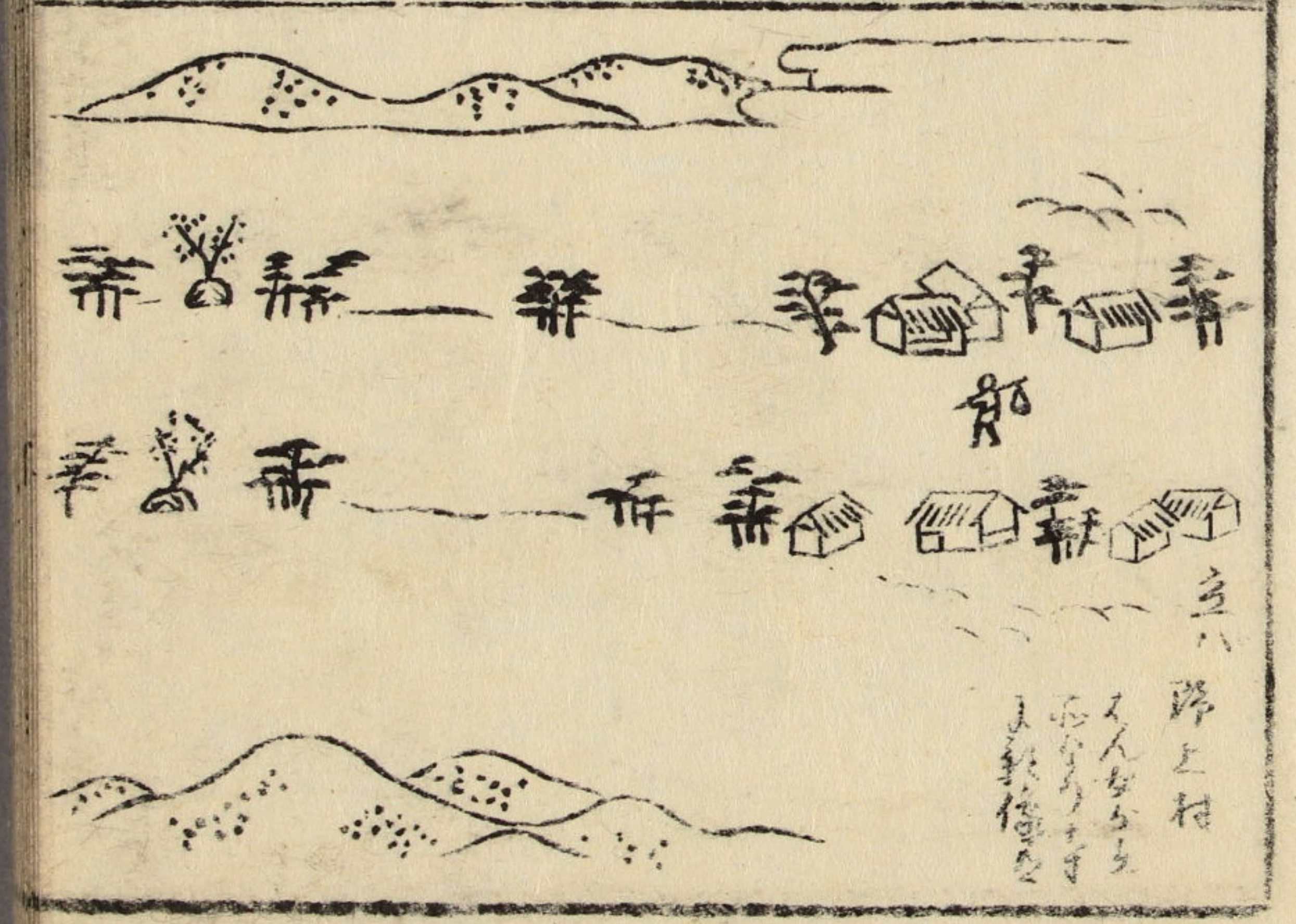
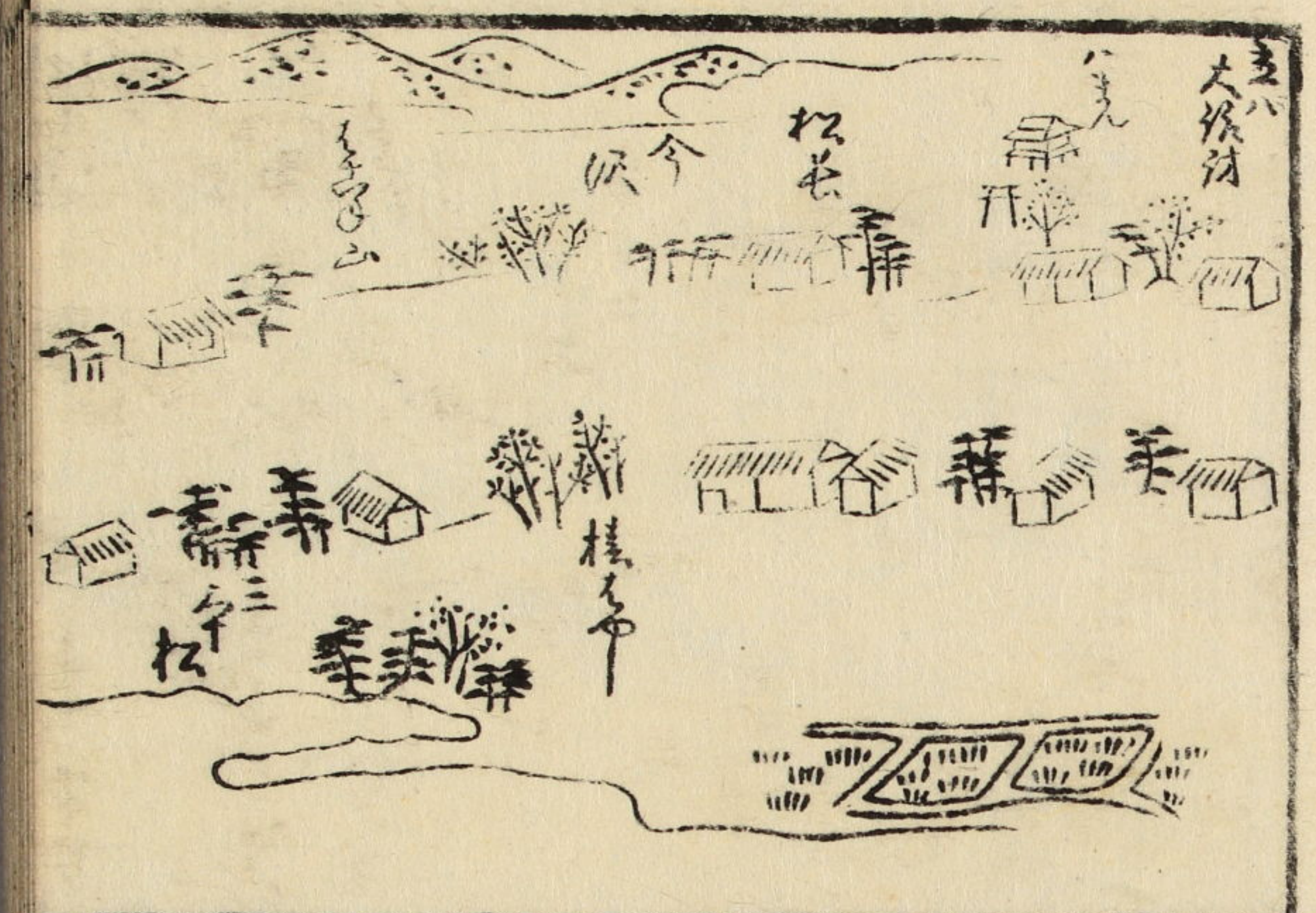




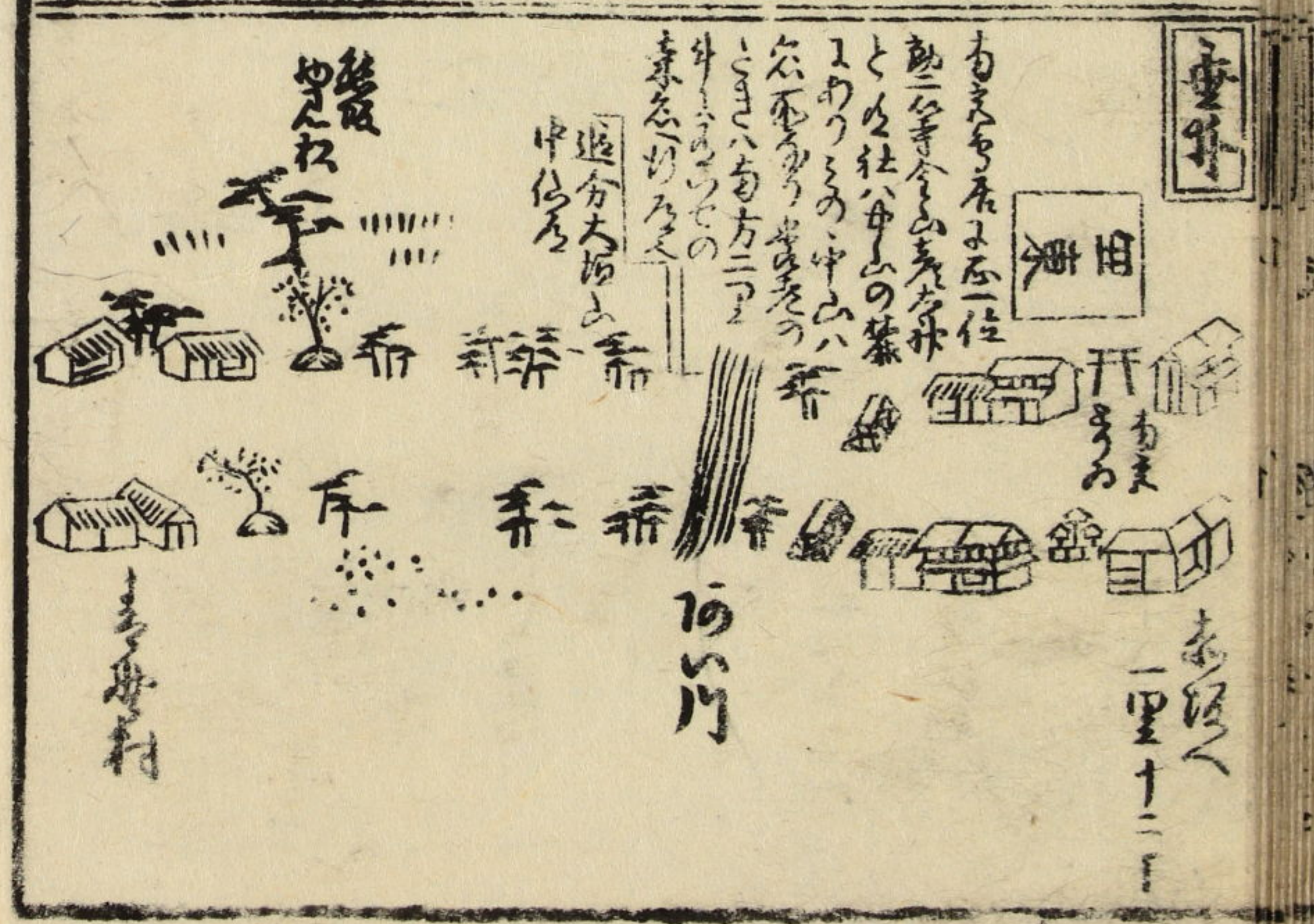
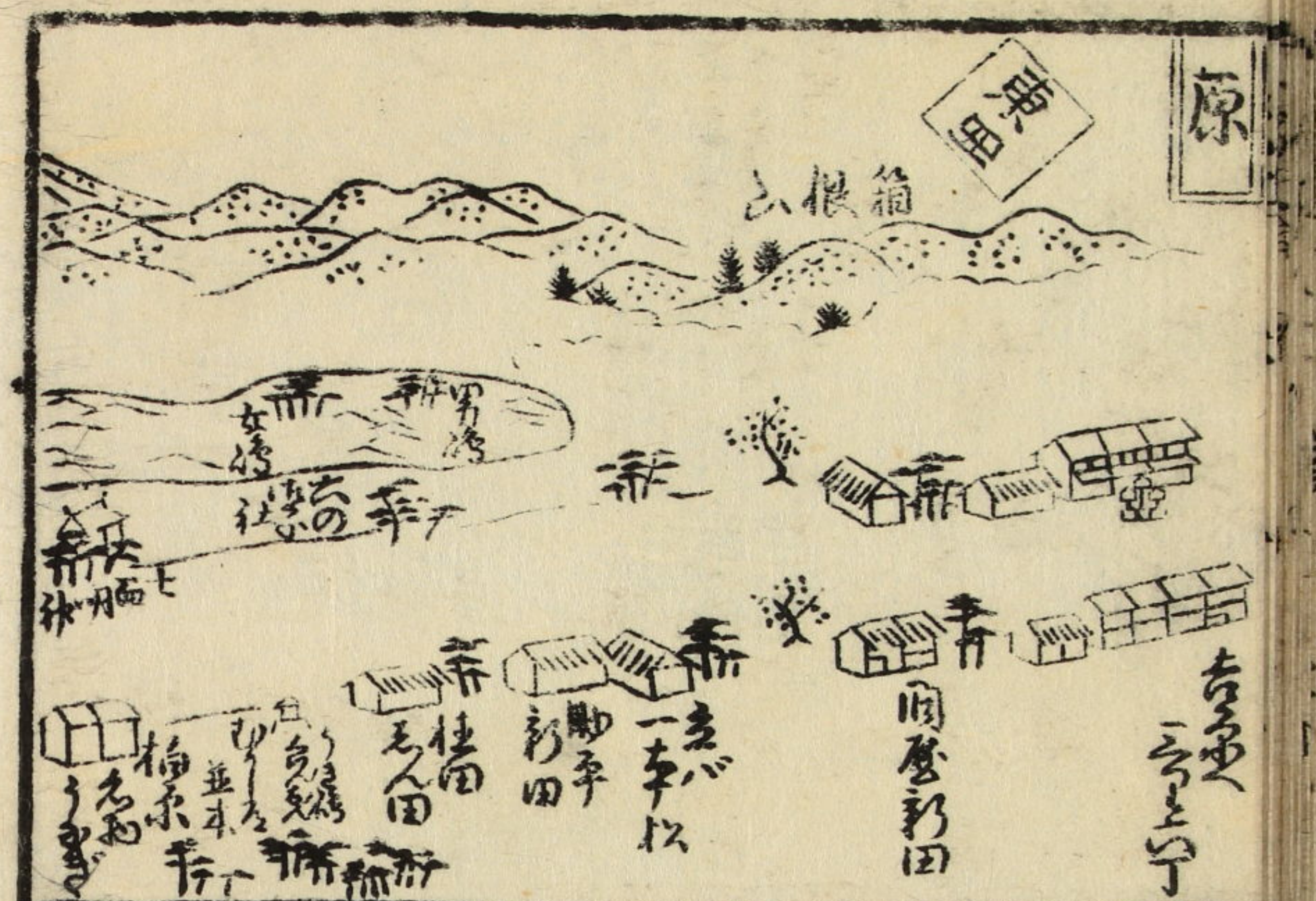
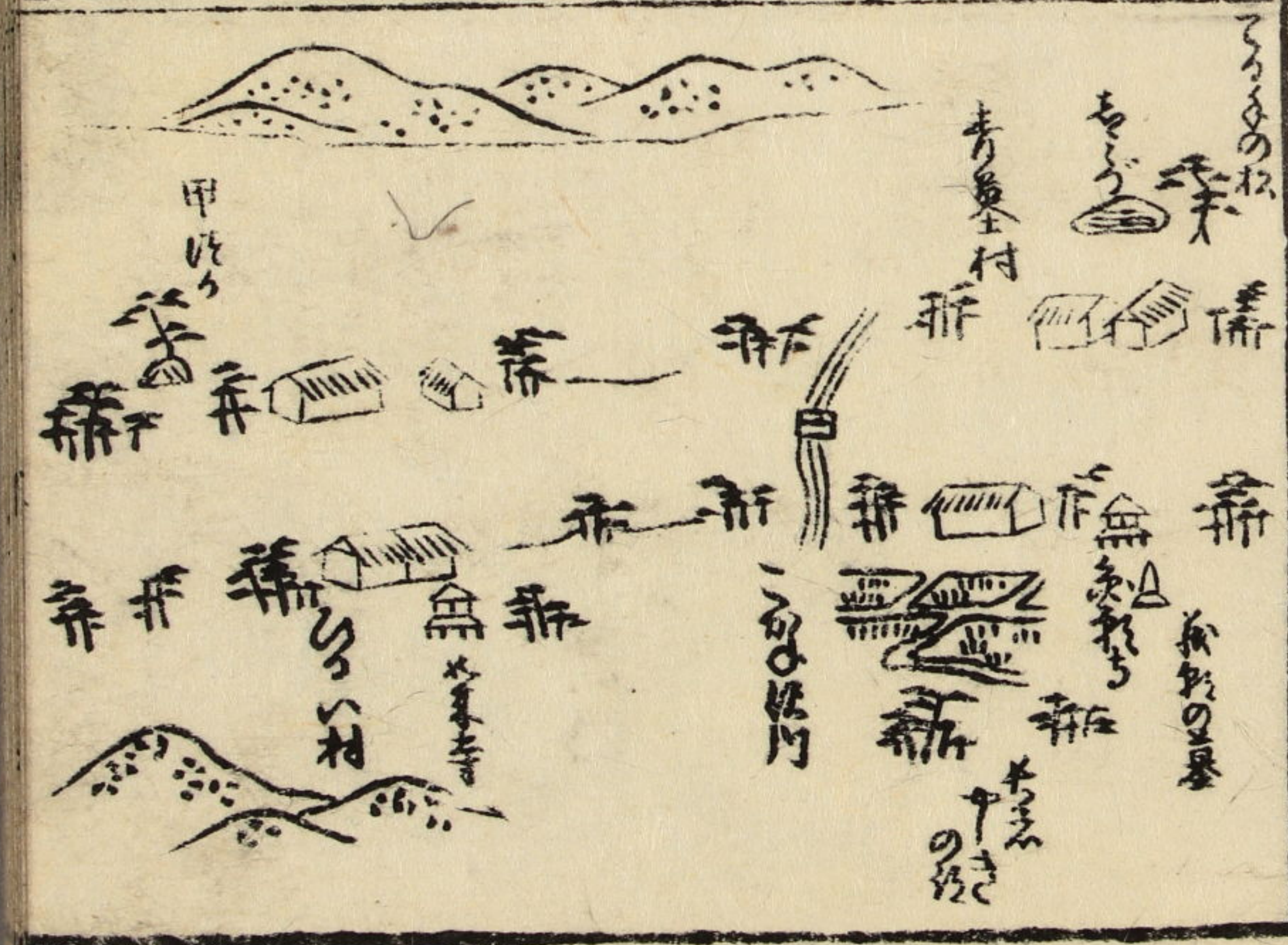
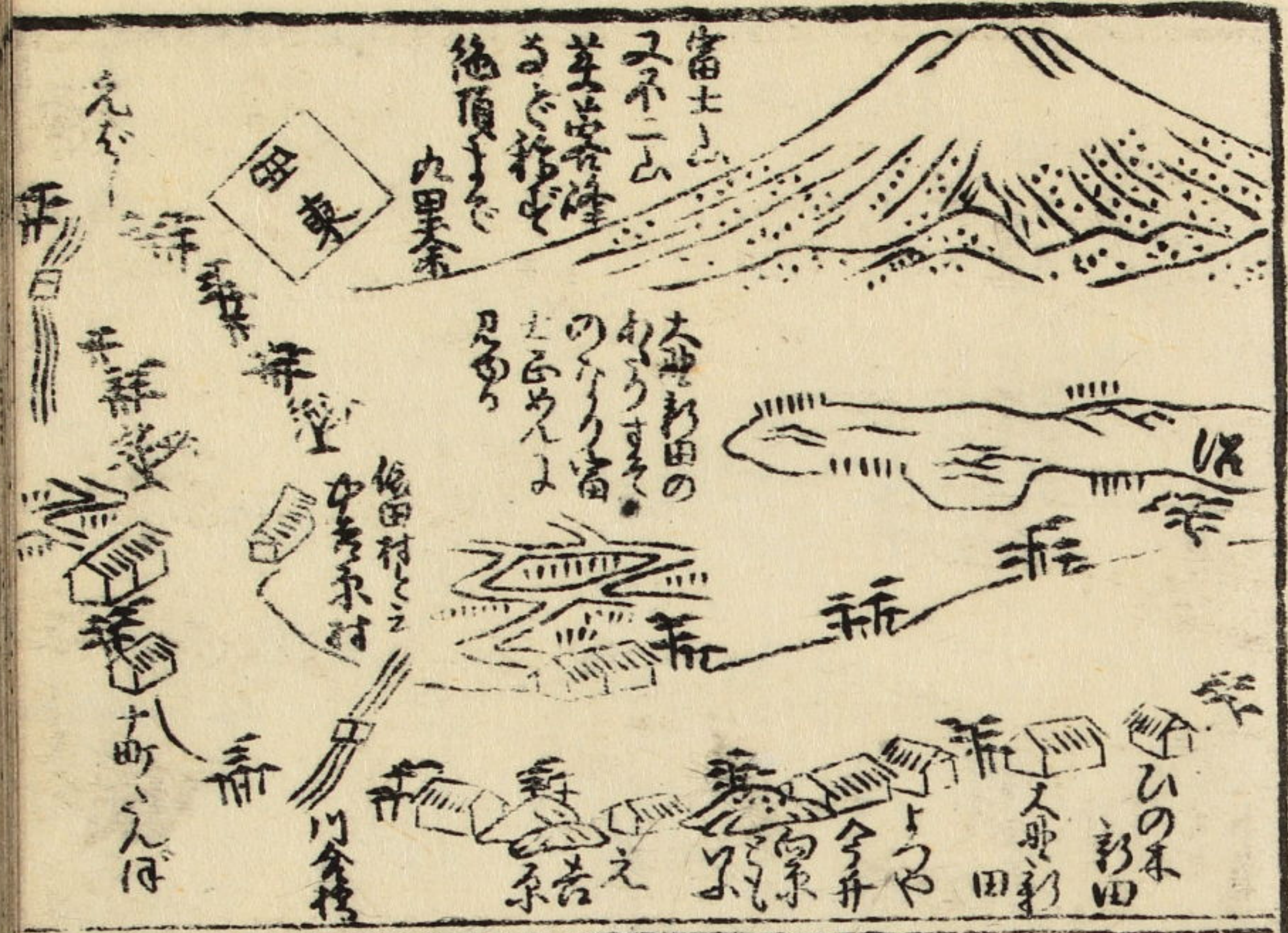
大園村  
 右に松尾山の山あり  
 左に石原の山あり  
 方角は北を向く  
 なるに本ありけり  
 としきなり

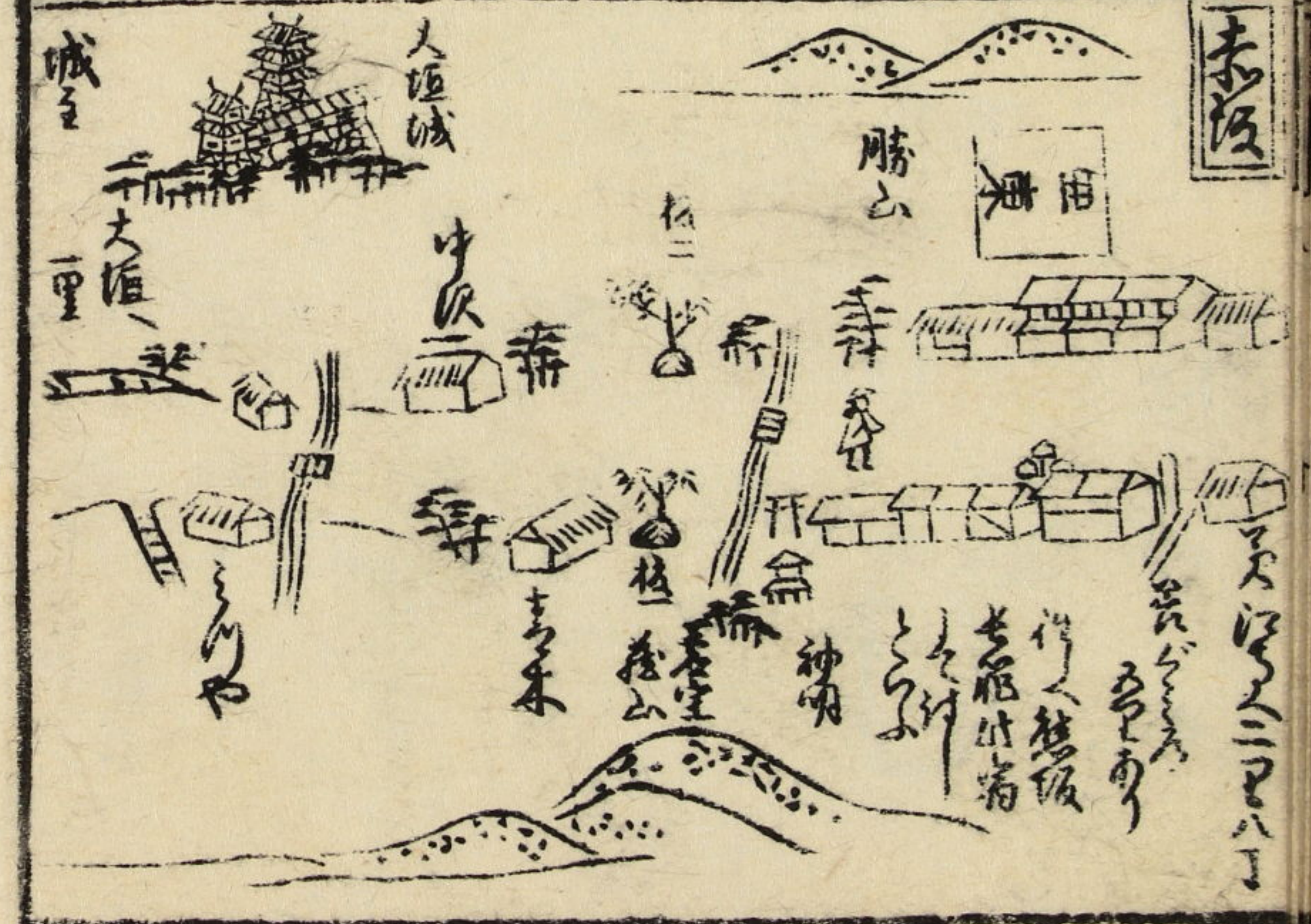
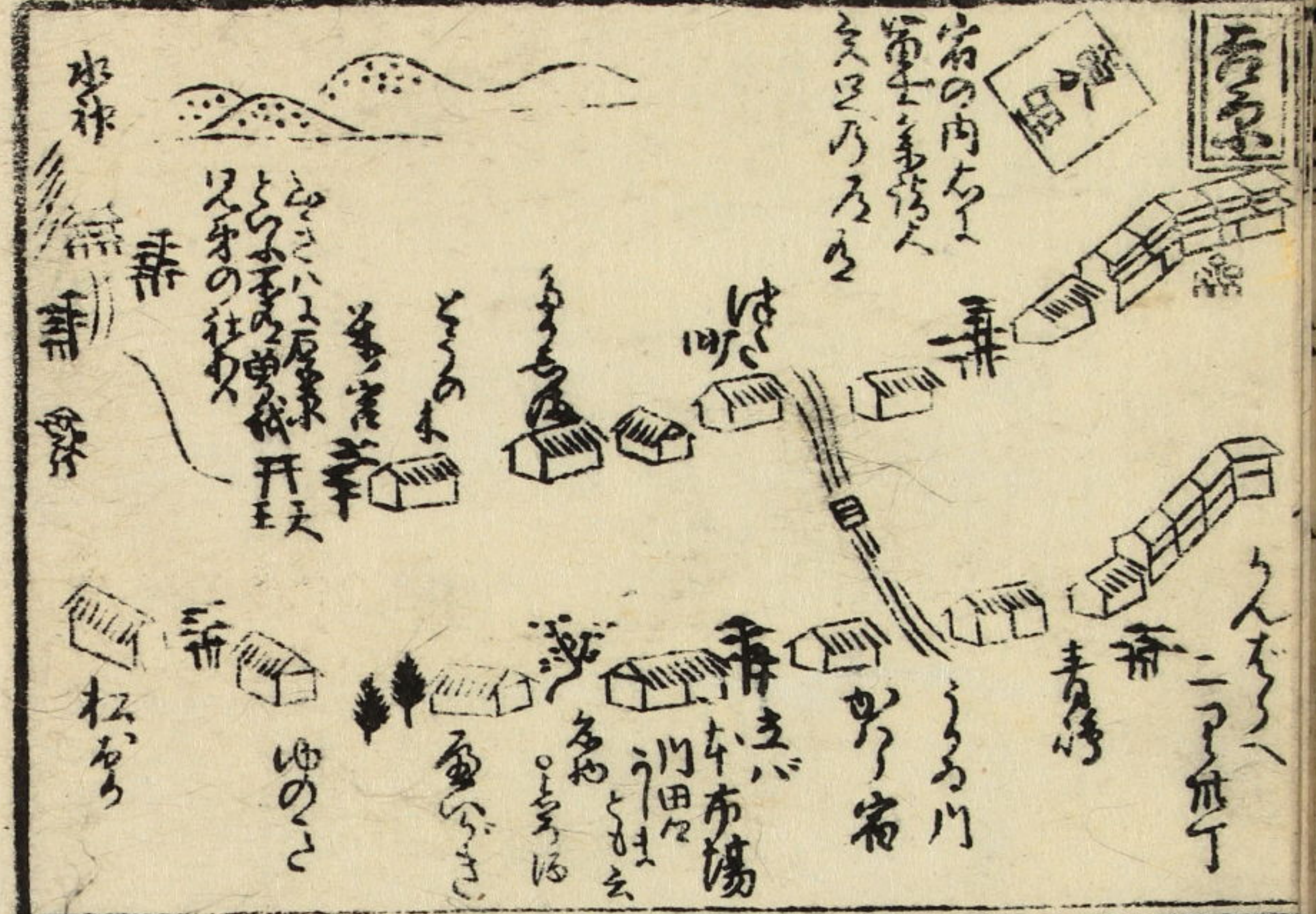
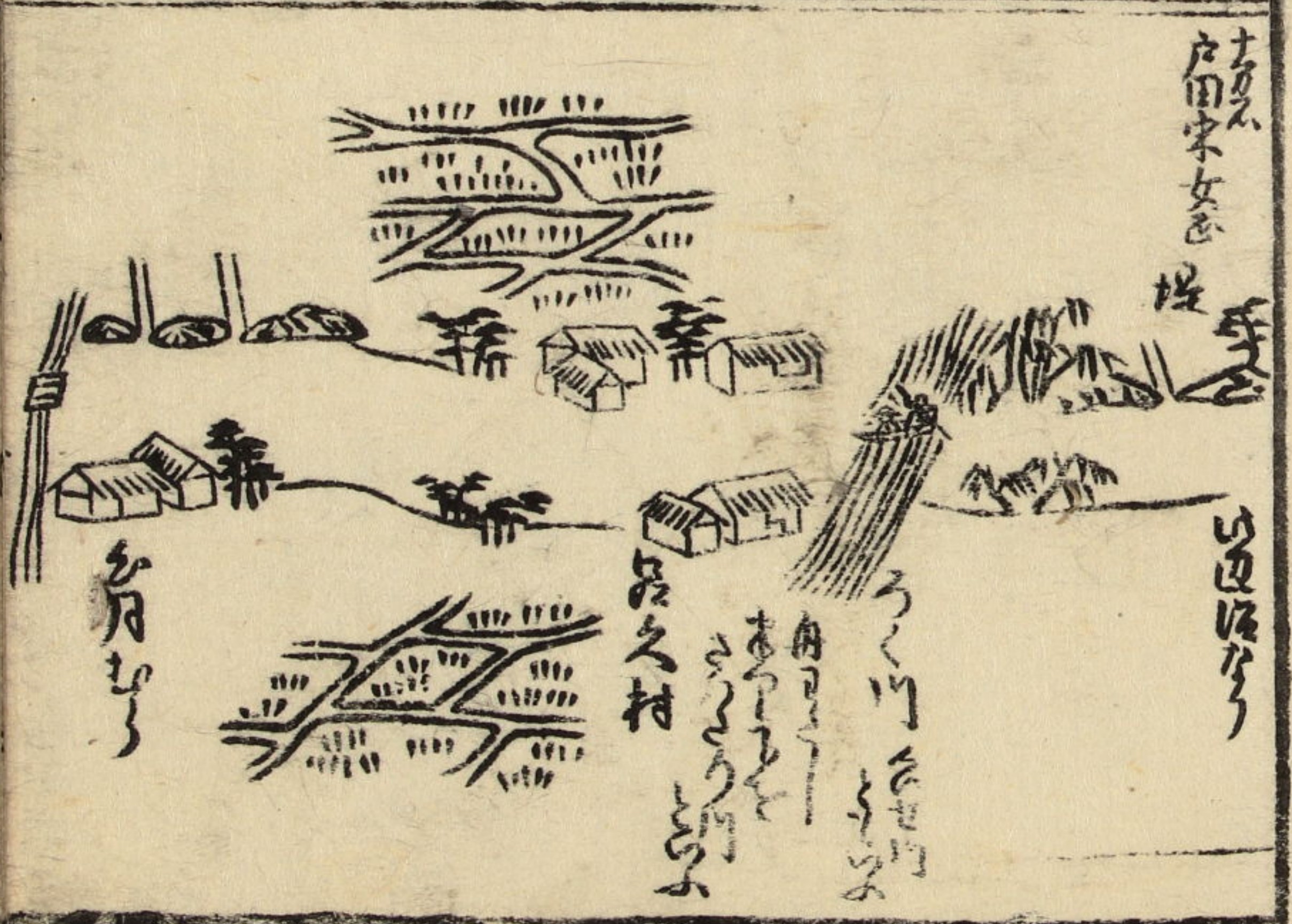
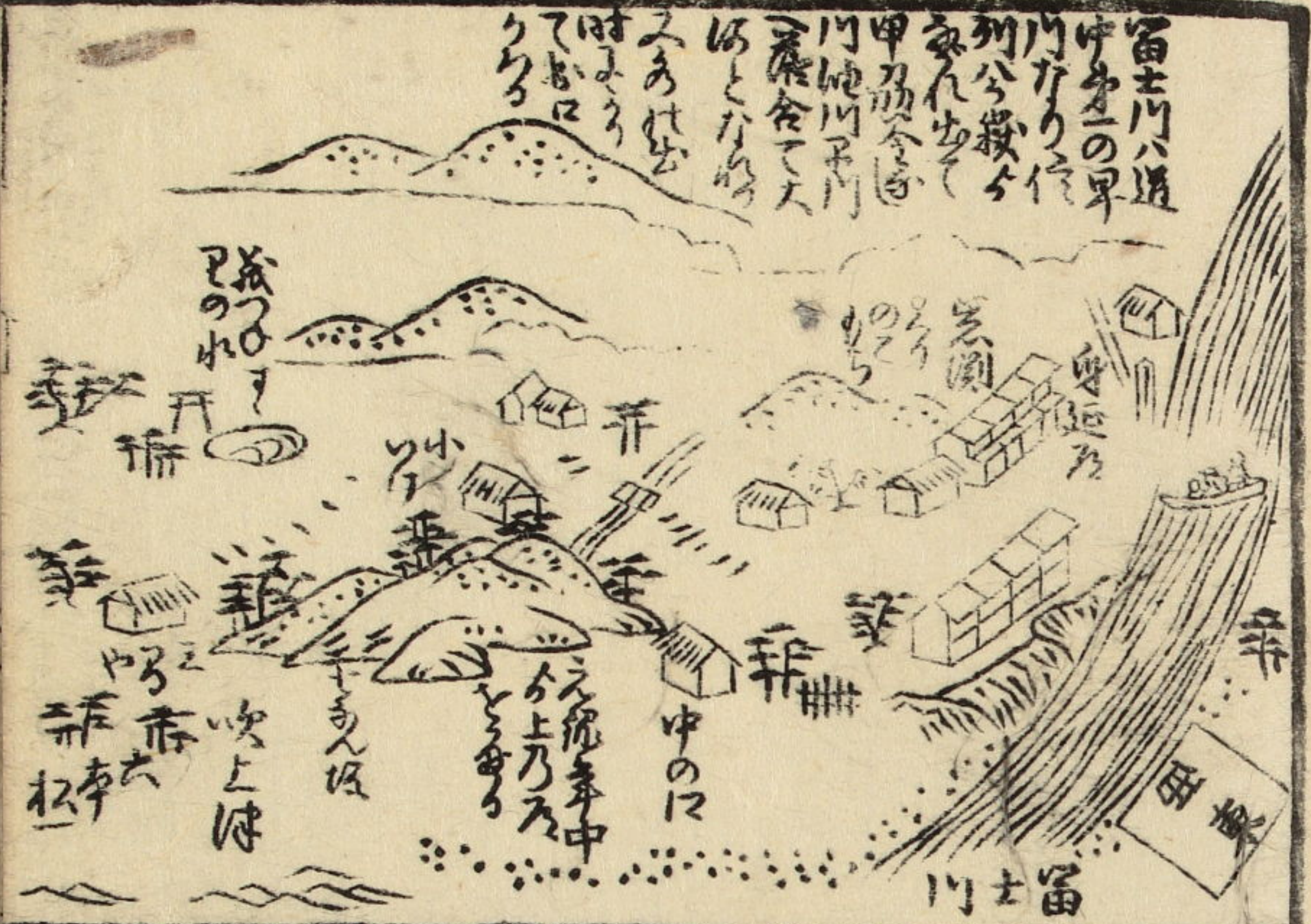


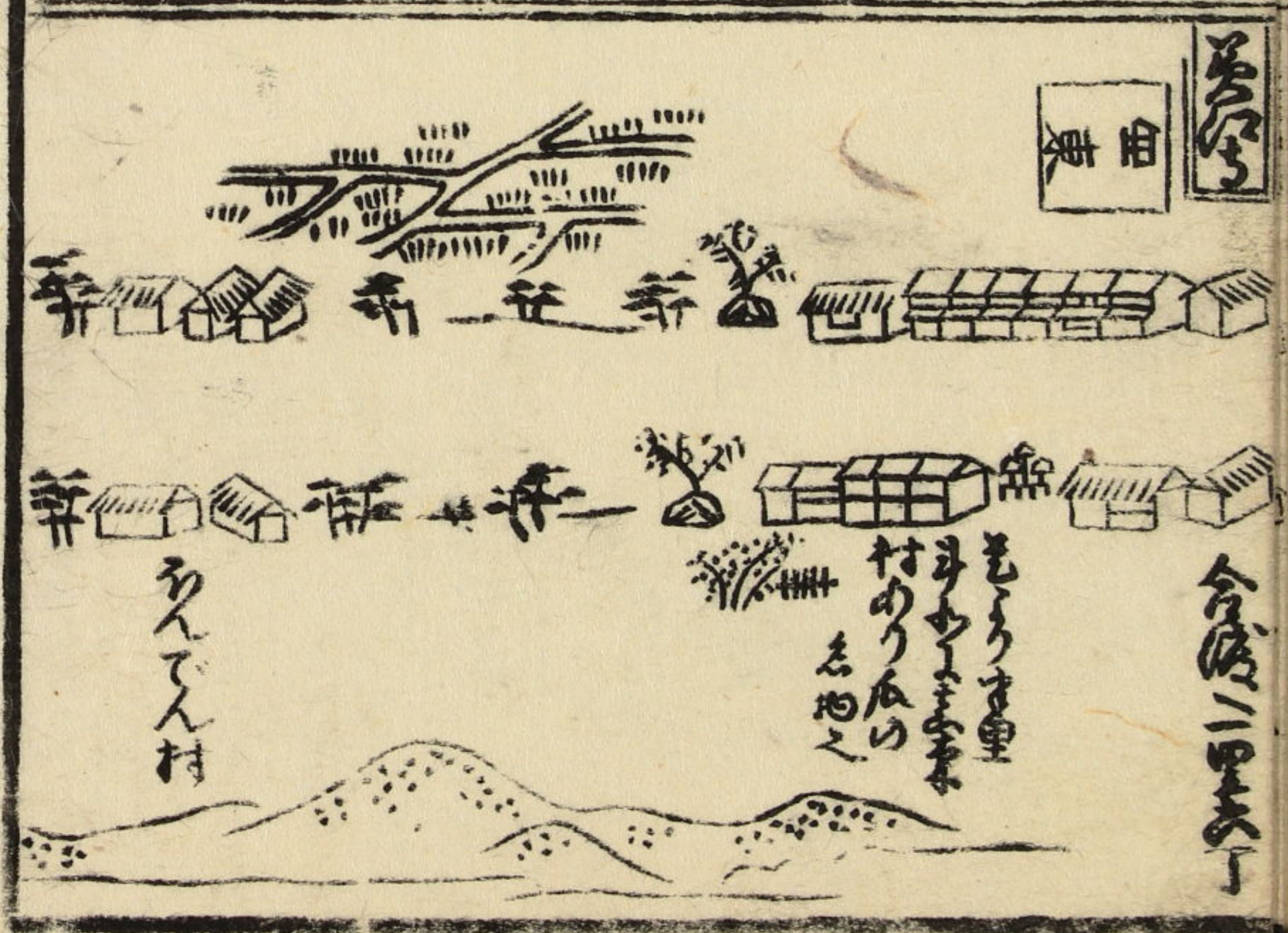
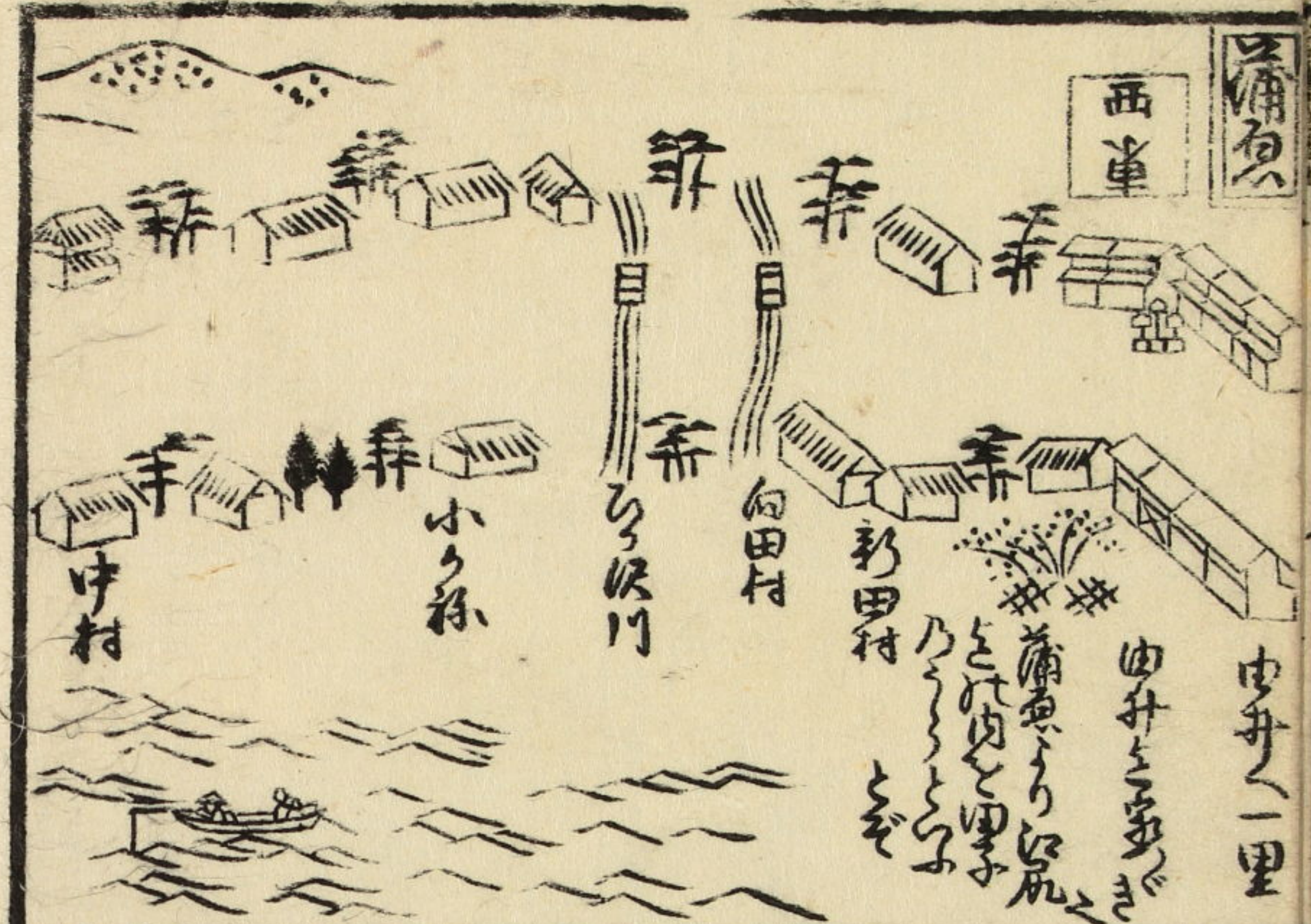
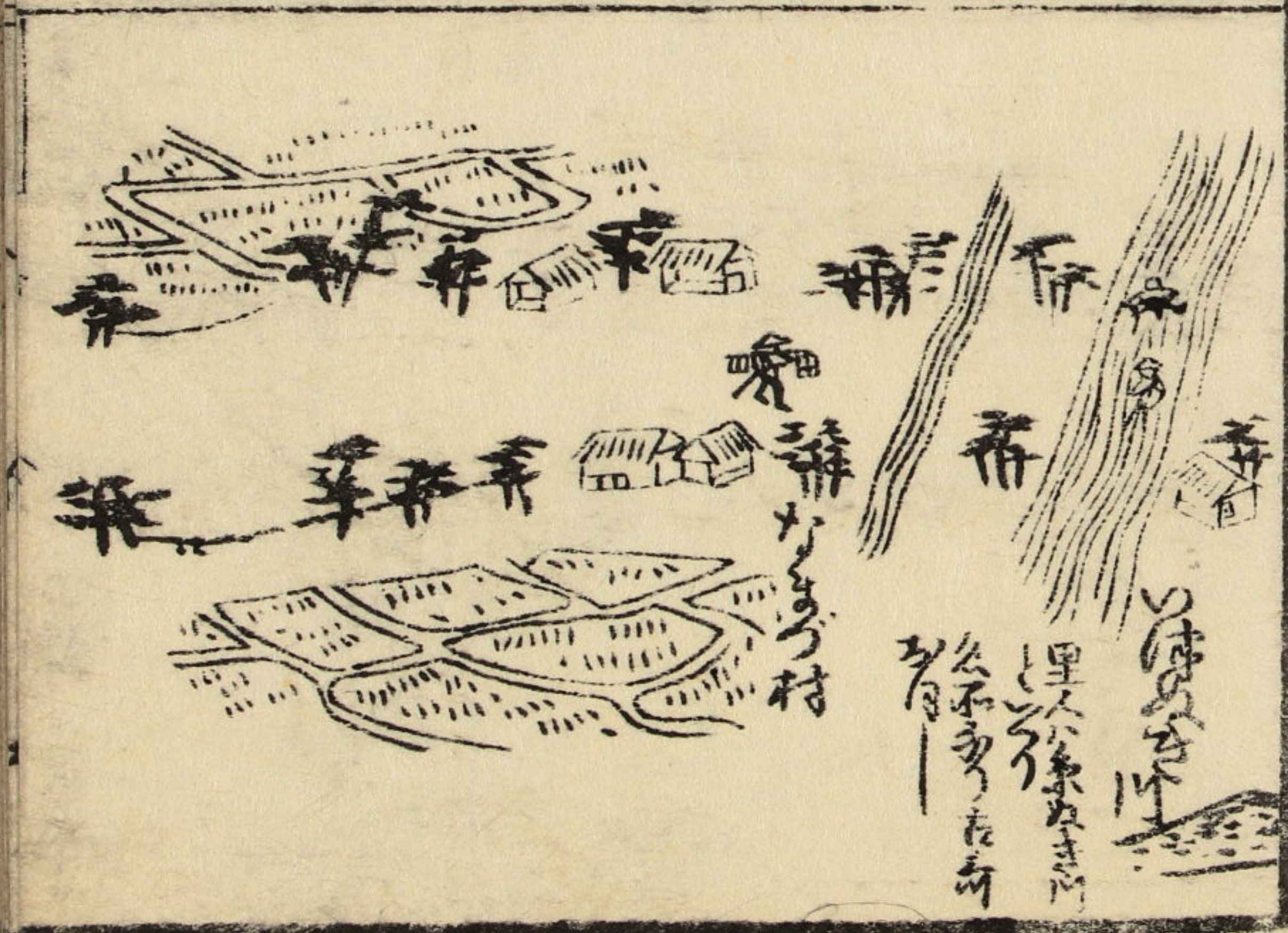
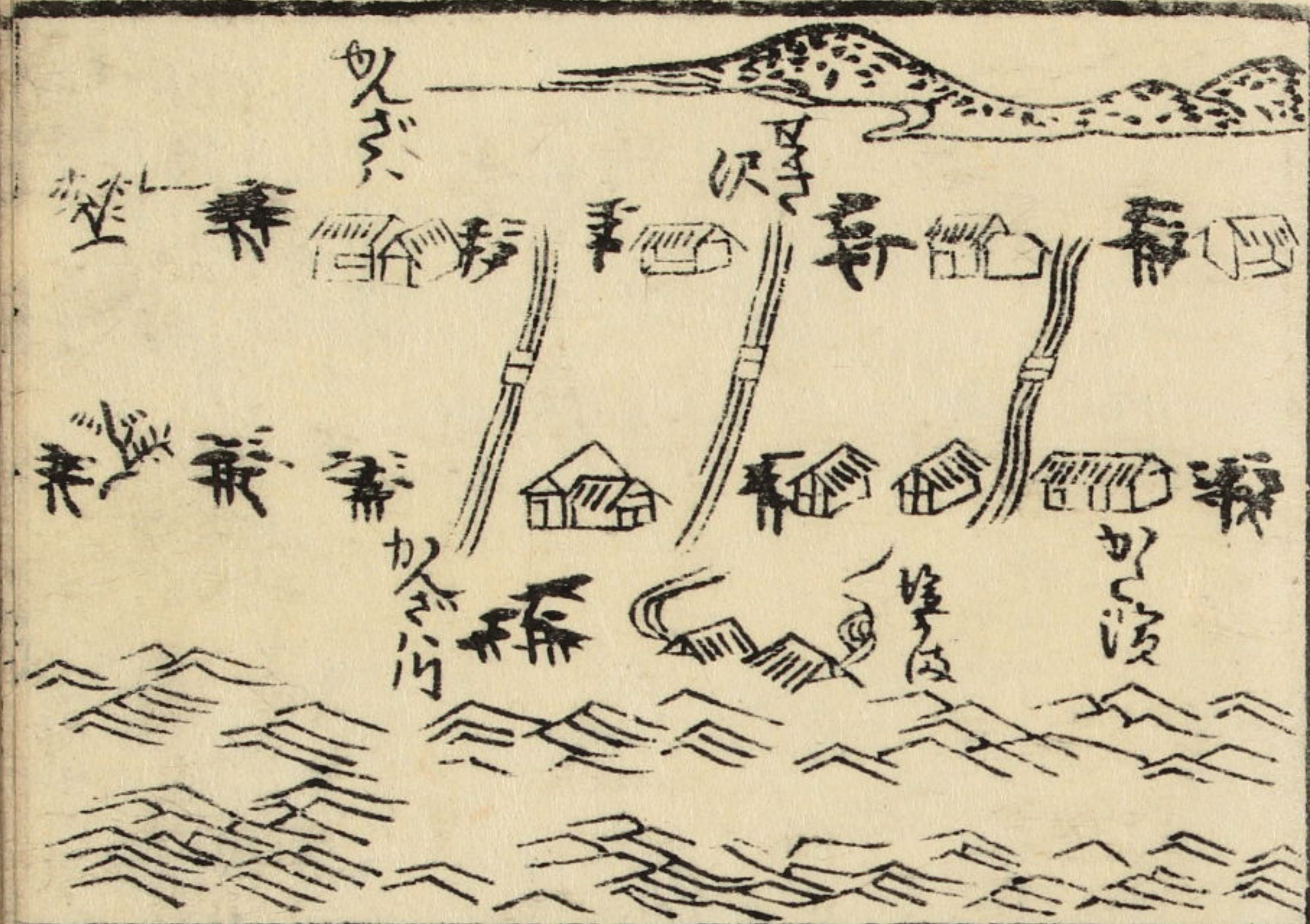
白の宿  
 千重橋  
 白の宿  
 白の宿  
 白の宿  
 白の宿











浦島

西車

由井一里

浦島

西車

今波二里丁

如左

河

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

加太河

加太河

加太河

山

山

山

山

山

山

山

小川

山

山

山

中村

白田村

新田村

浦島

浦島

由井一里

浦島

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

あんでん村

あんでん村

あんでん村

今波二里丁

浦島

浦島

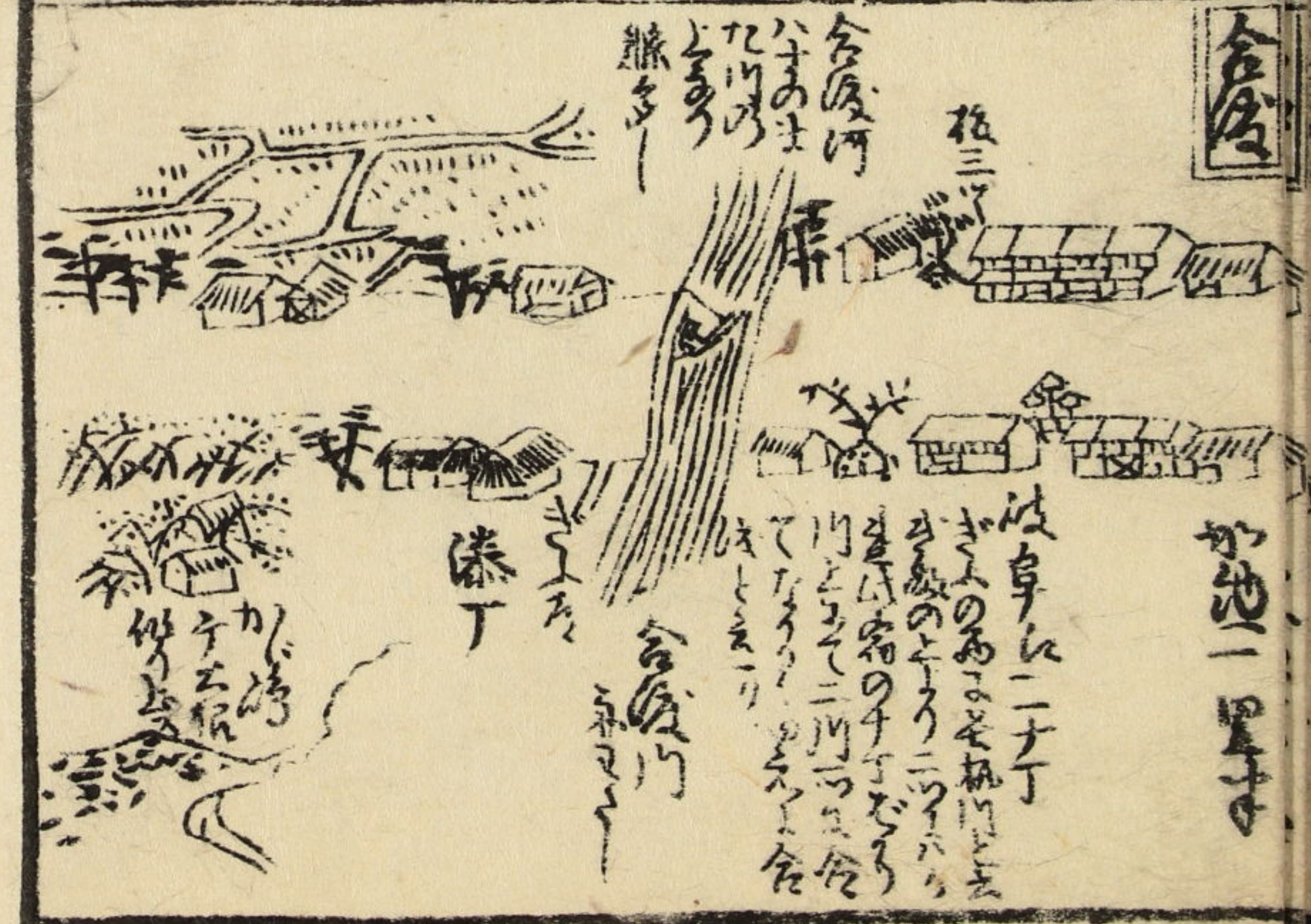
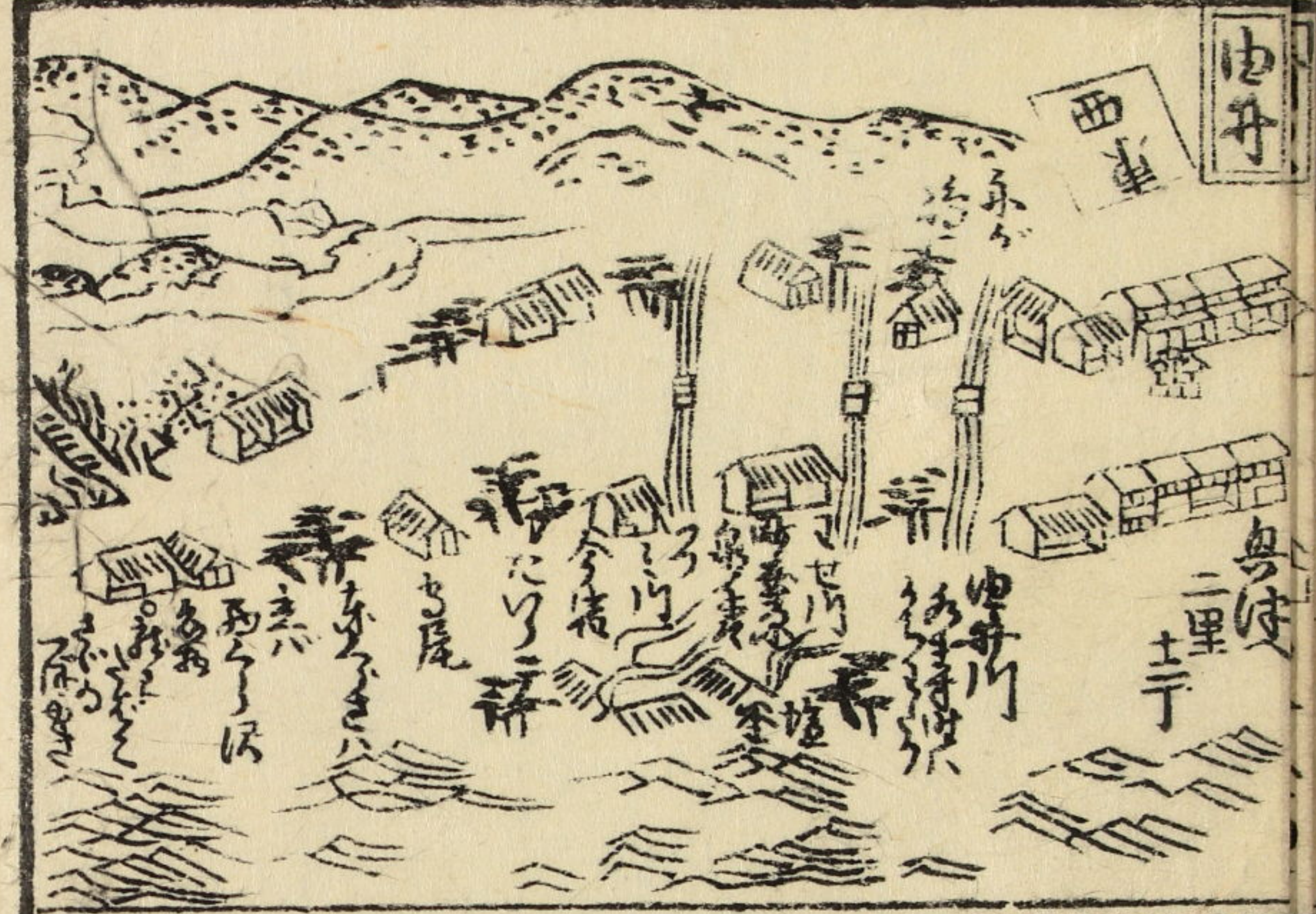
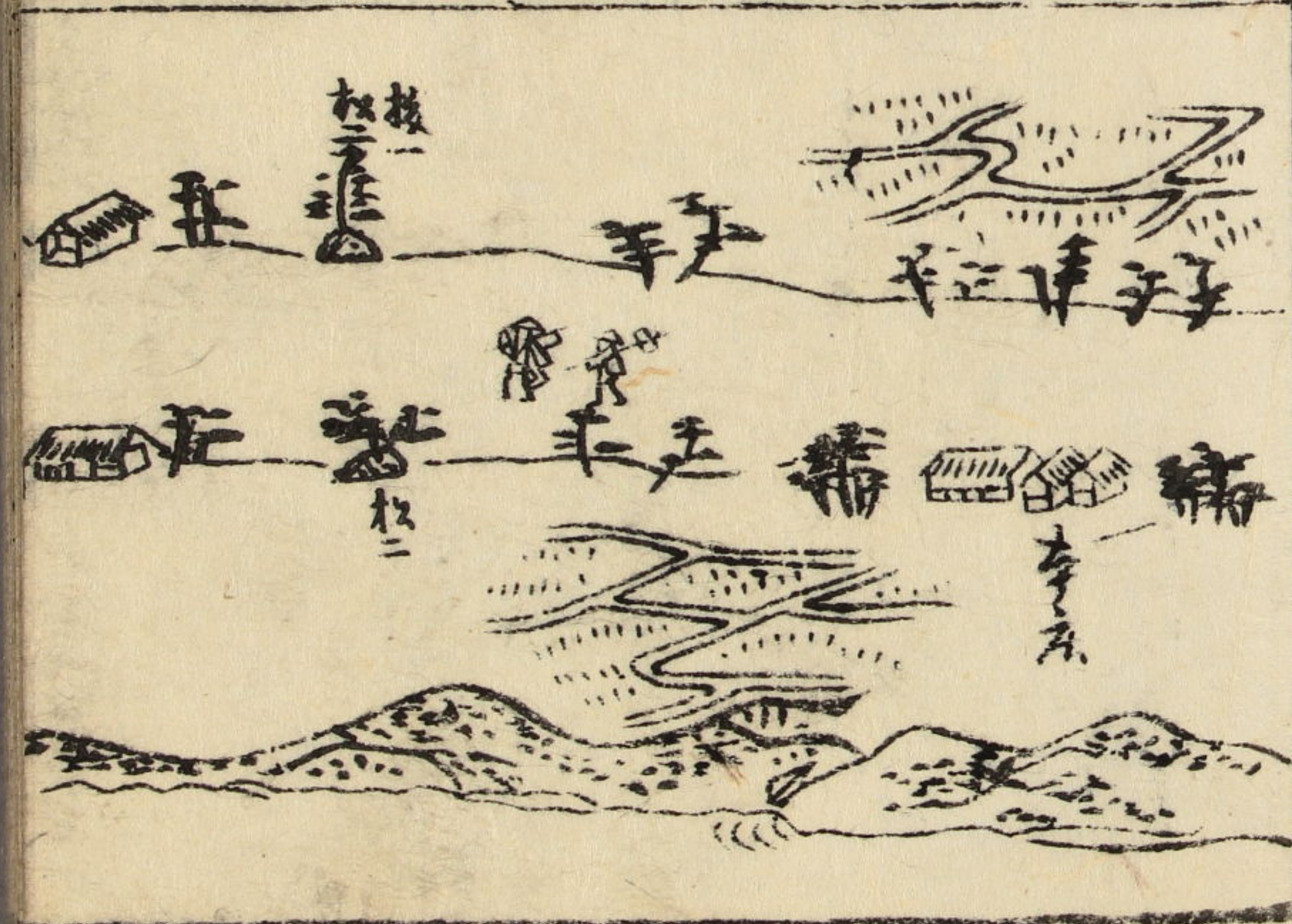
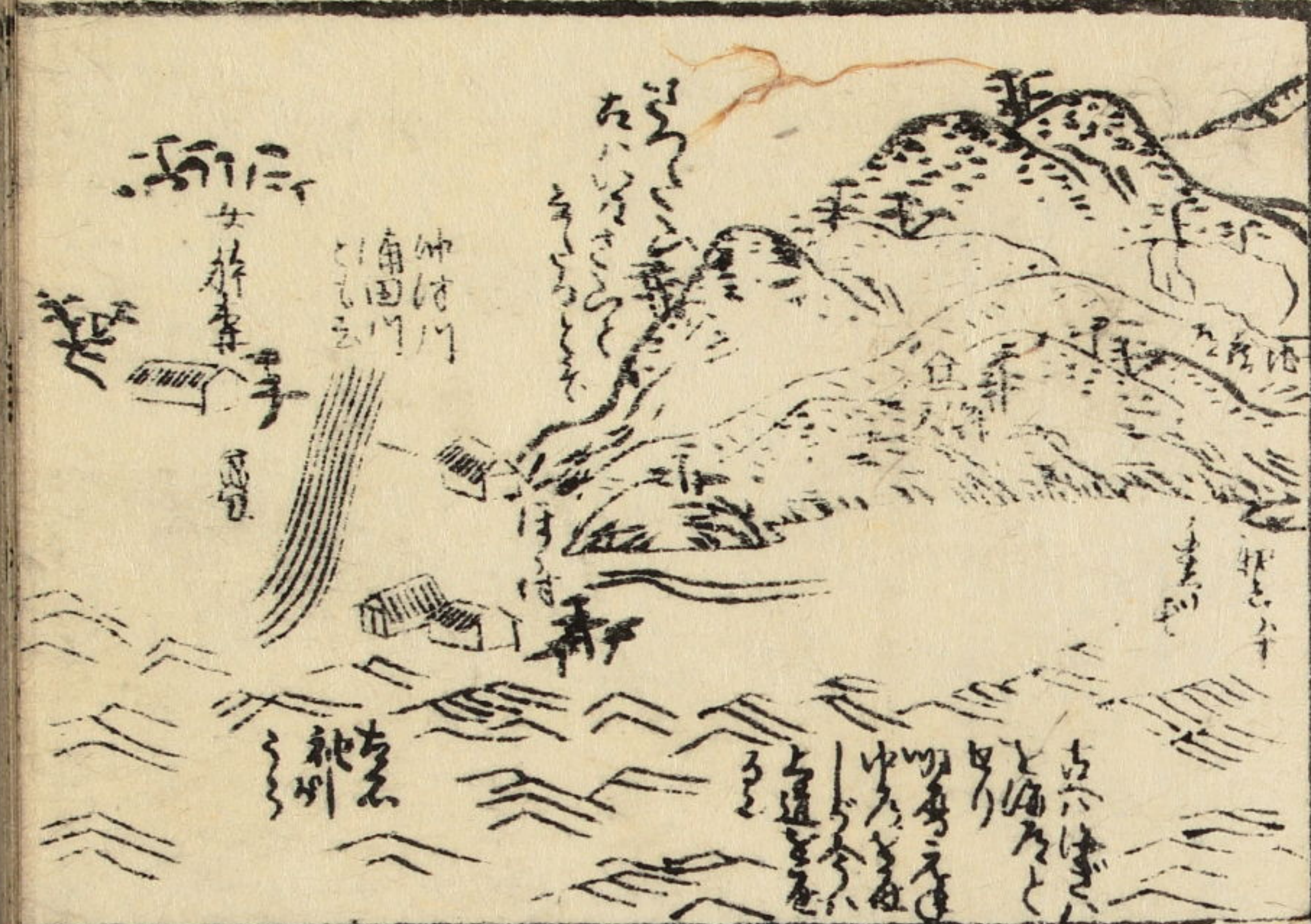
浦島

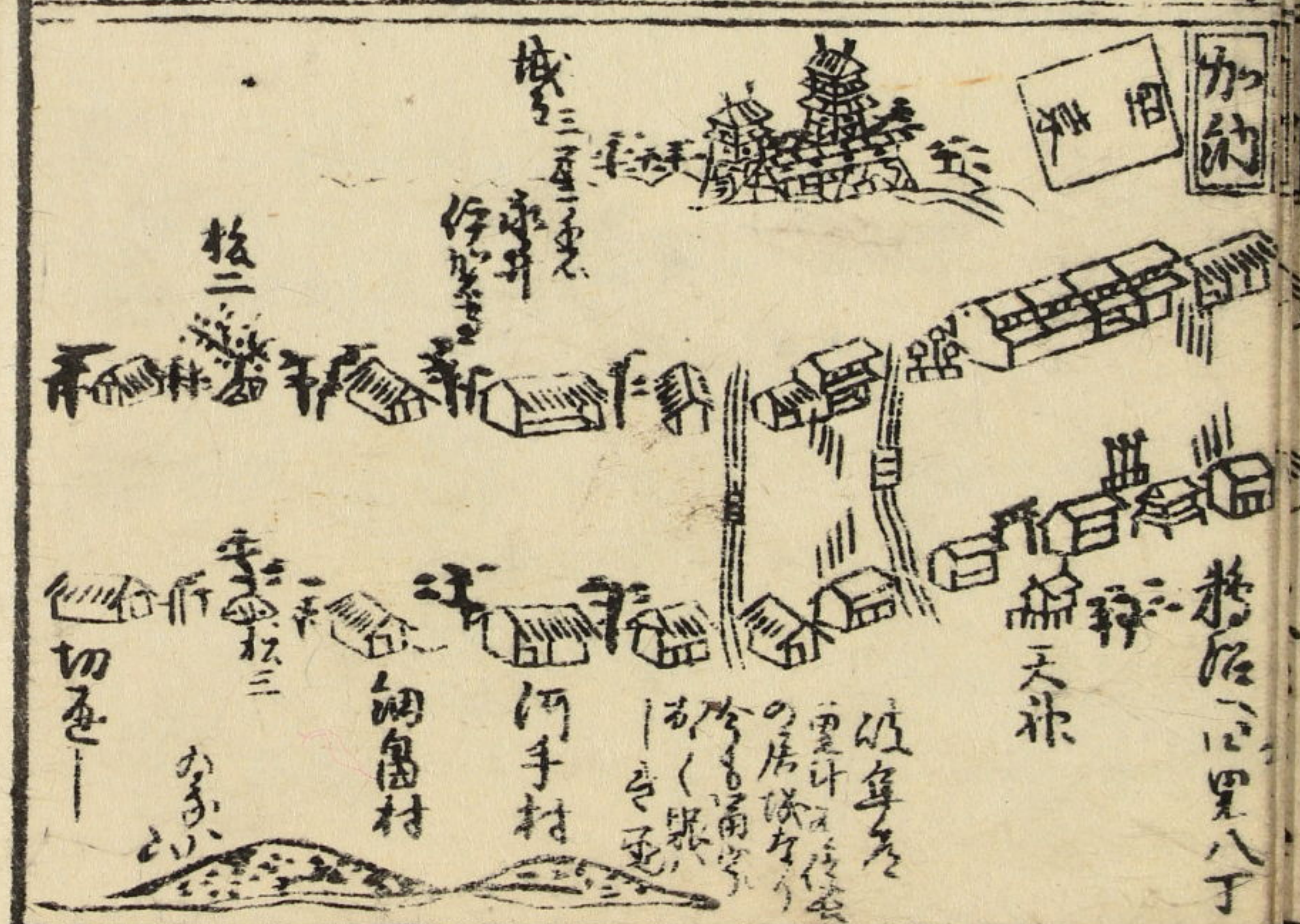
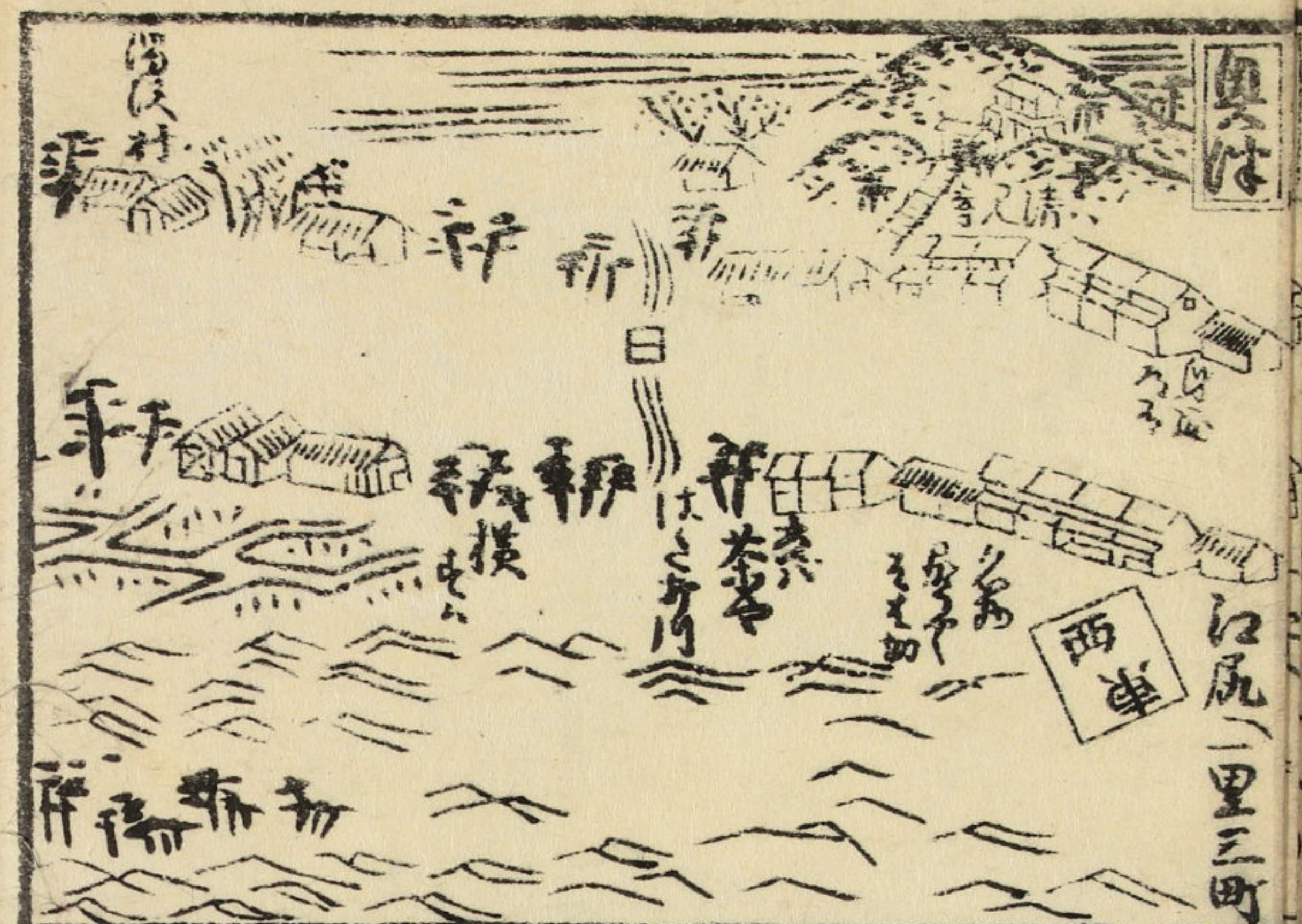
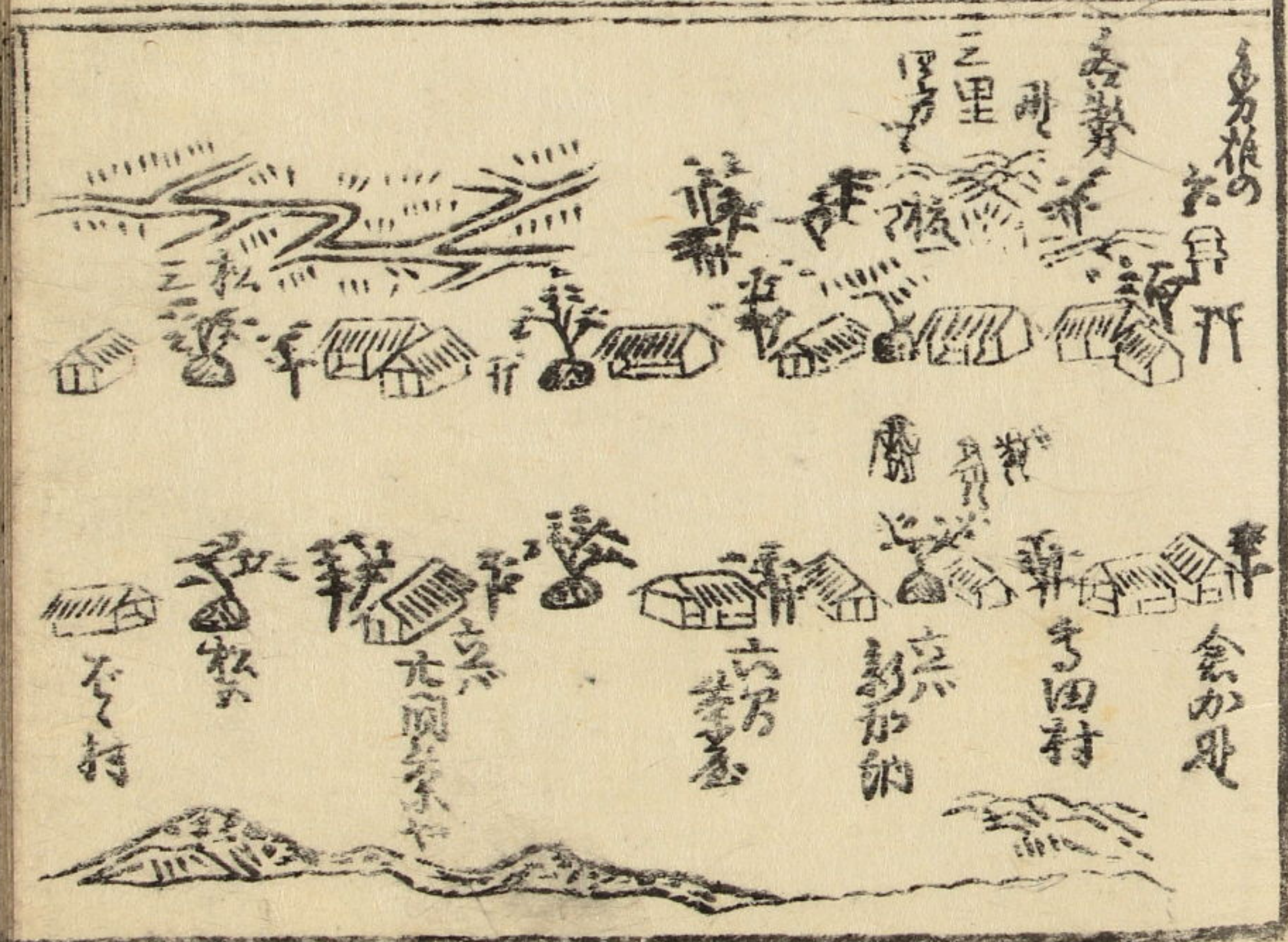
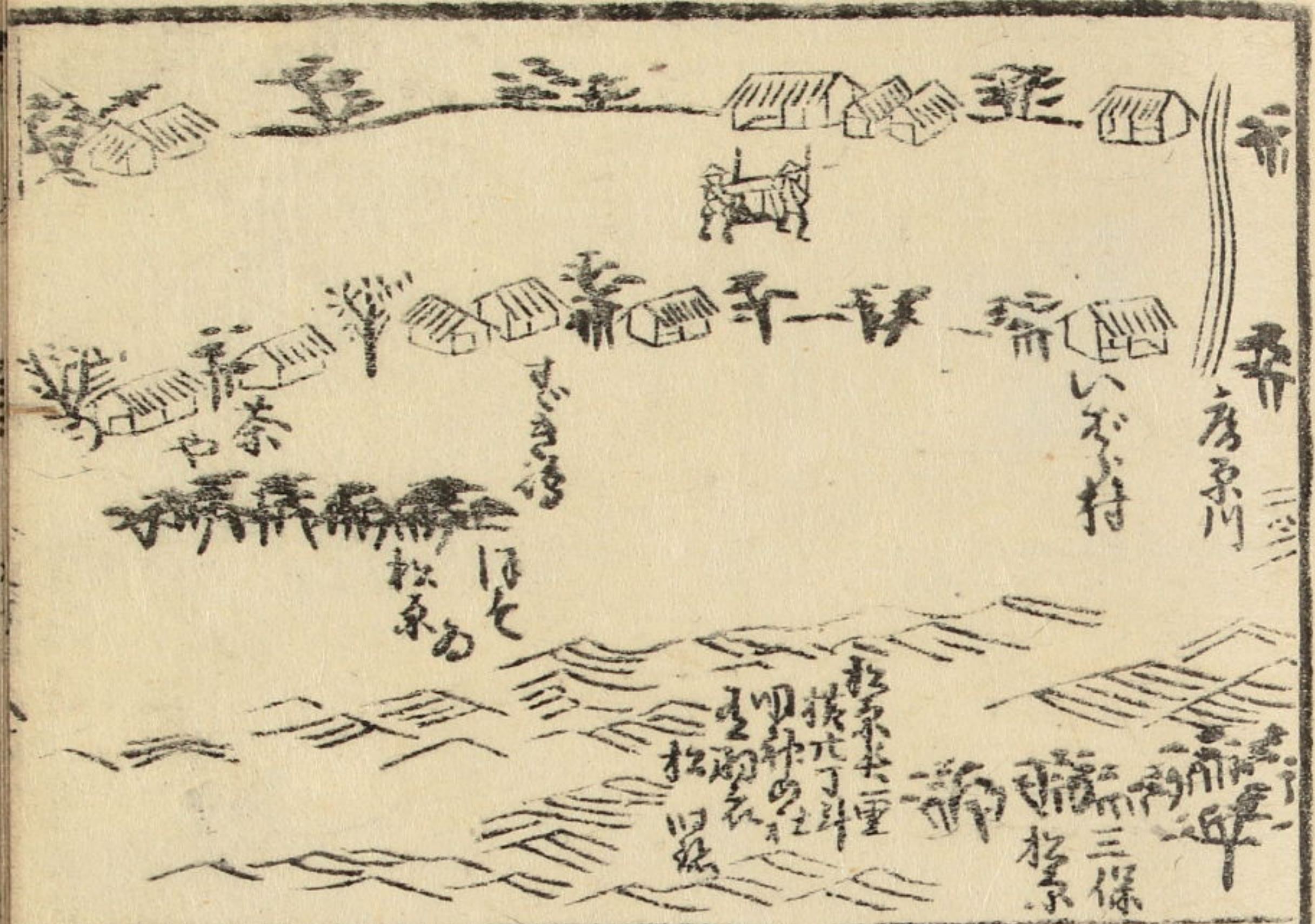
あんでん村

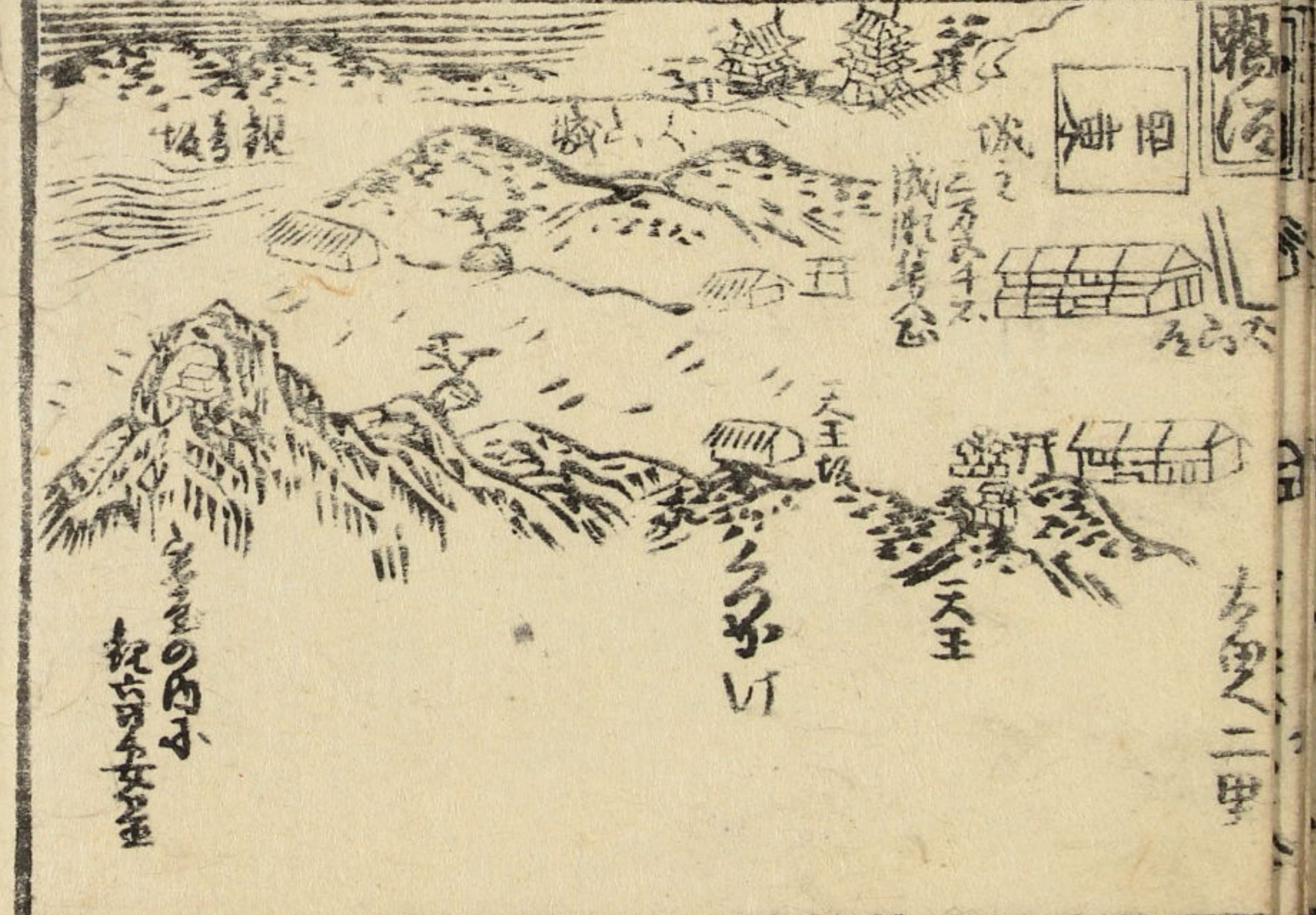
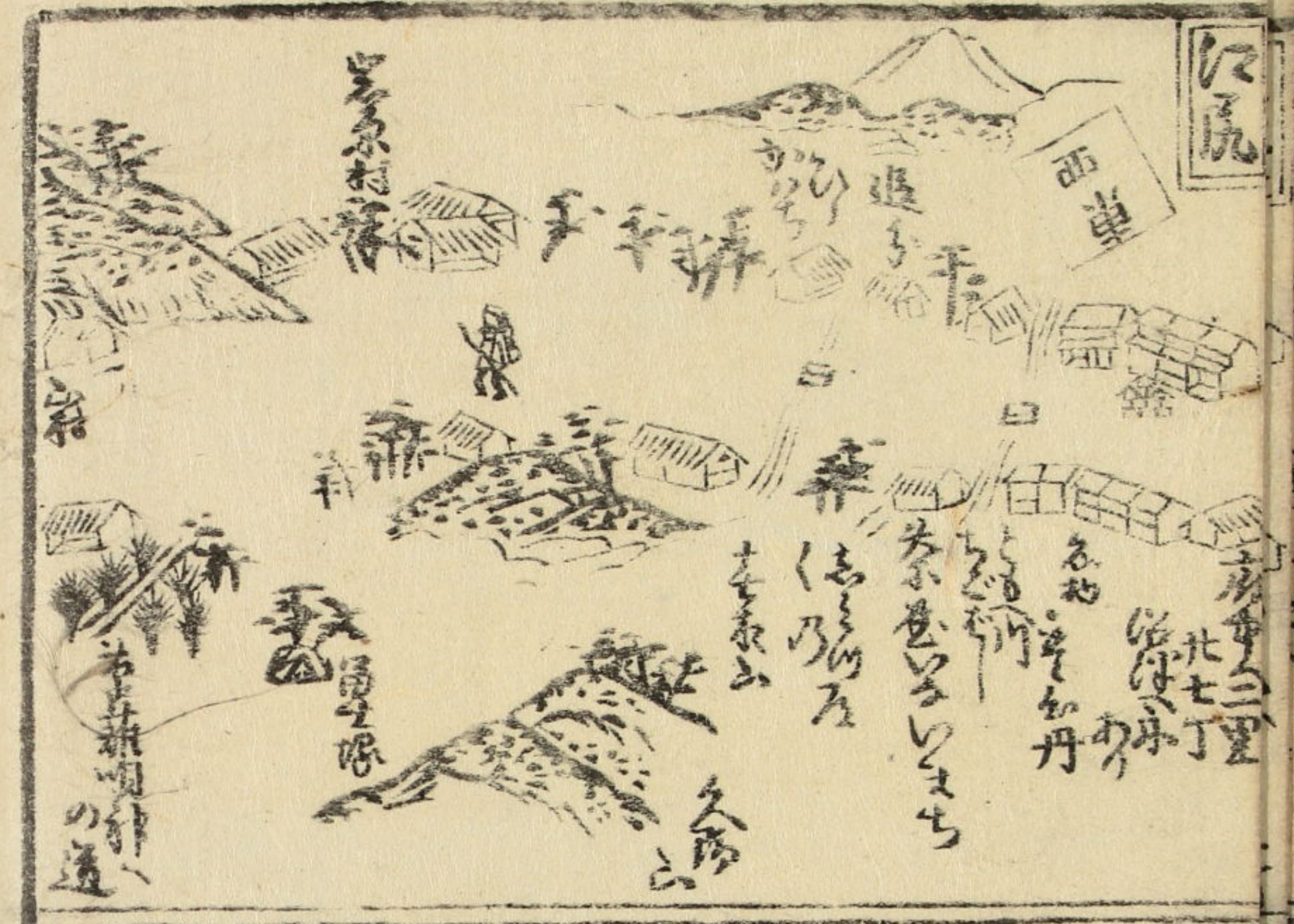
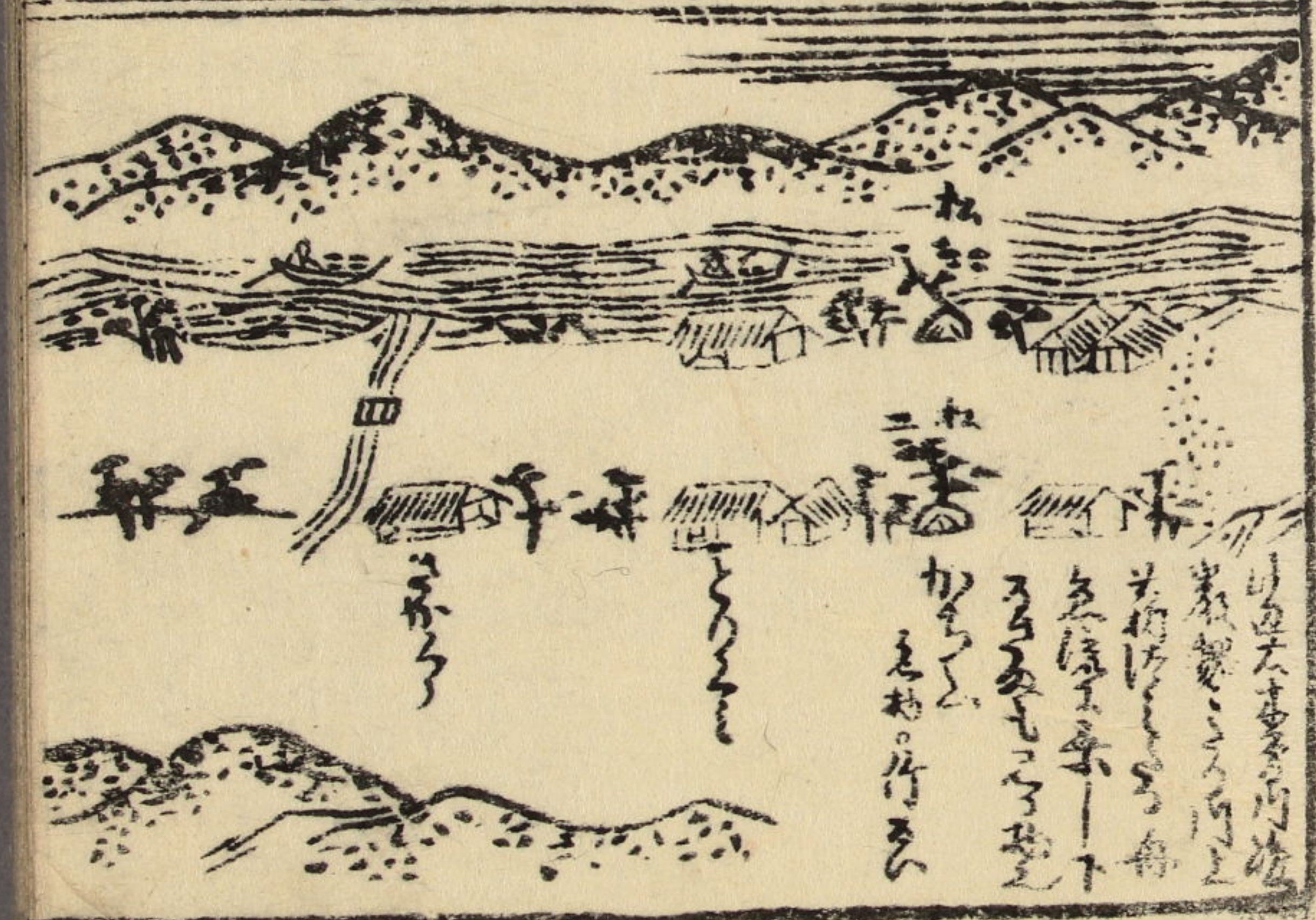
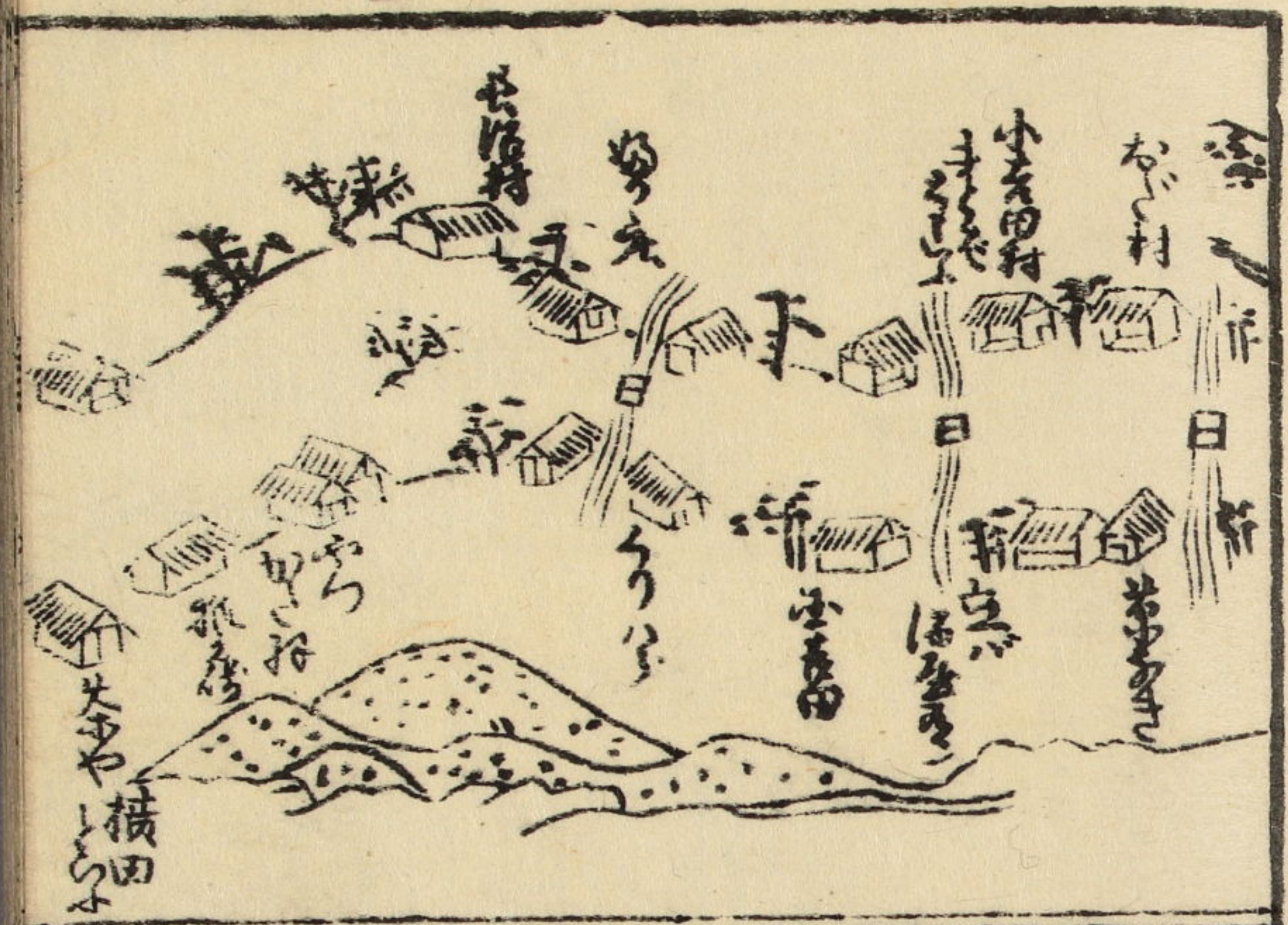
あんでん村

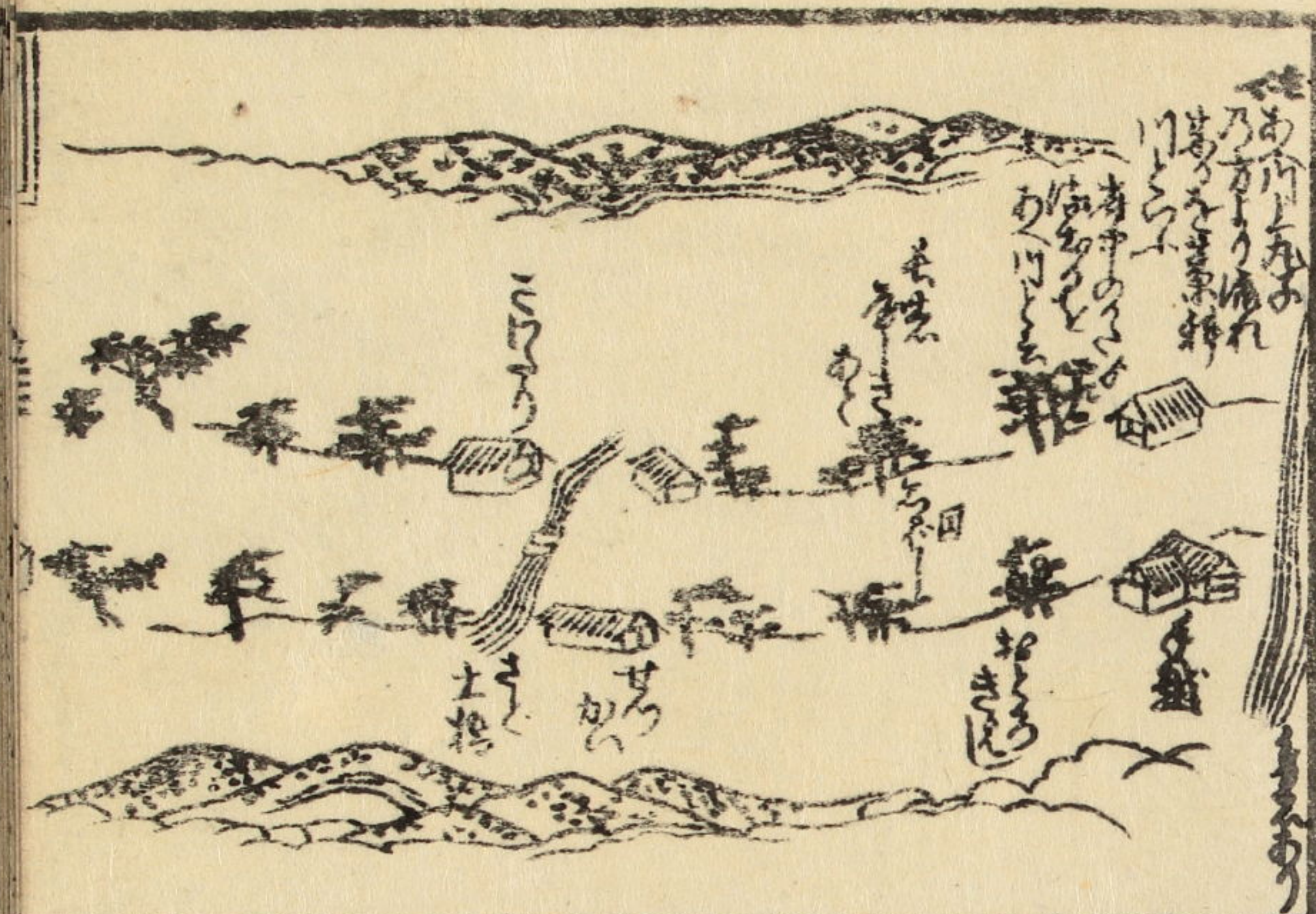
あんでん村

今波二里丁

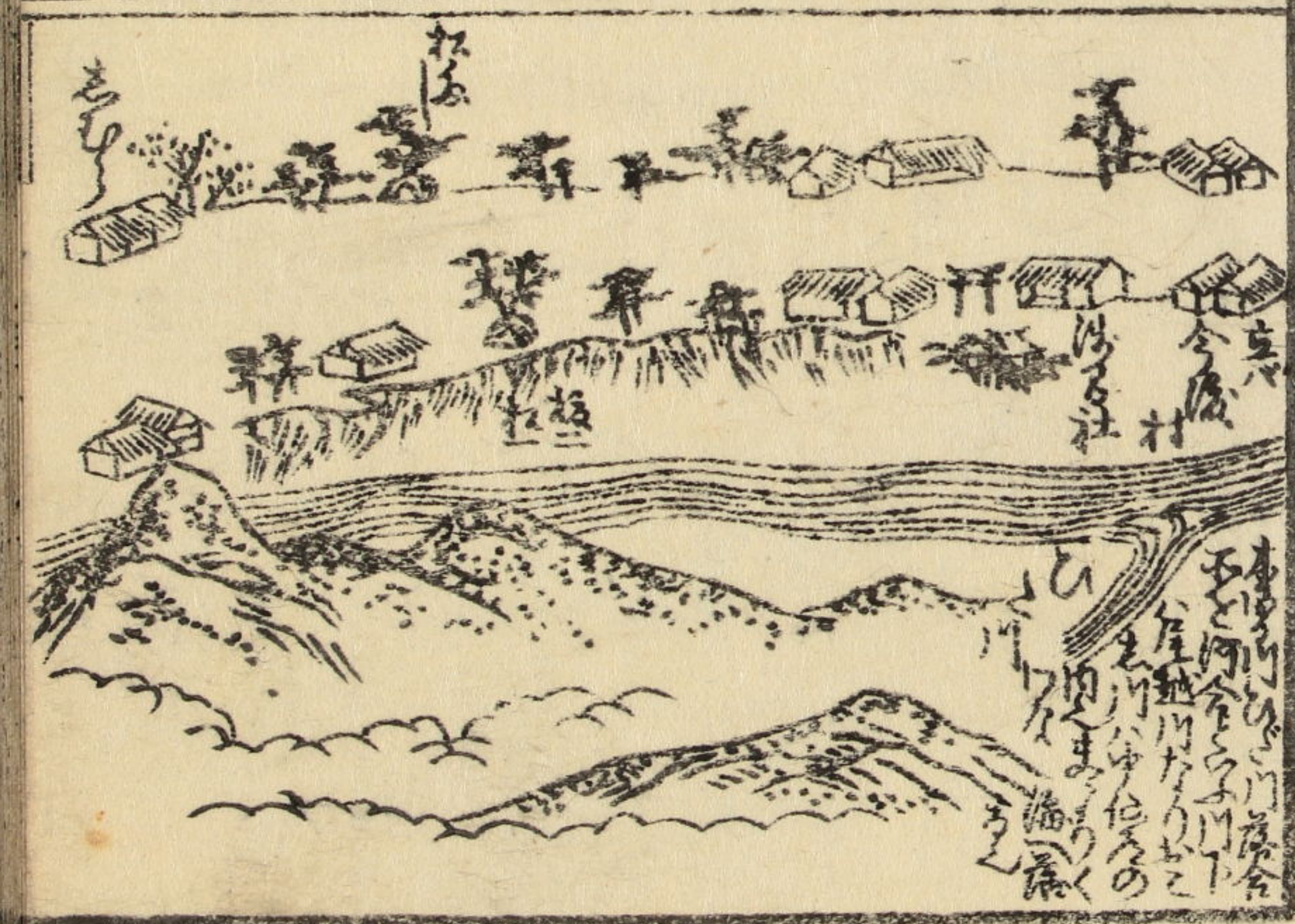








乃方より流れ  
 其の川を  
 流す

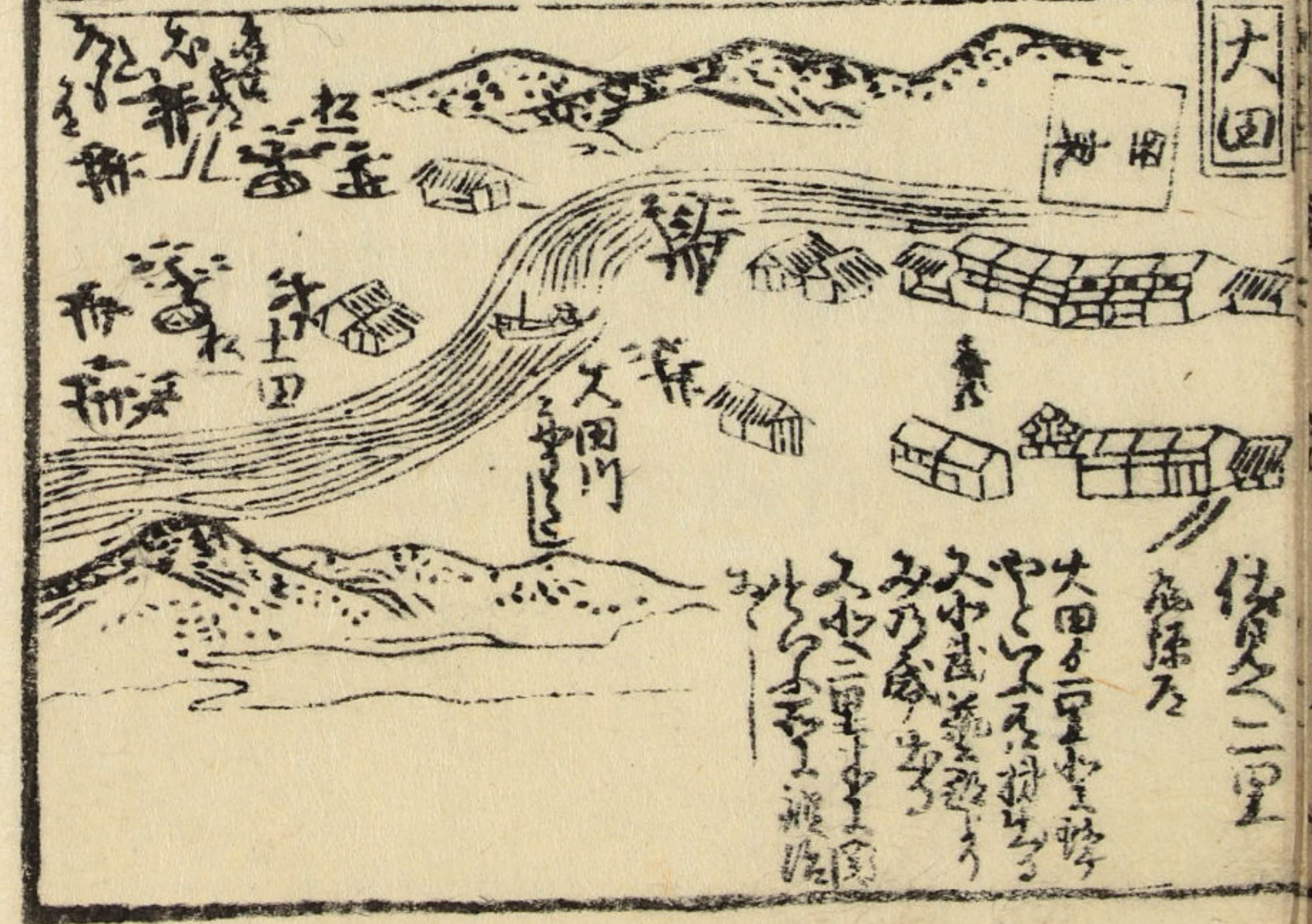


乃方より流れ  
 其の川を  
 流す



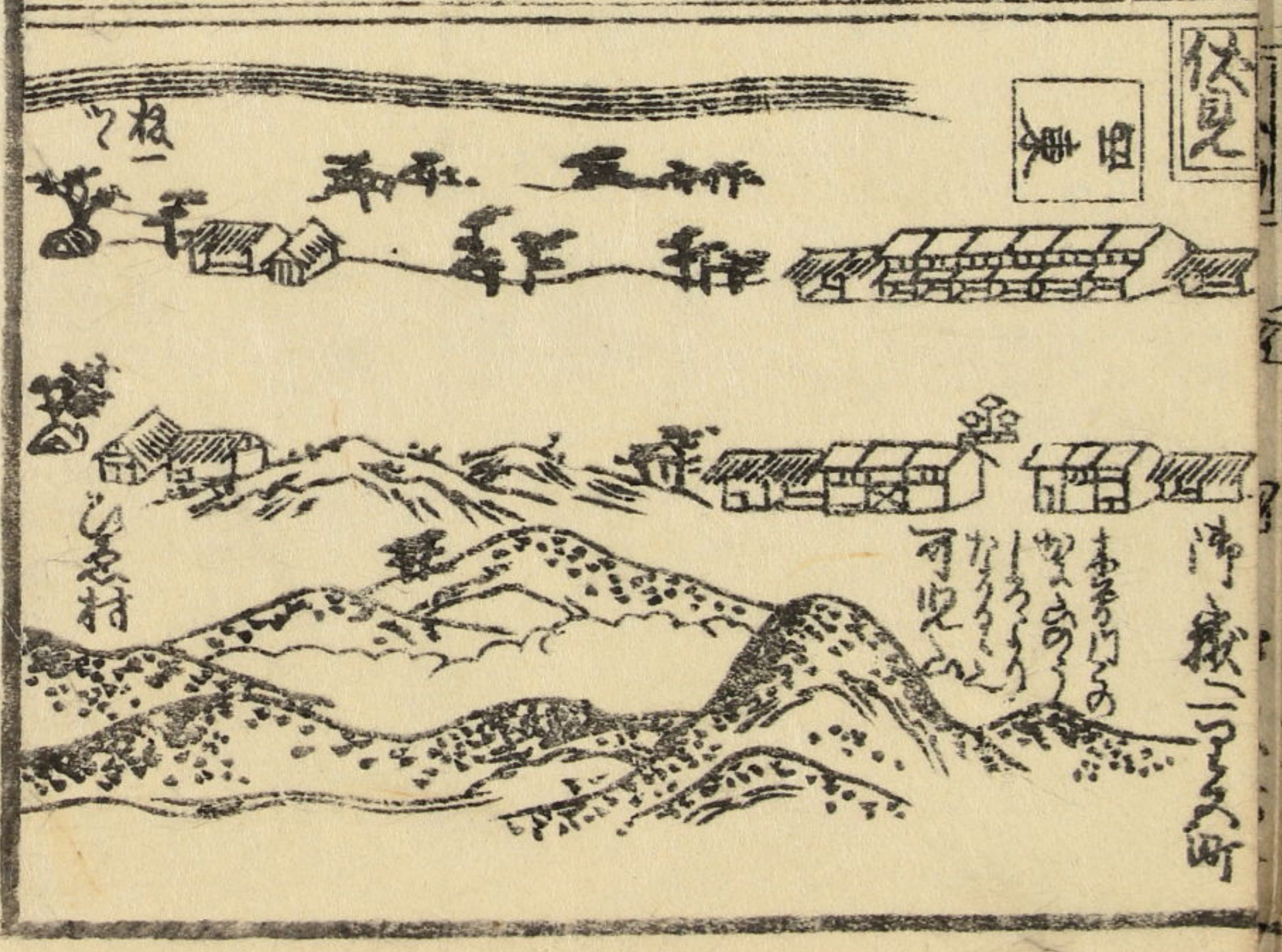
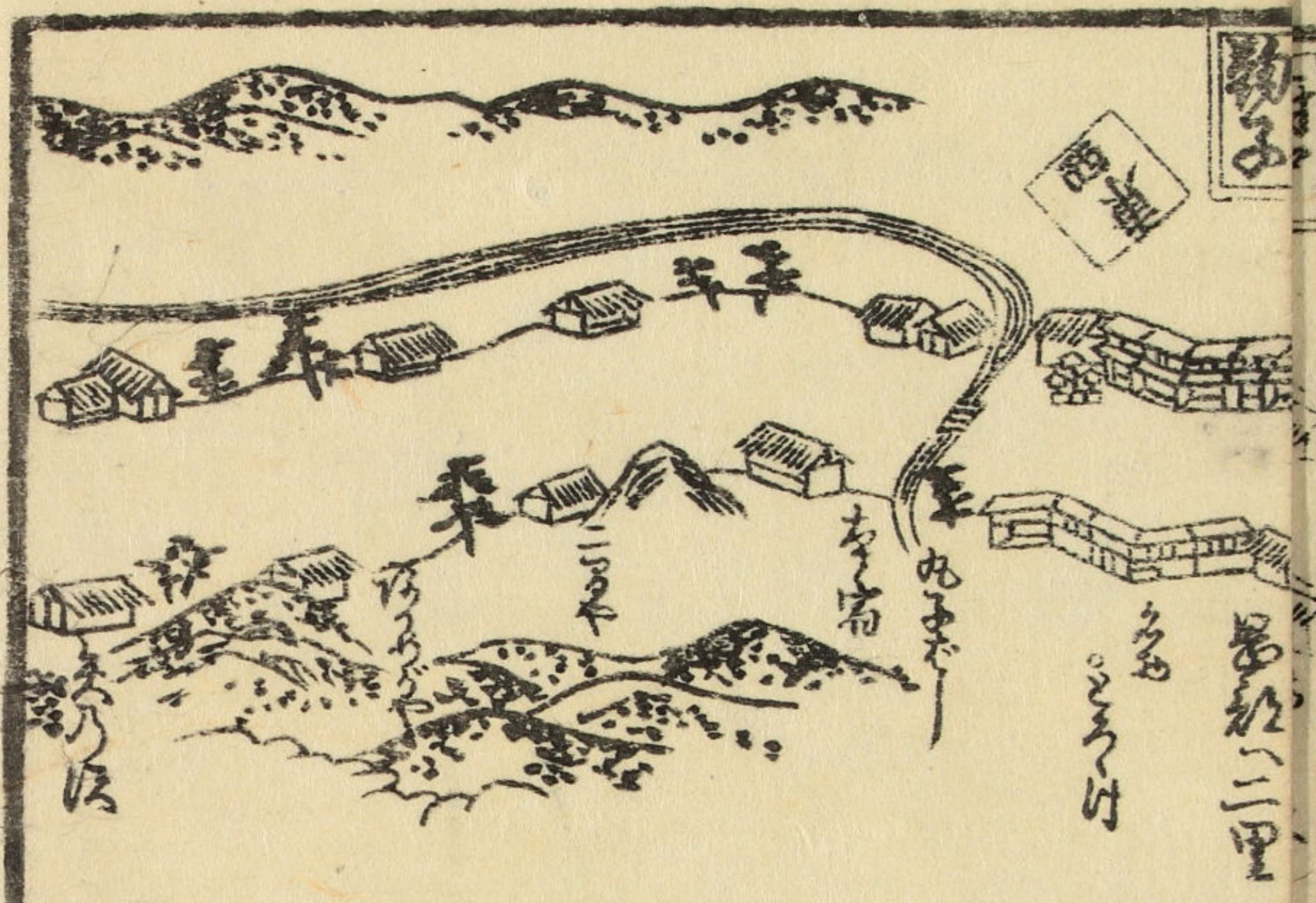
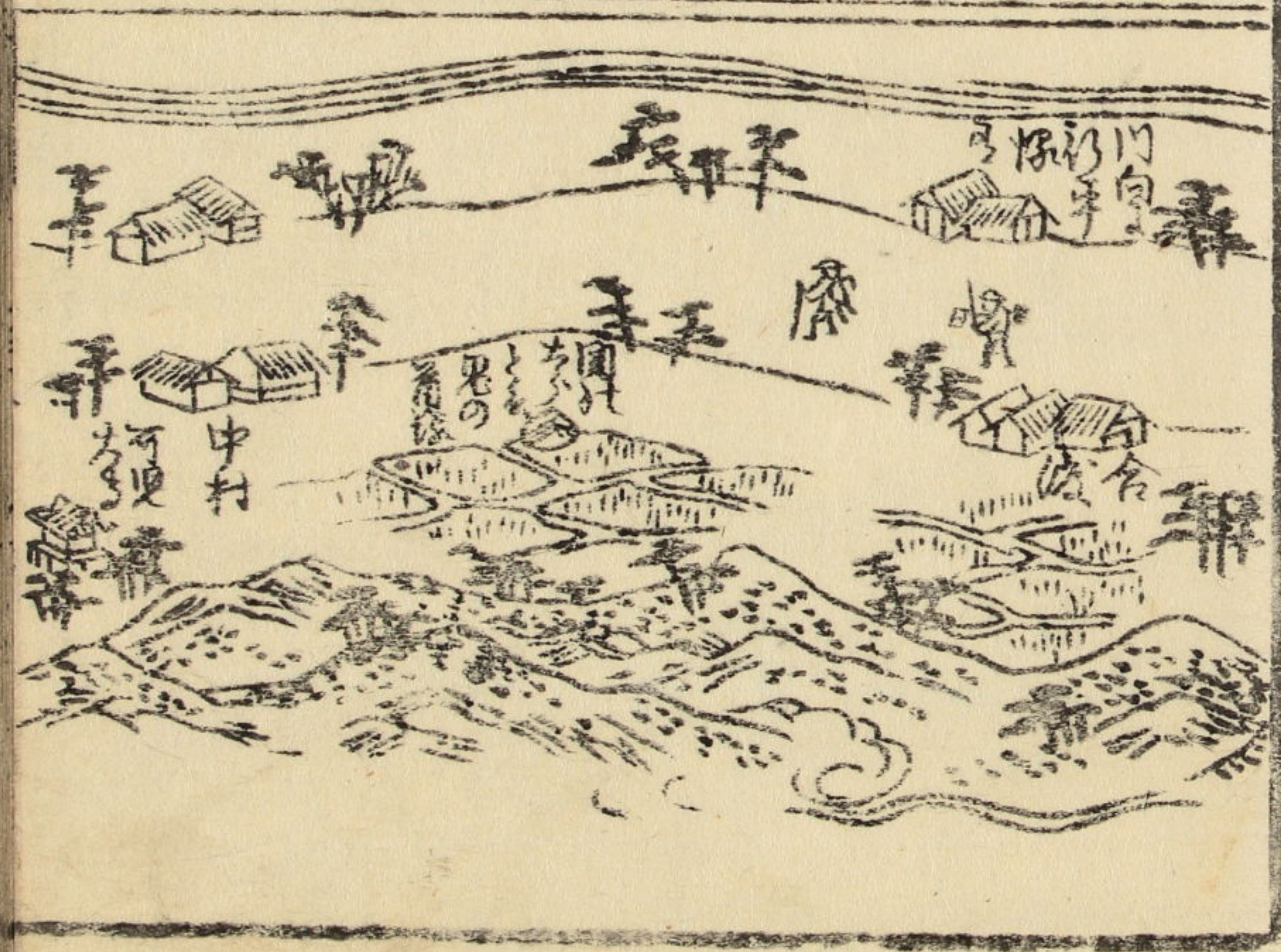
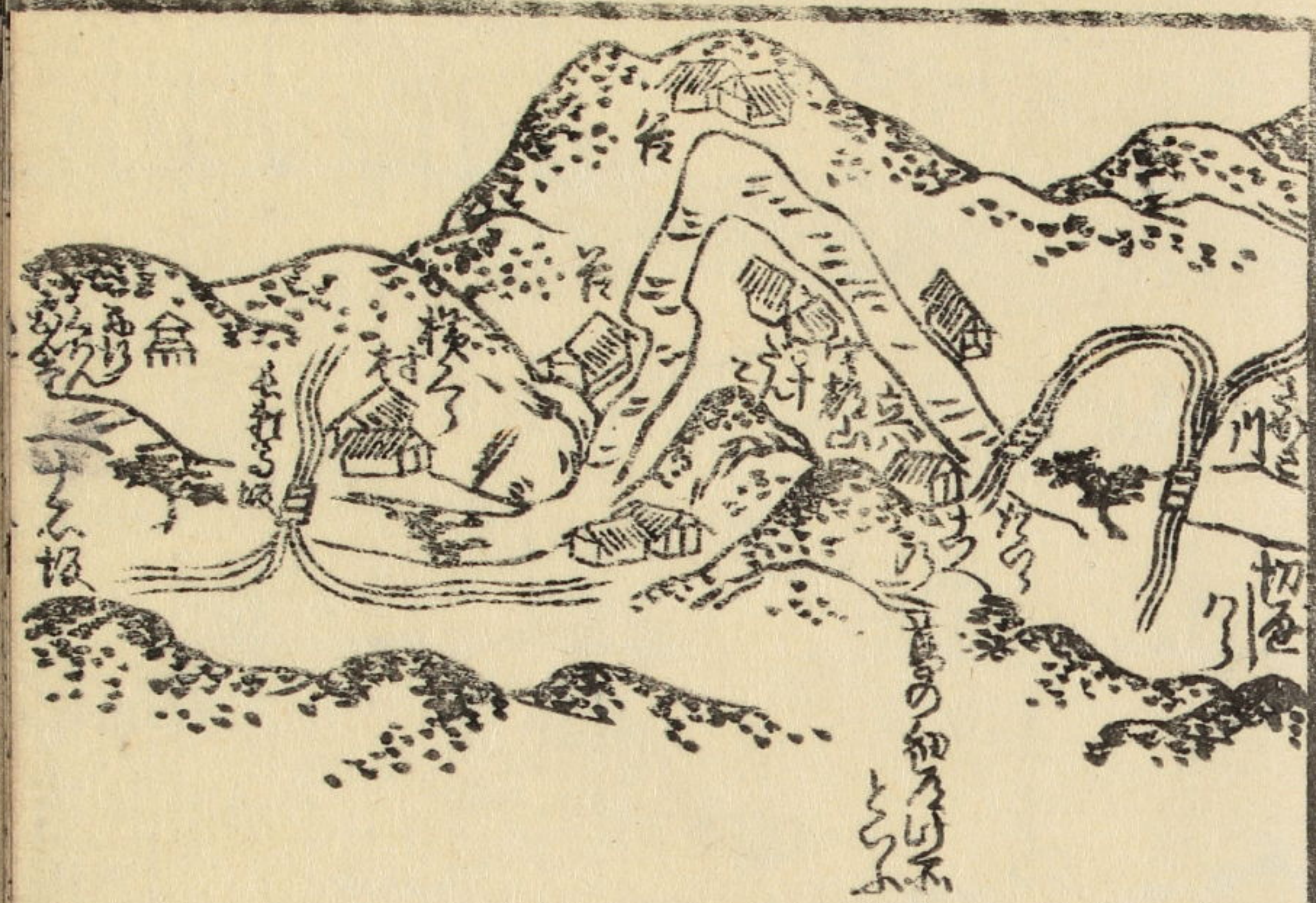
乃方

乃方より流れ  
 其の川を  
 流す

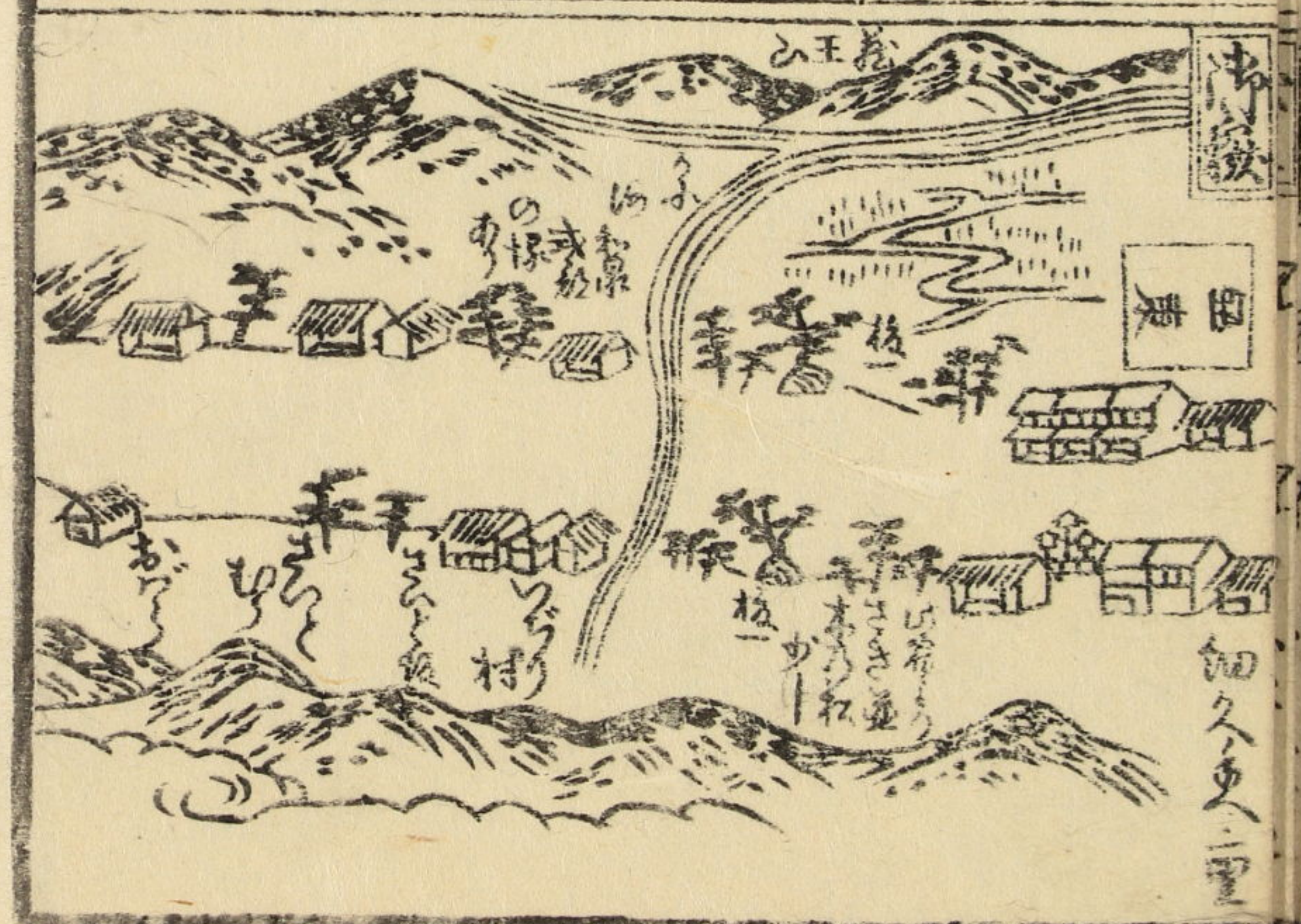
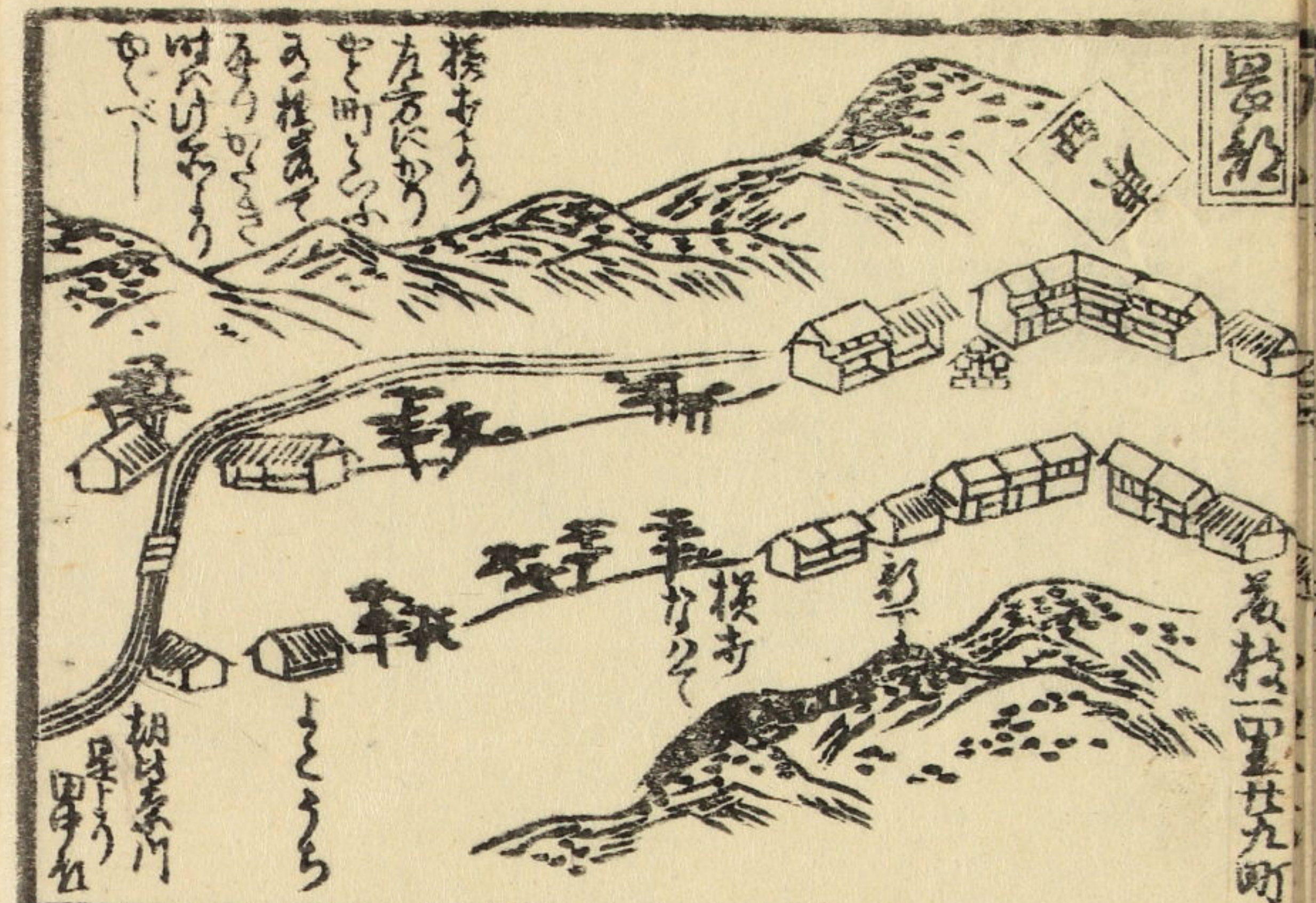
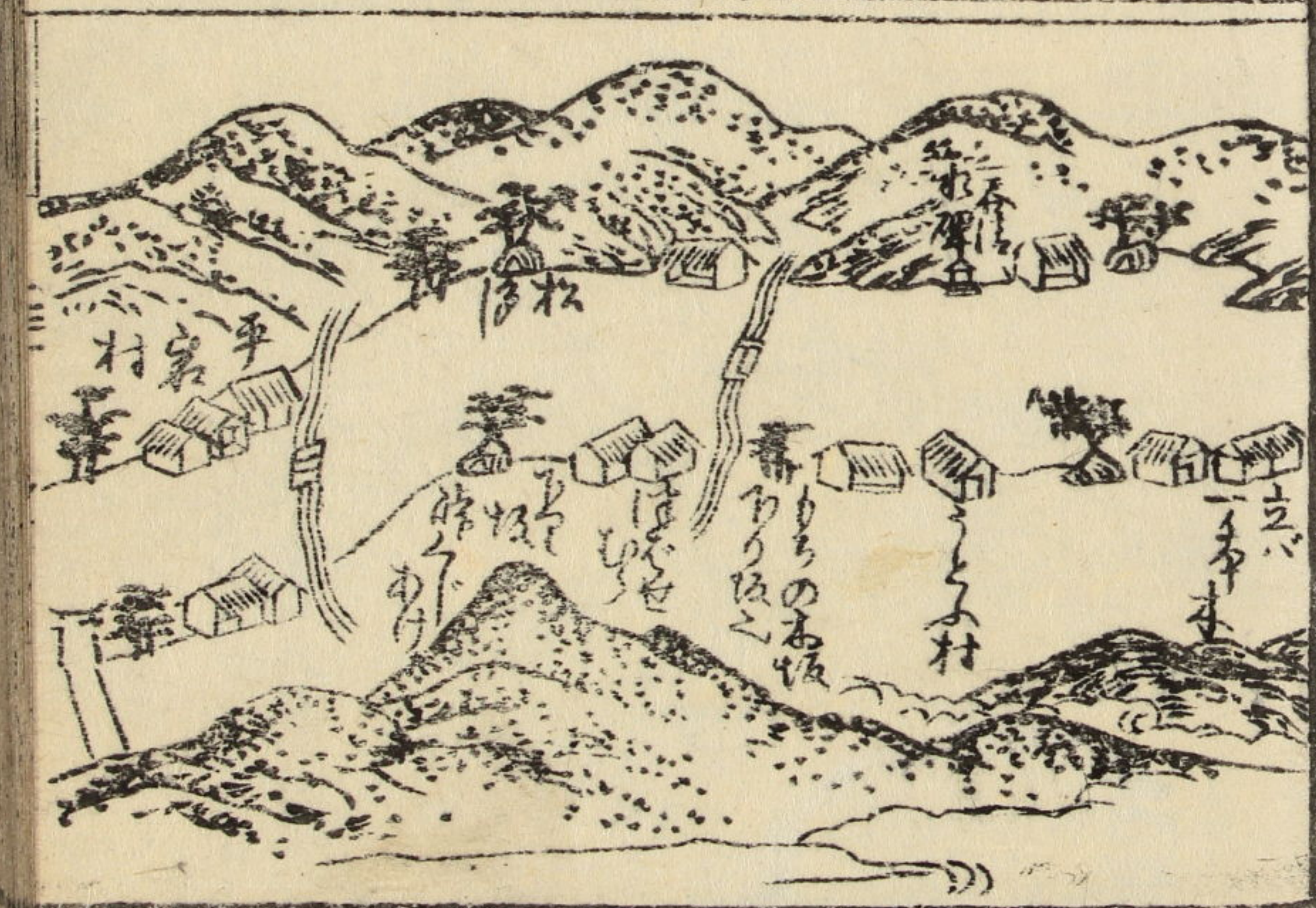
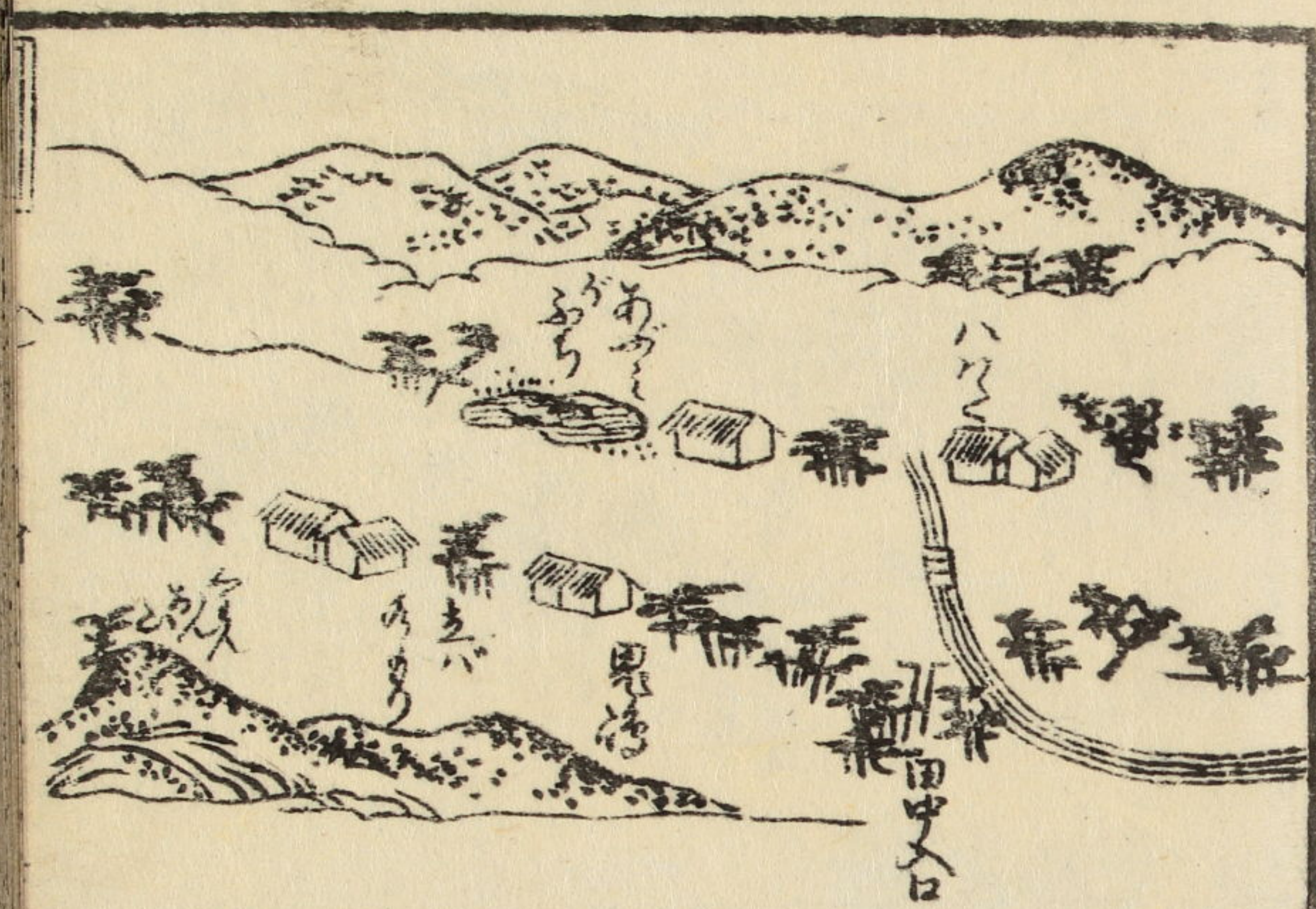


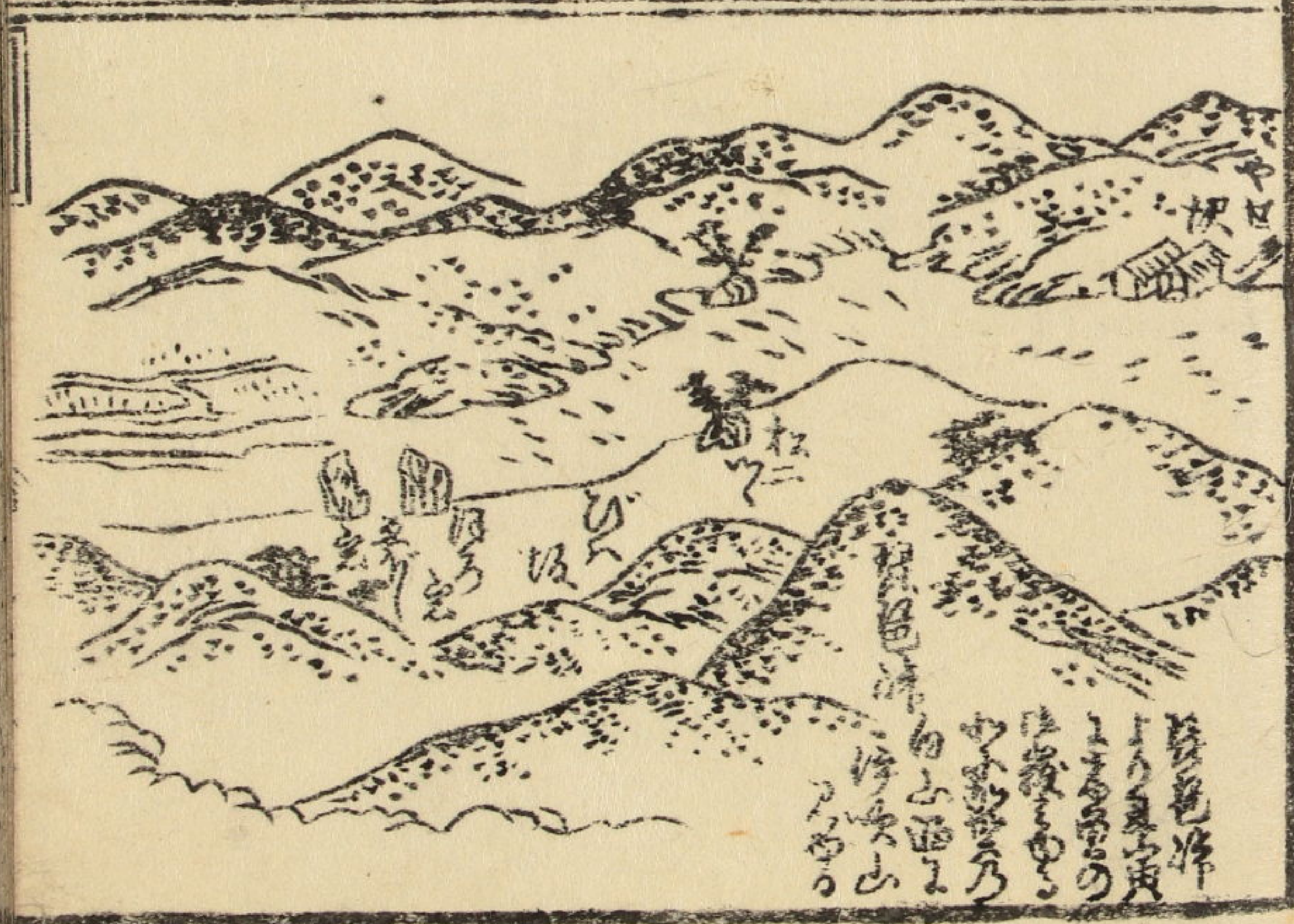
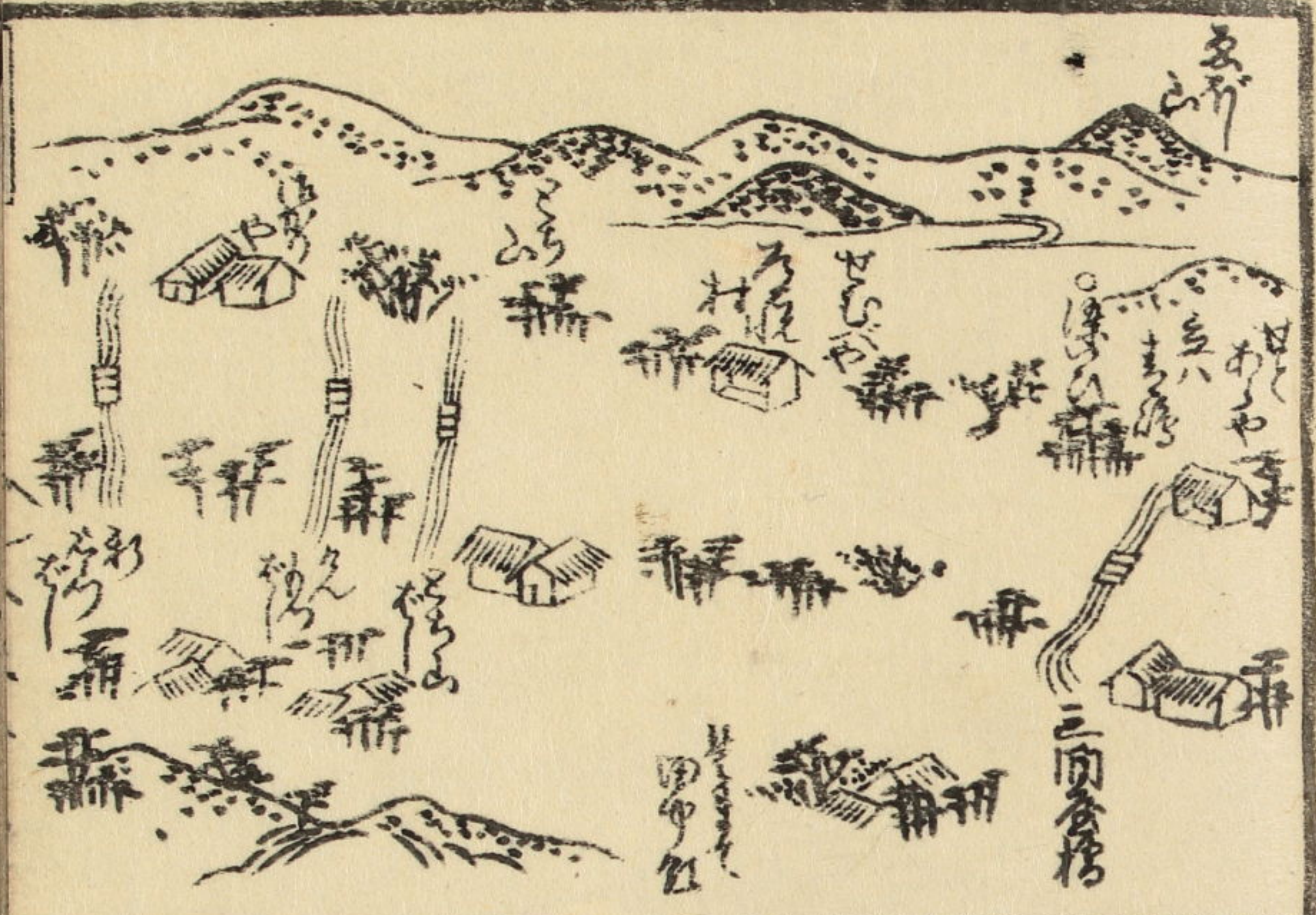
乃方

乃方より流れ  
 其の川を  
 流す

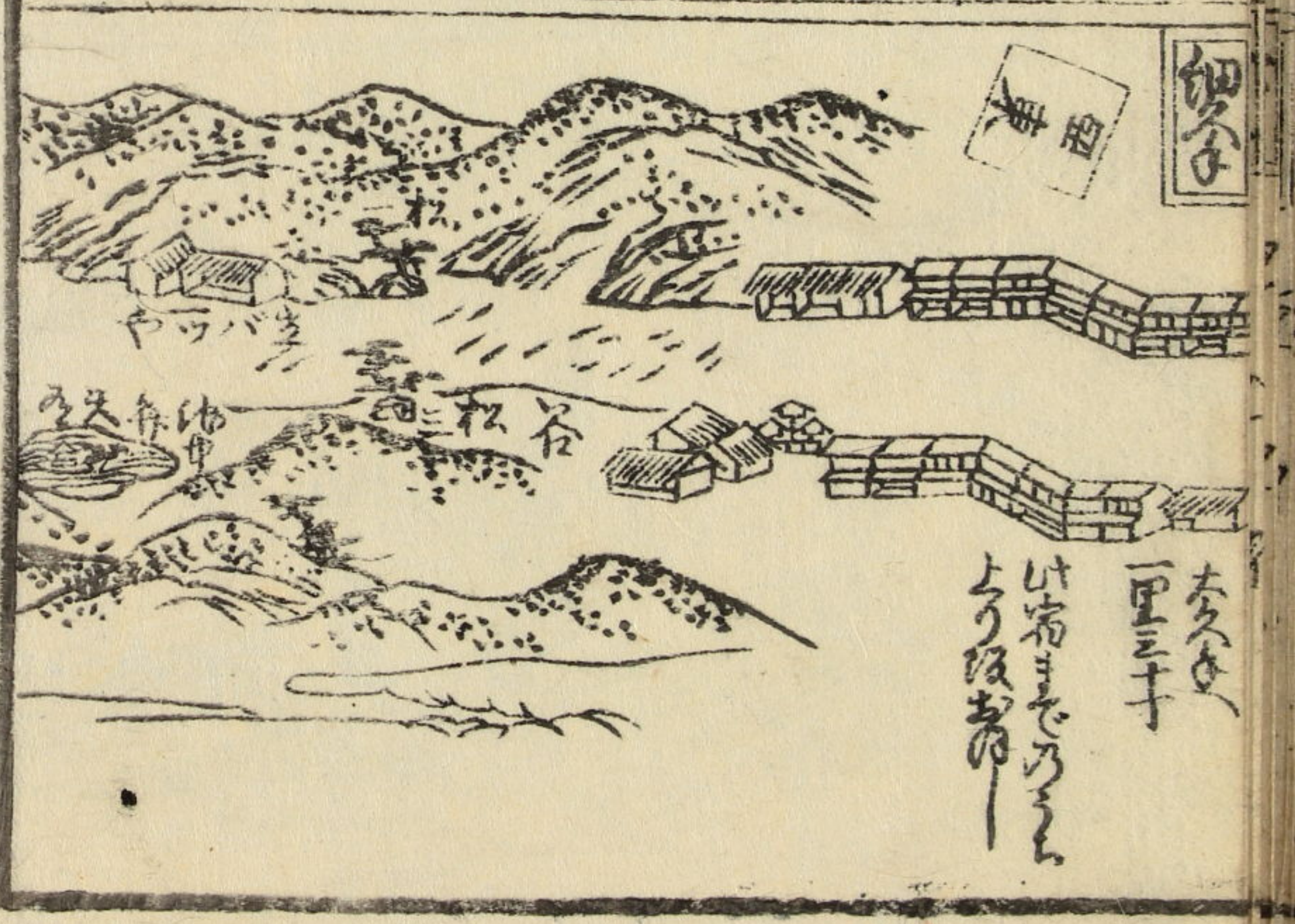
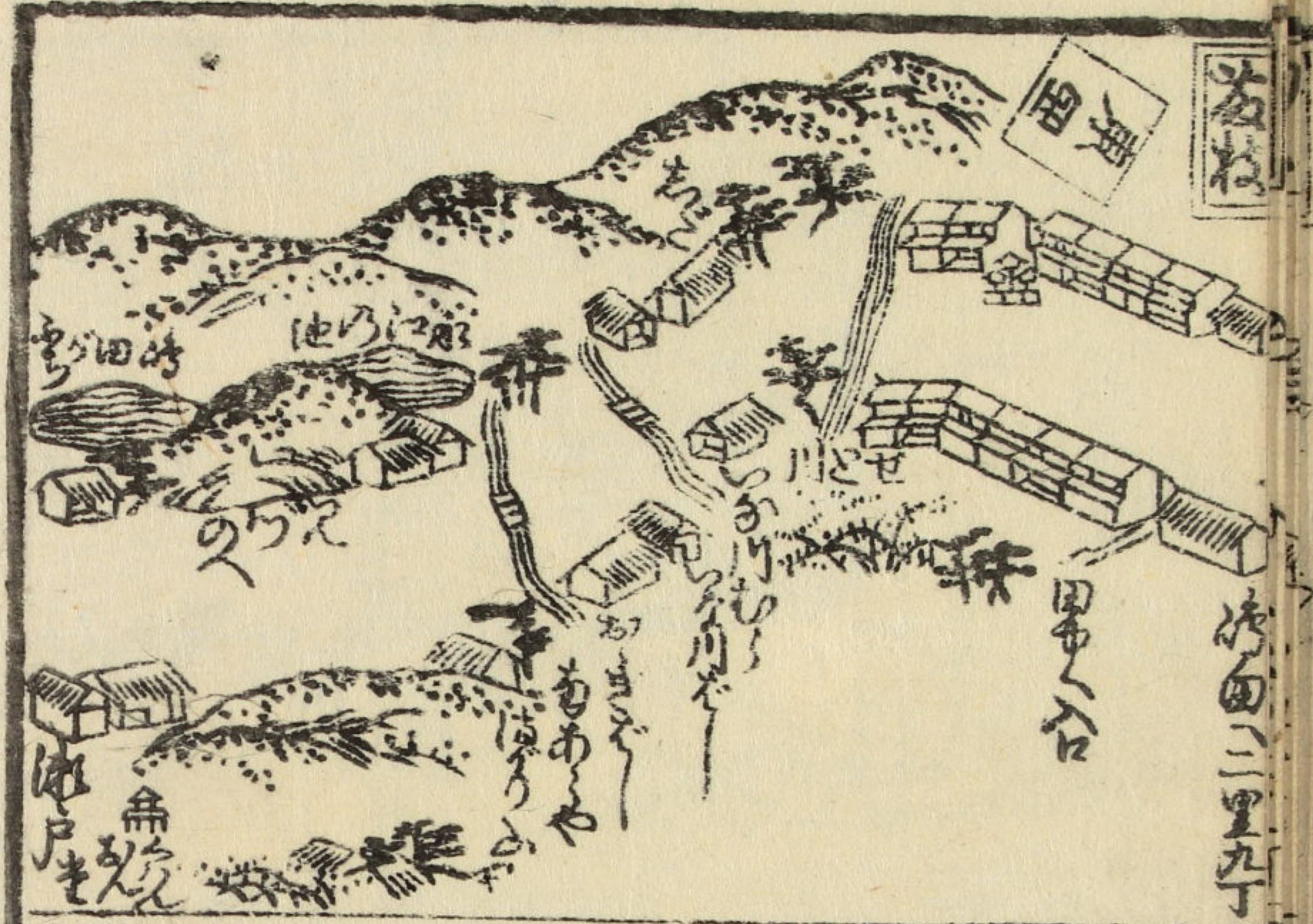






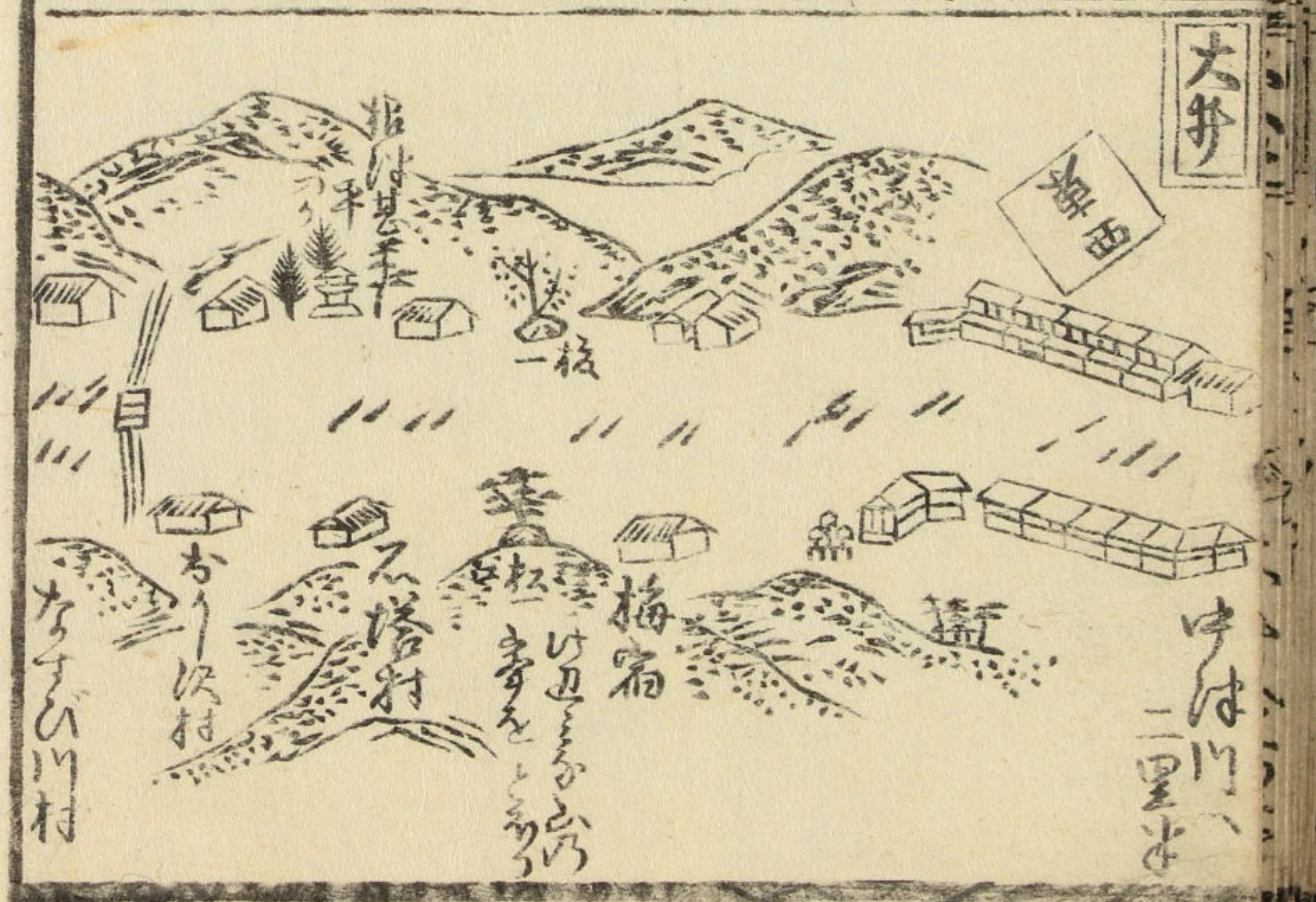
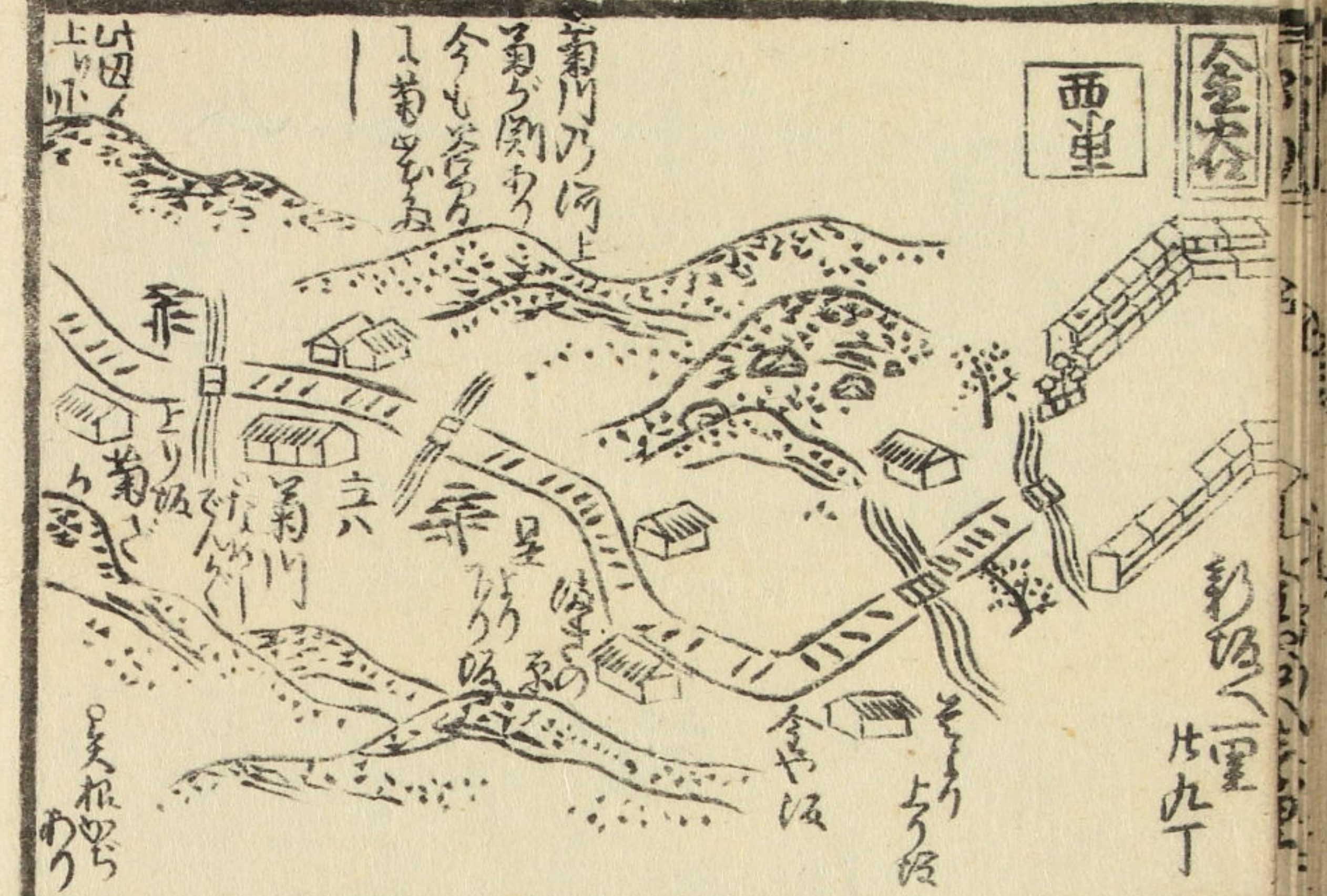
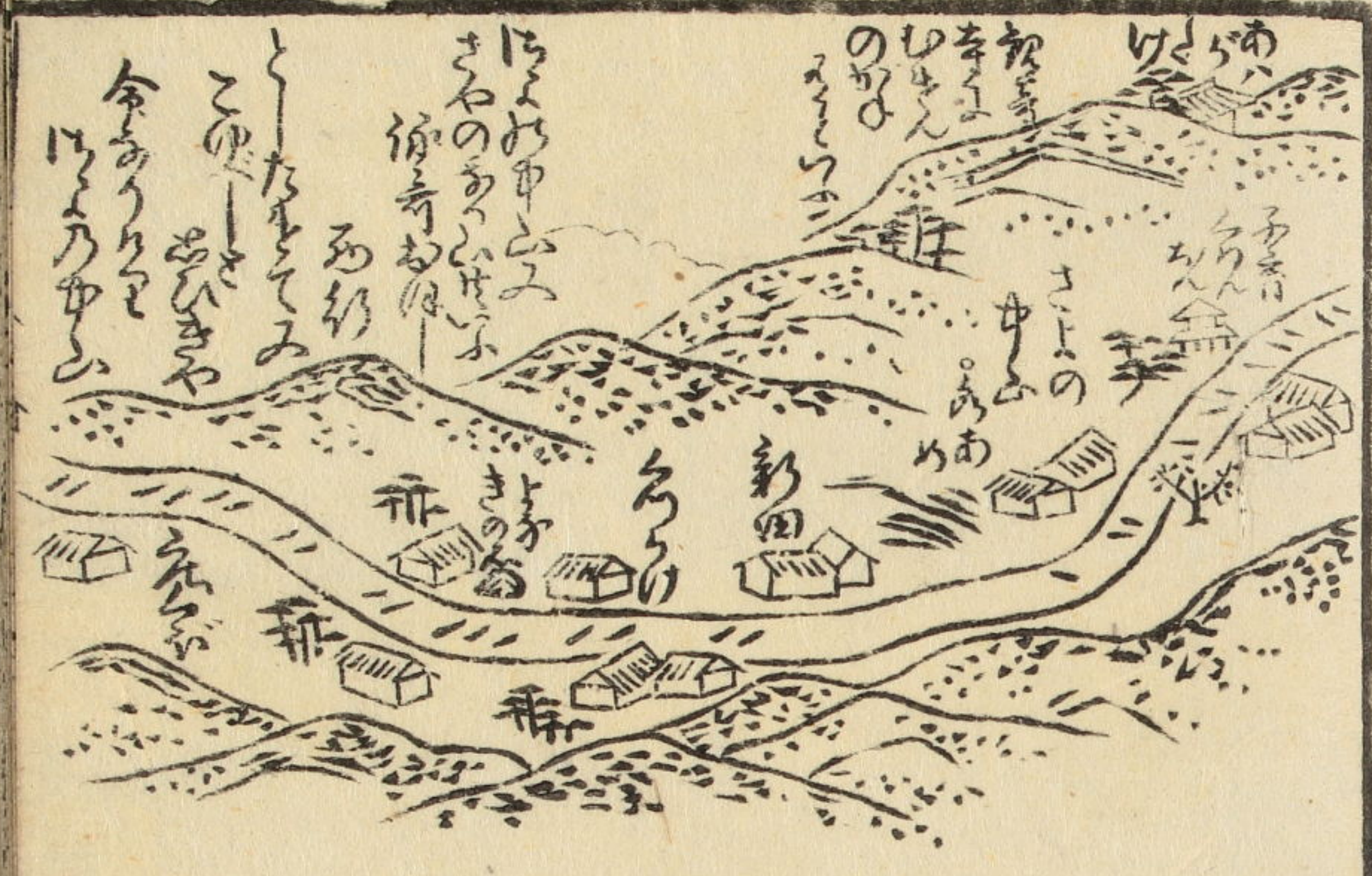


藤巻作  
 上ノ山ノ東  
 上ノ山ノ西  
 上ノ山ノ南  
 上ノ山ノ北  
 上ノ山ノ東  
 上ノ山ノ西  
 上ノ山ノ南  
 上ノ山ノ北

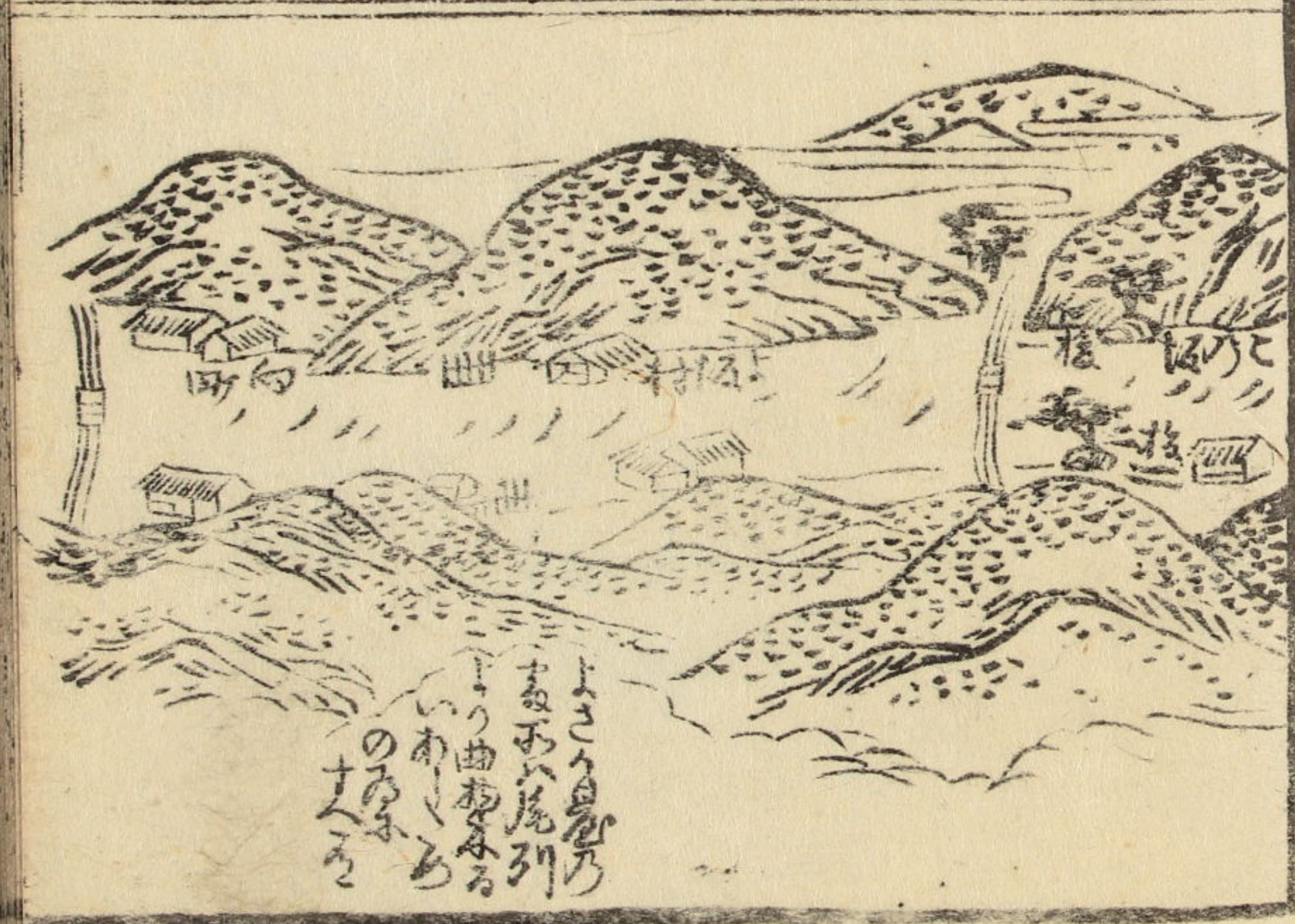
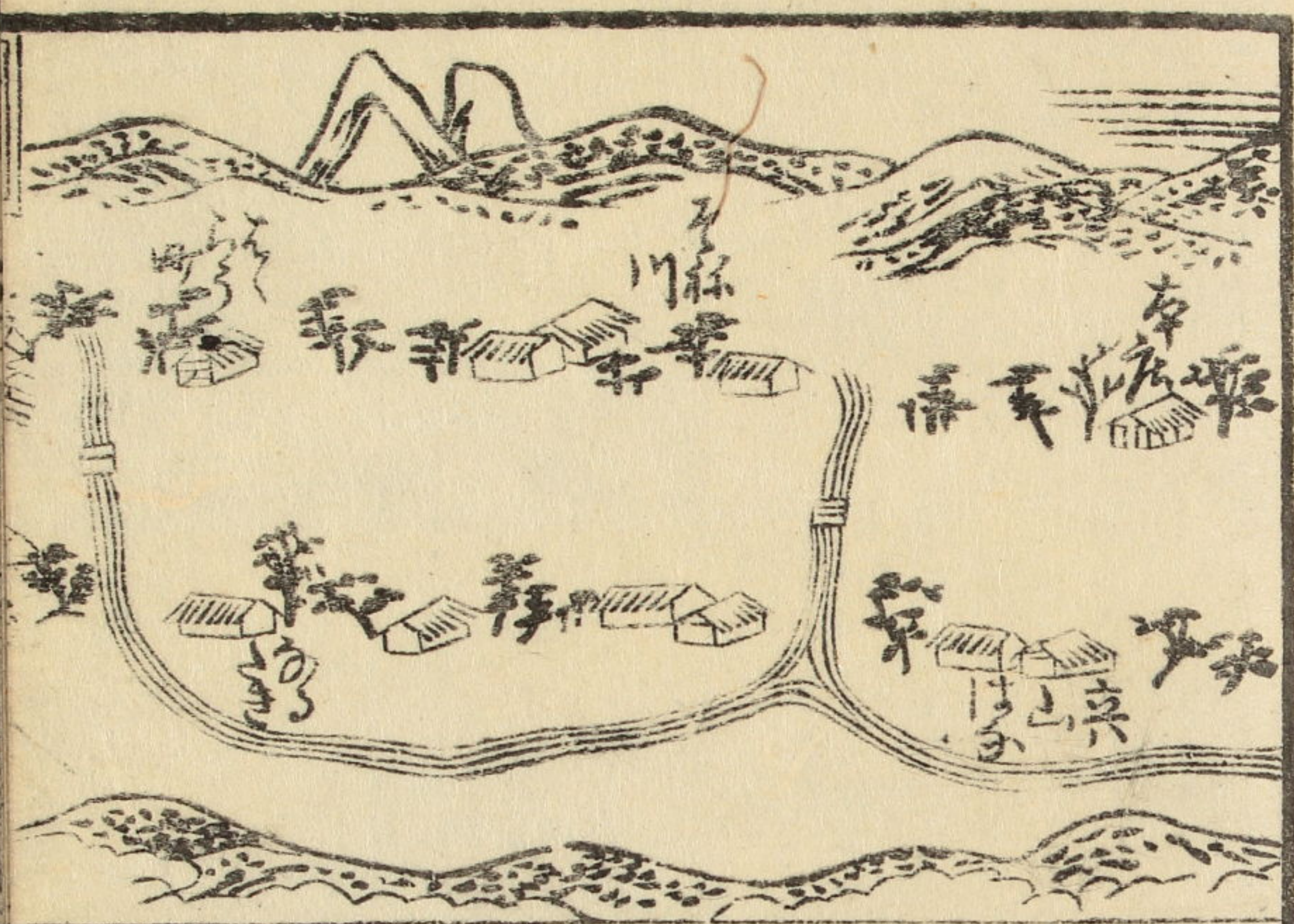


大久保  
 一里三丁  
 上ノ山ノ東  
 上ノ山ノ西  
 上ノ山ノ南  
 上ノ山ノ北

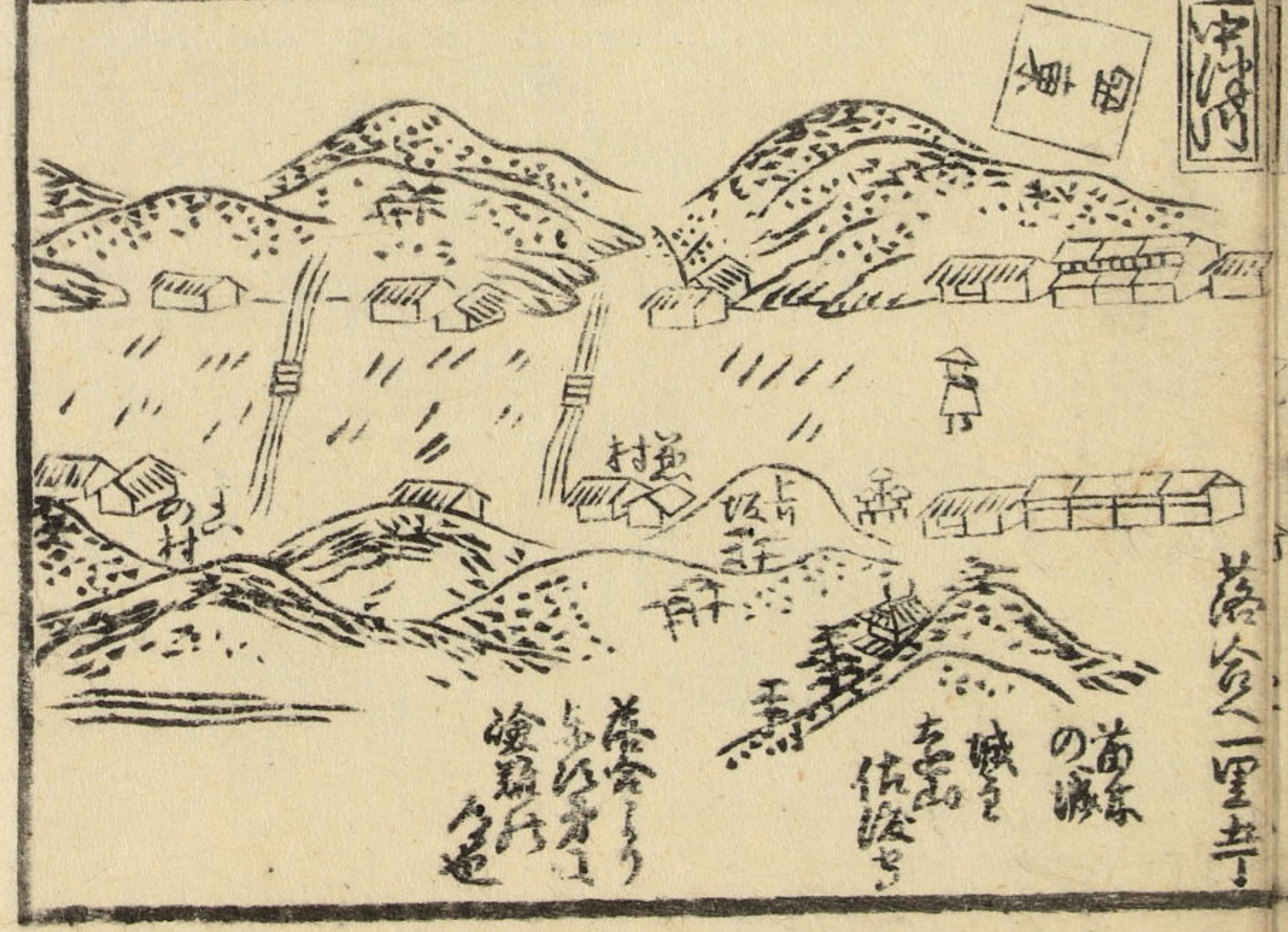
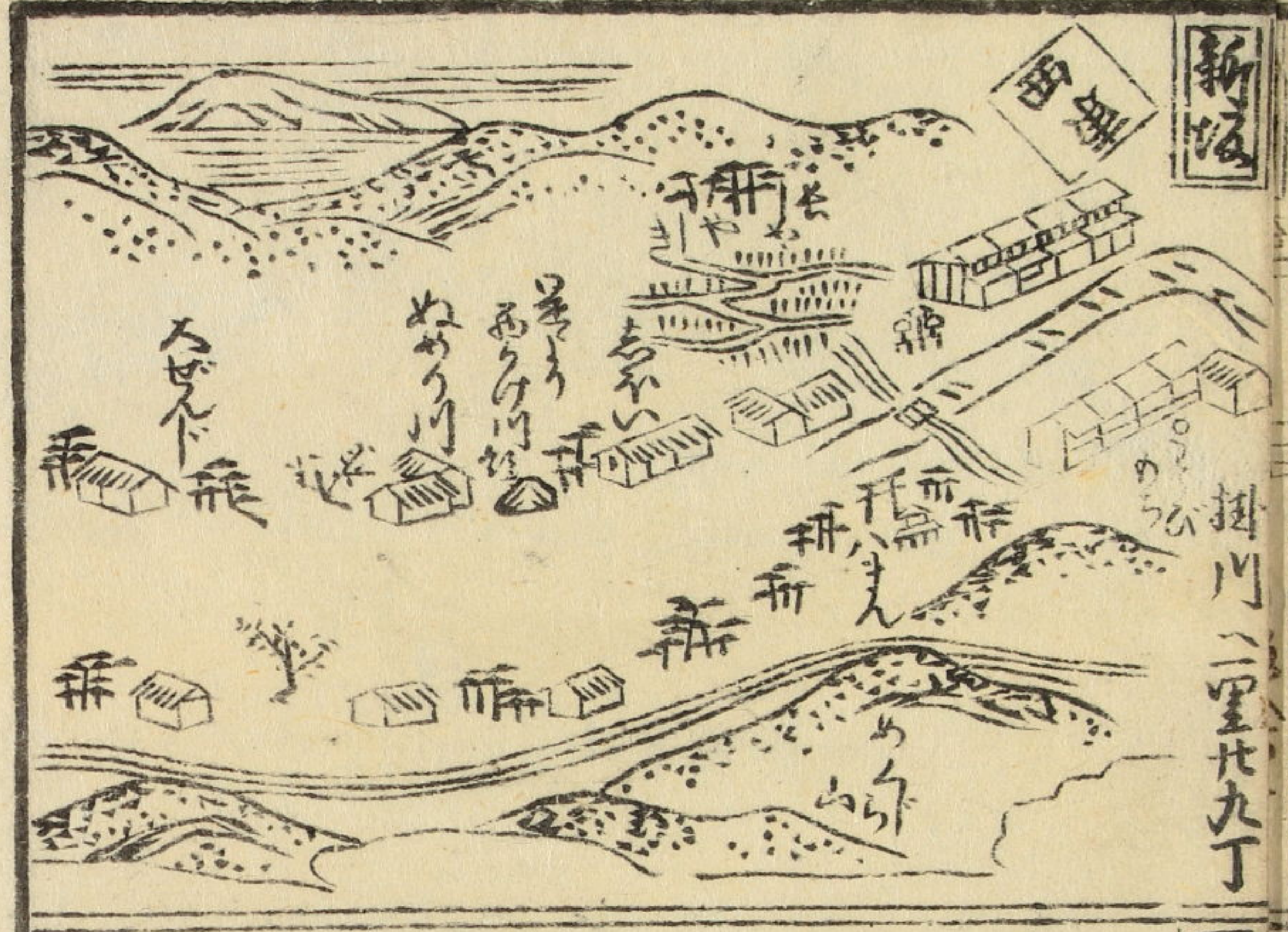




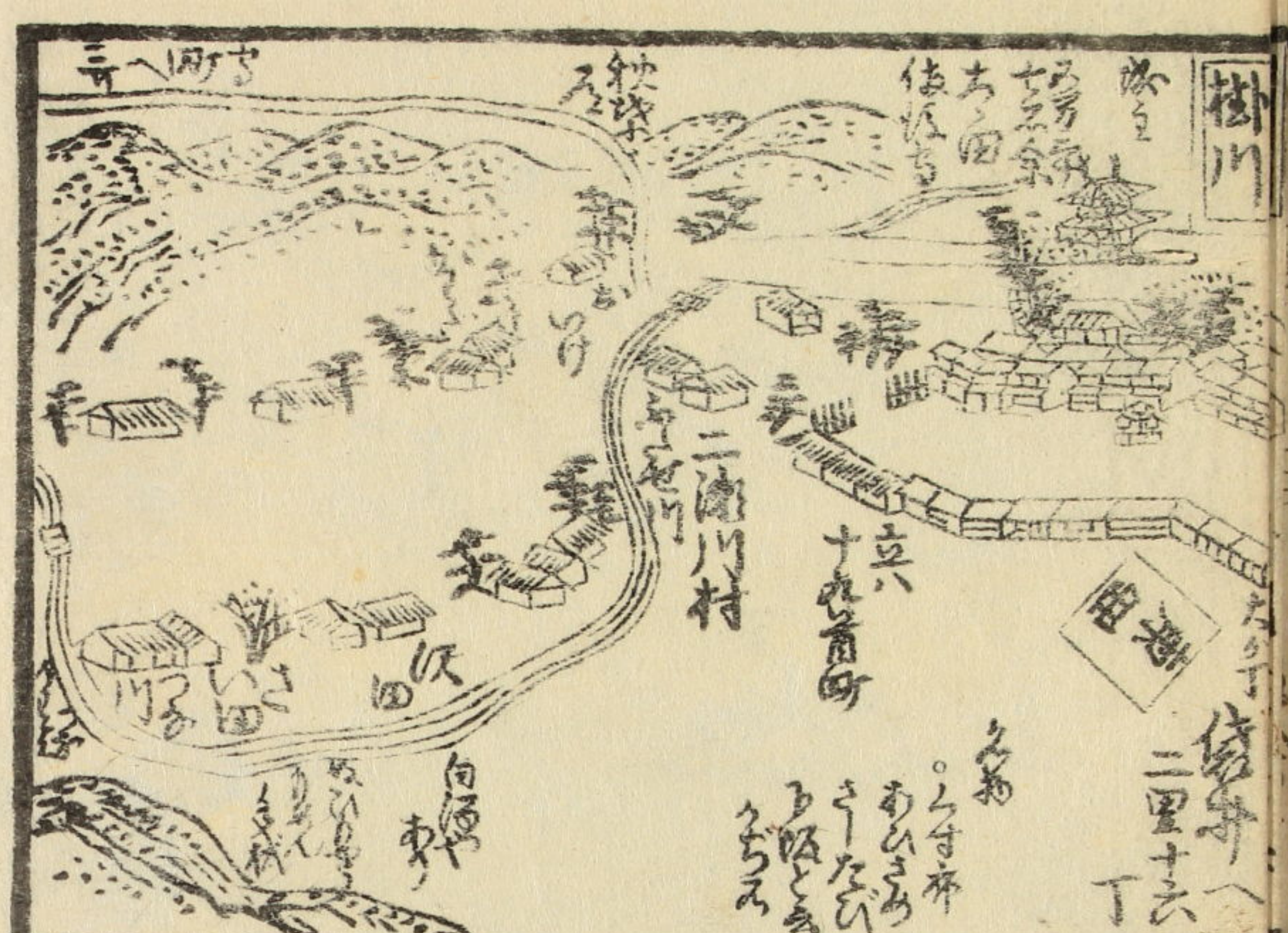
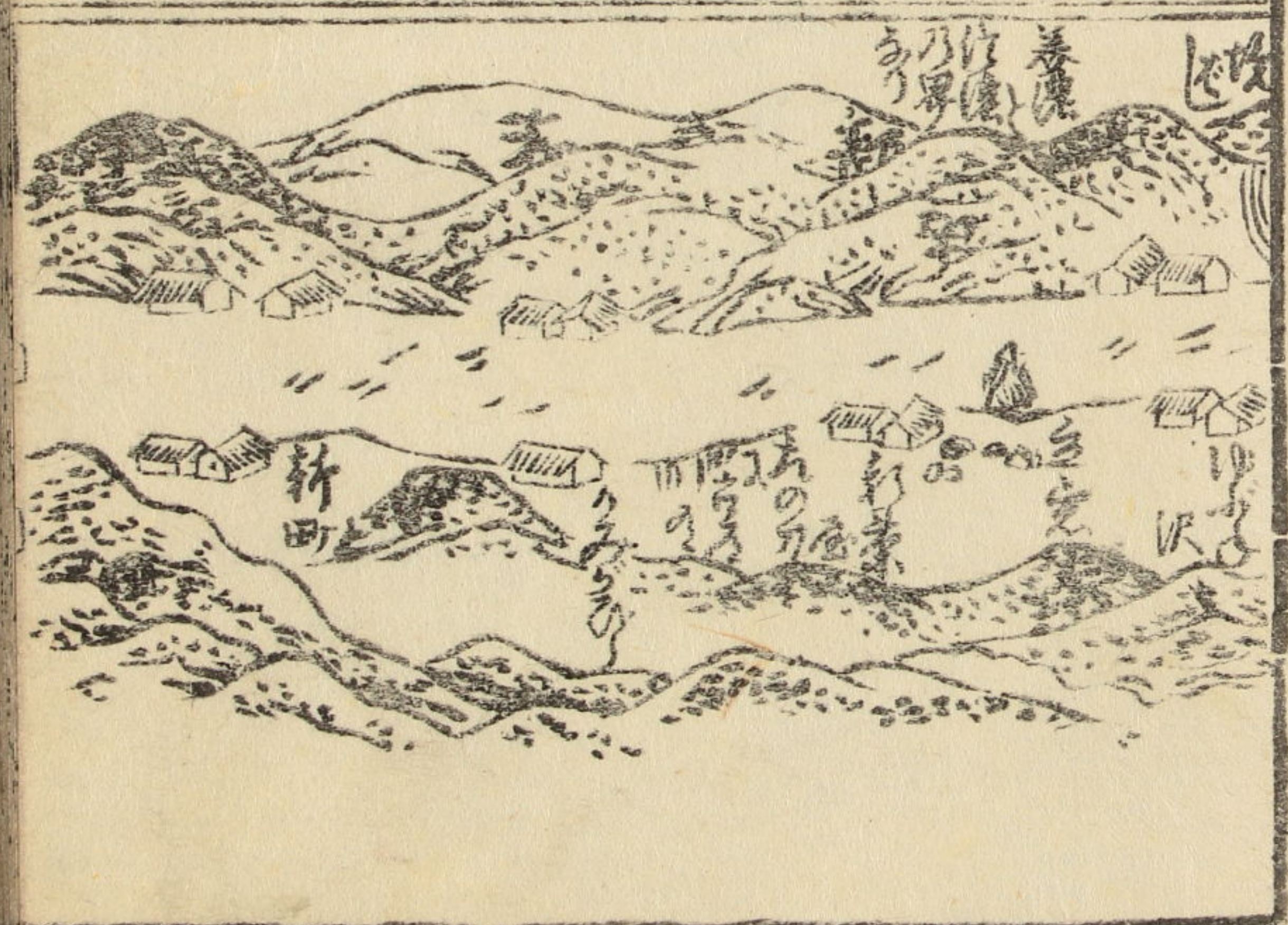
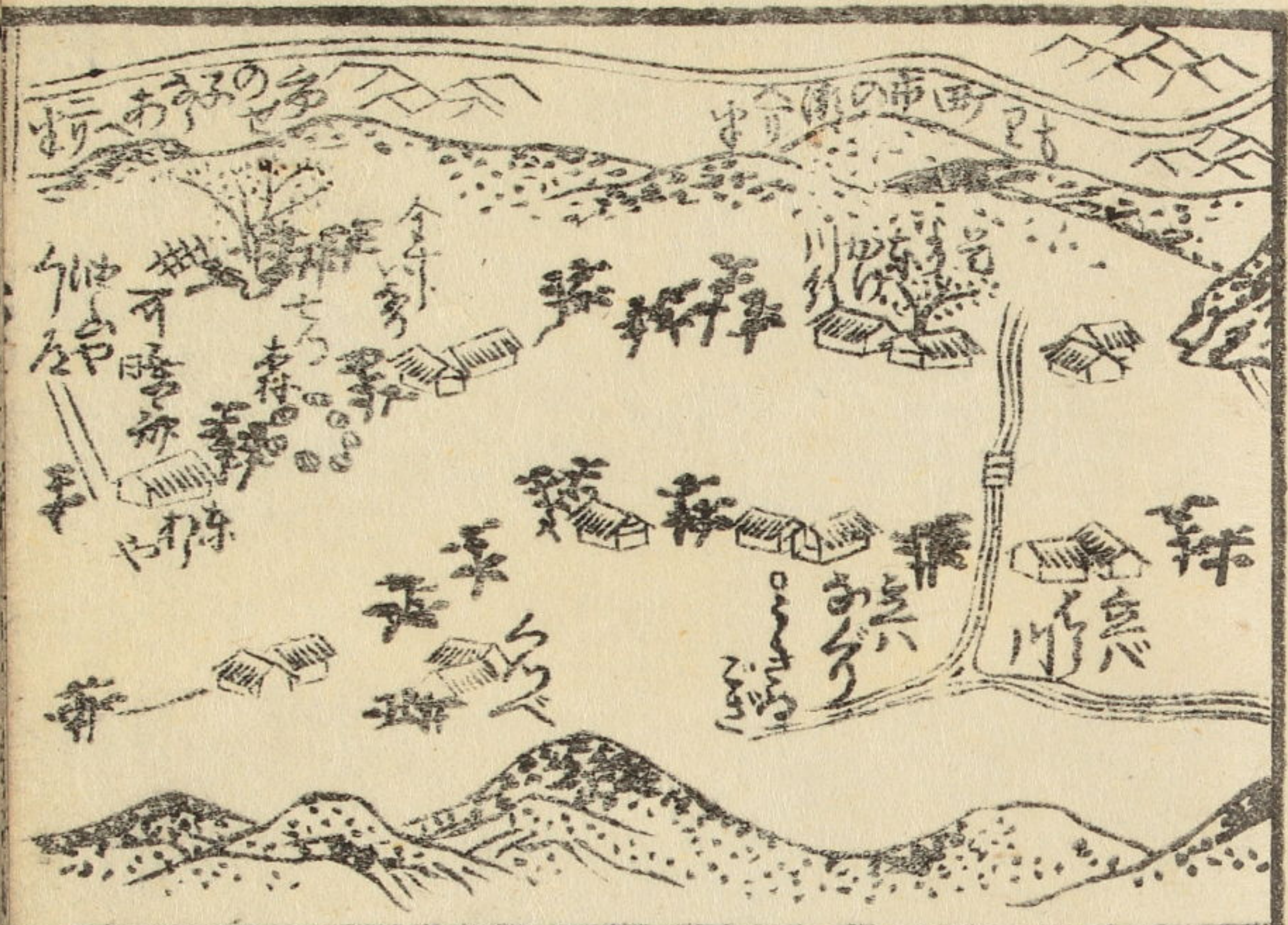
二六



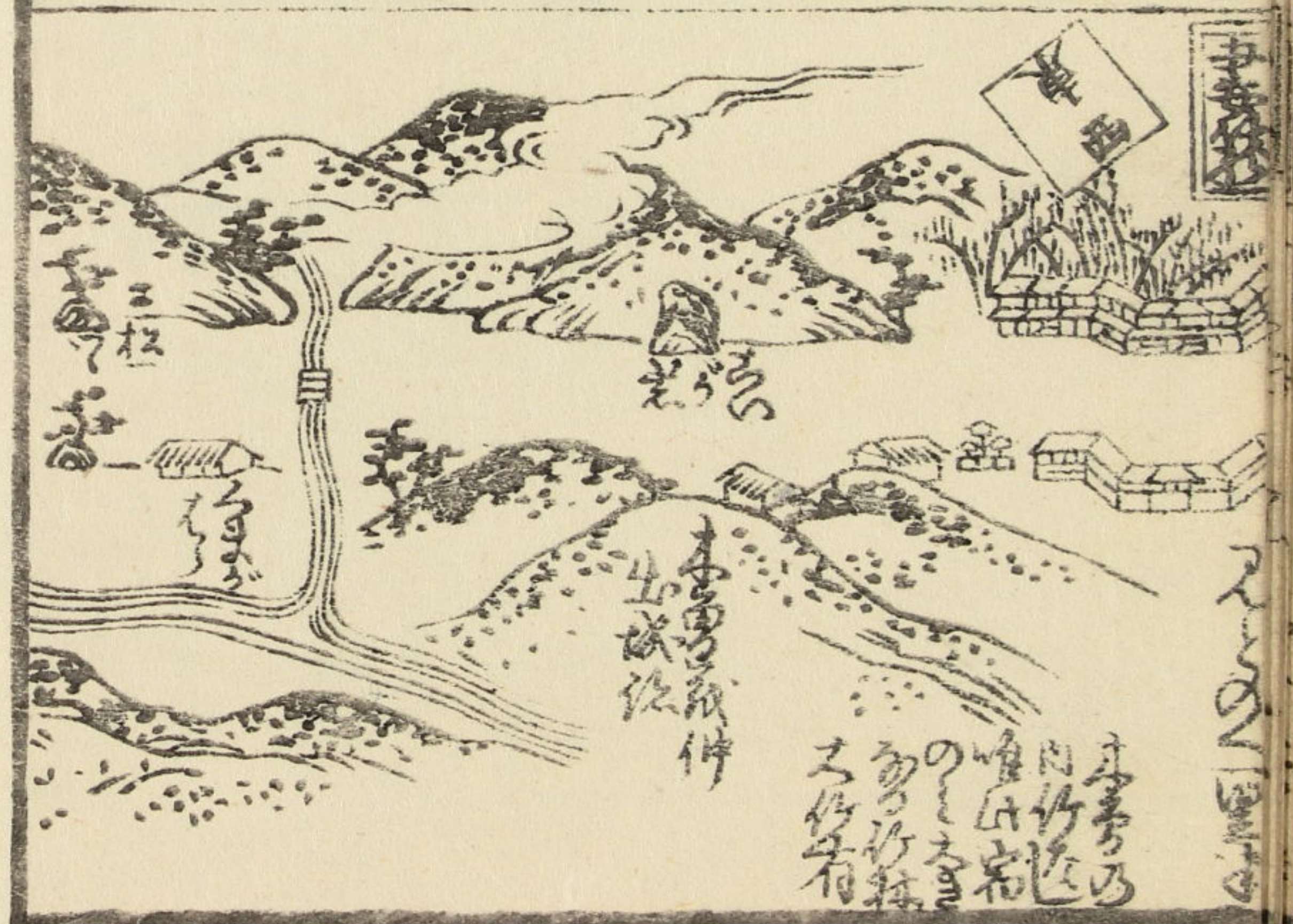
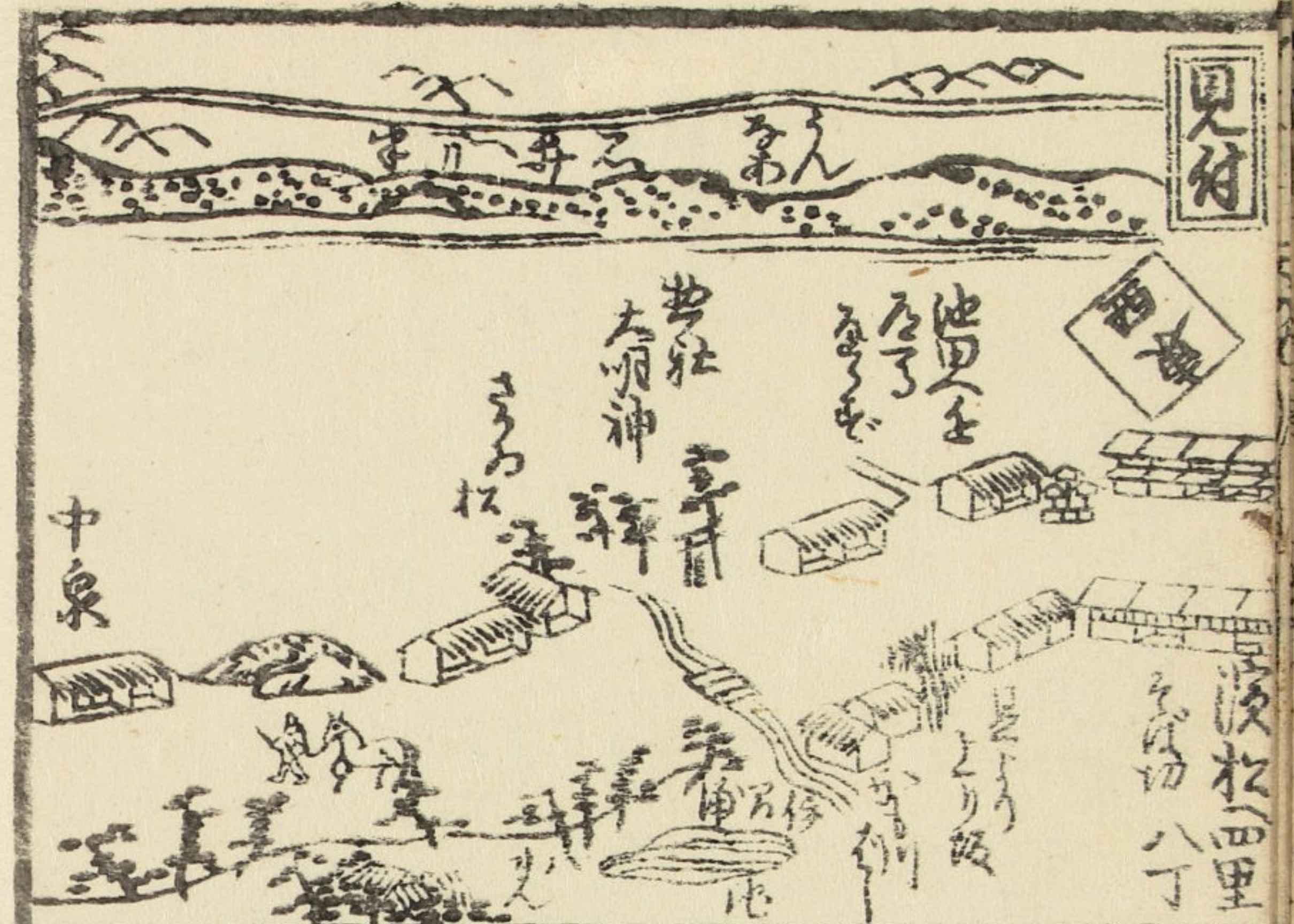
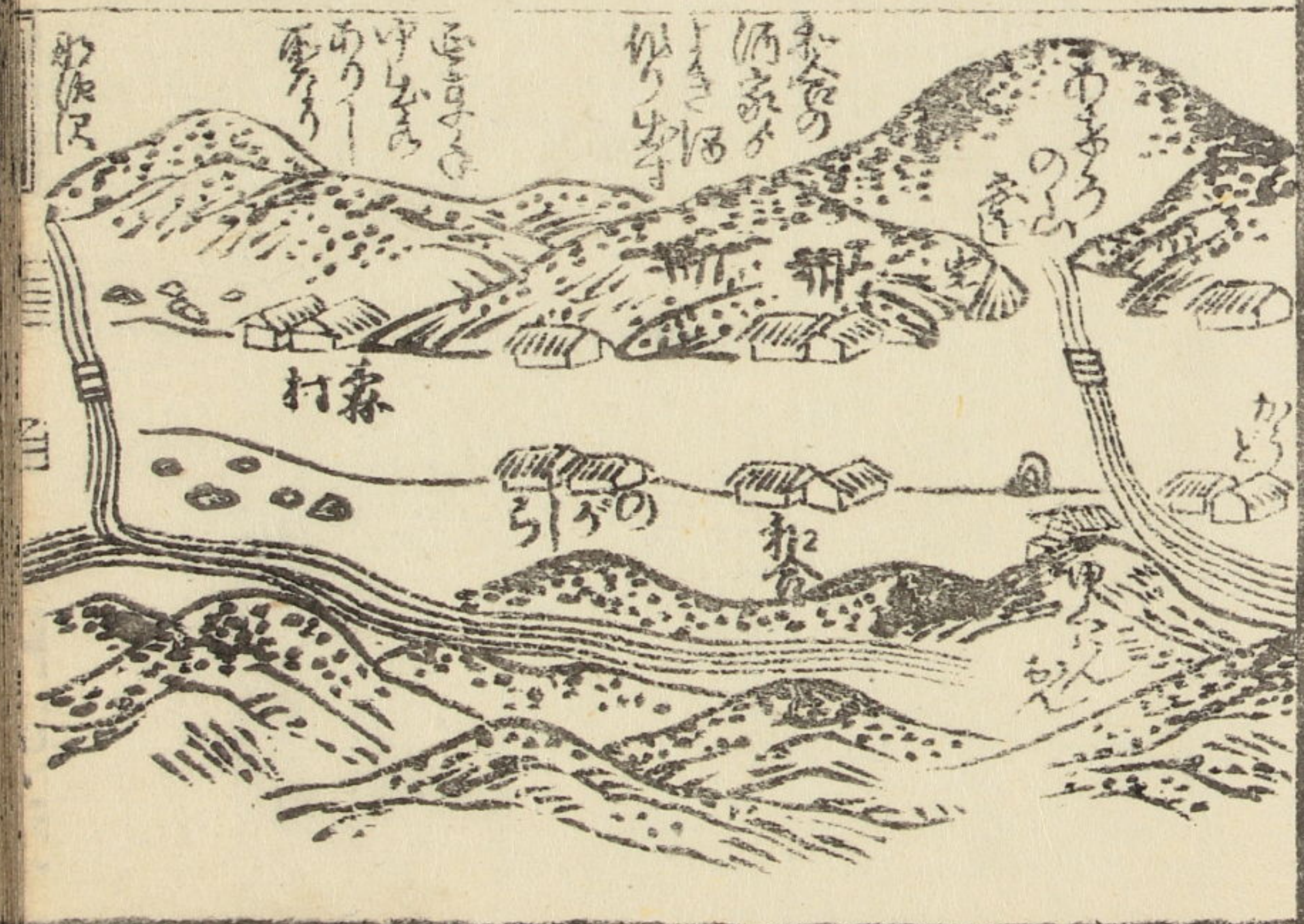
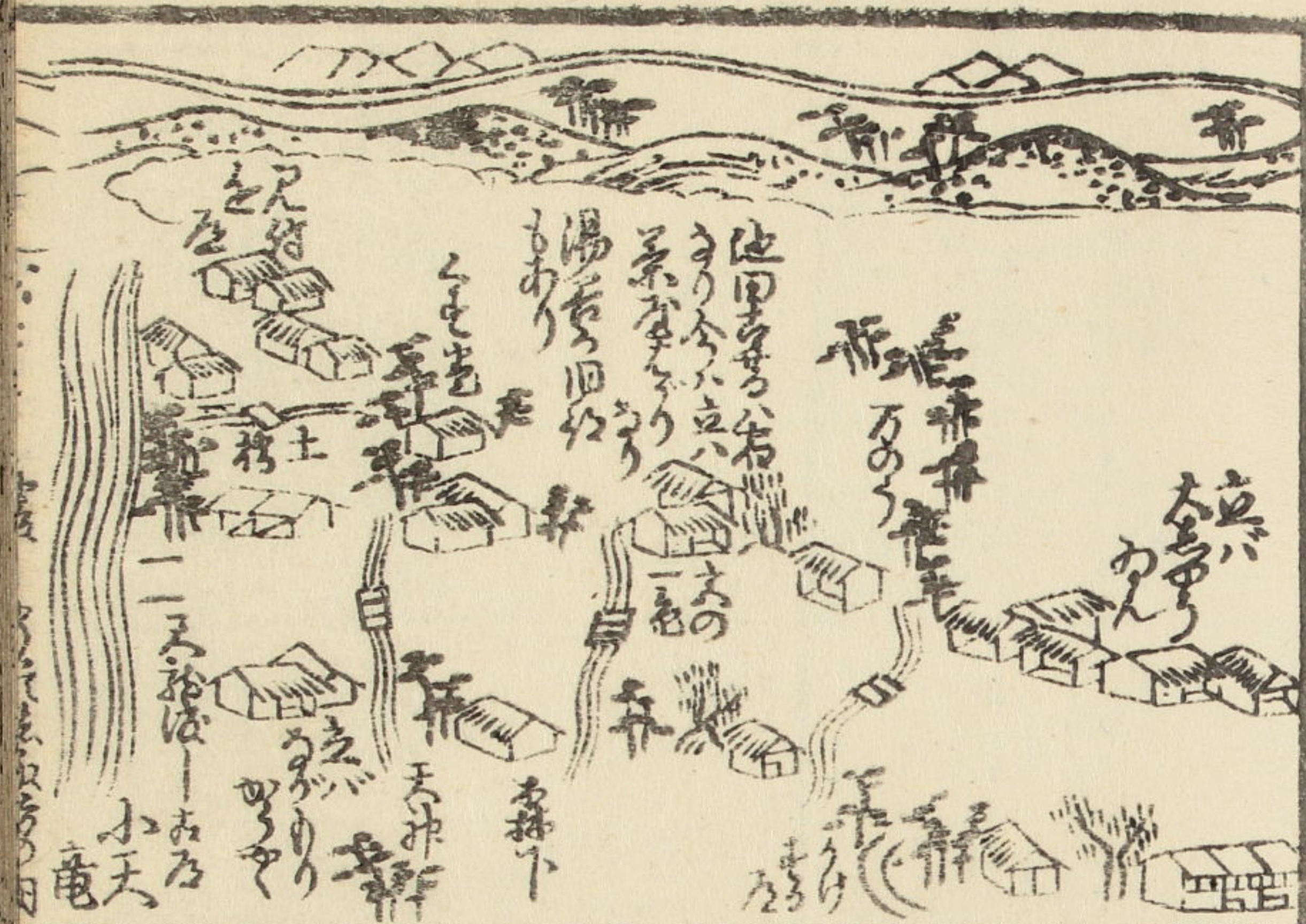
よき山あり  
 木あり  
 川あり  
 田あり  
 村あり



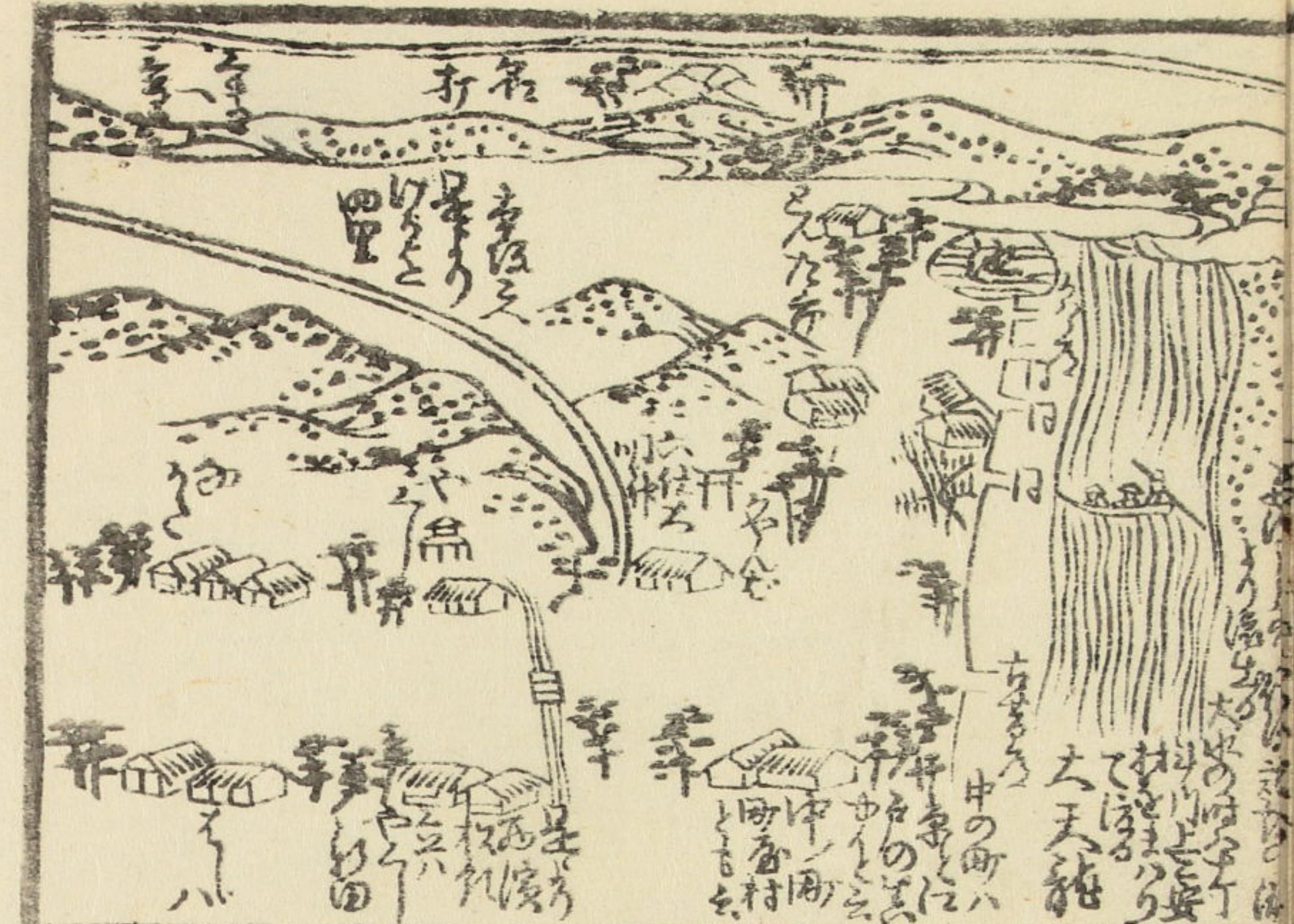
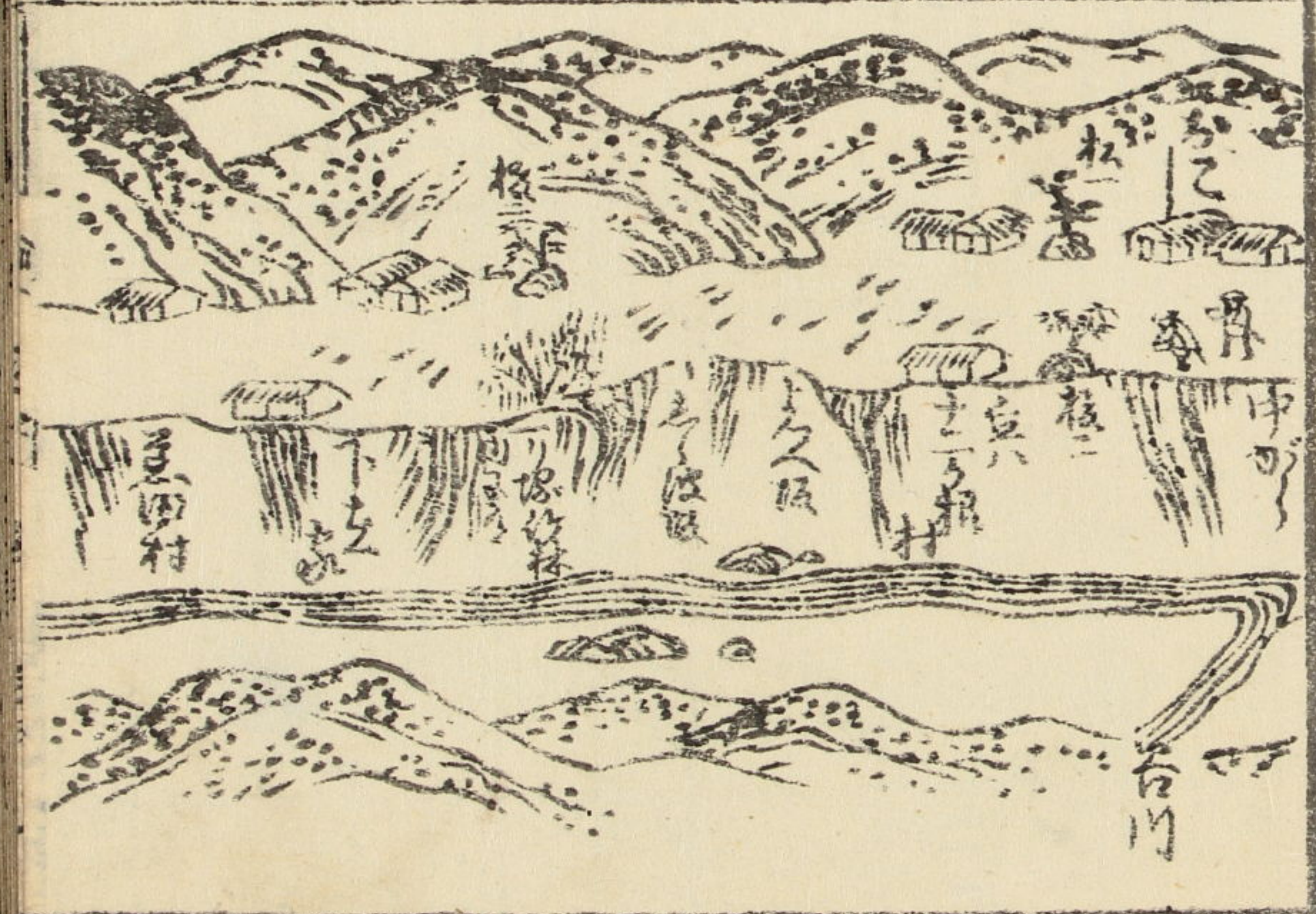
新坂  
 新坂  
 新坂  
 新坂





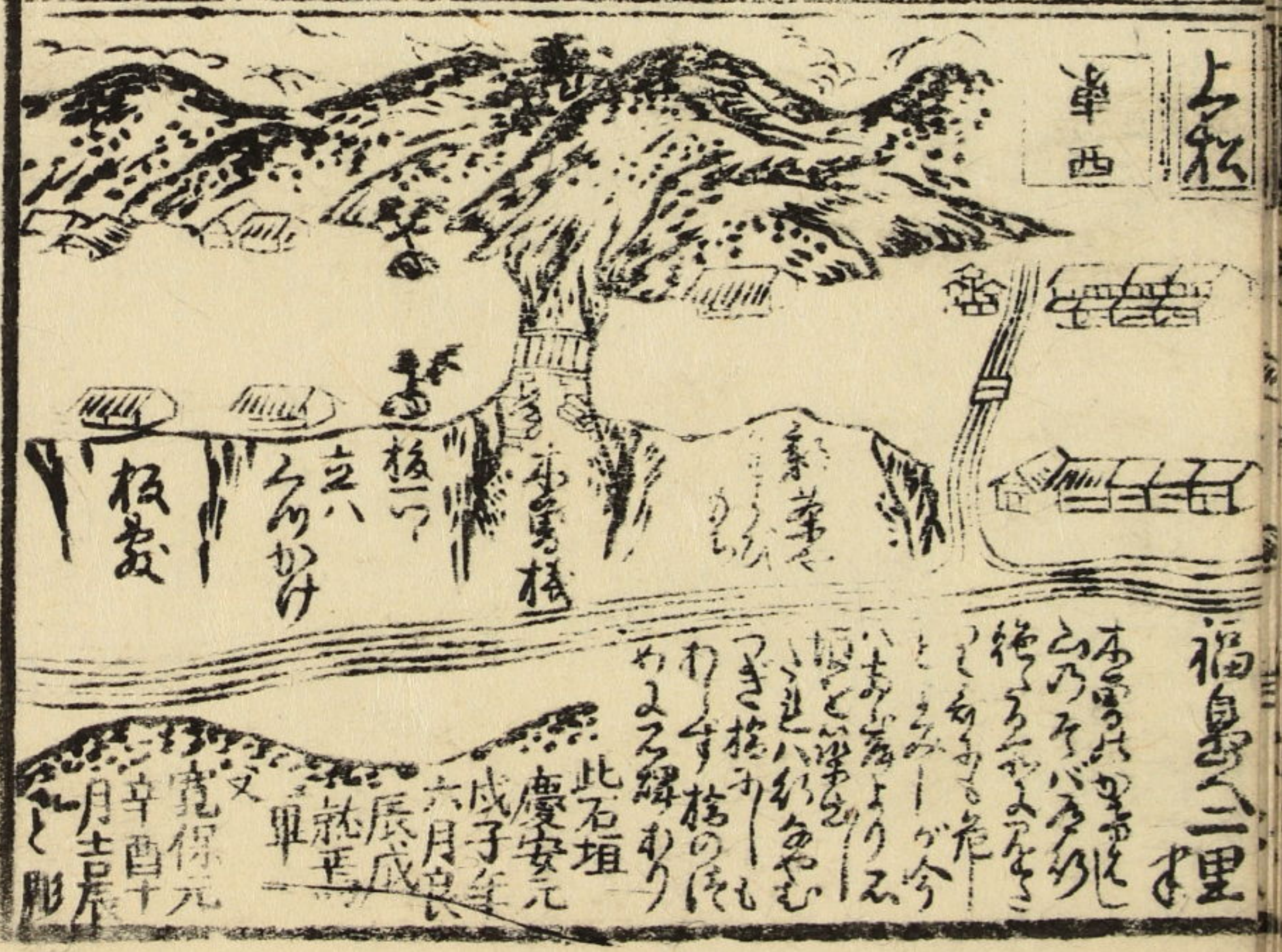
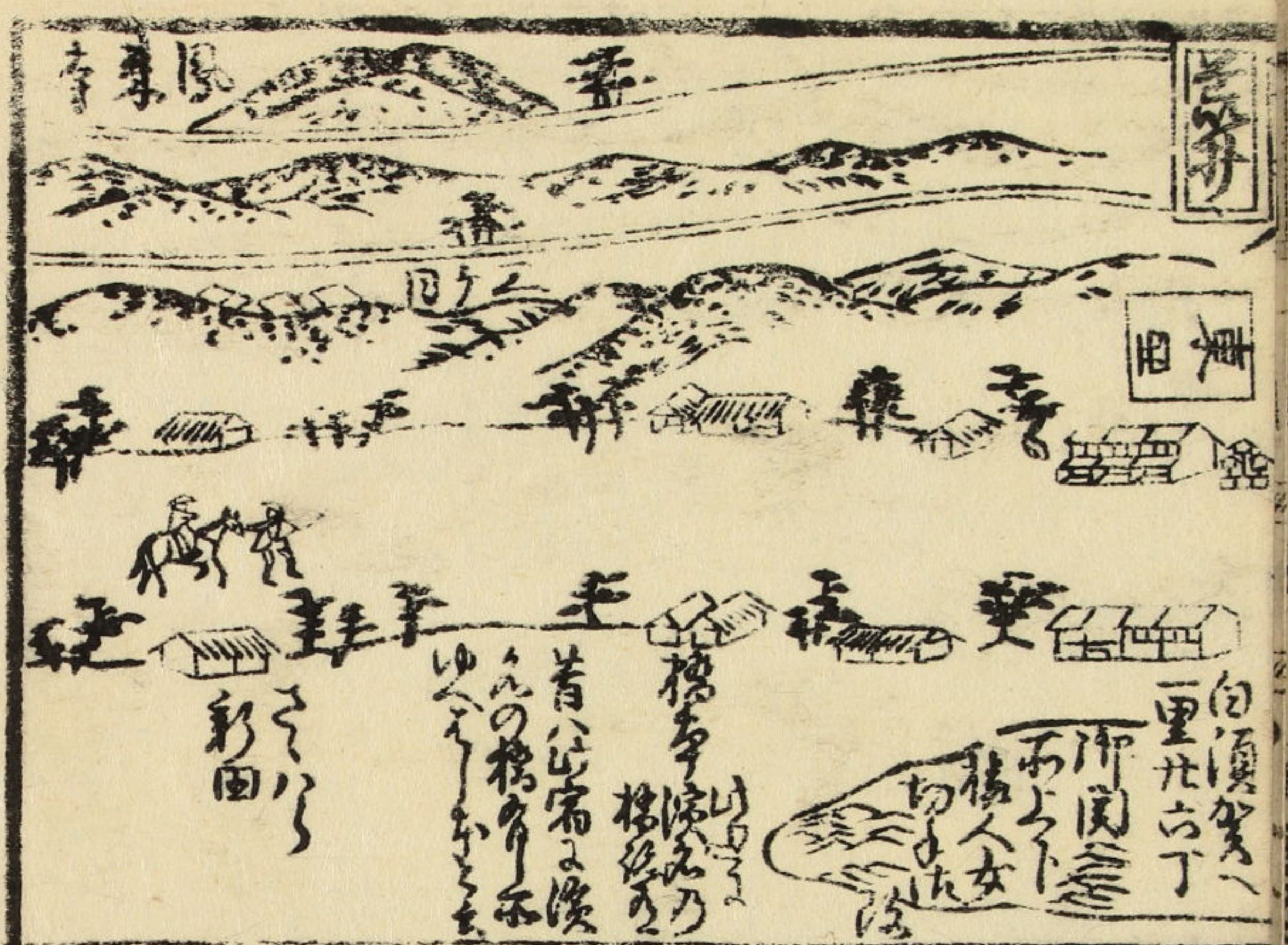
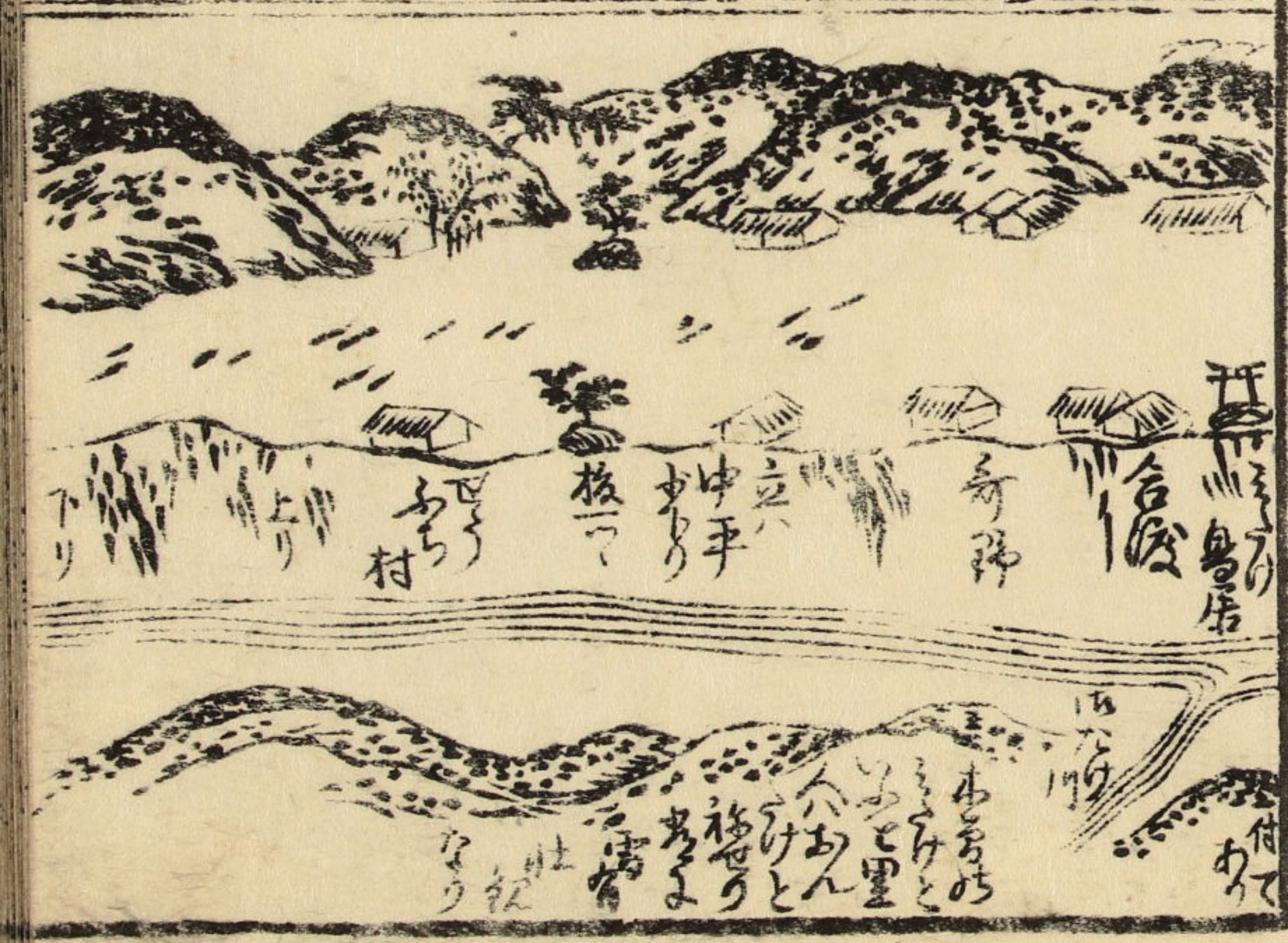
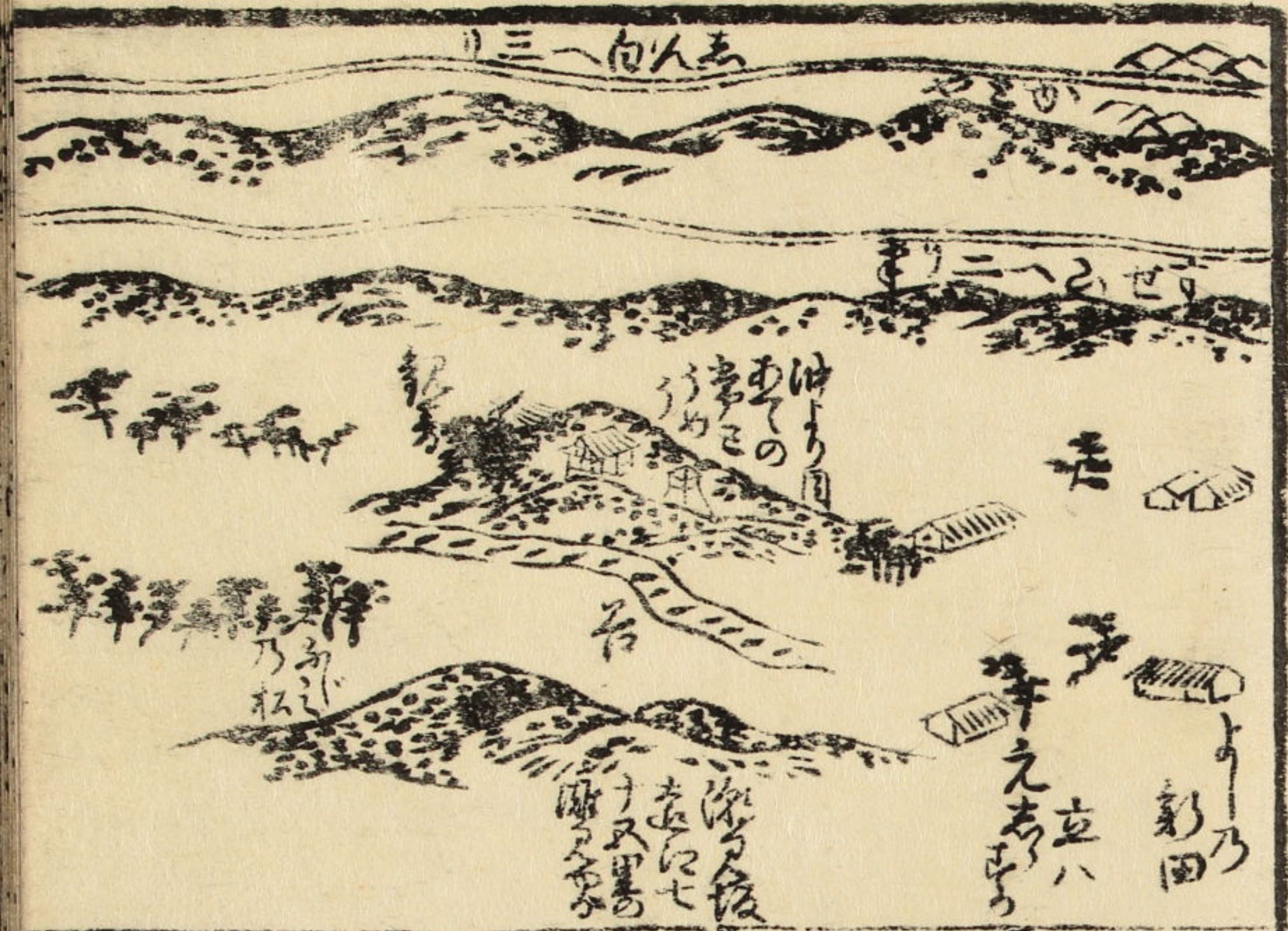












白入三

白入三

白入三

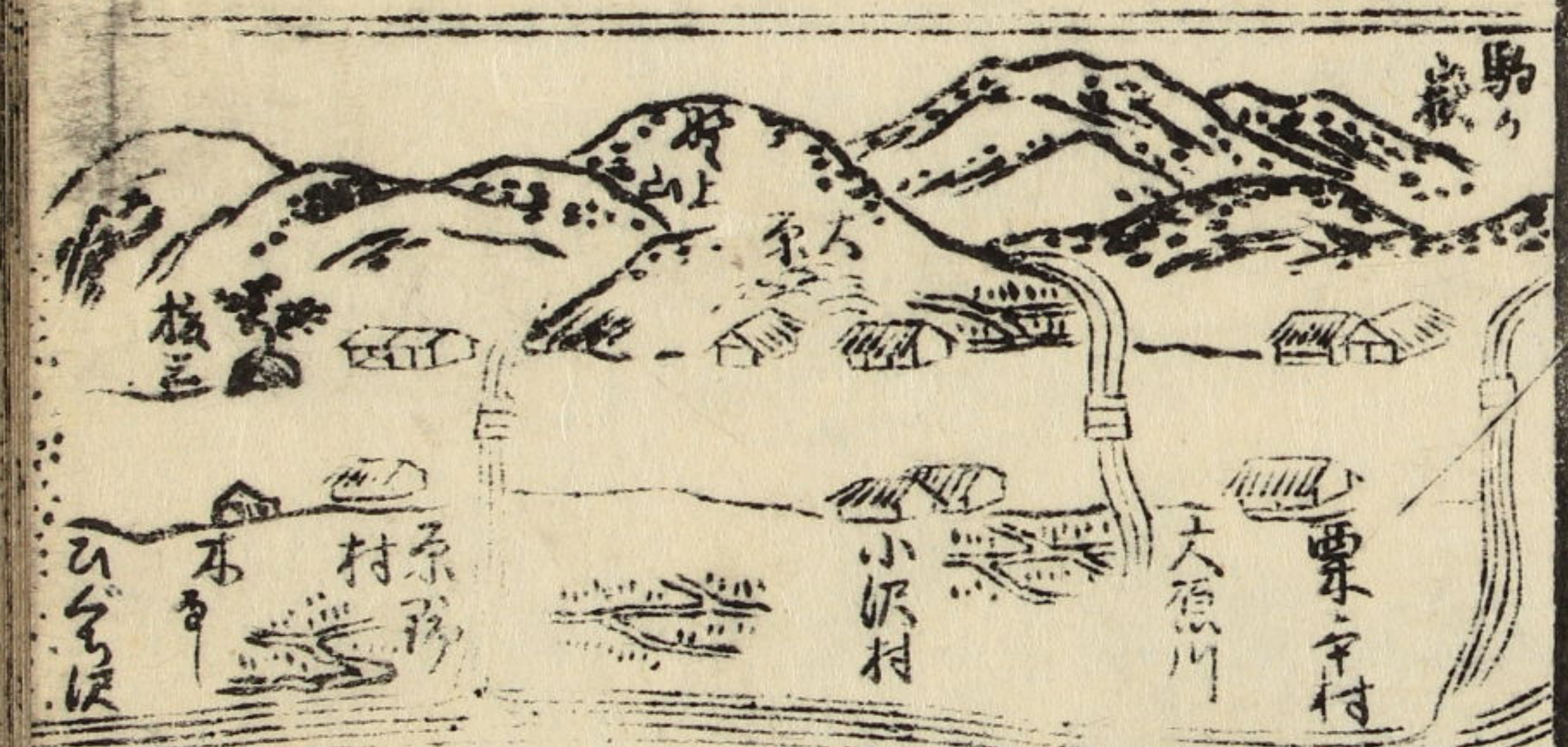
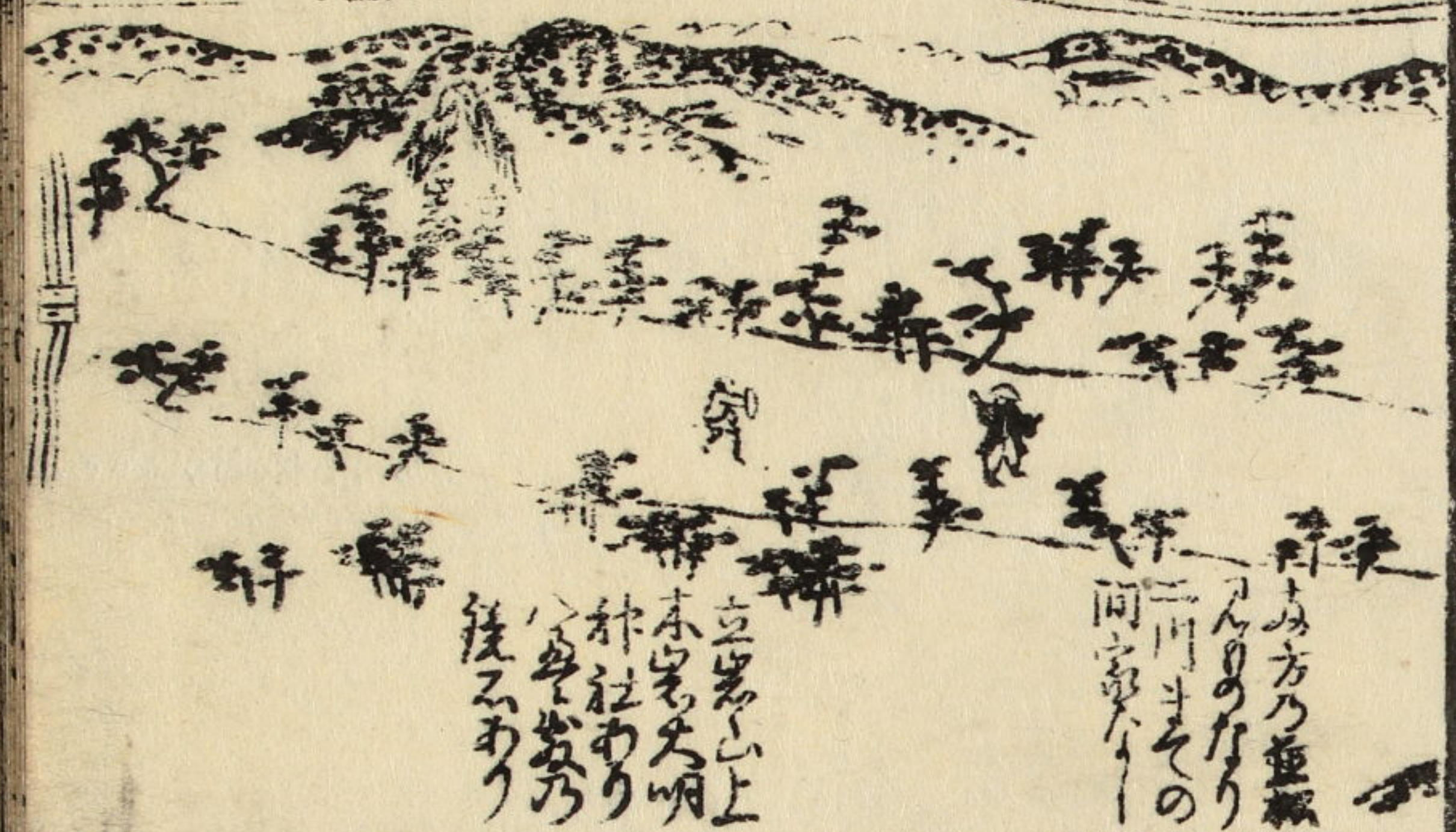
白入三

白入三

白入三

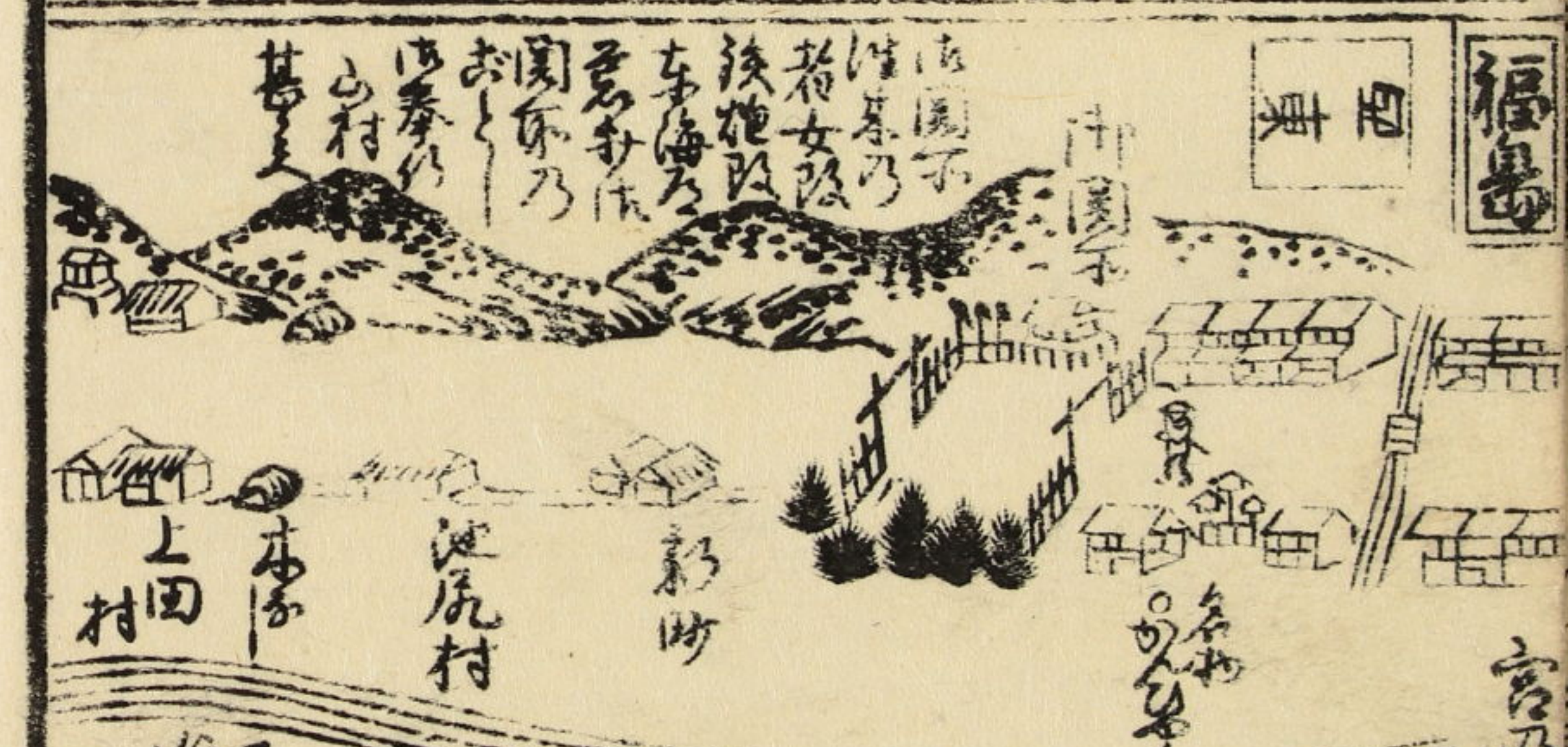
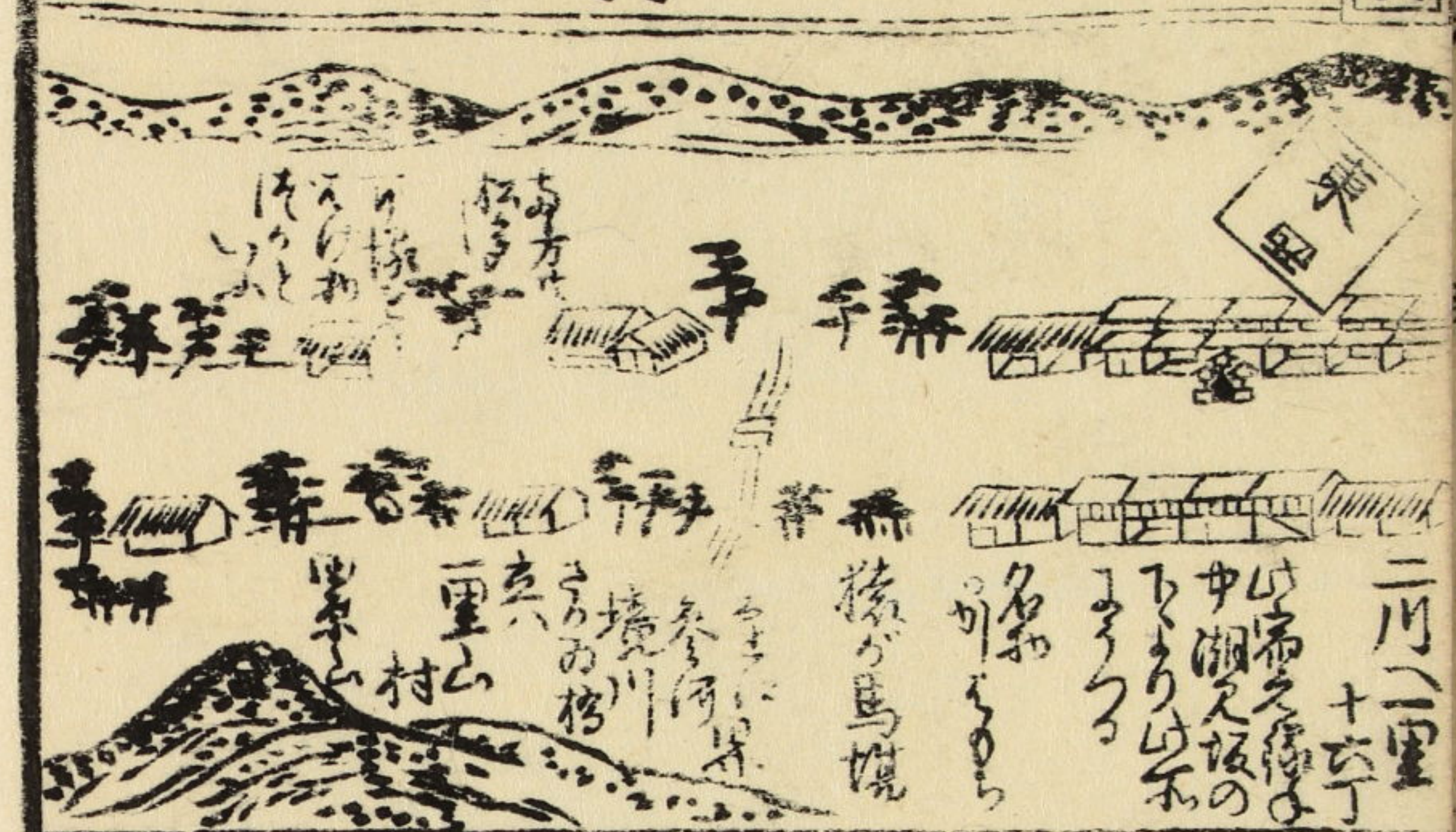
三十

大木一

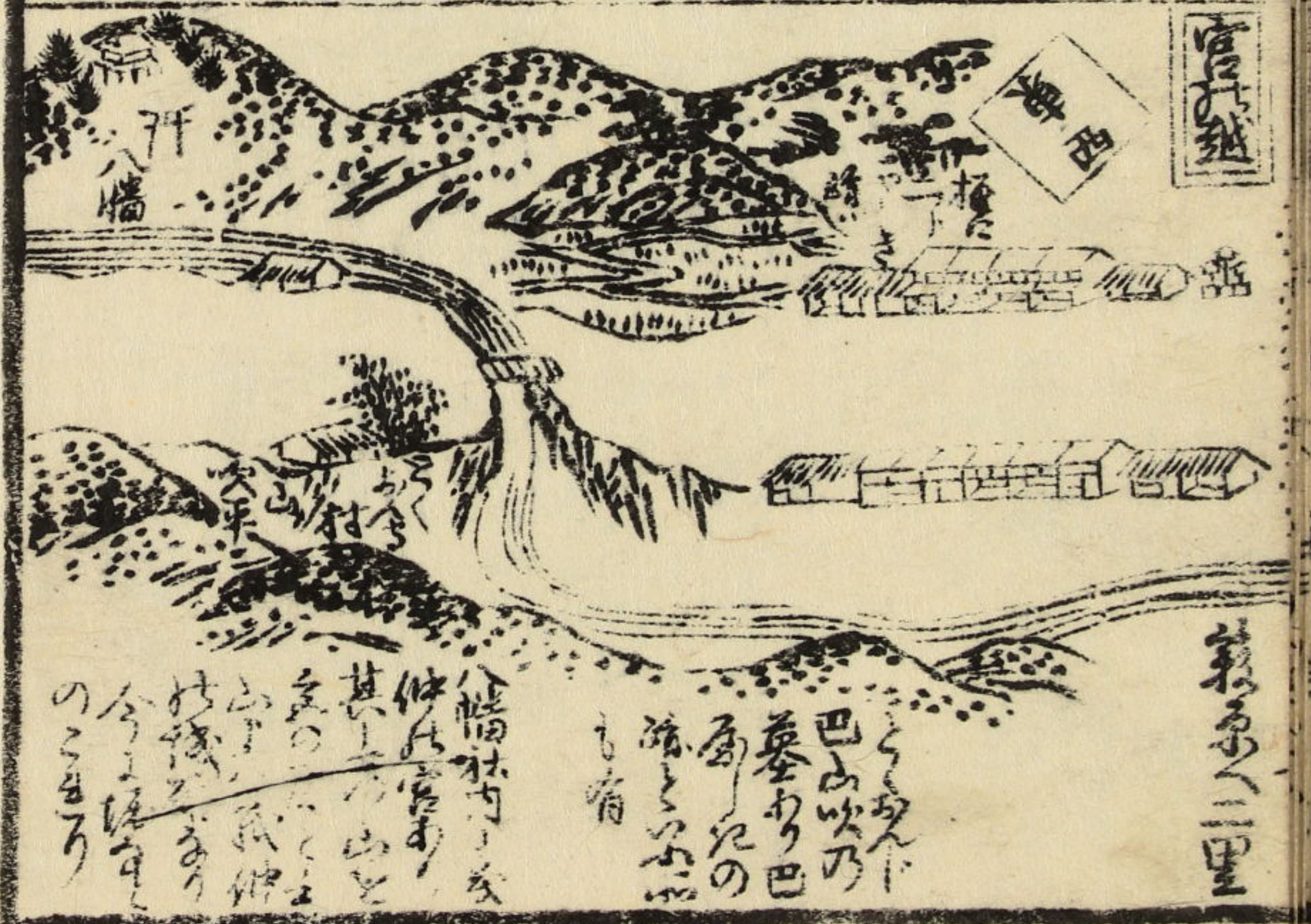
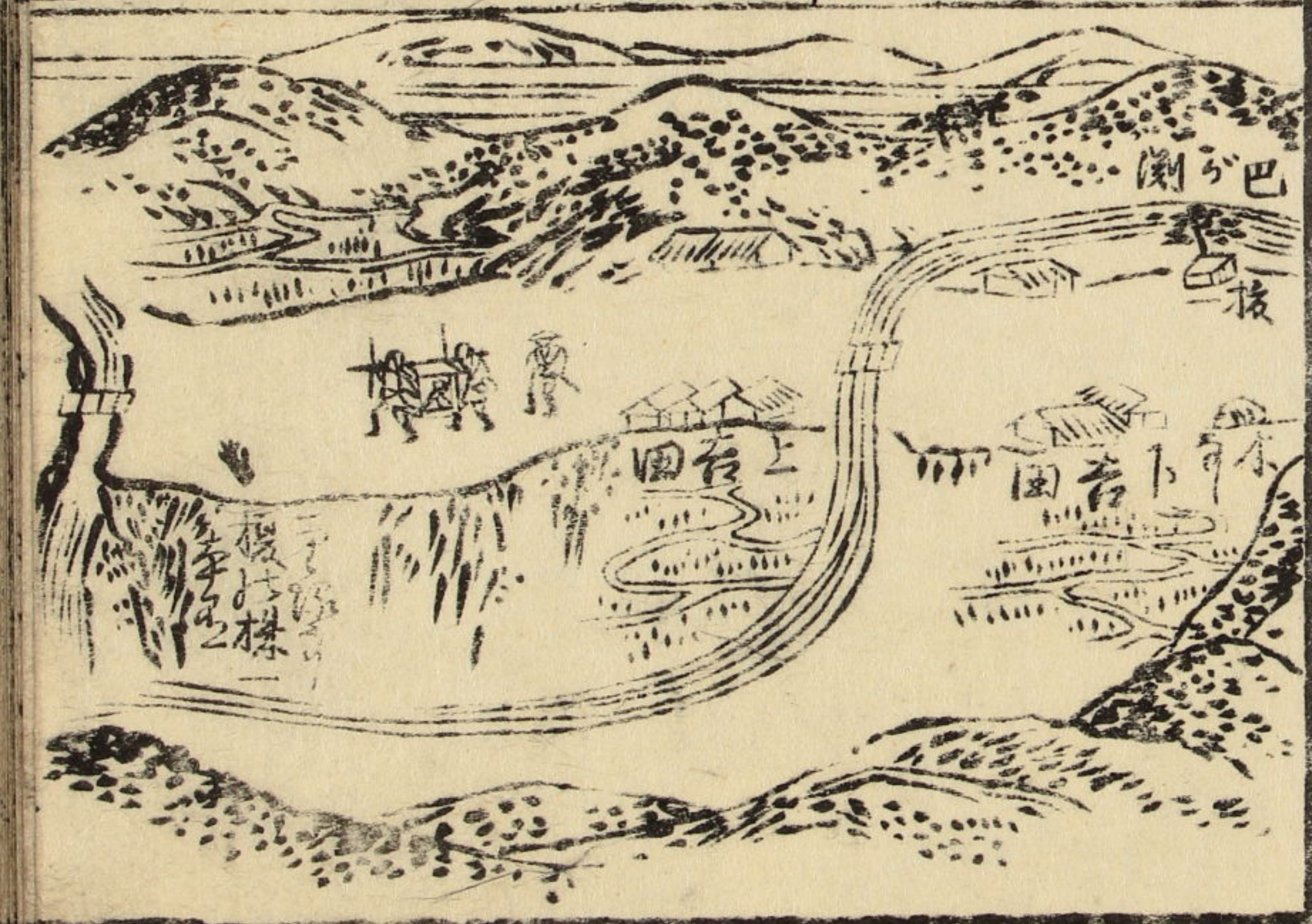
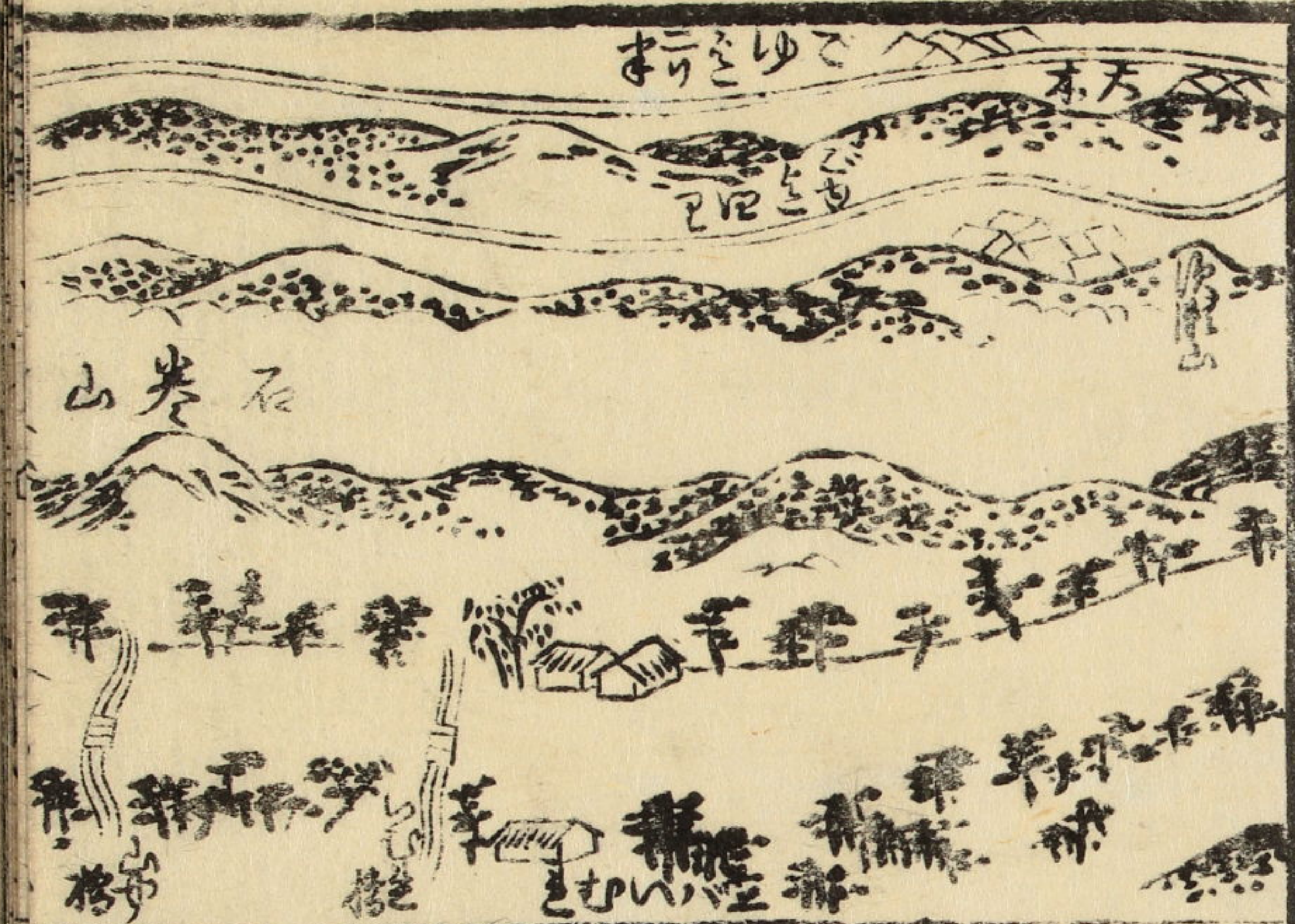


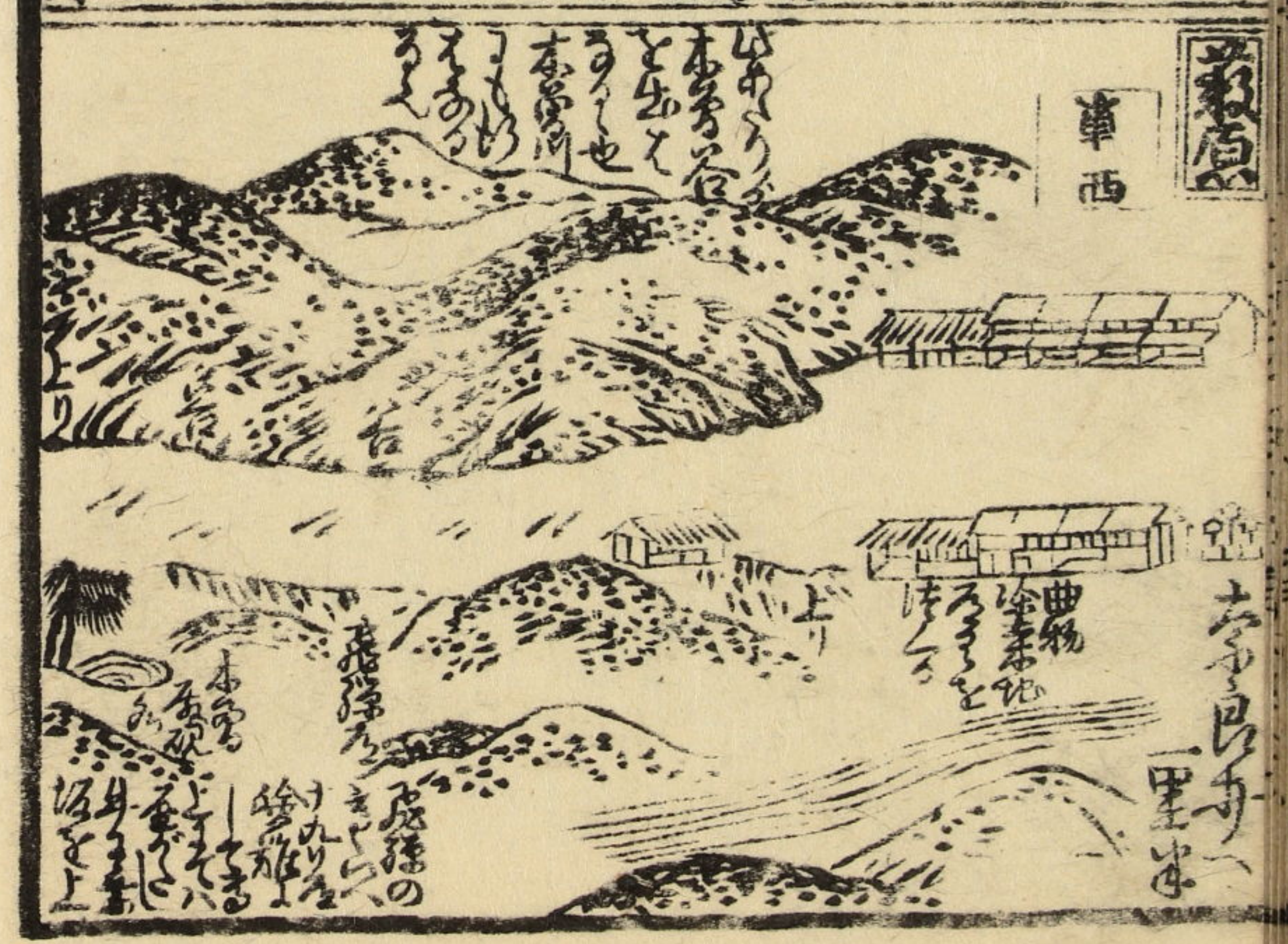
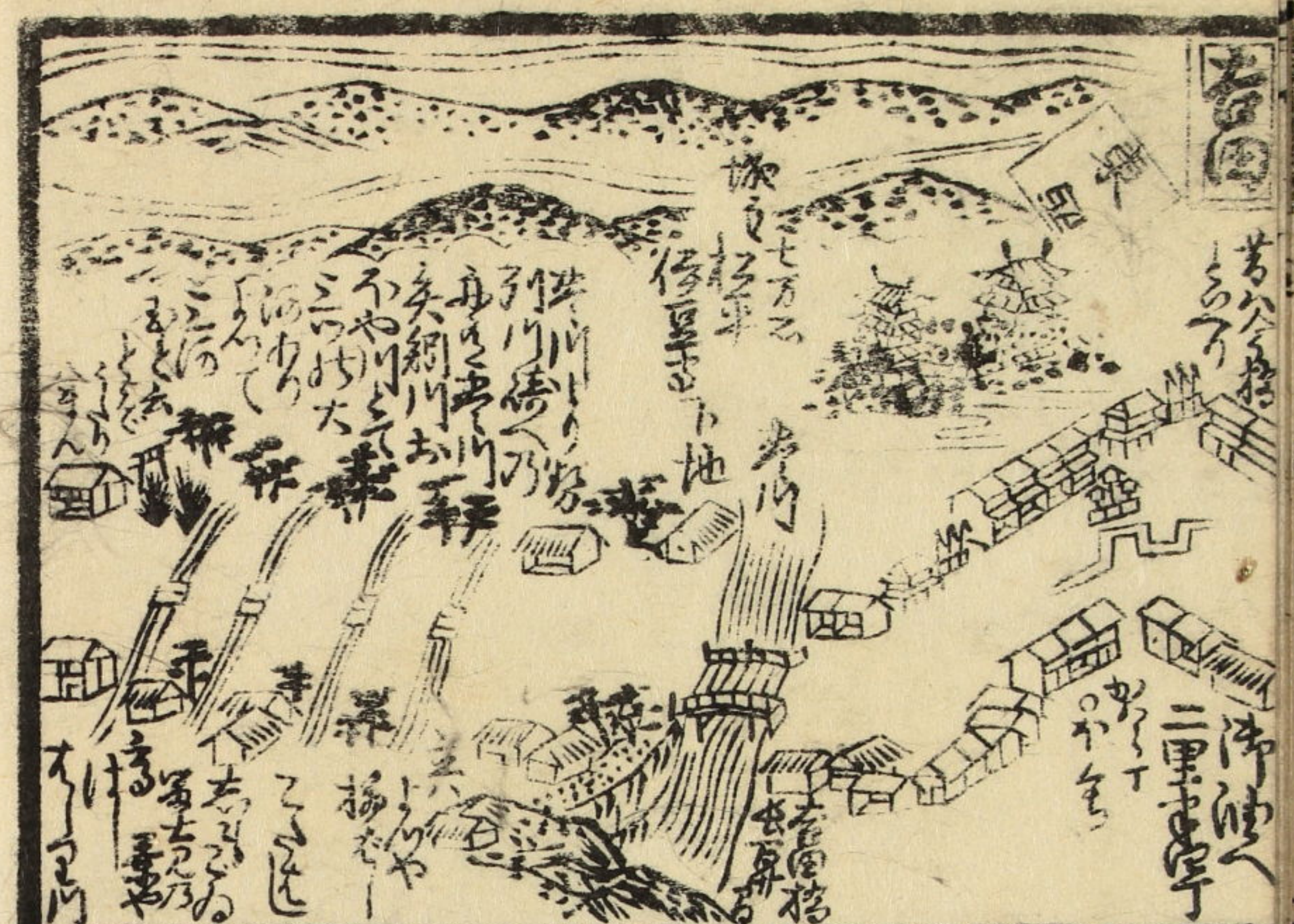
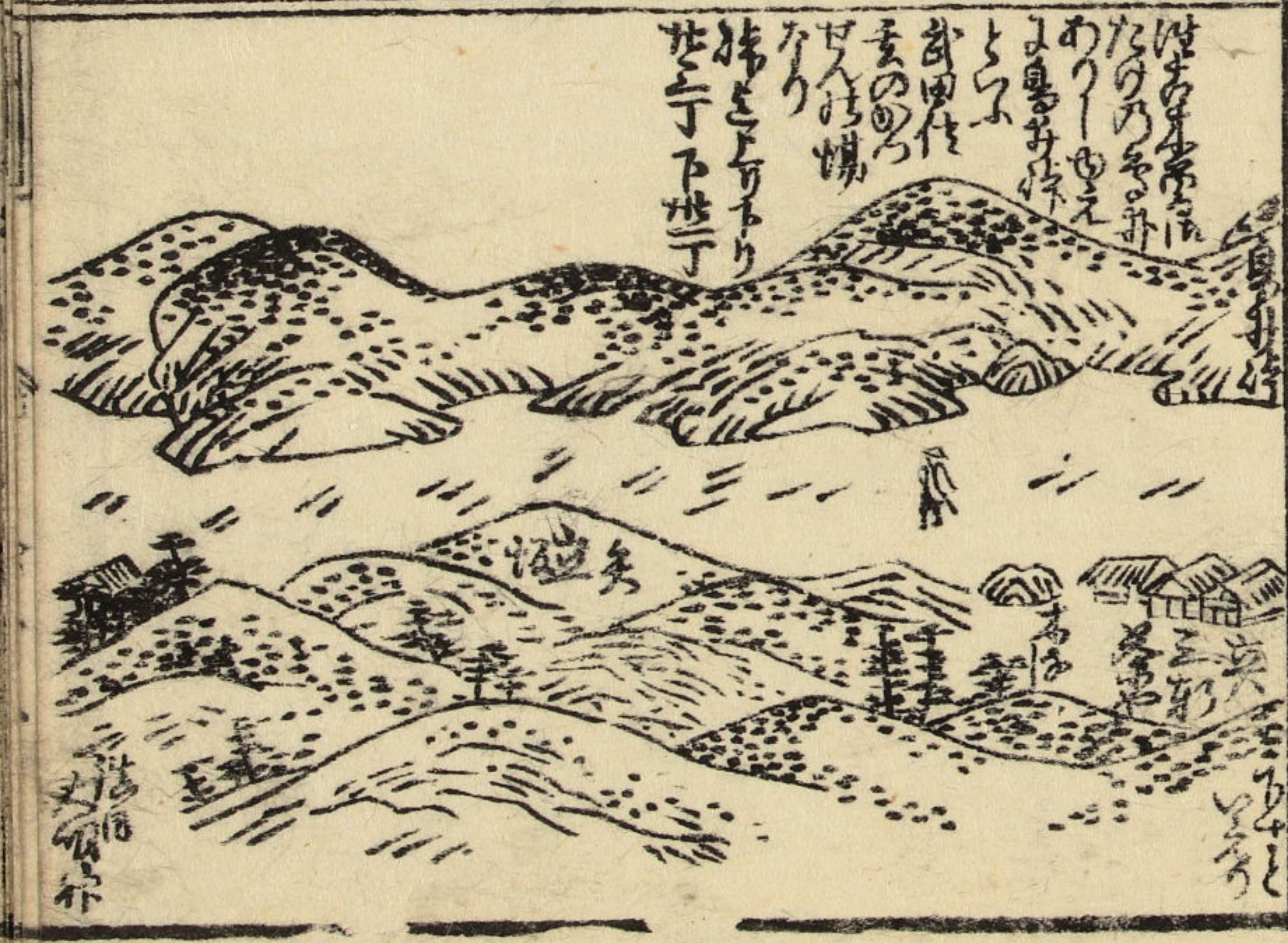
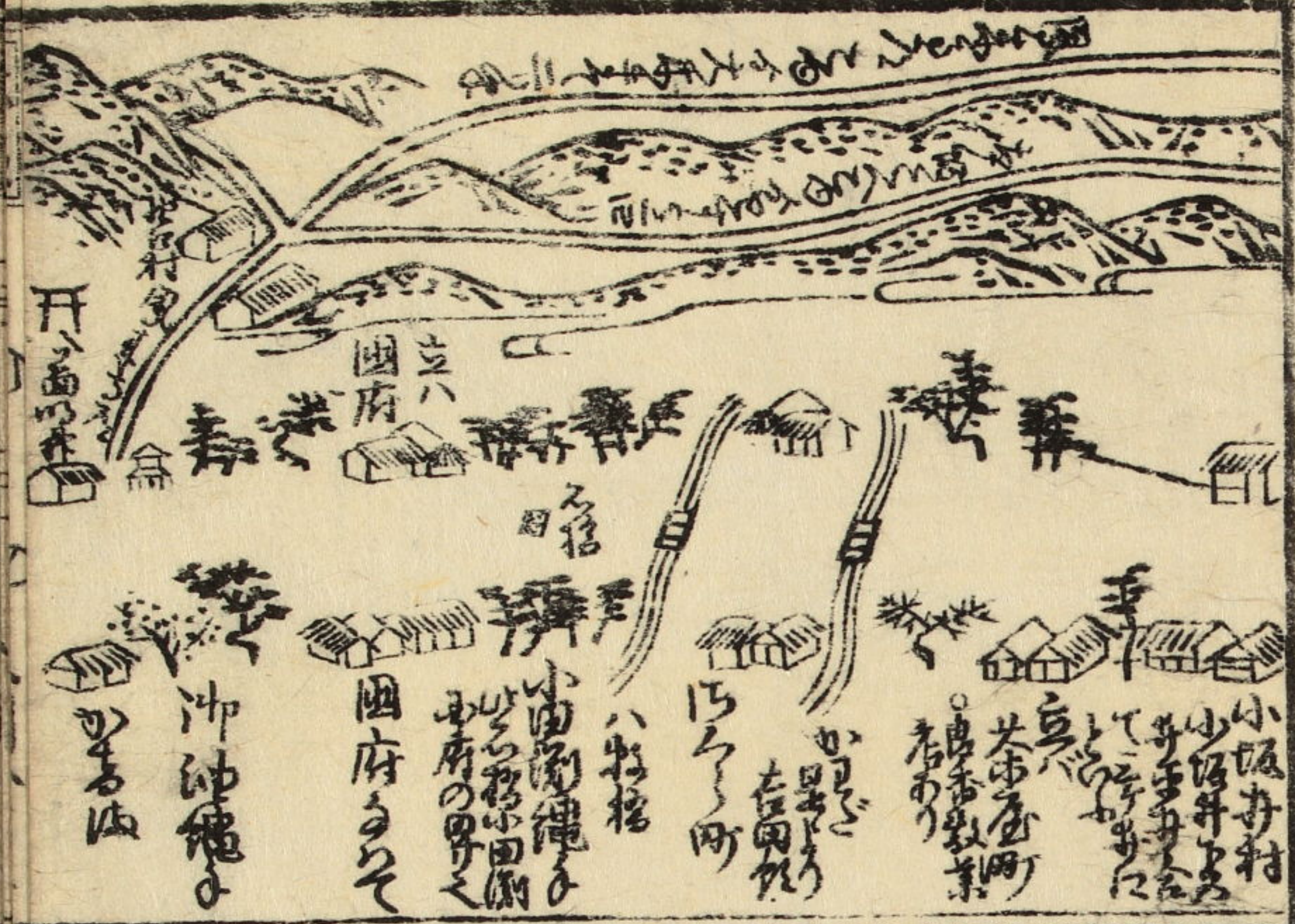
山の上は  
又ゆるり  
石のあり  
名あり  
の宮あり  
内をりき  
中なり

新城



山の上は  
又ゆるり  
石のあり  
名あり  
の宮あり  
内をりき  
中なり

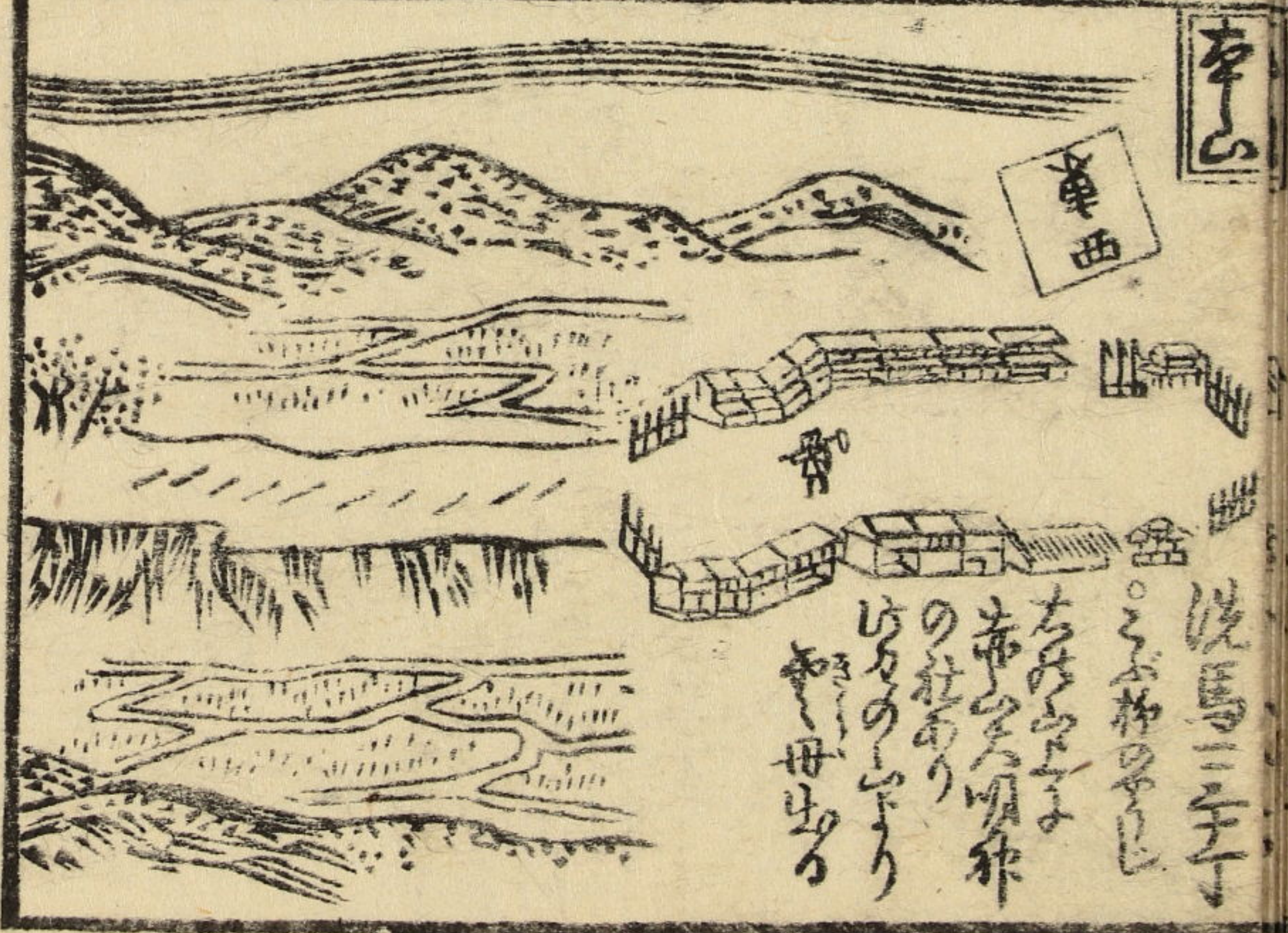
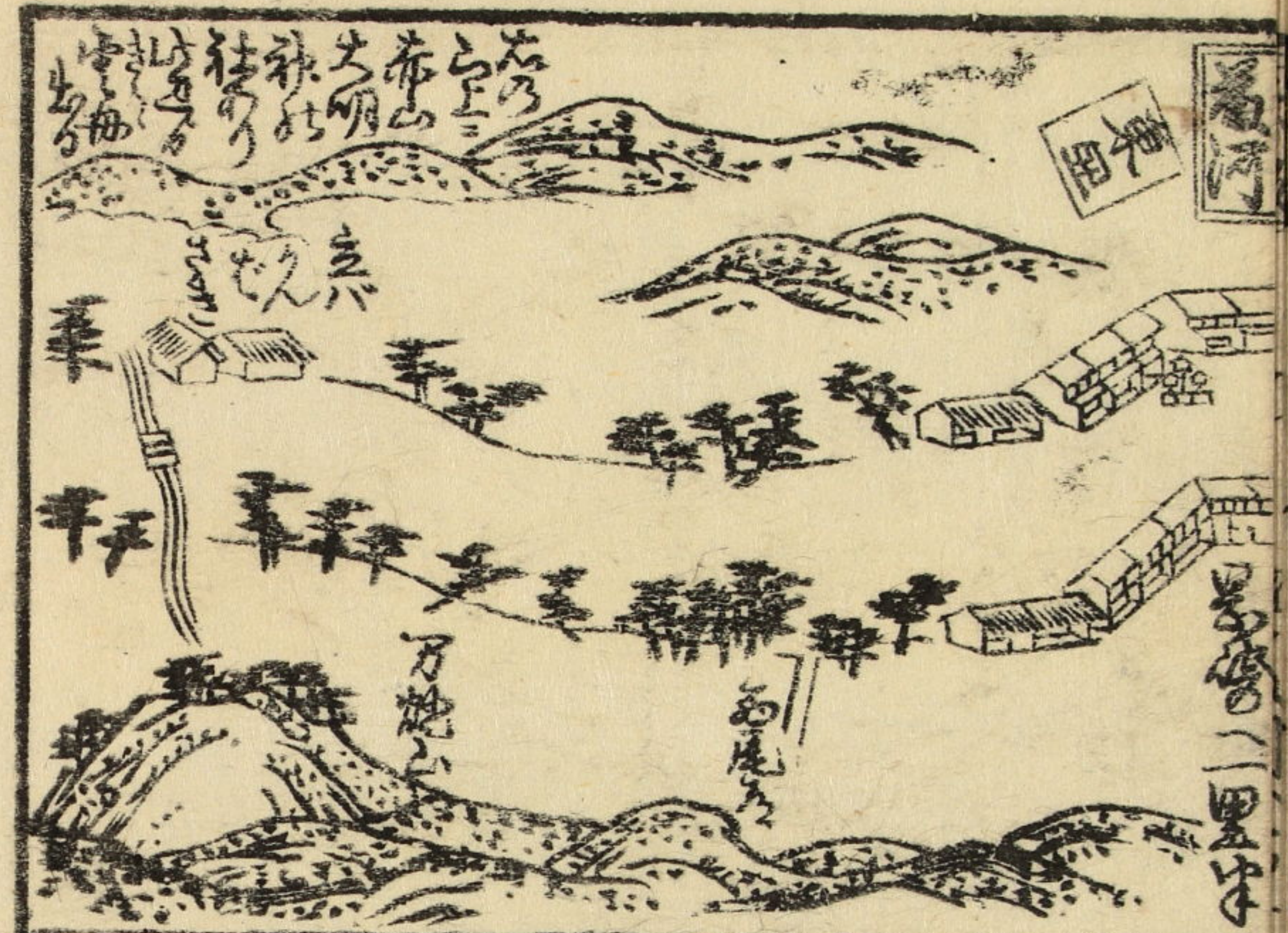
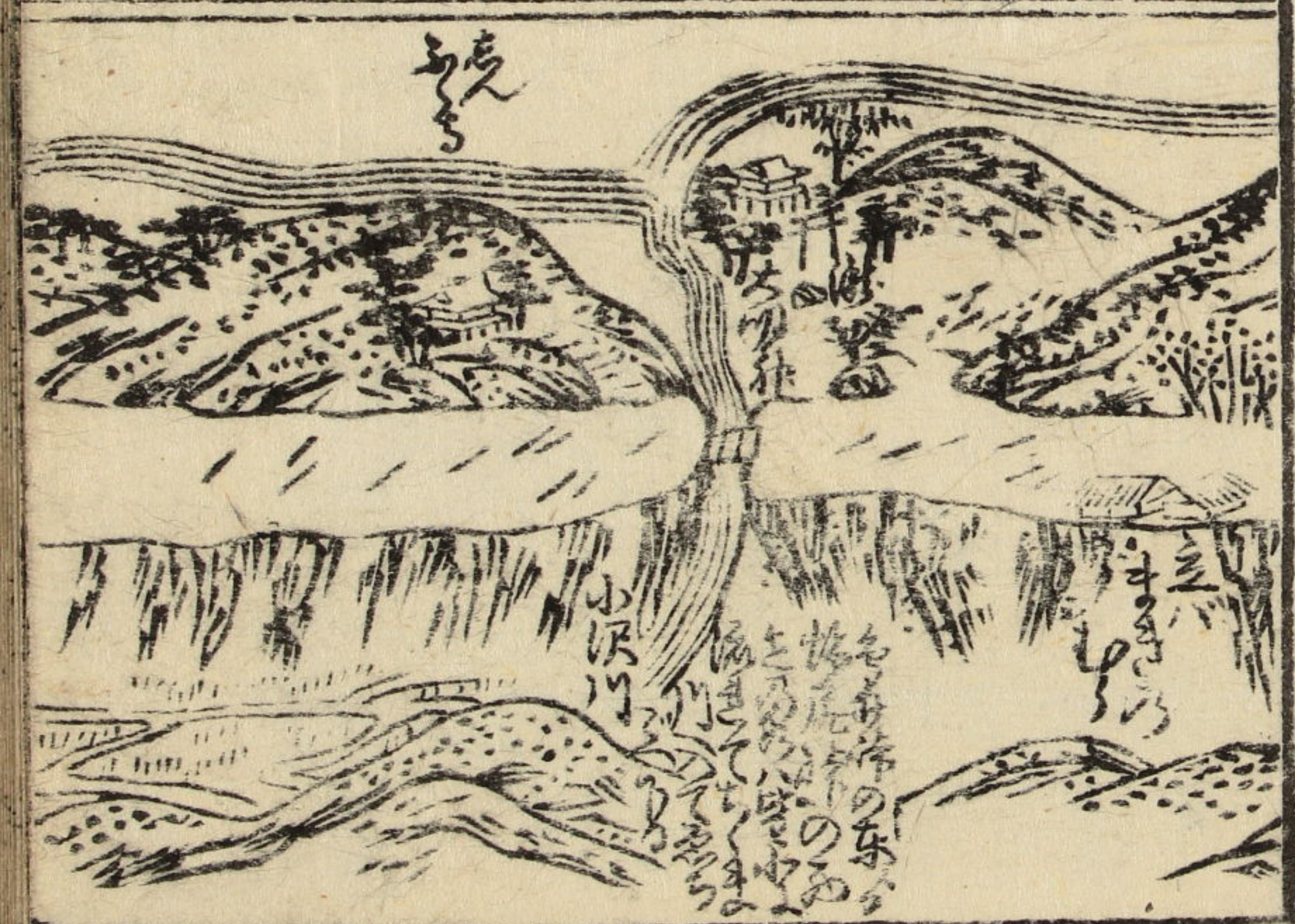
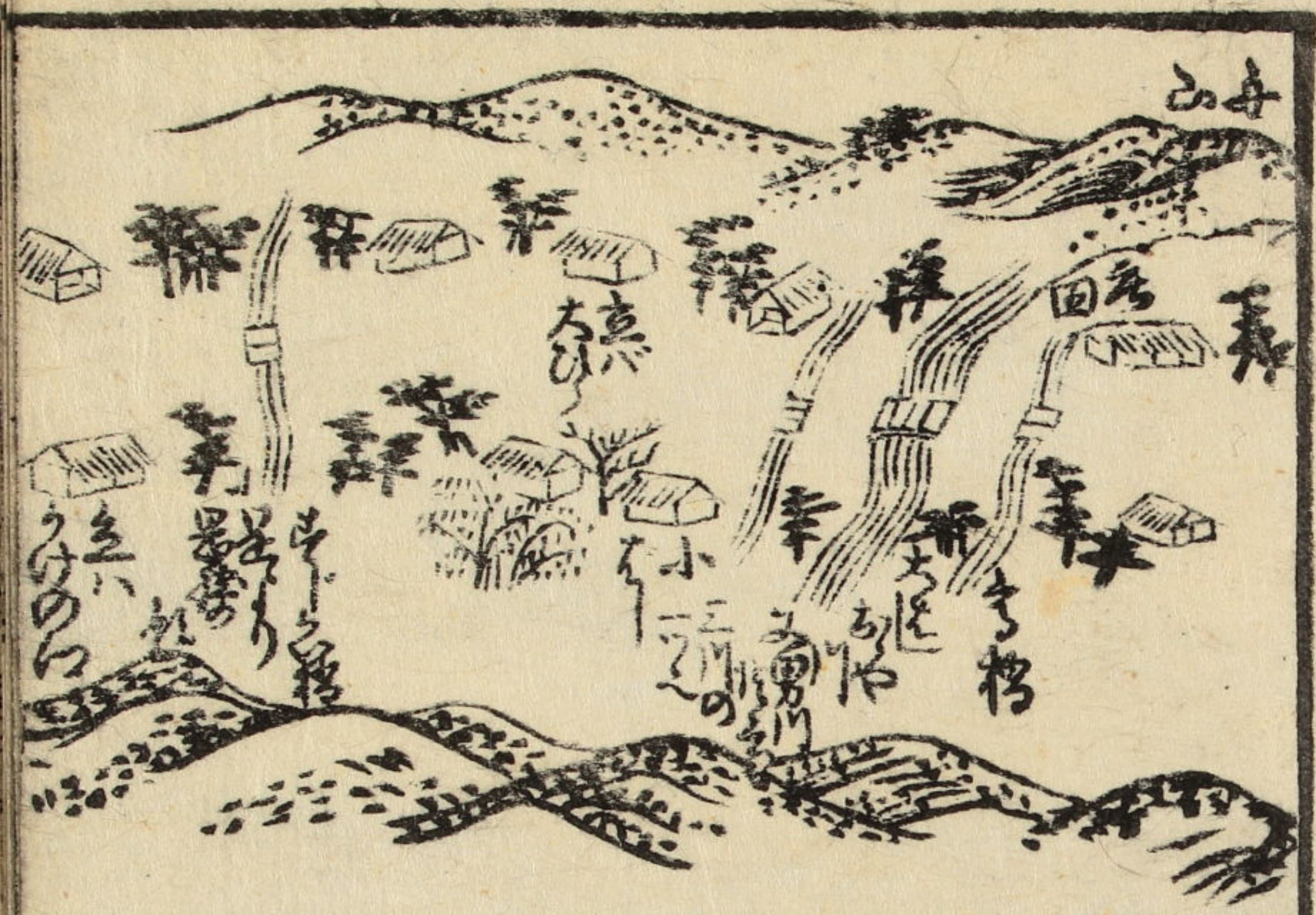




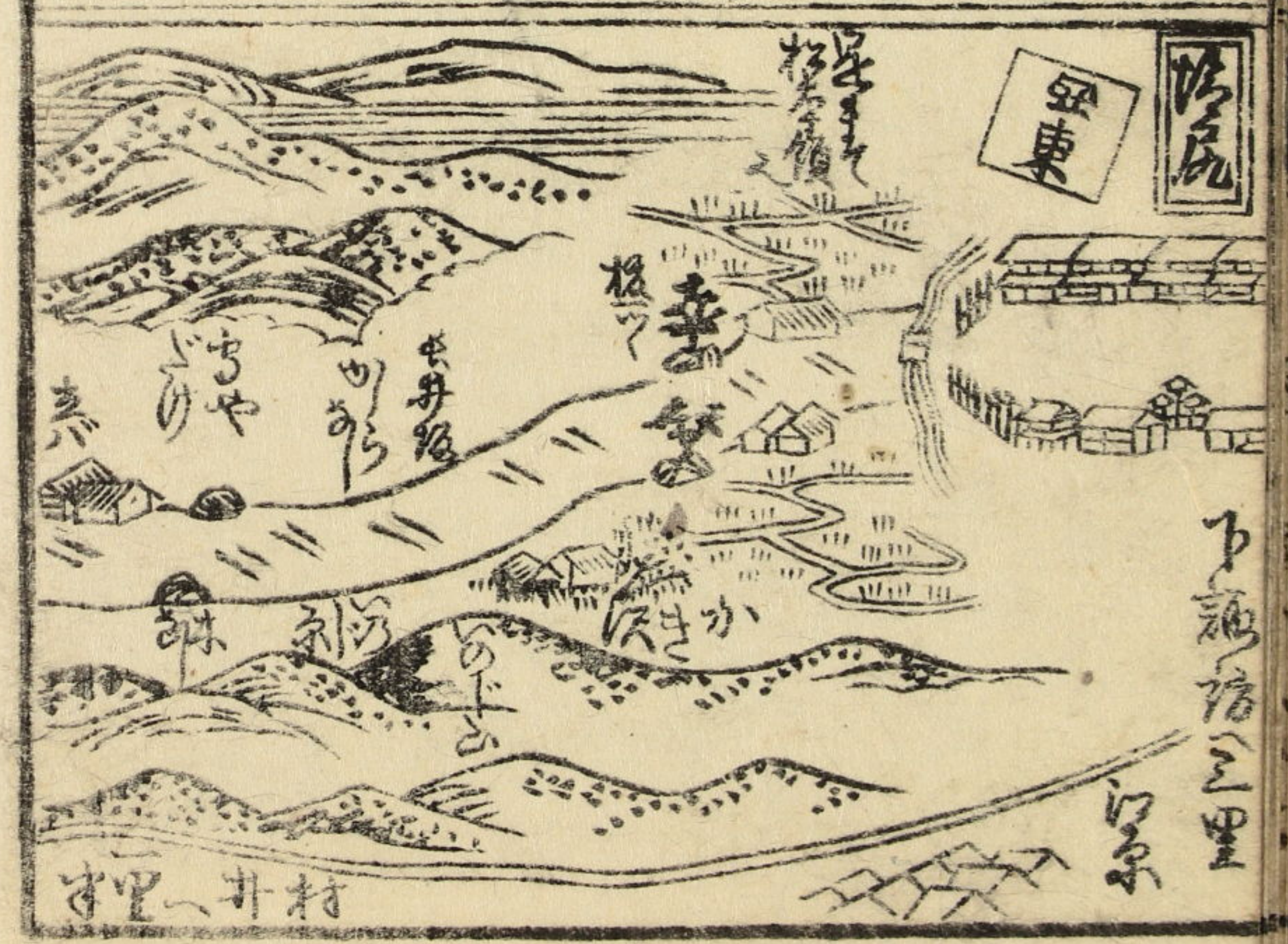
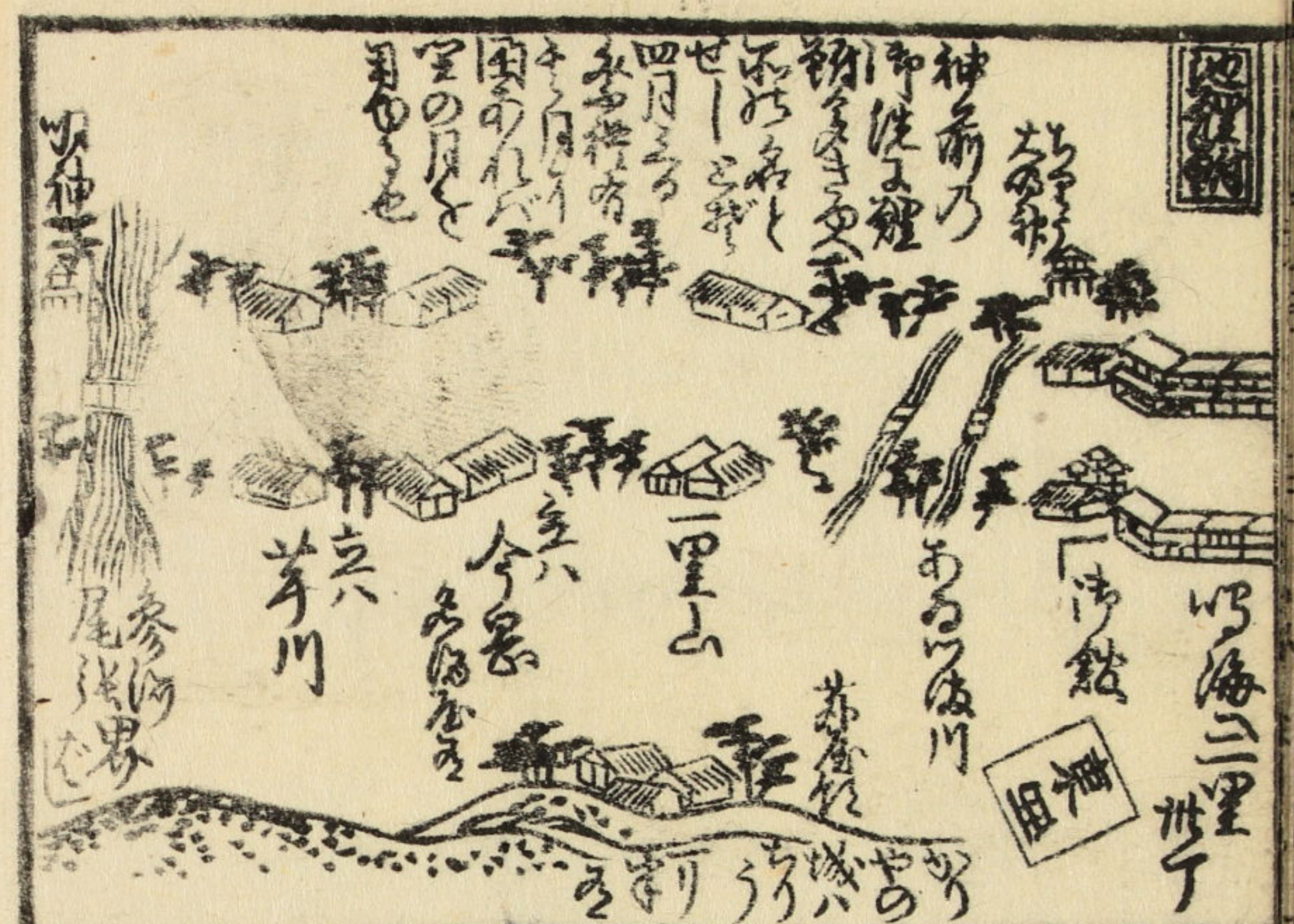
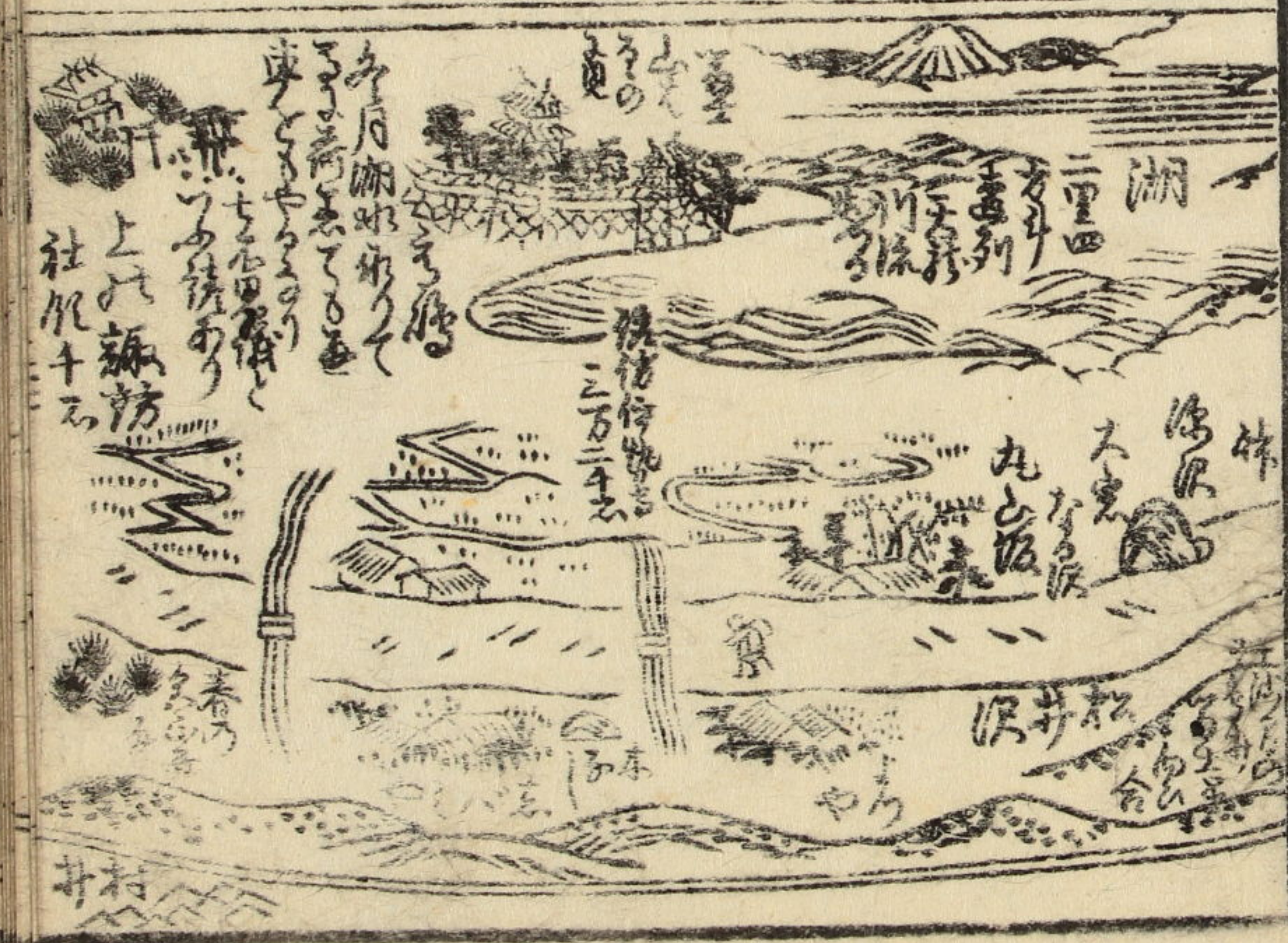
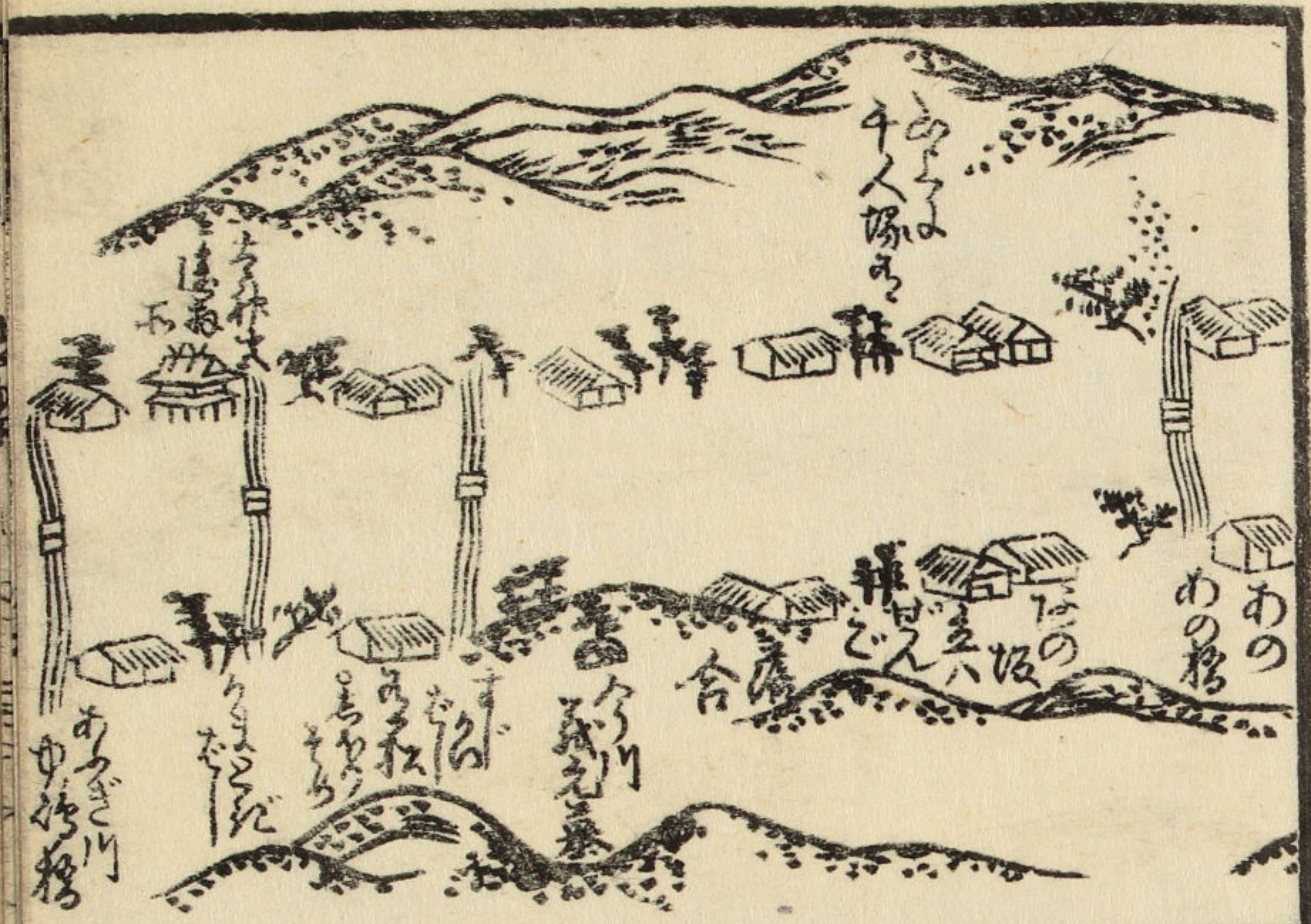




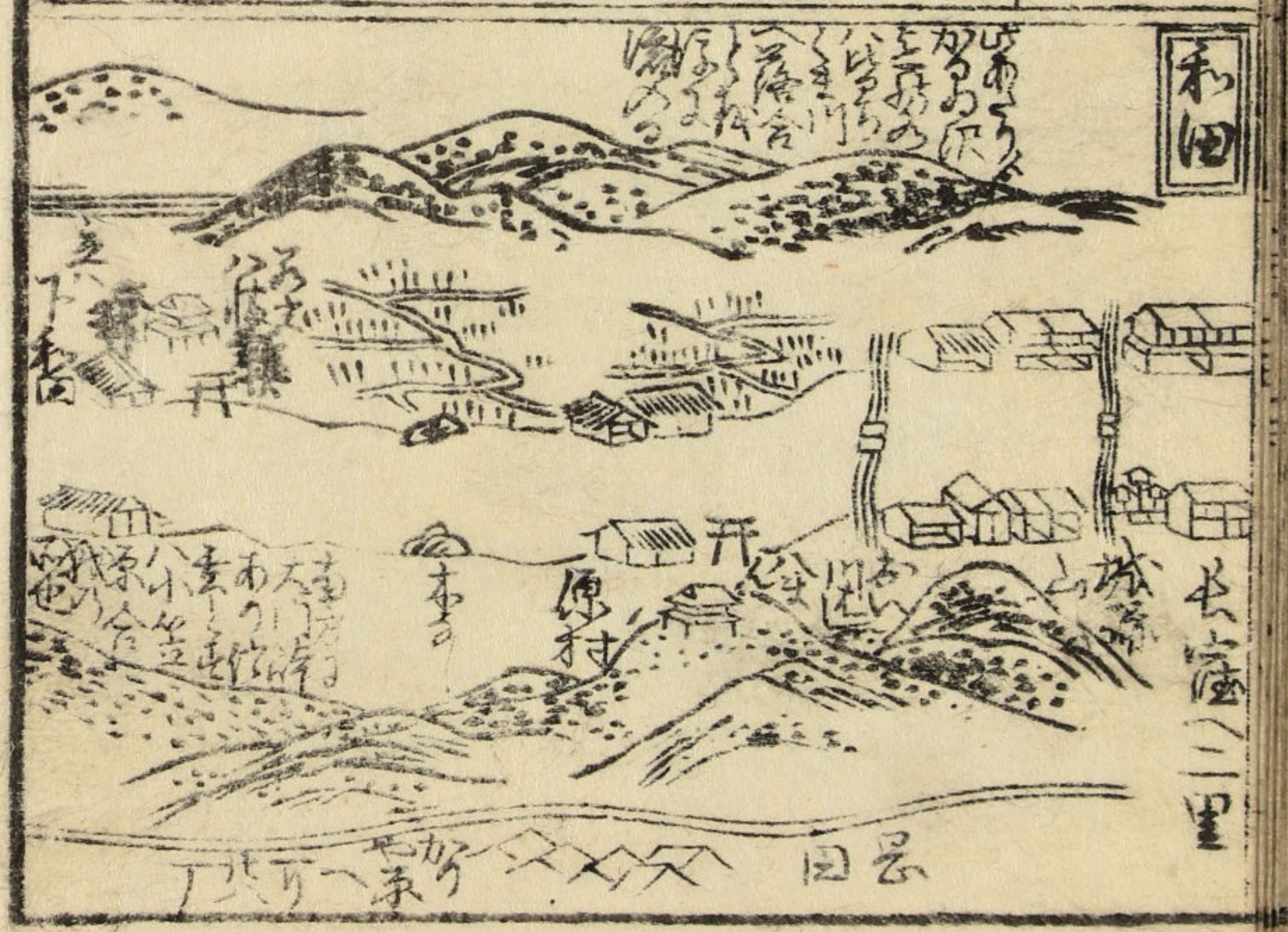
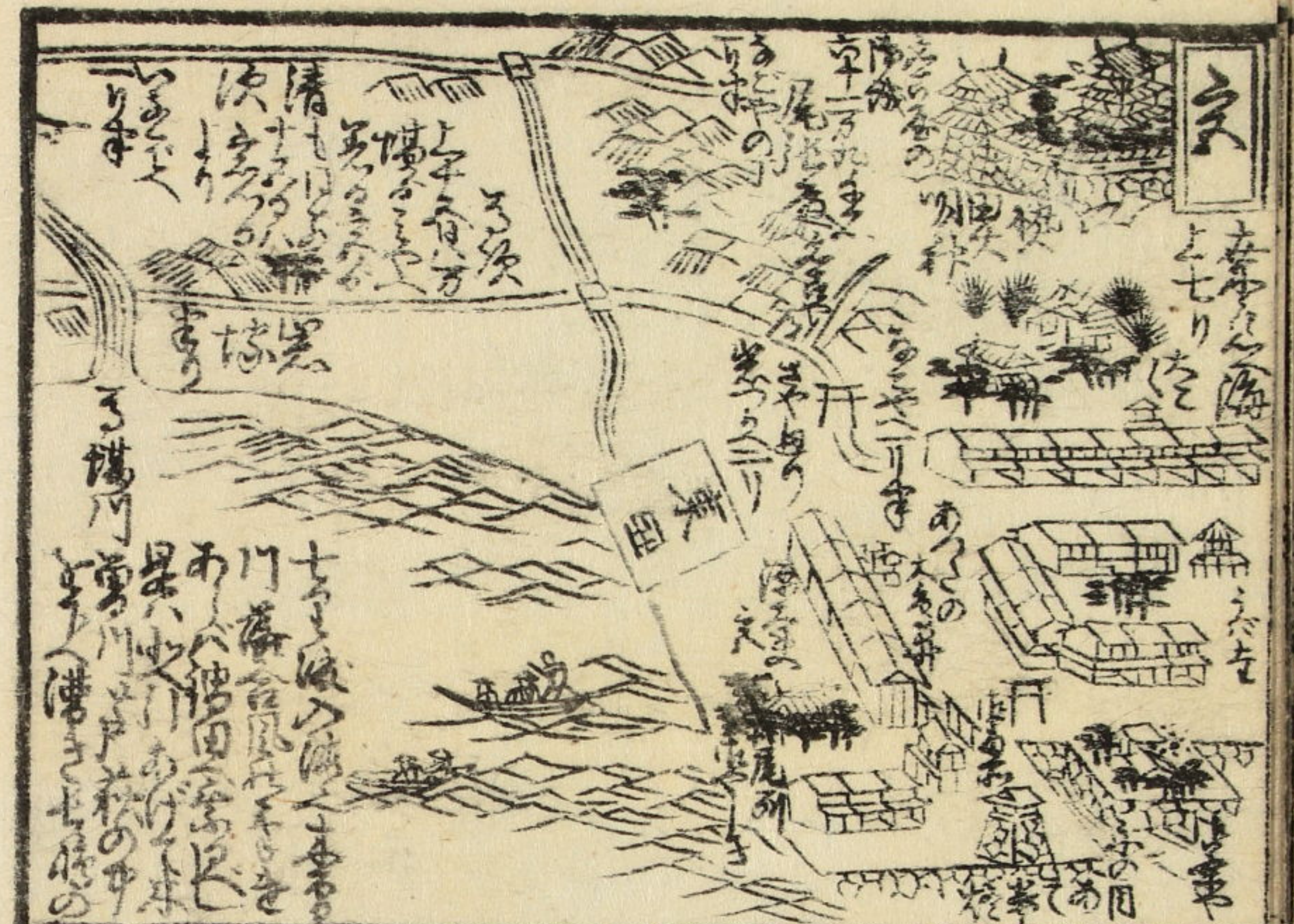
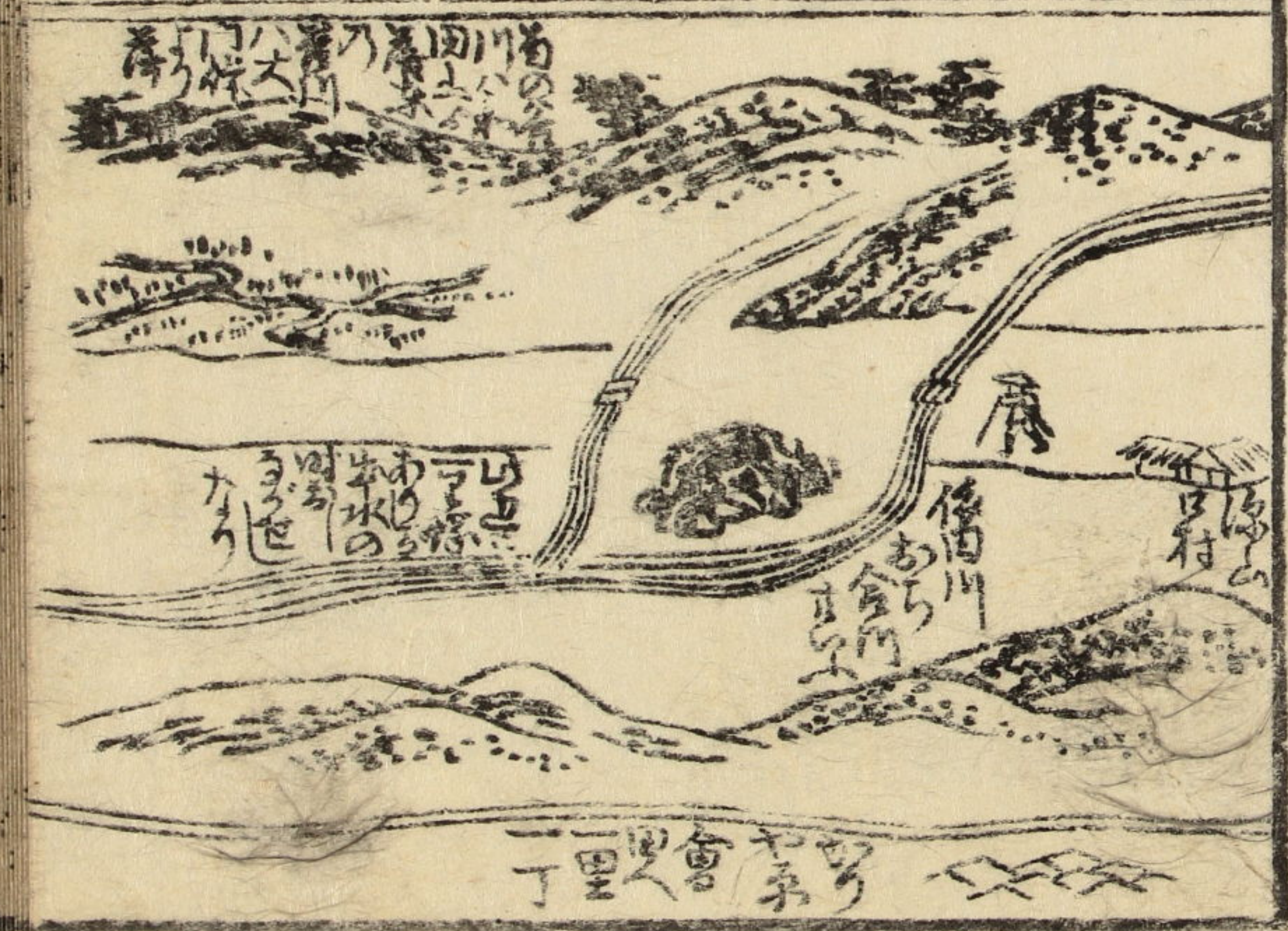
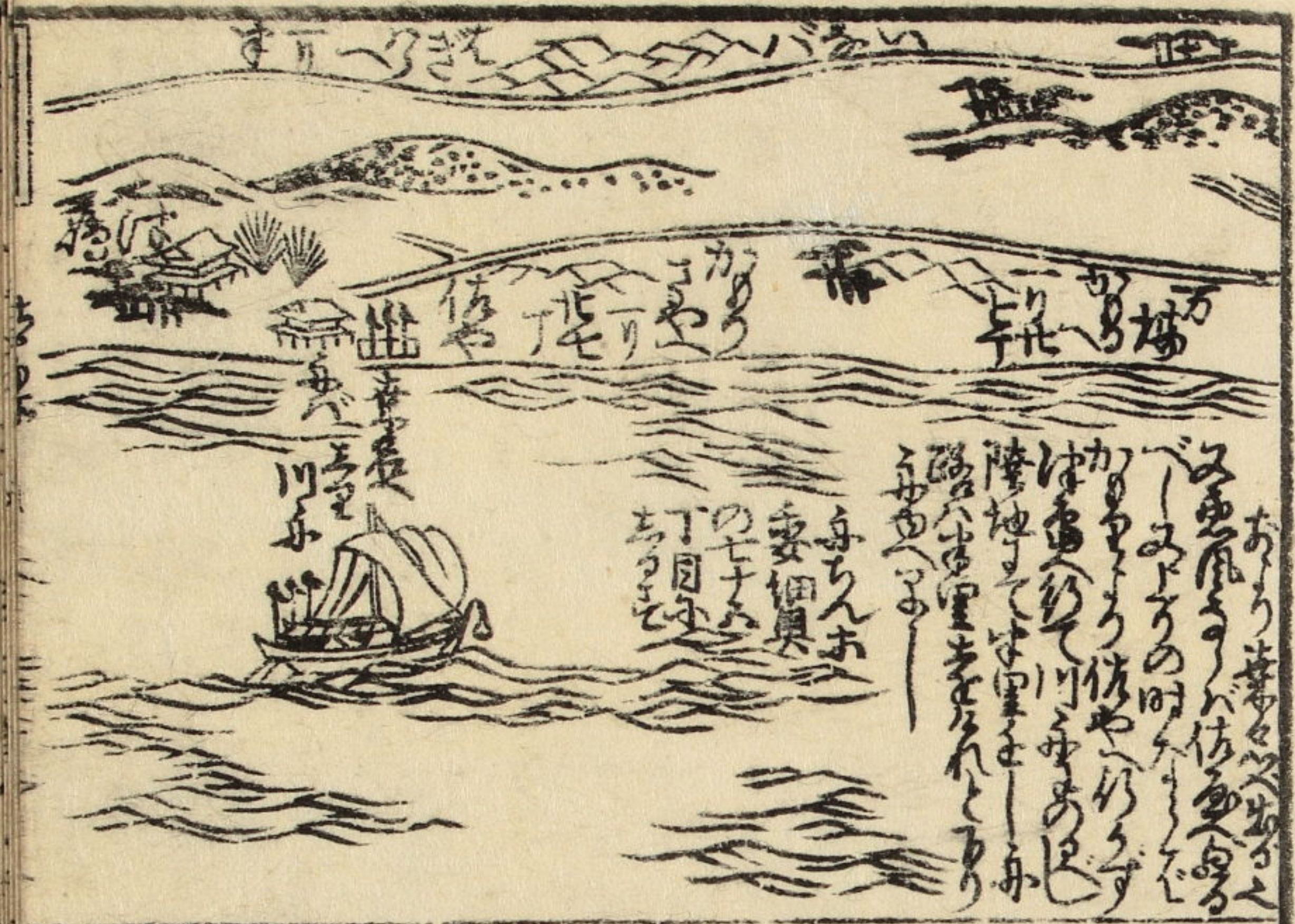


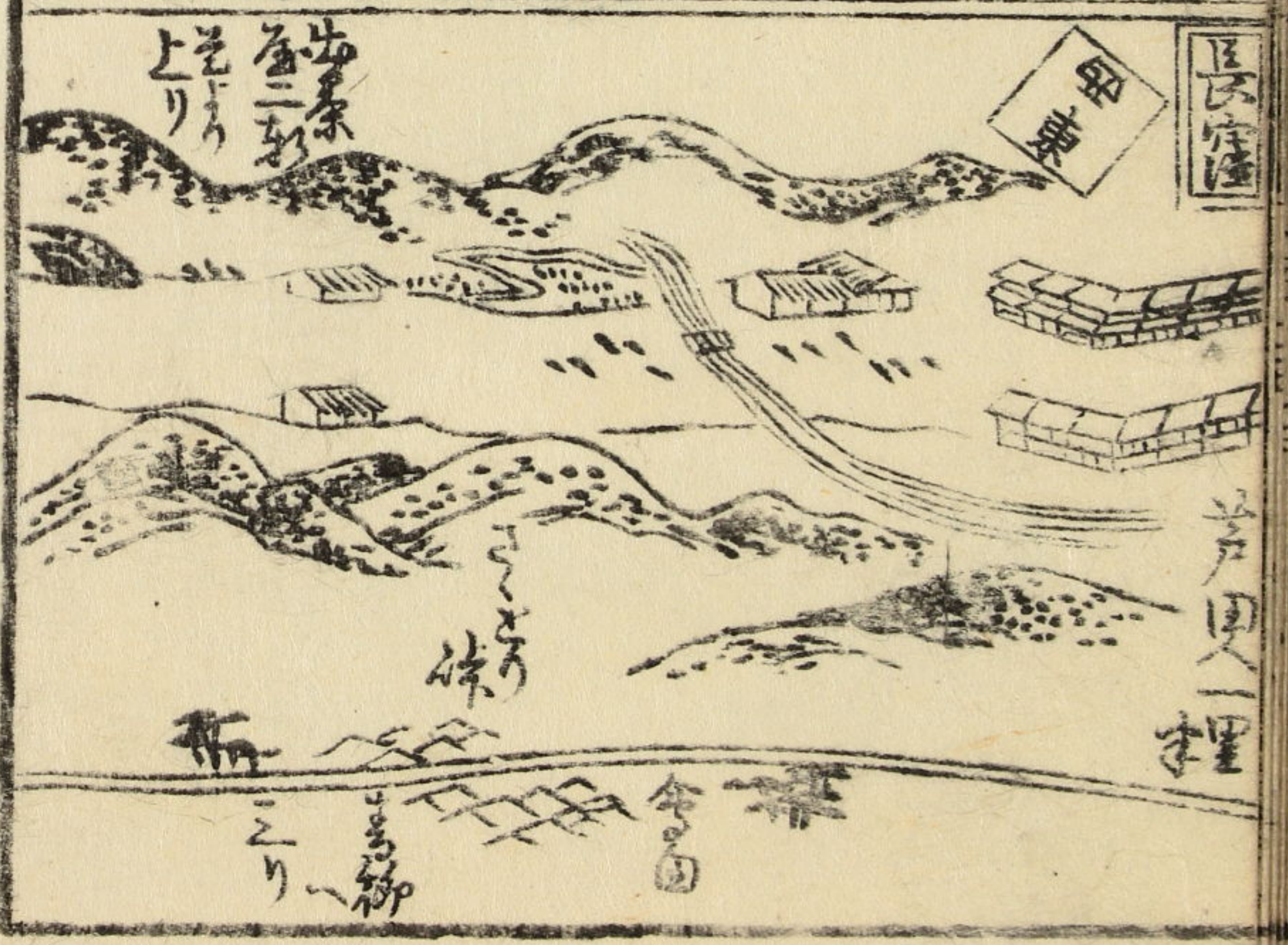
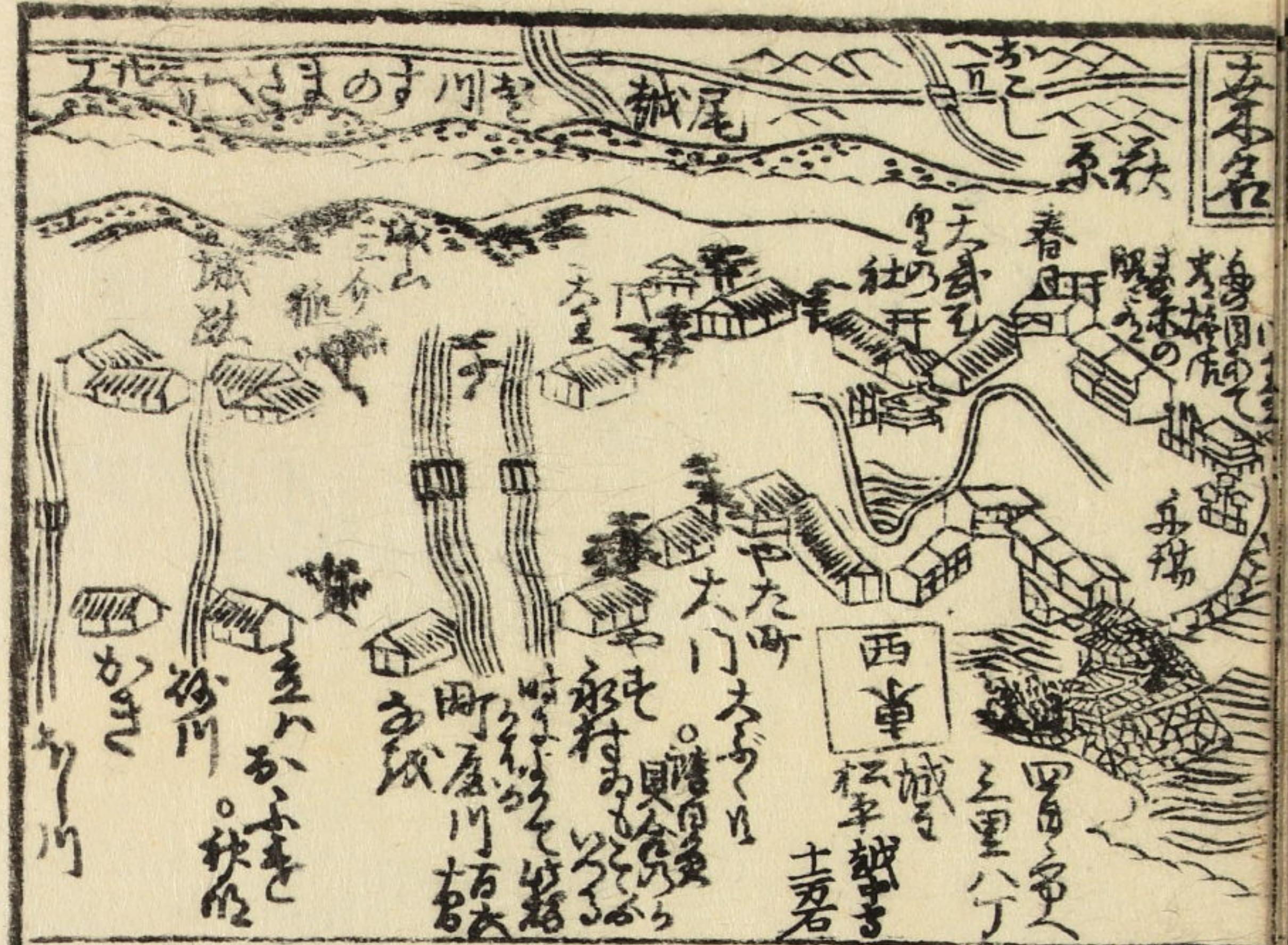
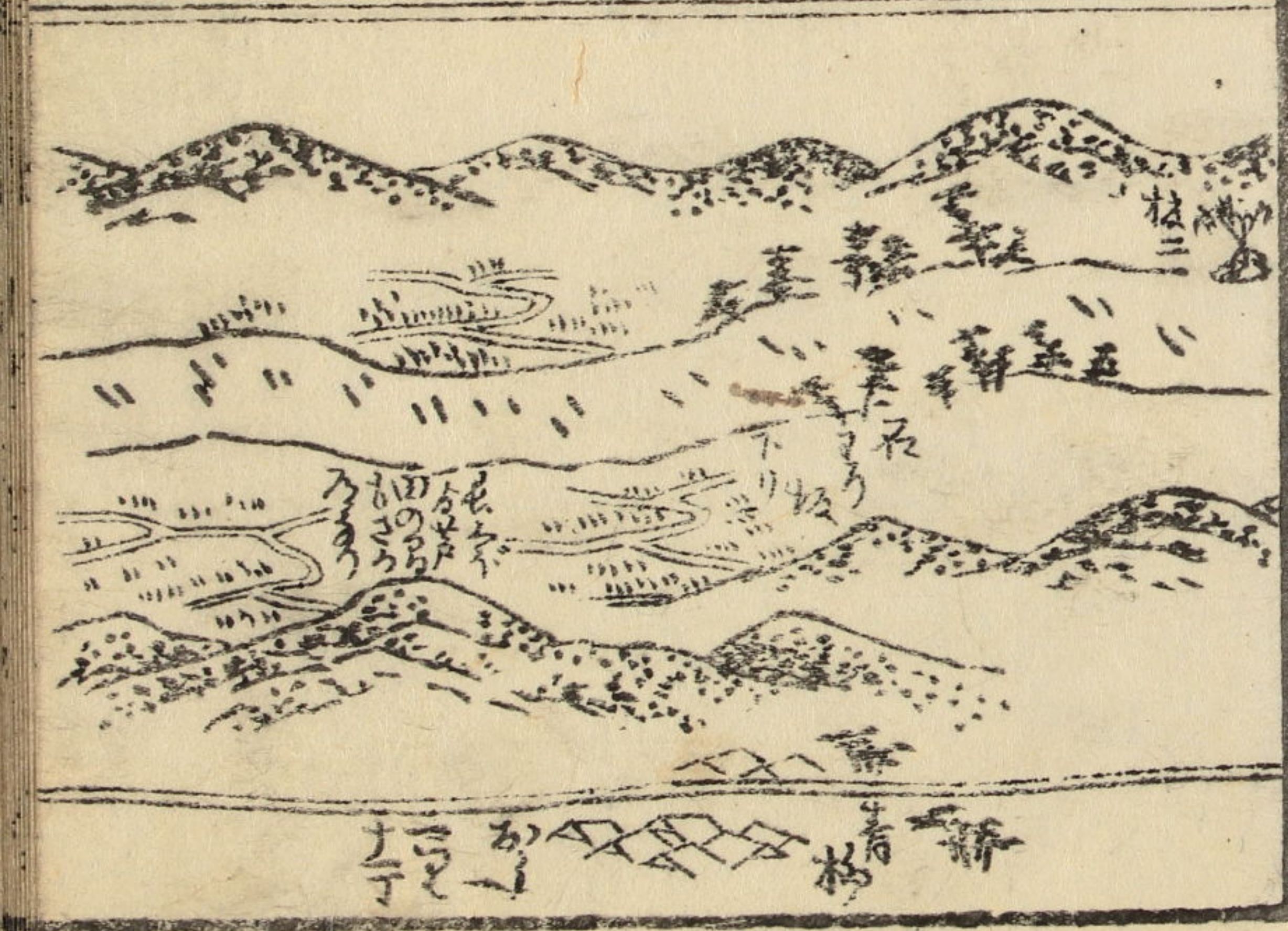
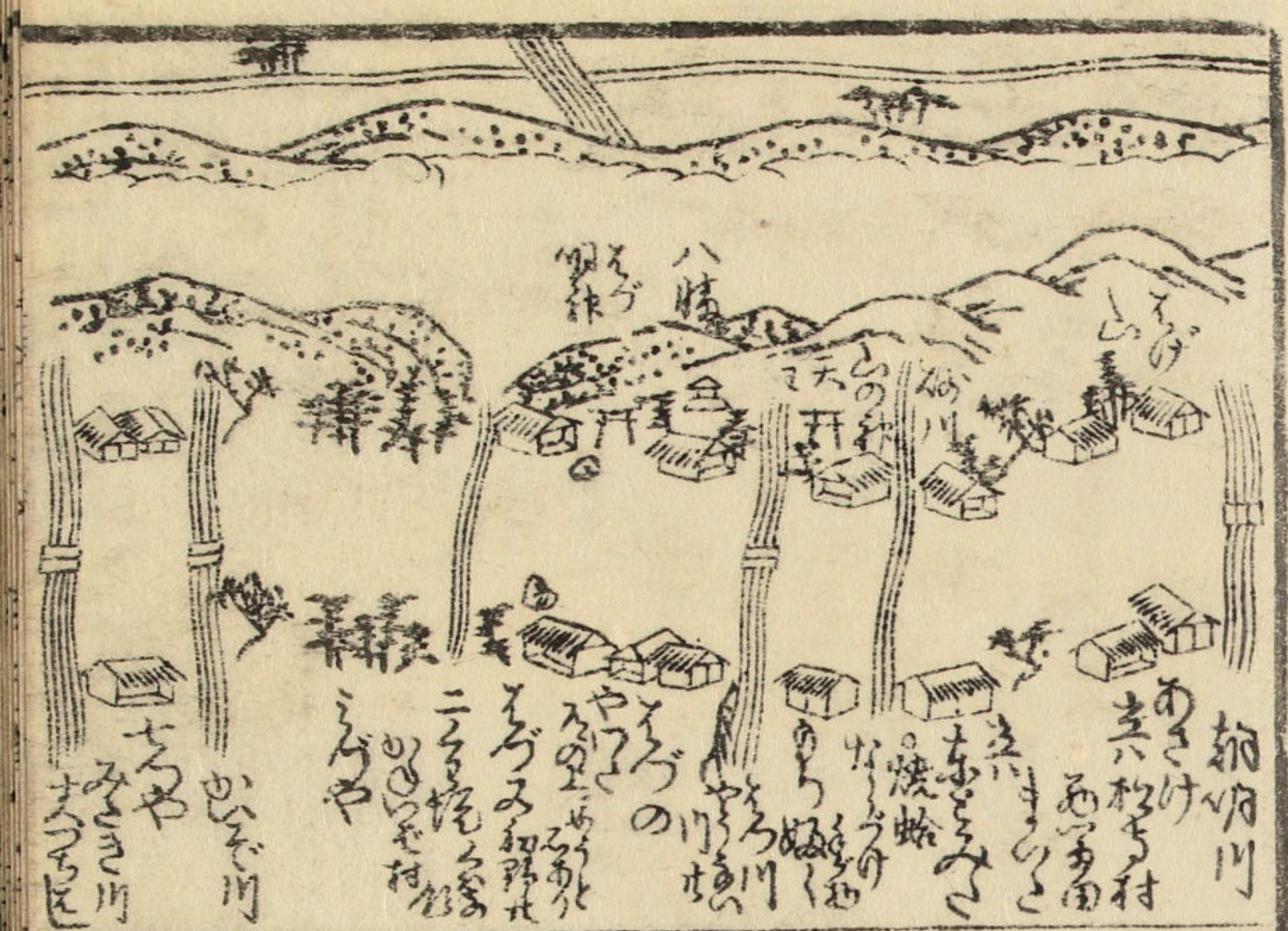








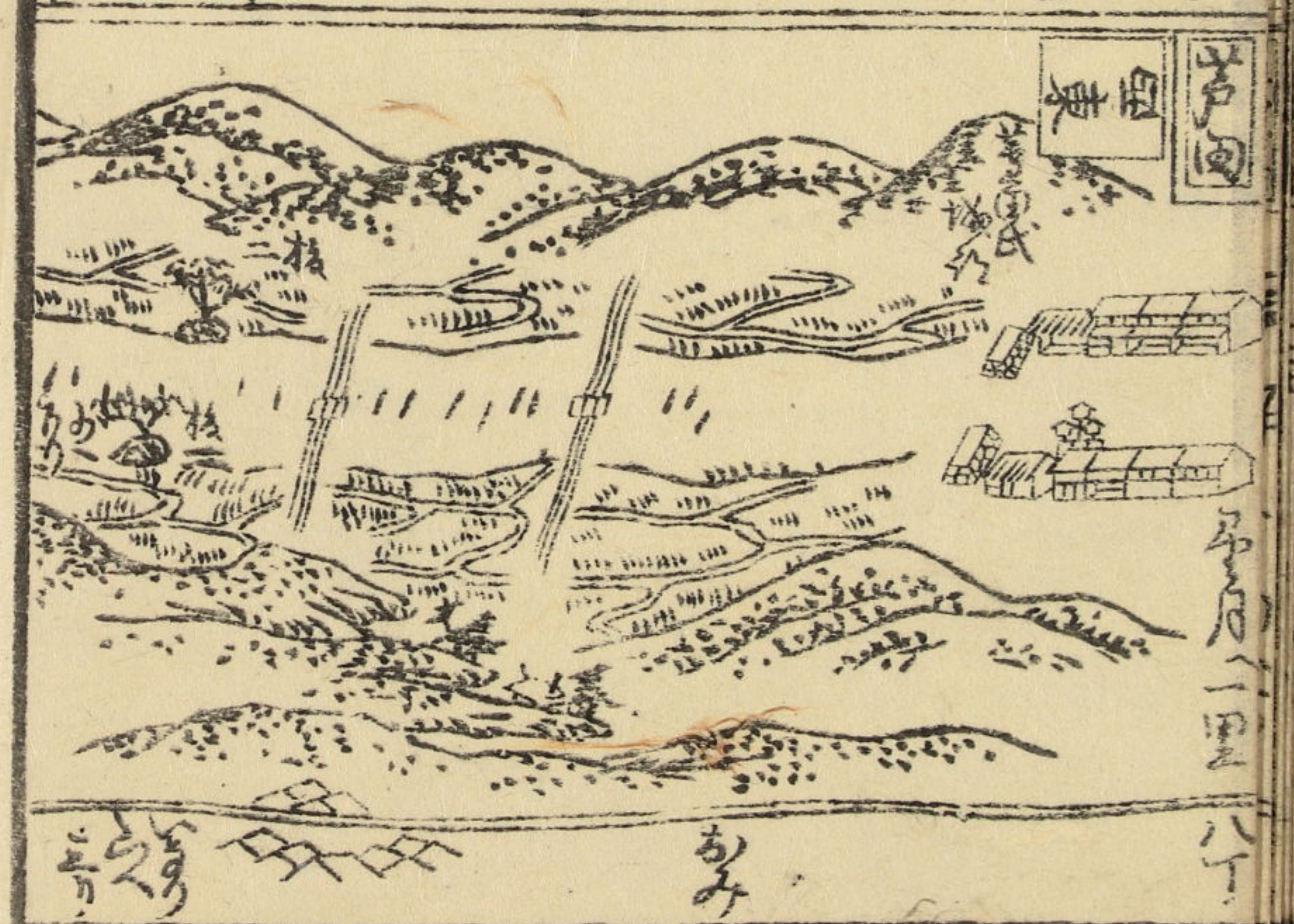
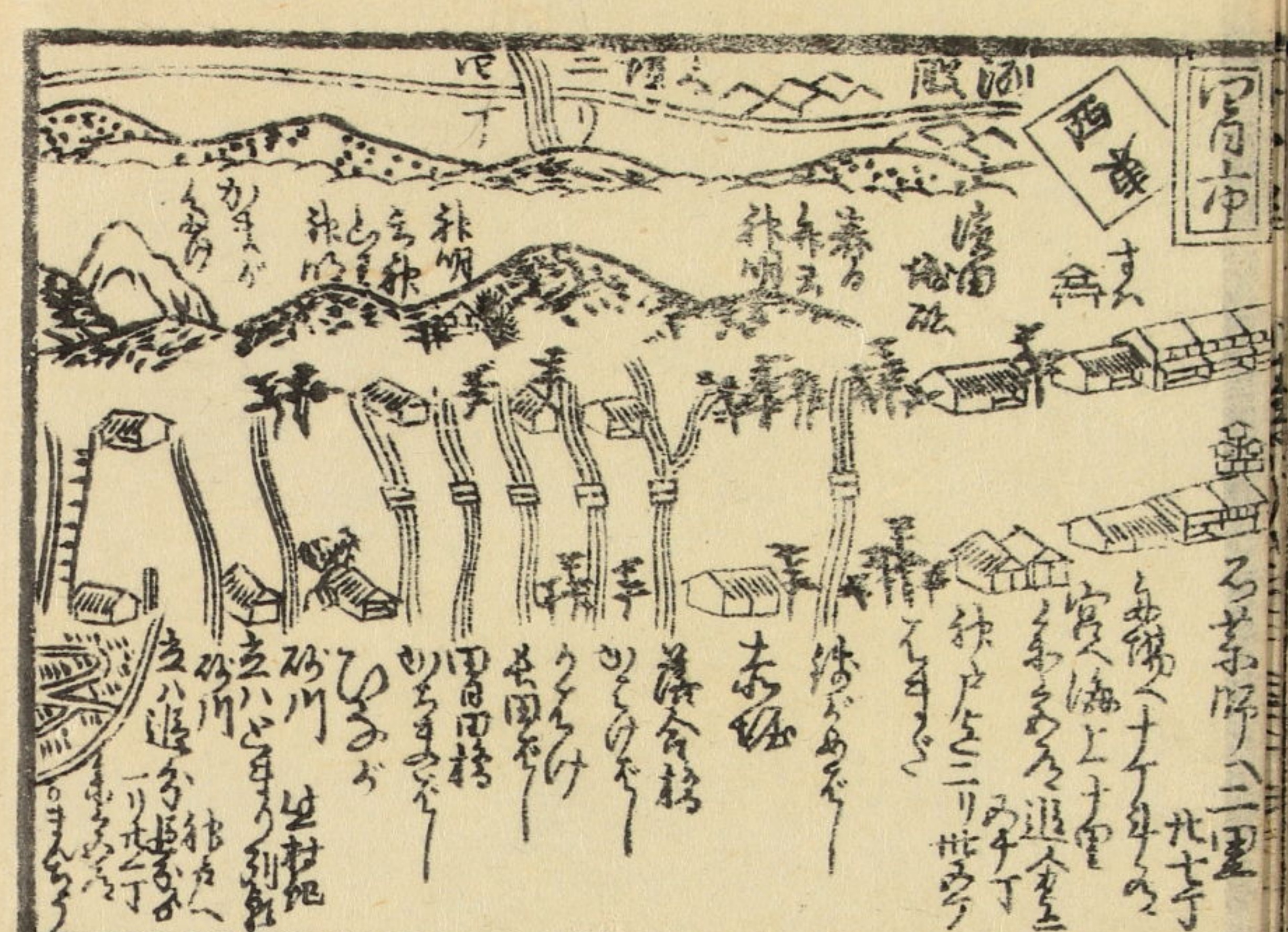
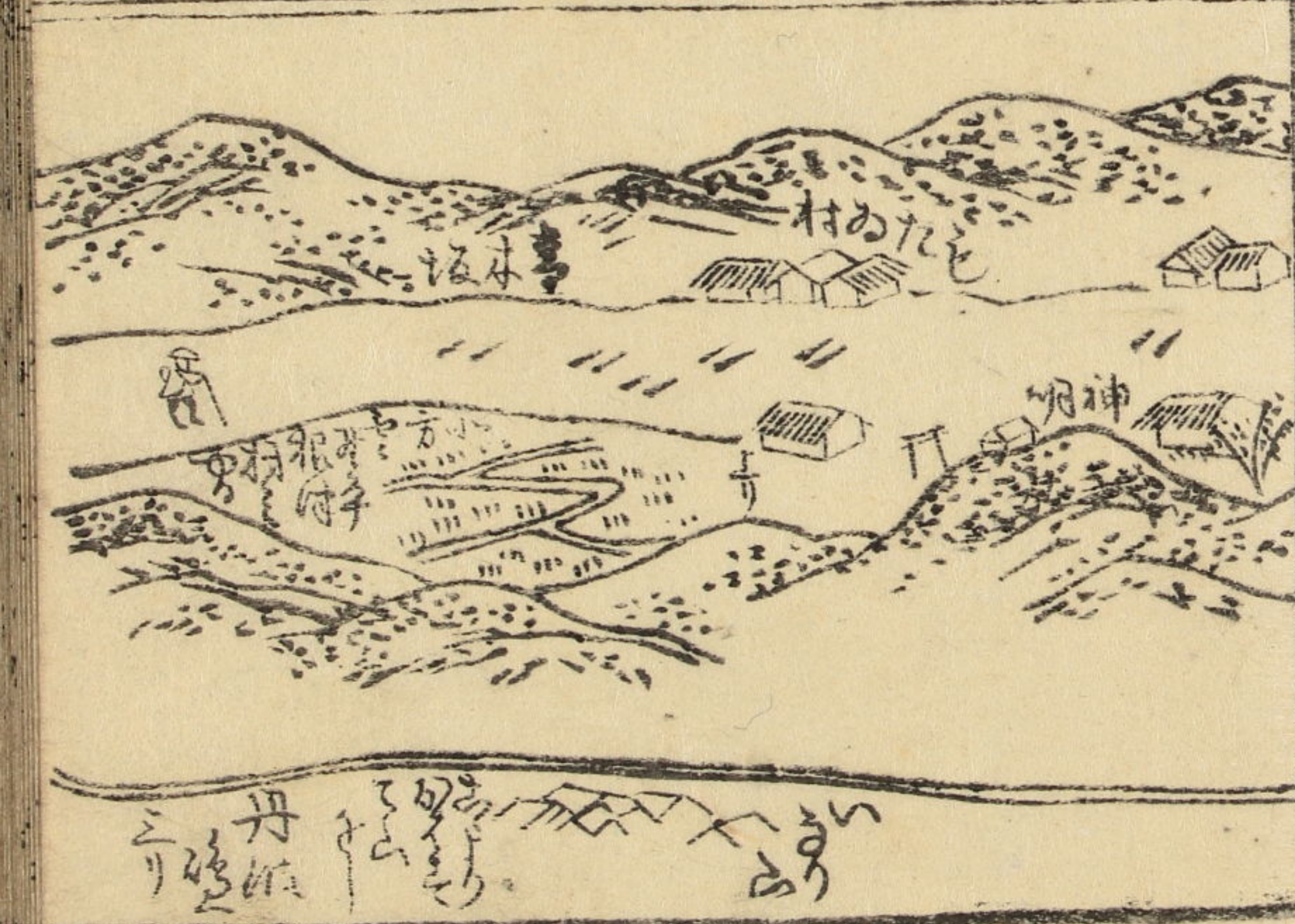
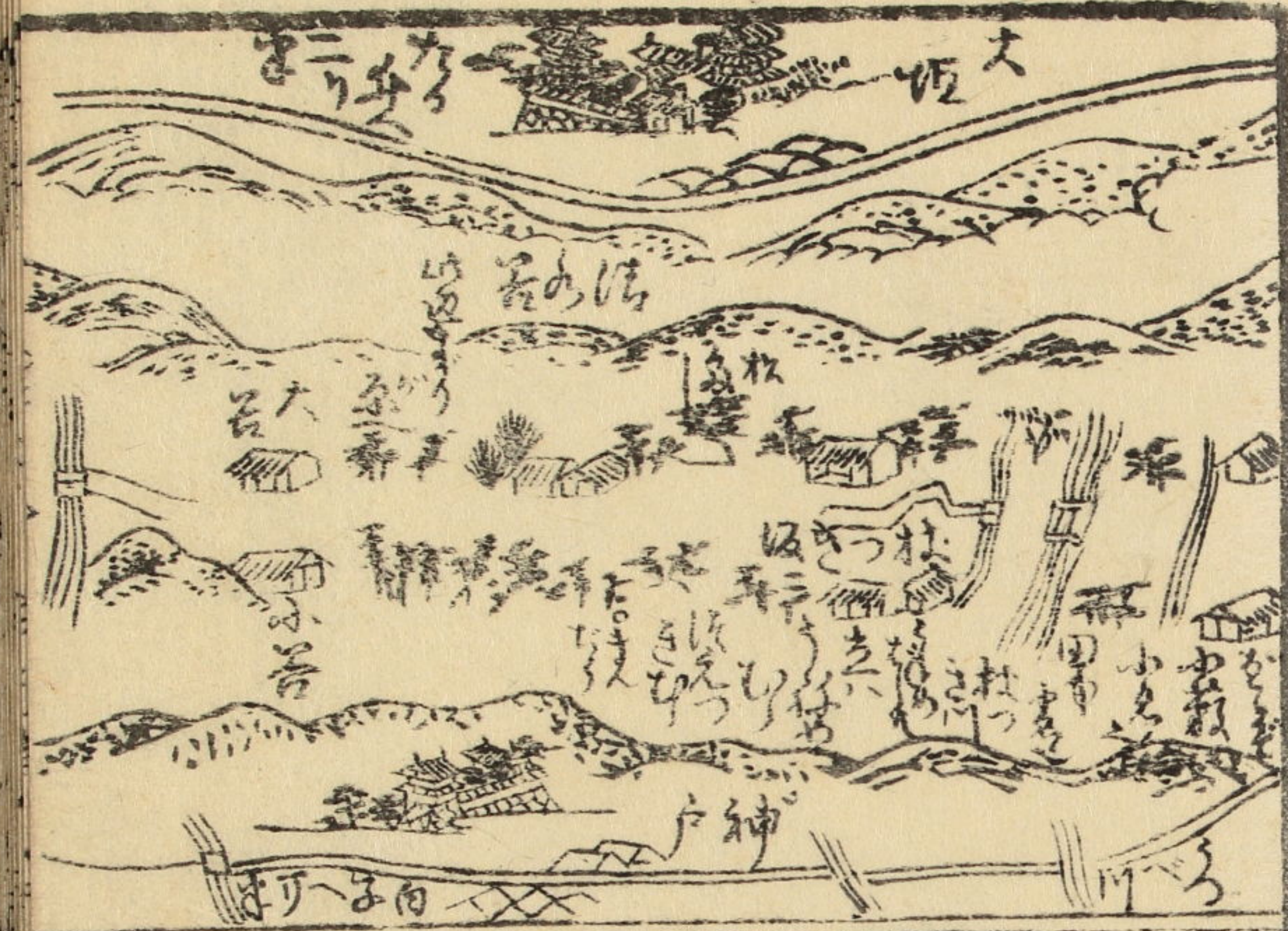




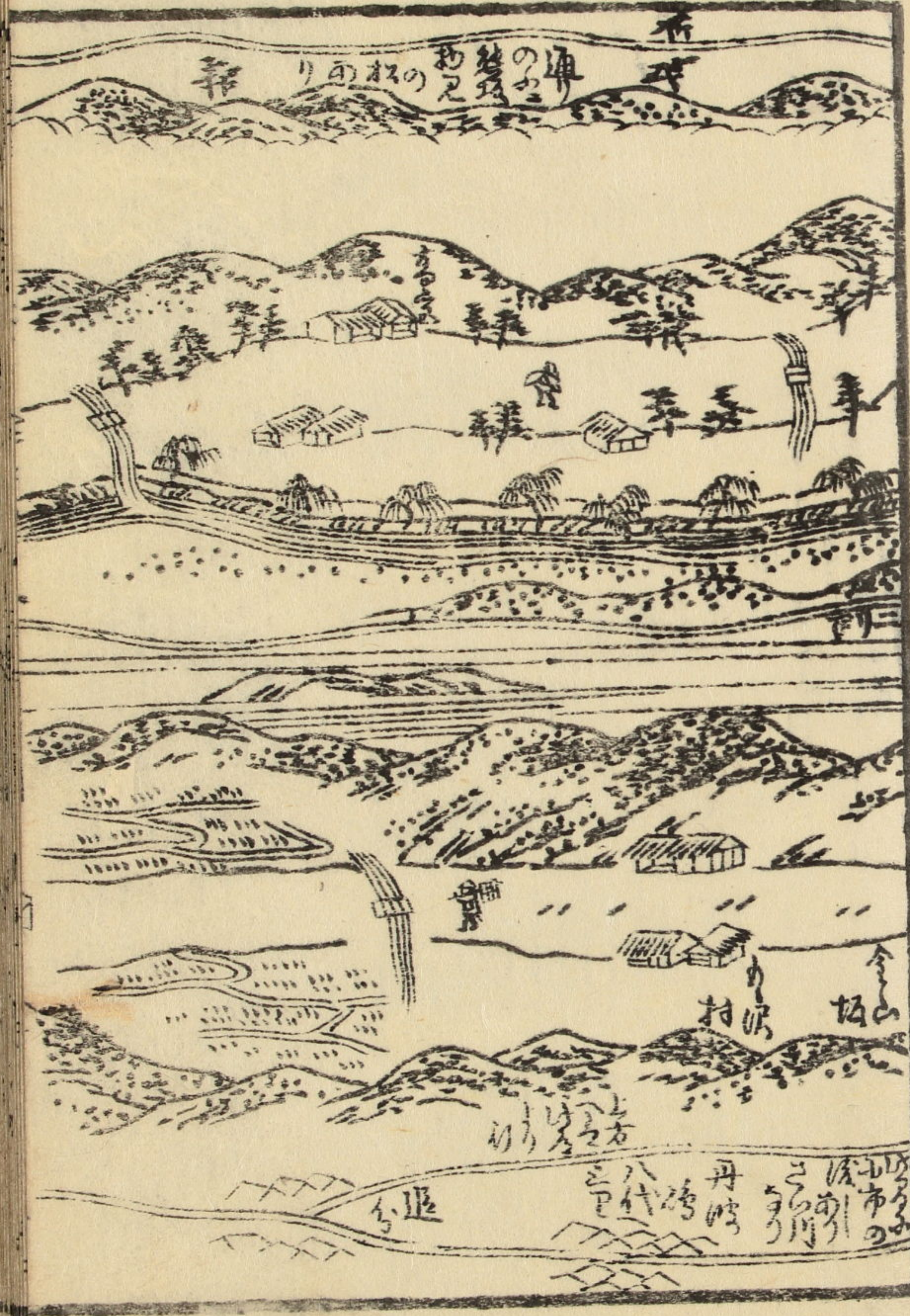
地名

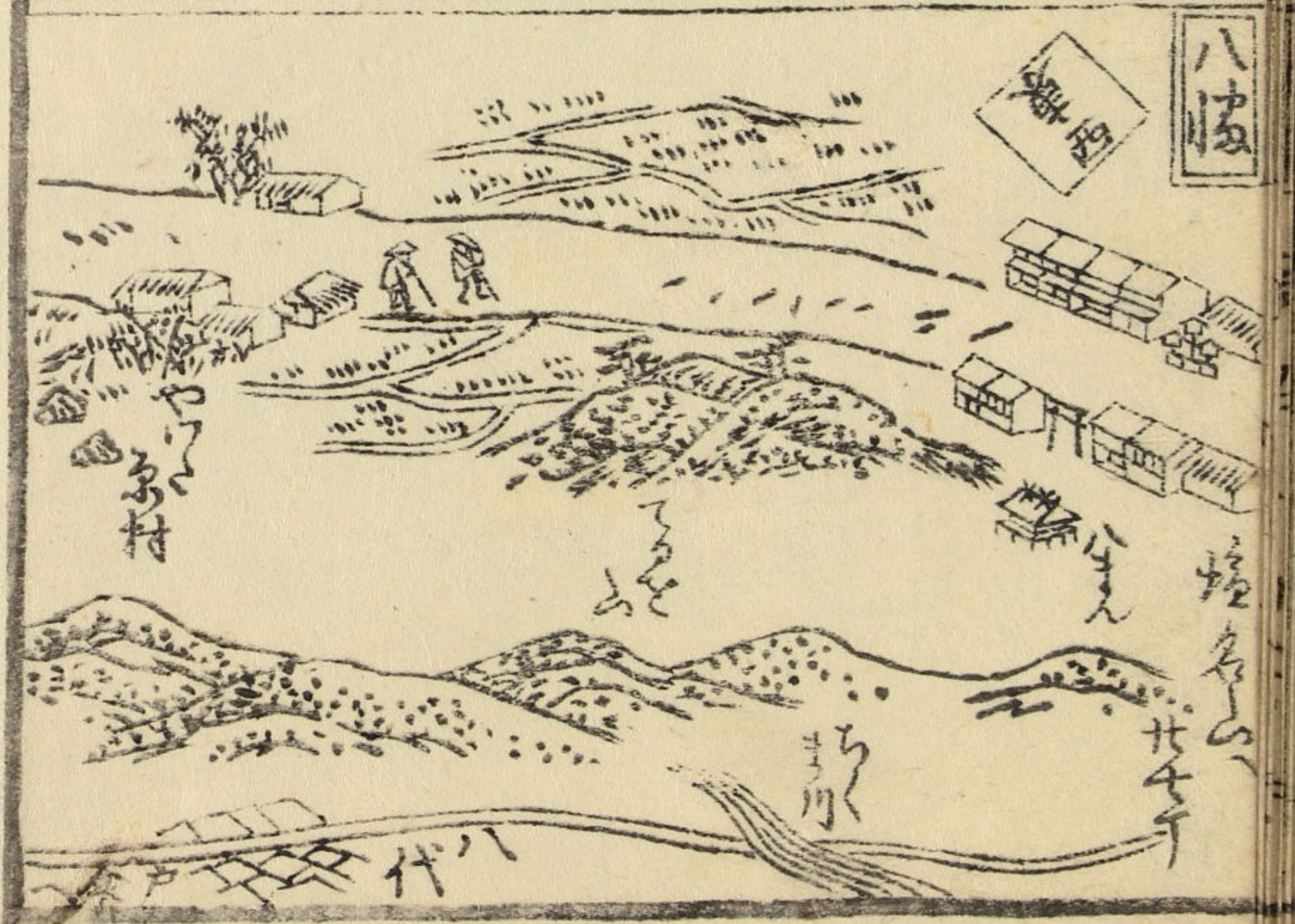
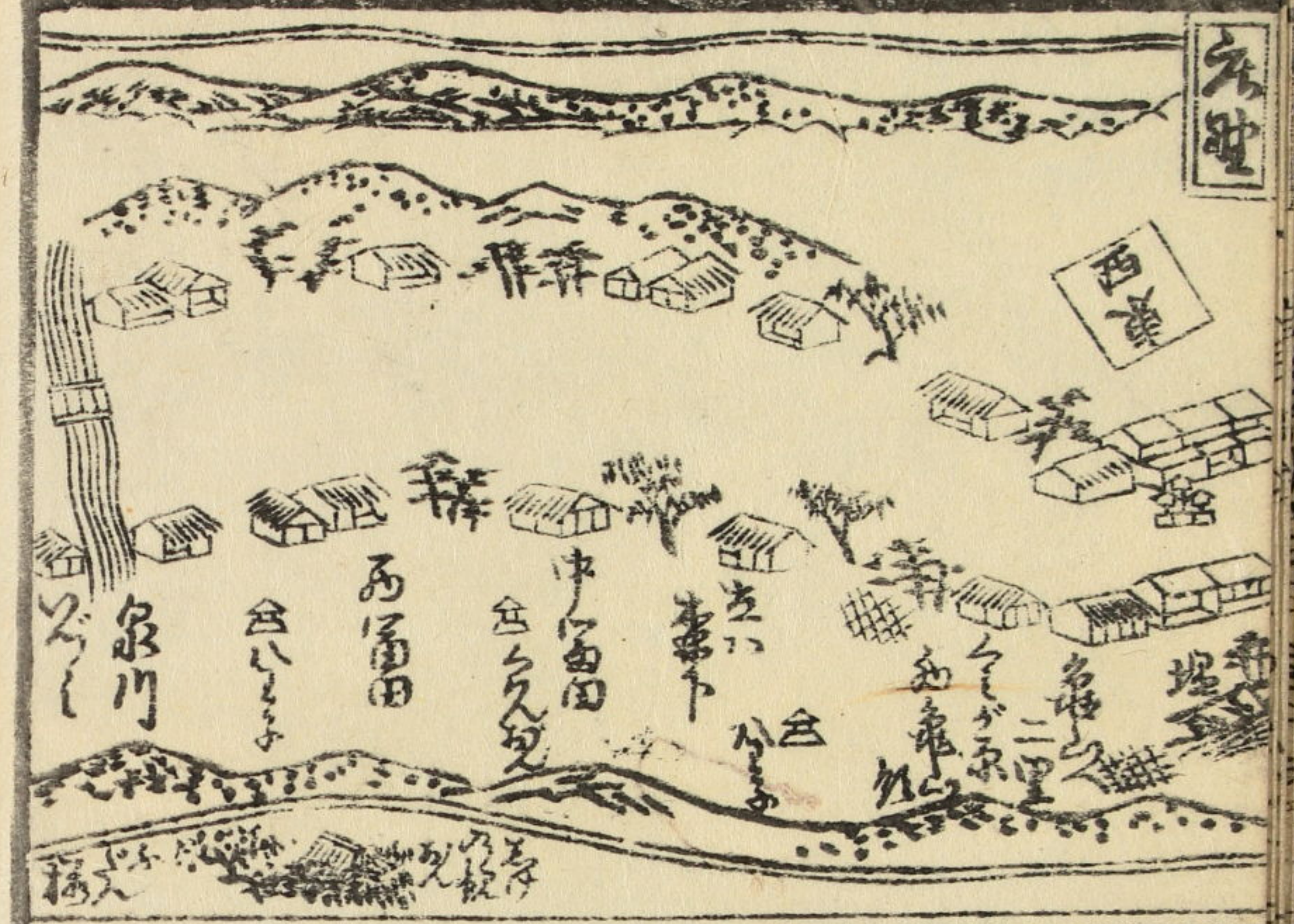
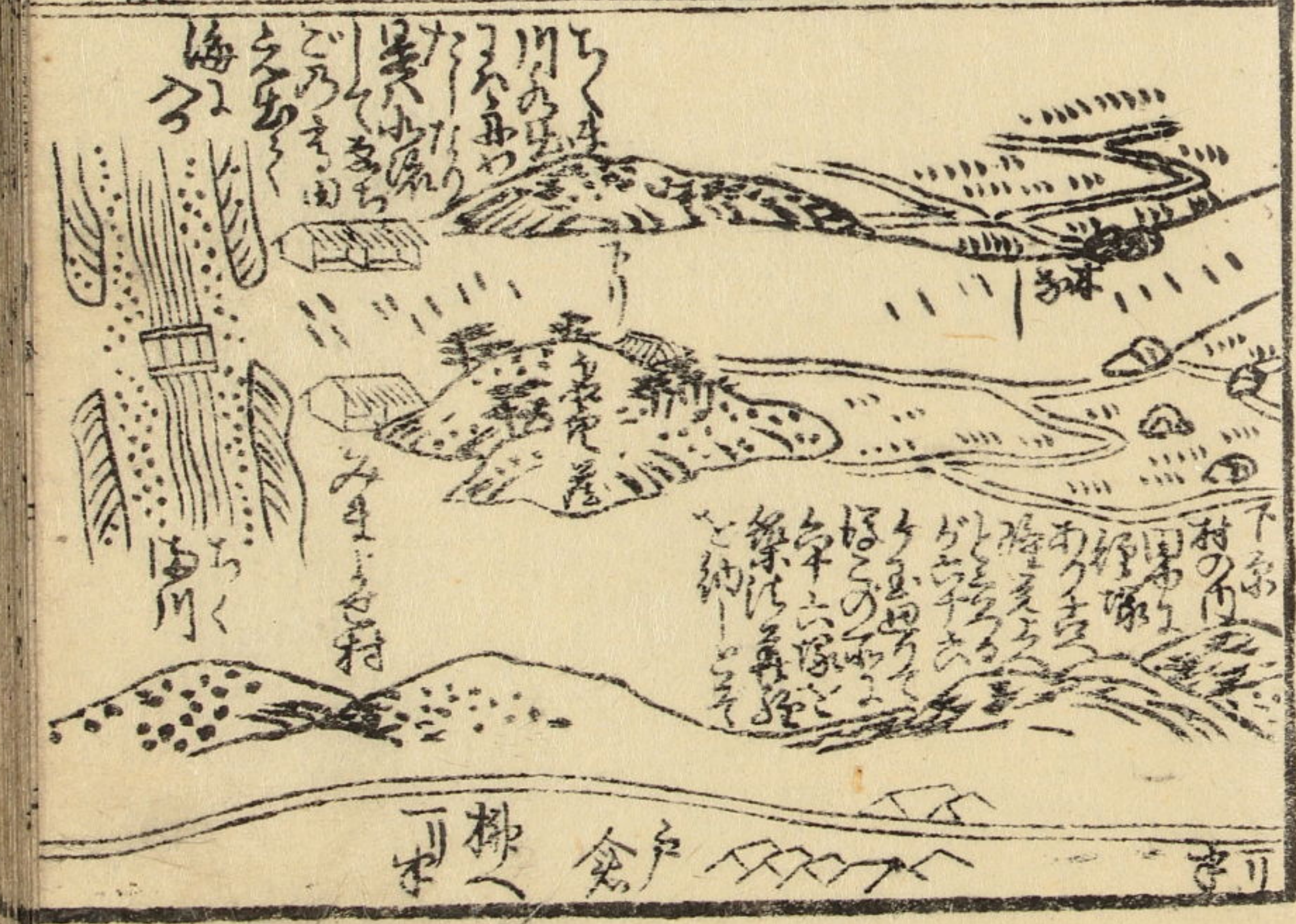
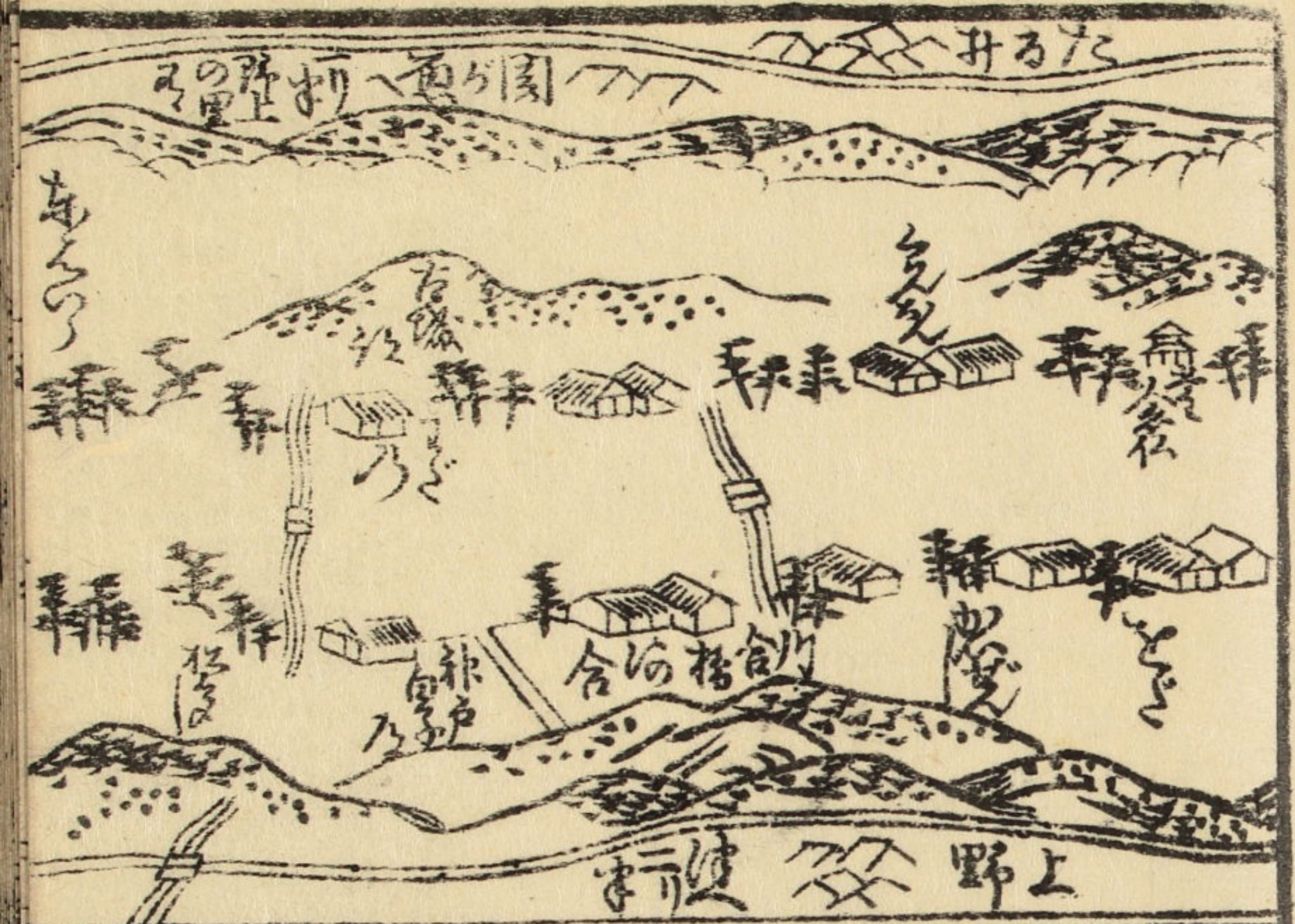
地名

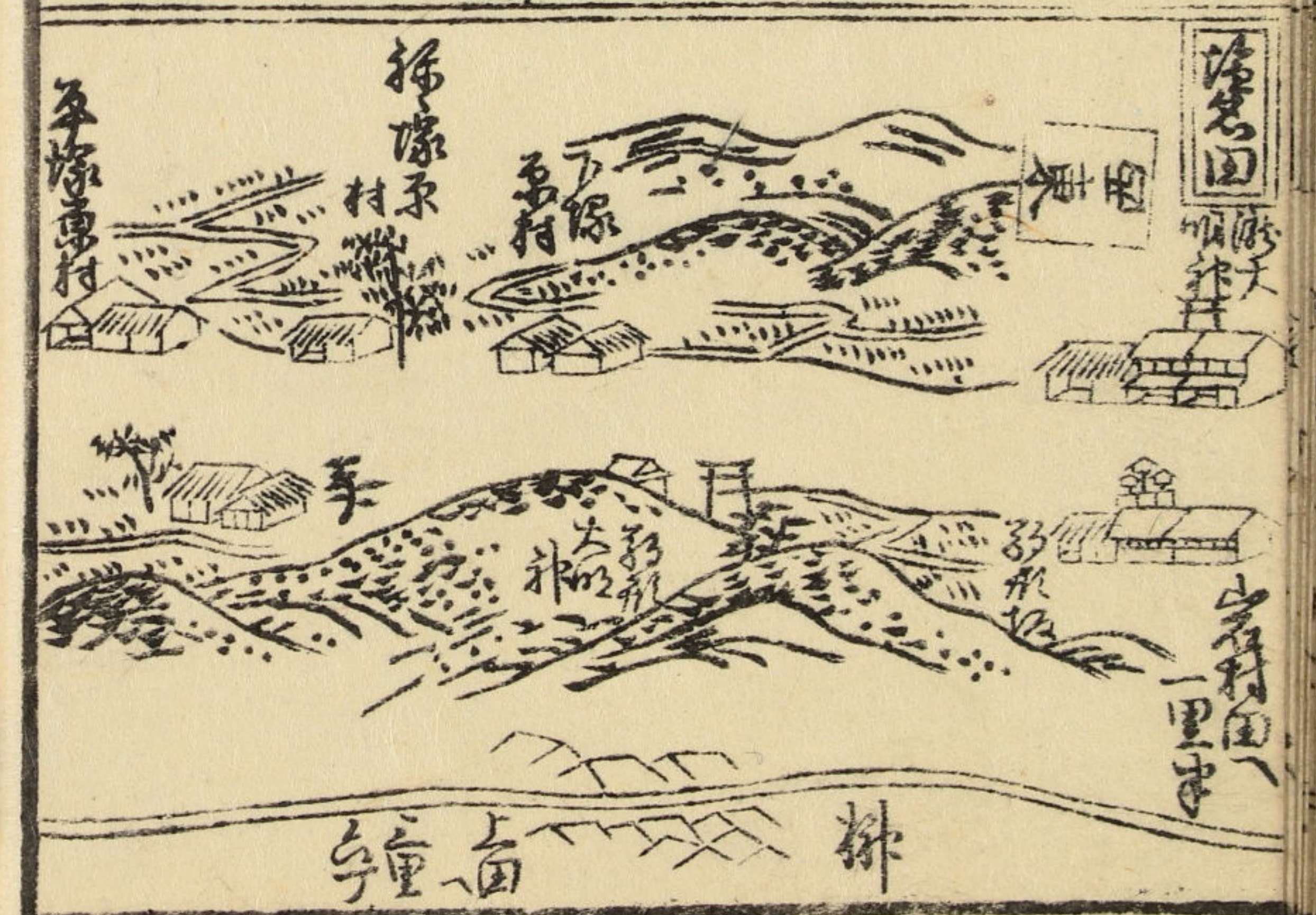
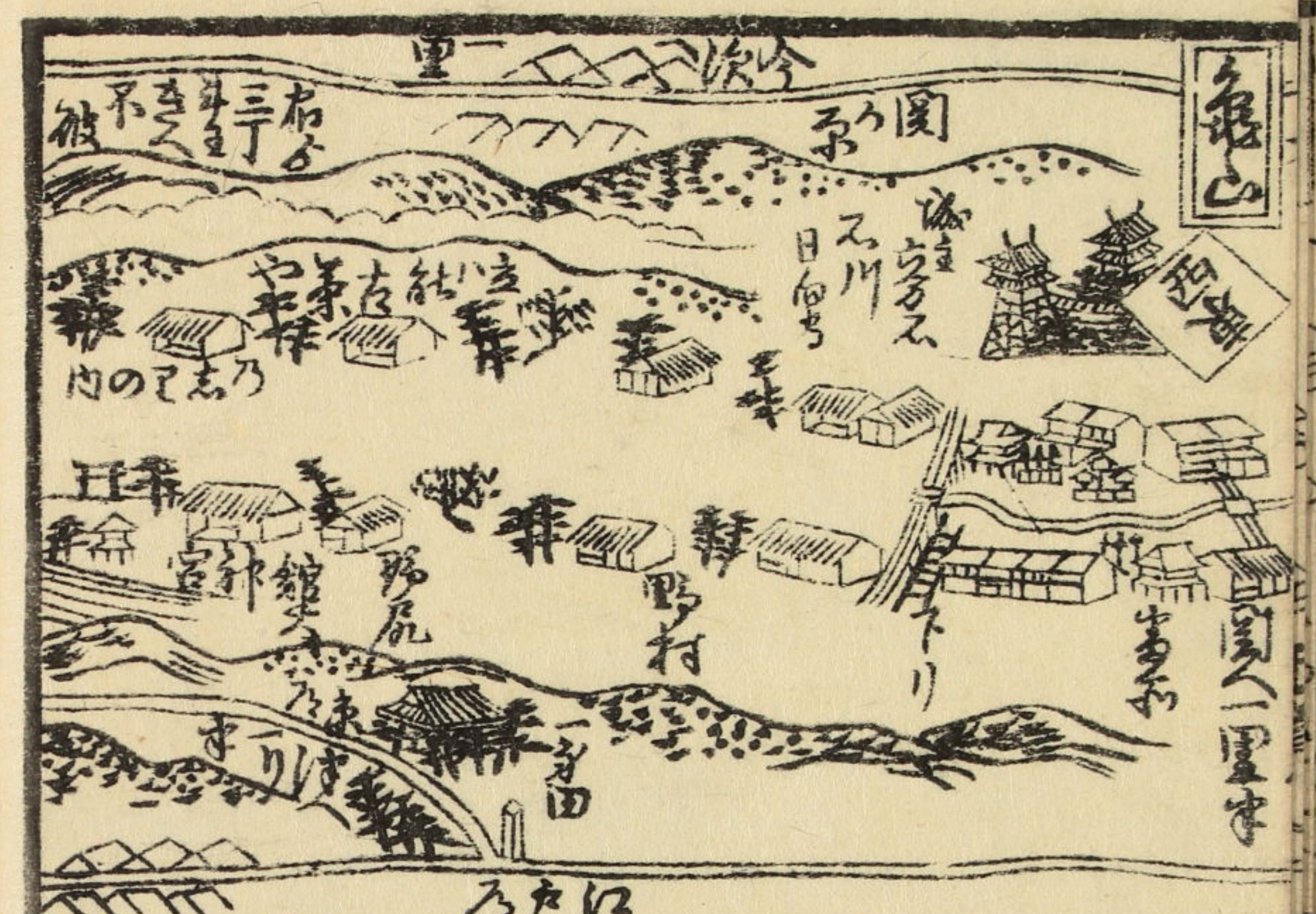
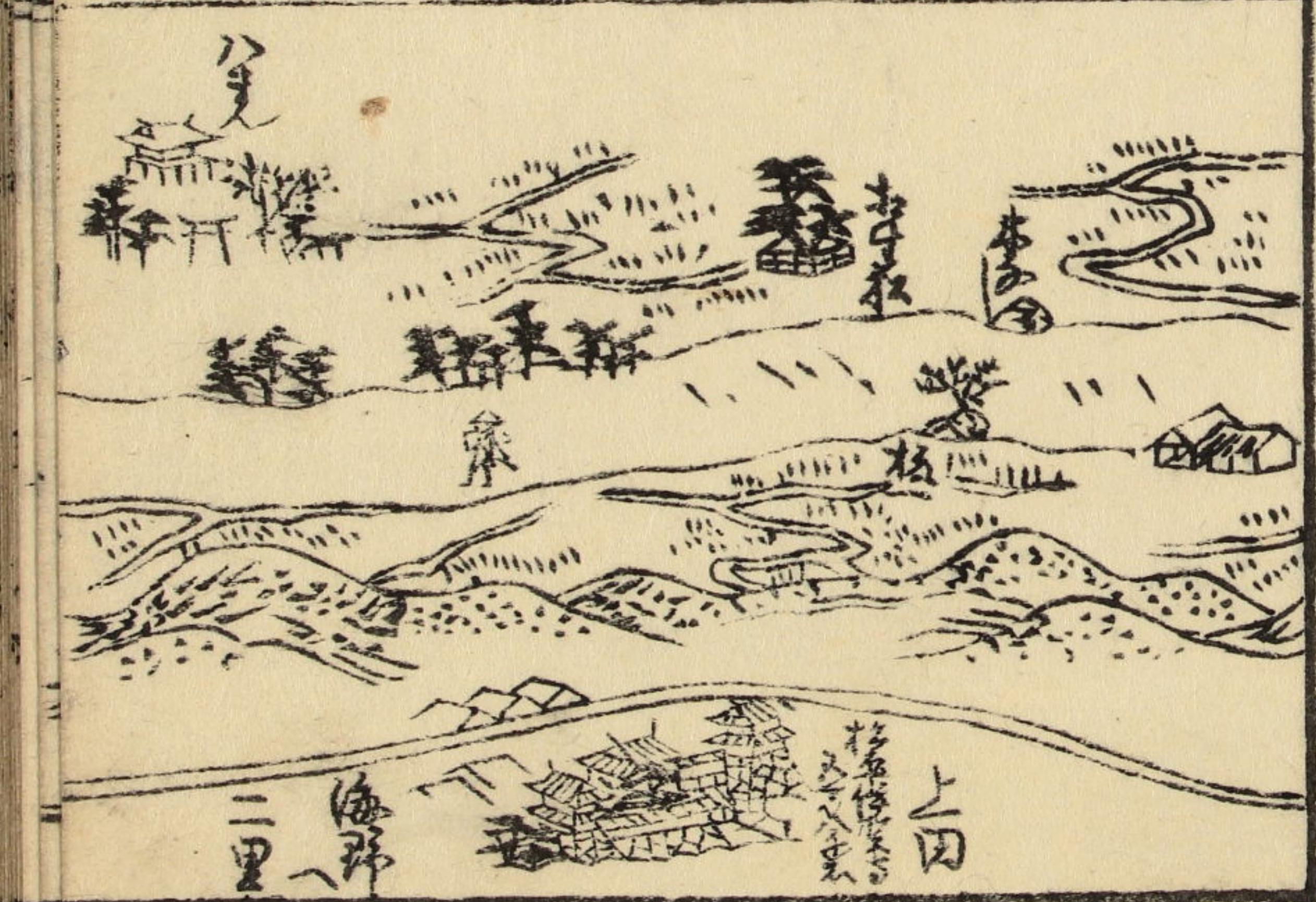
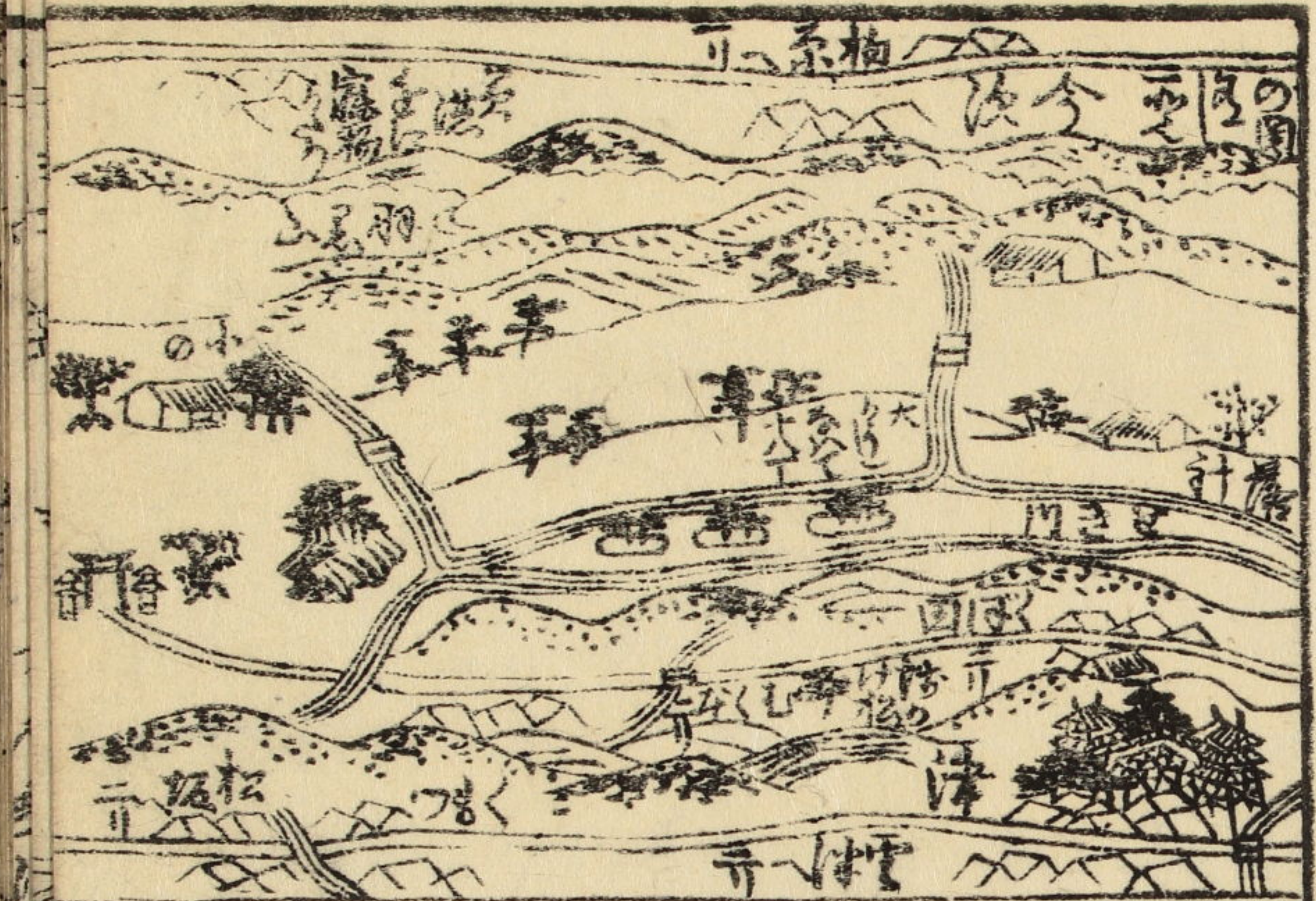
12

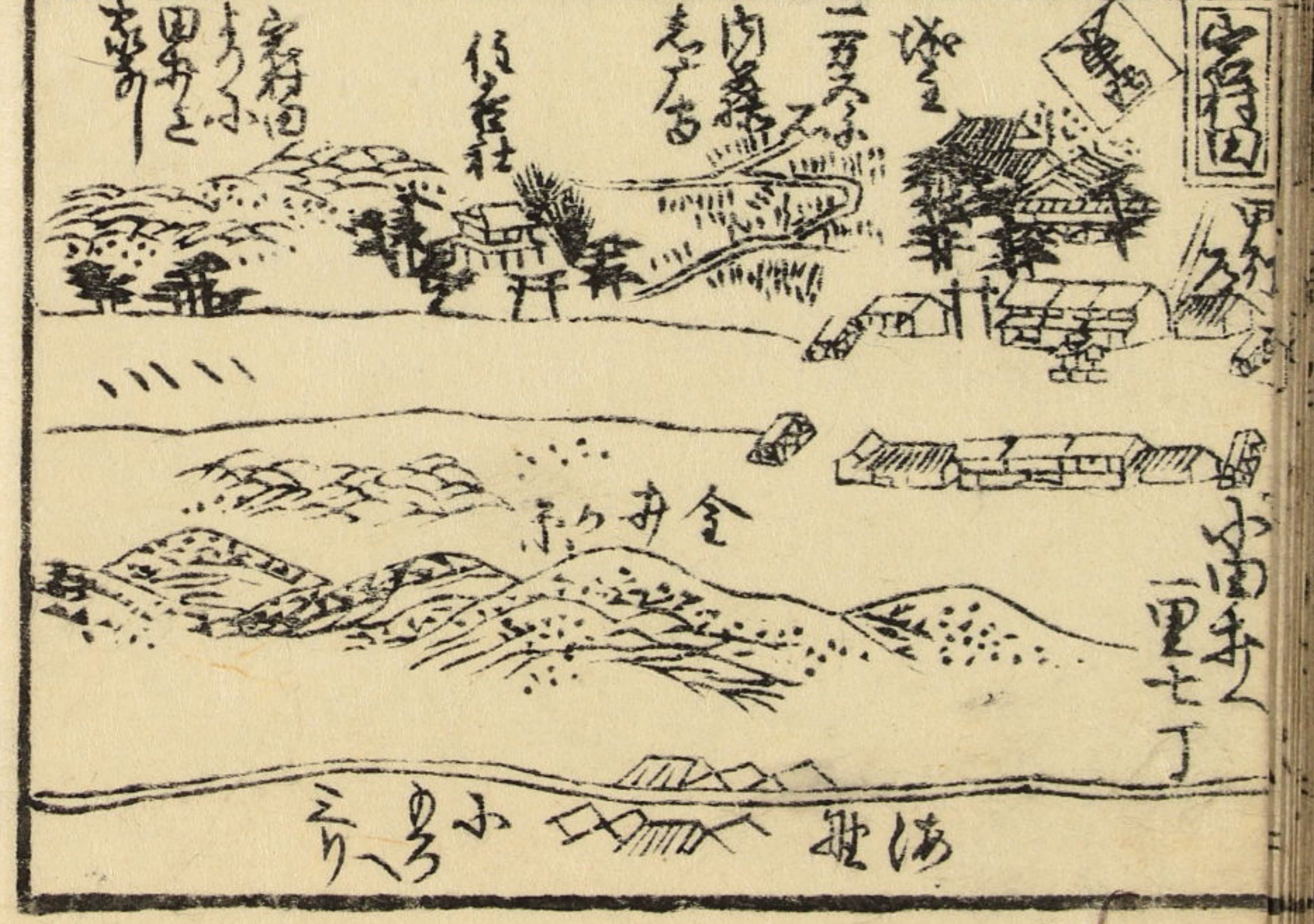
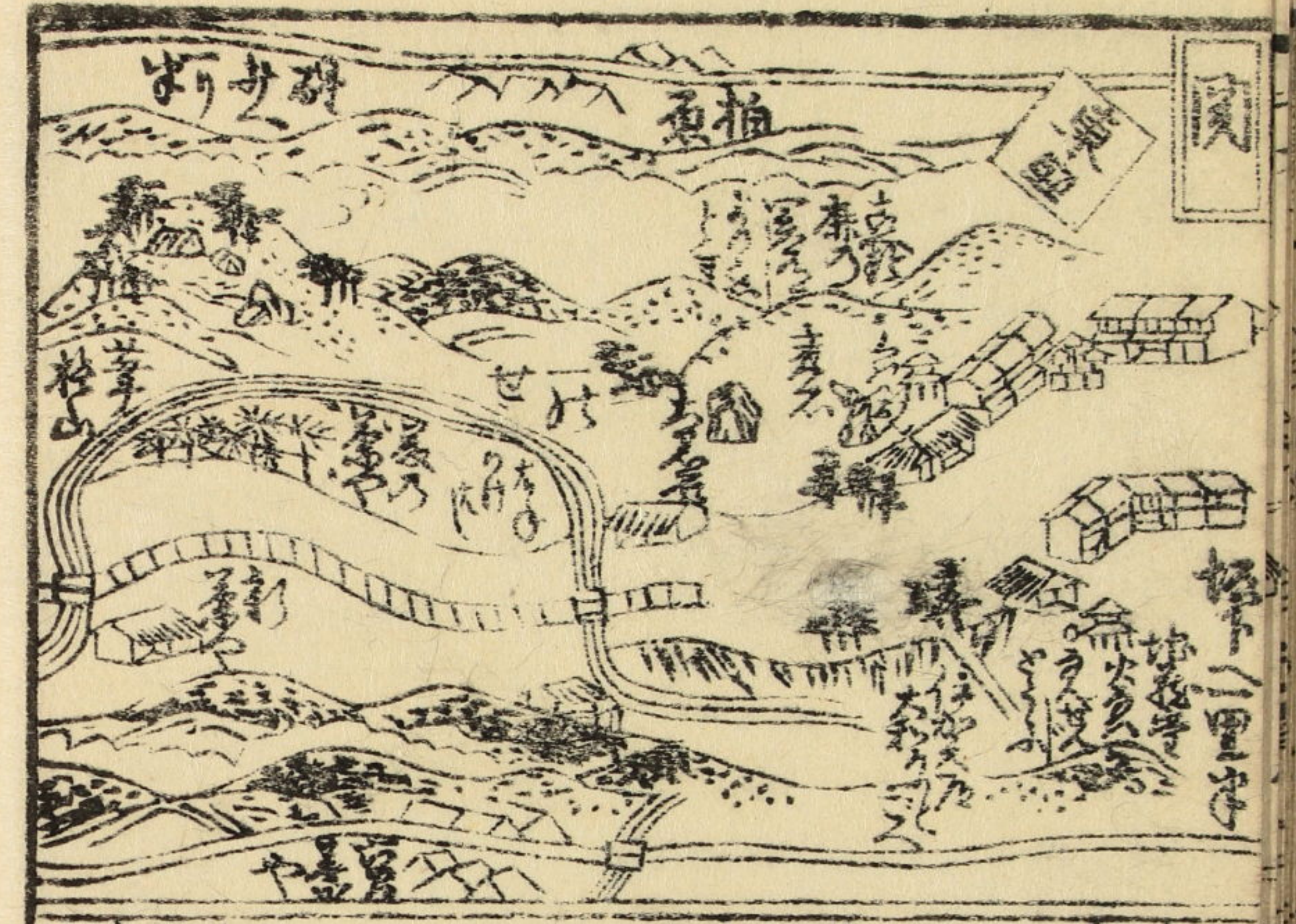
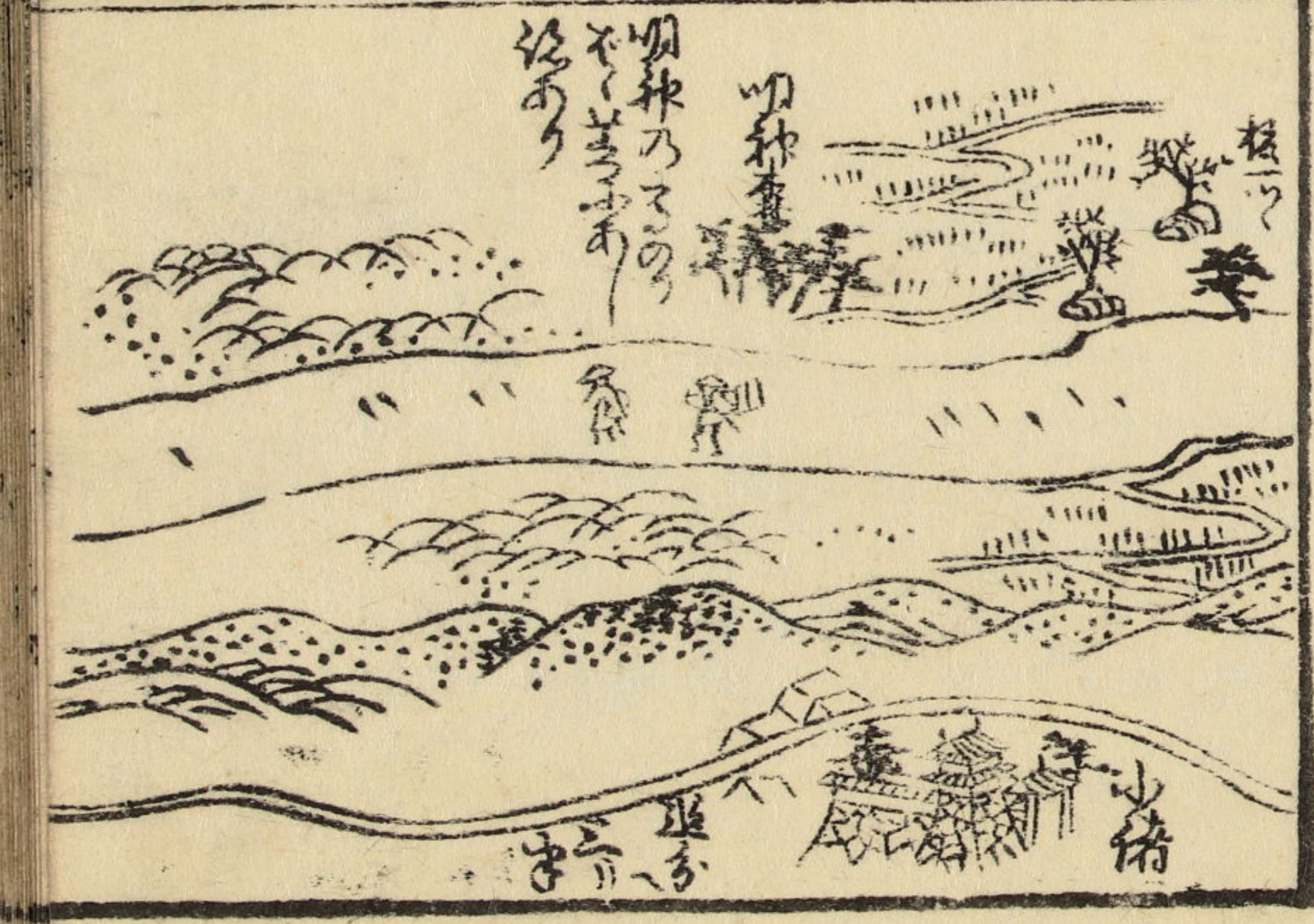
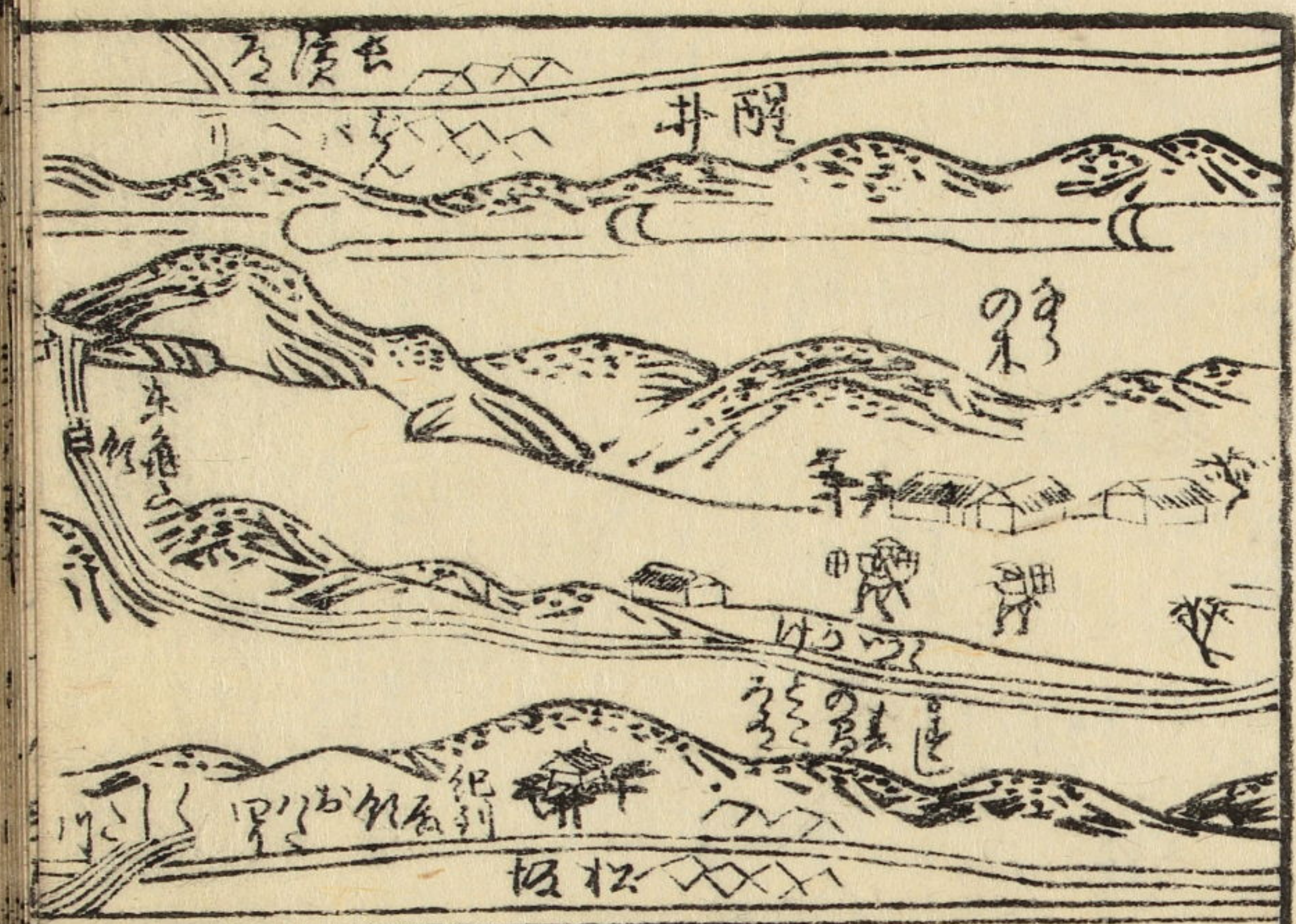


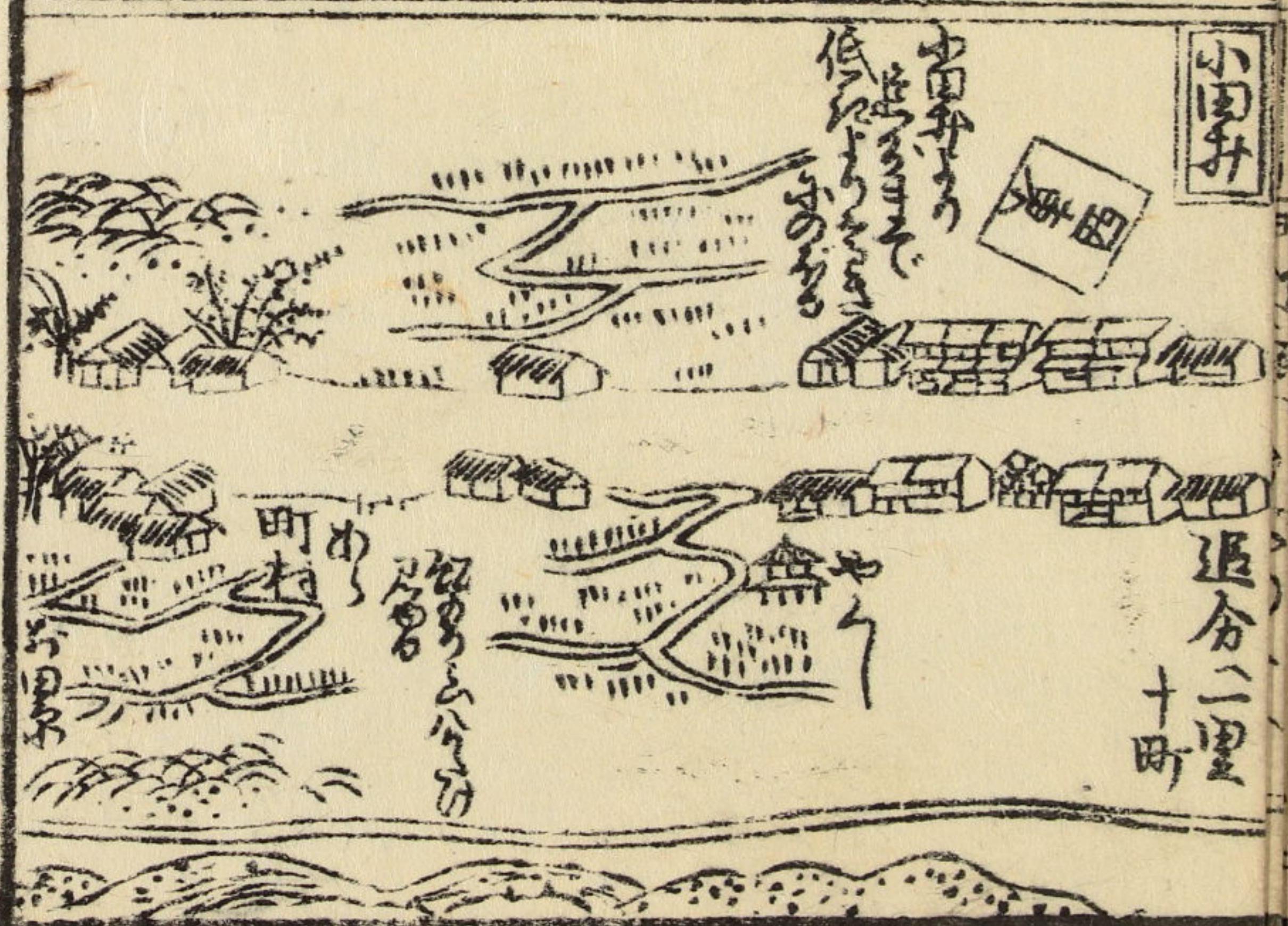
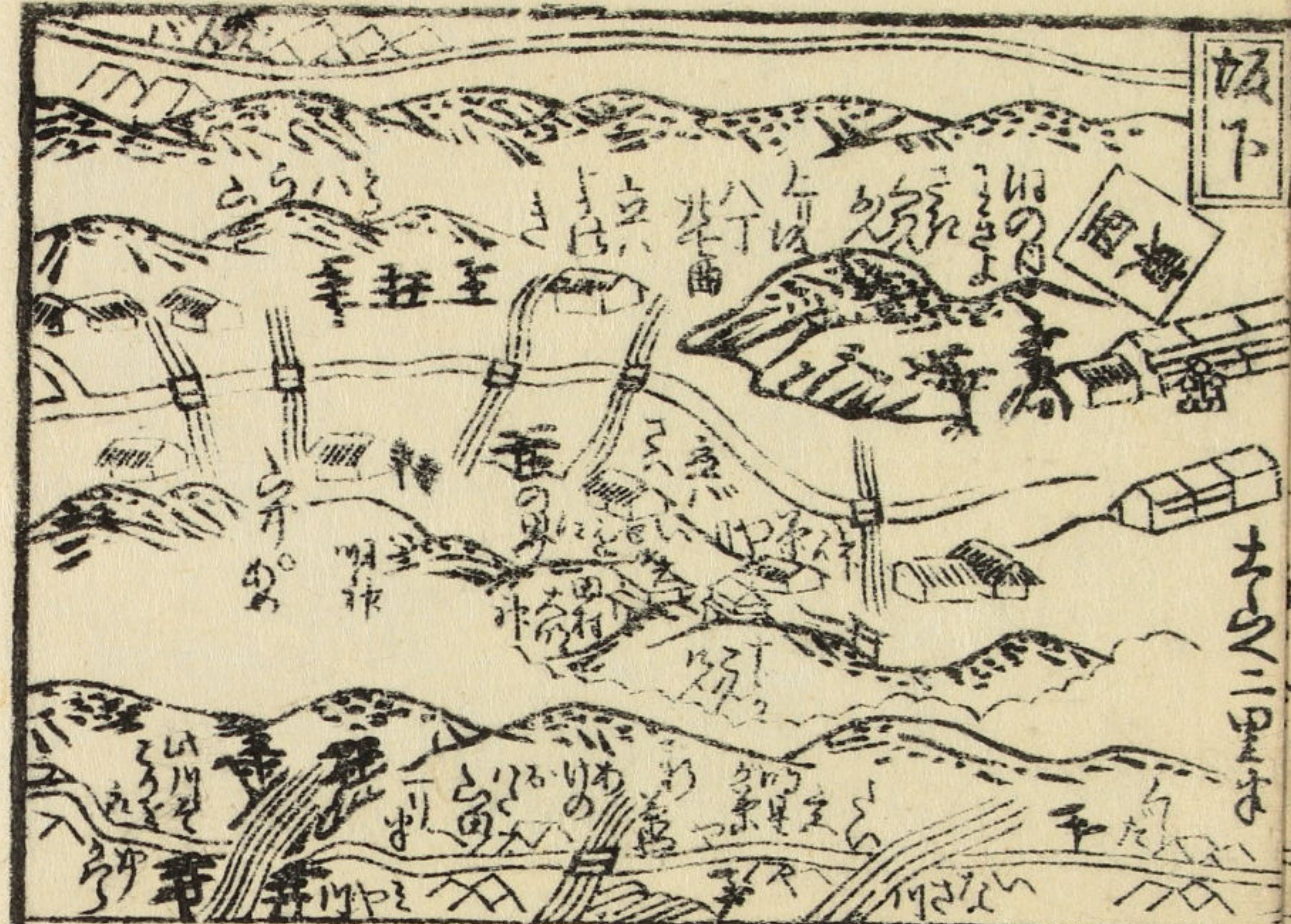
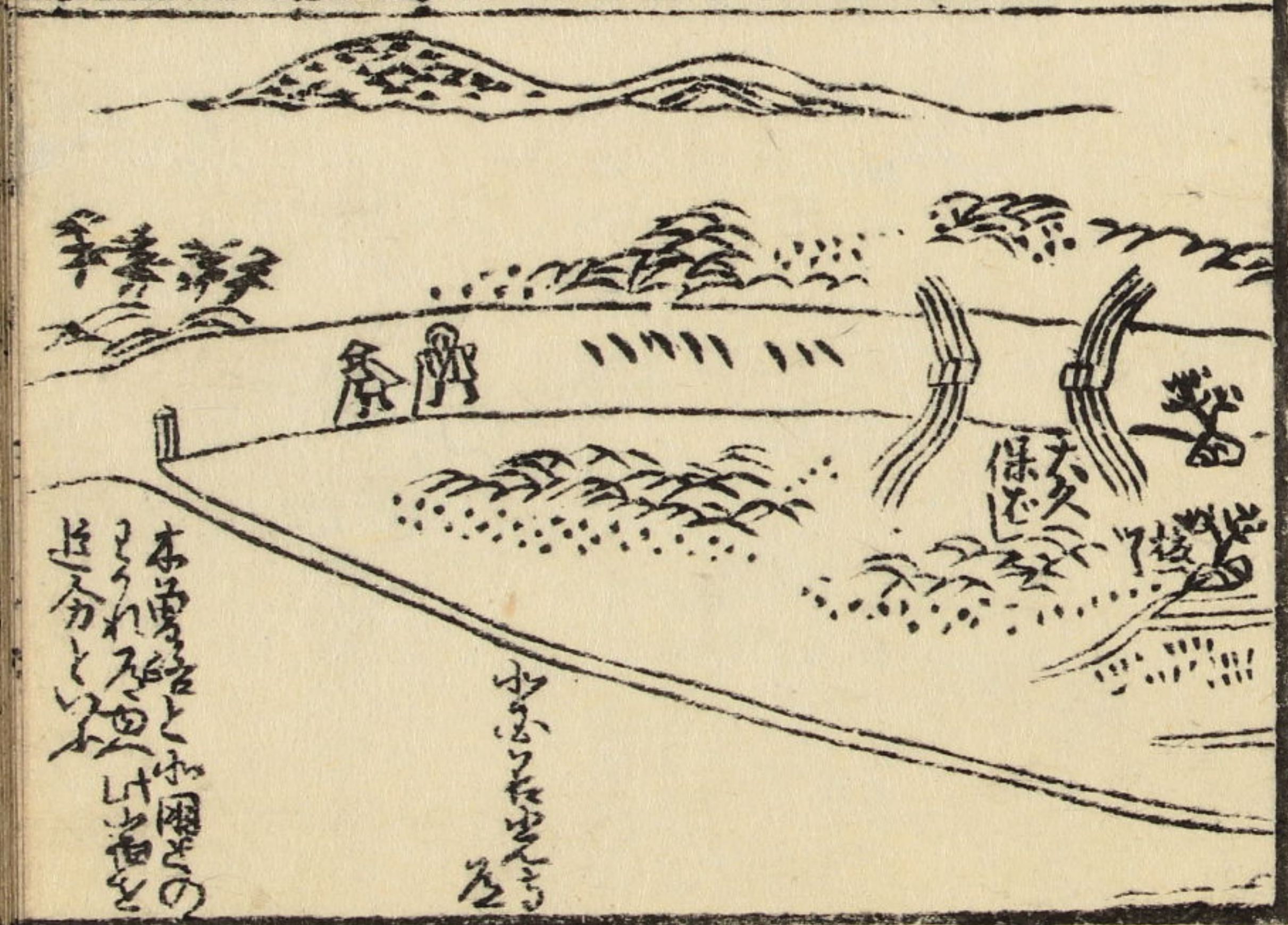


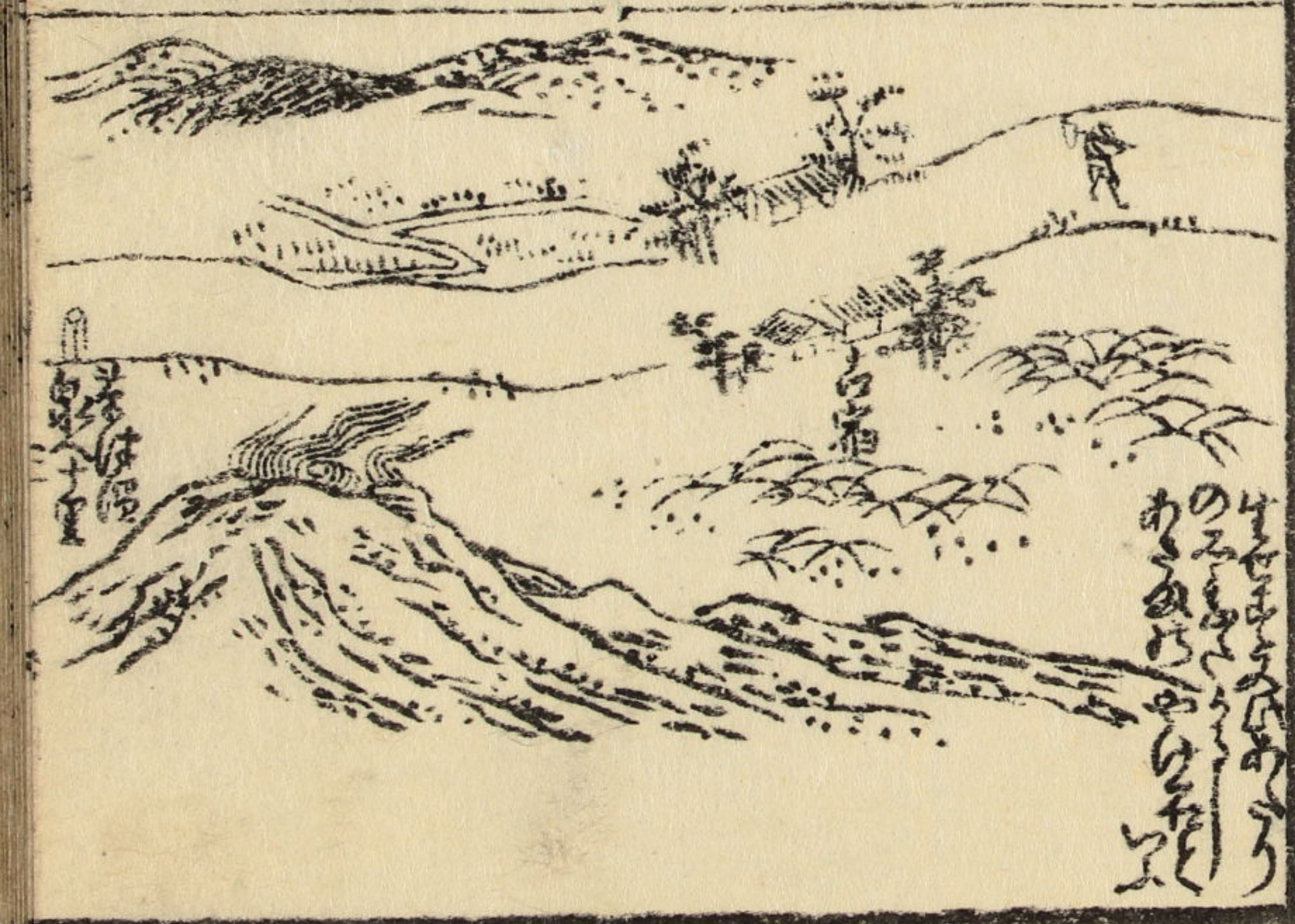
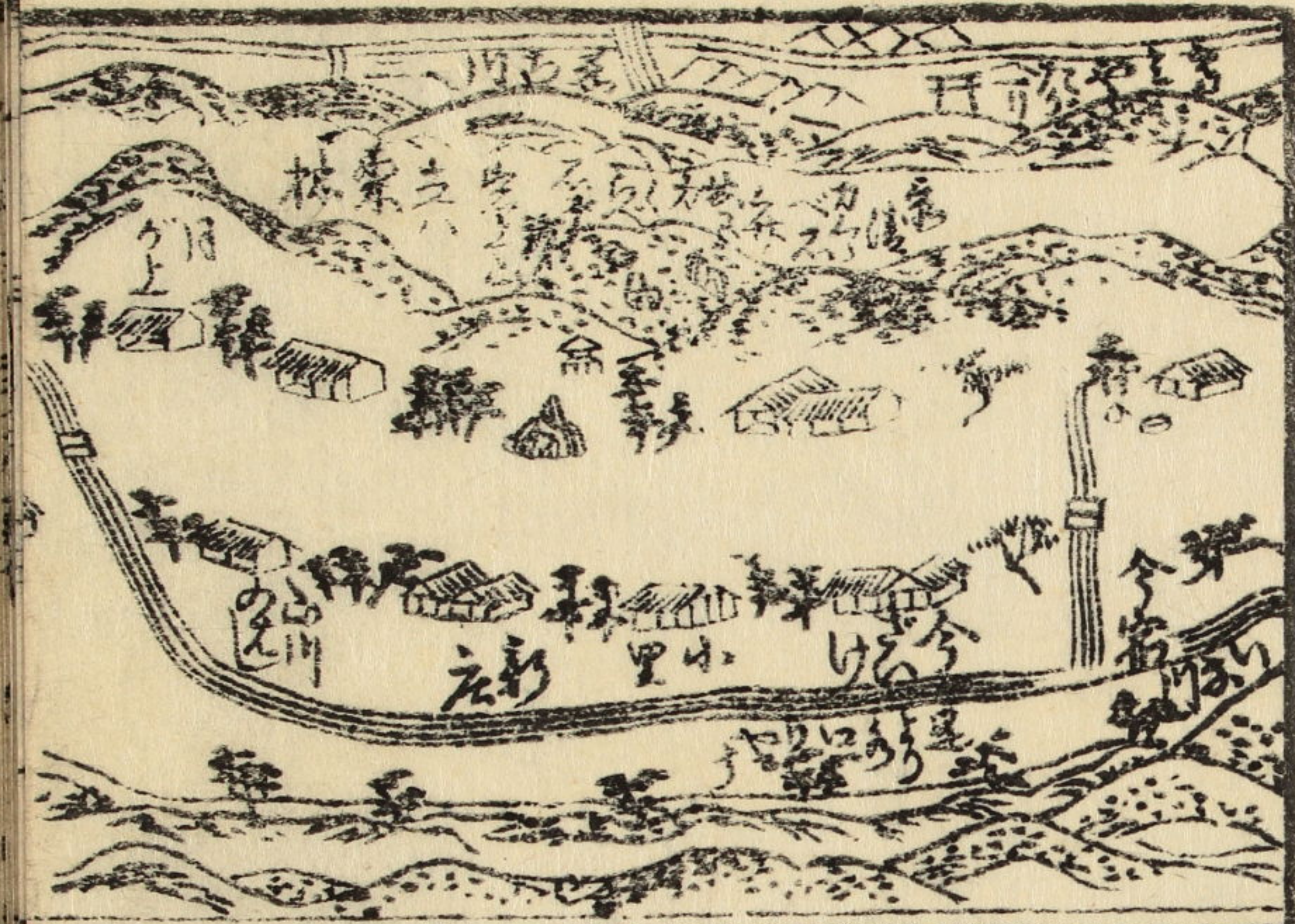




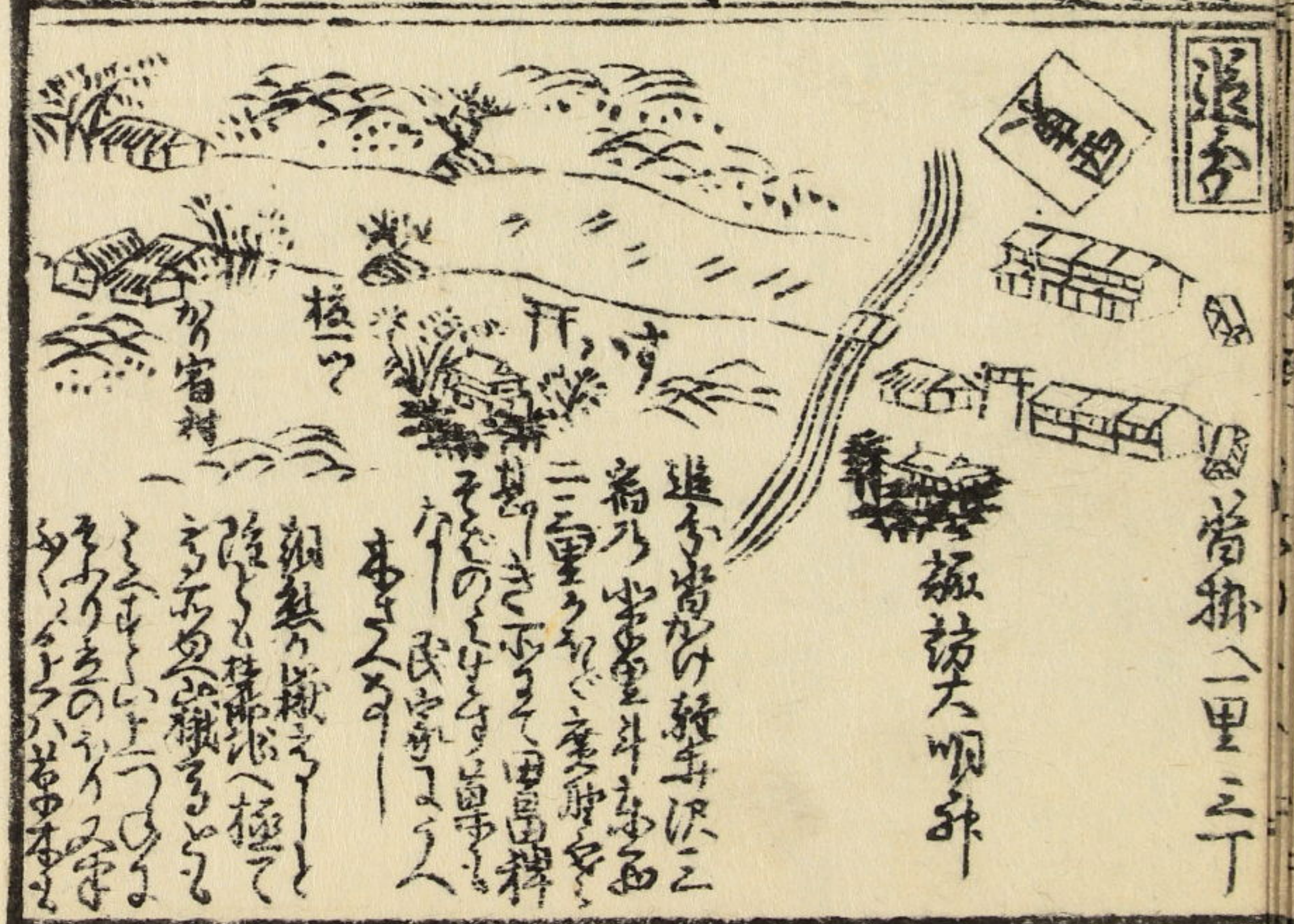
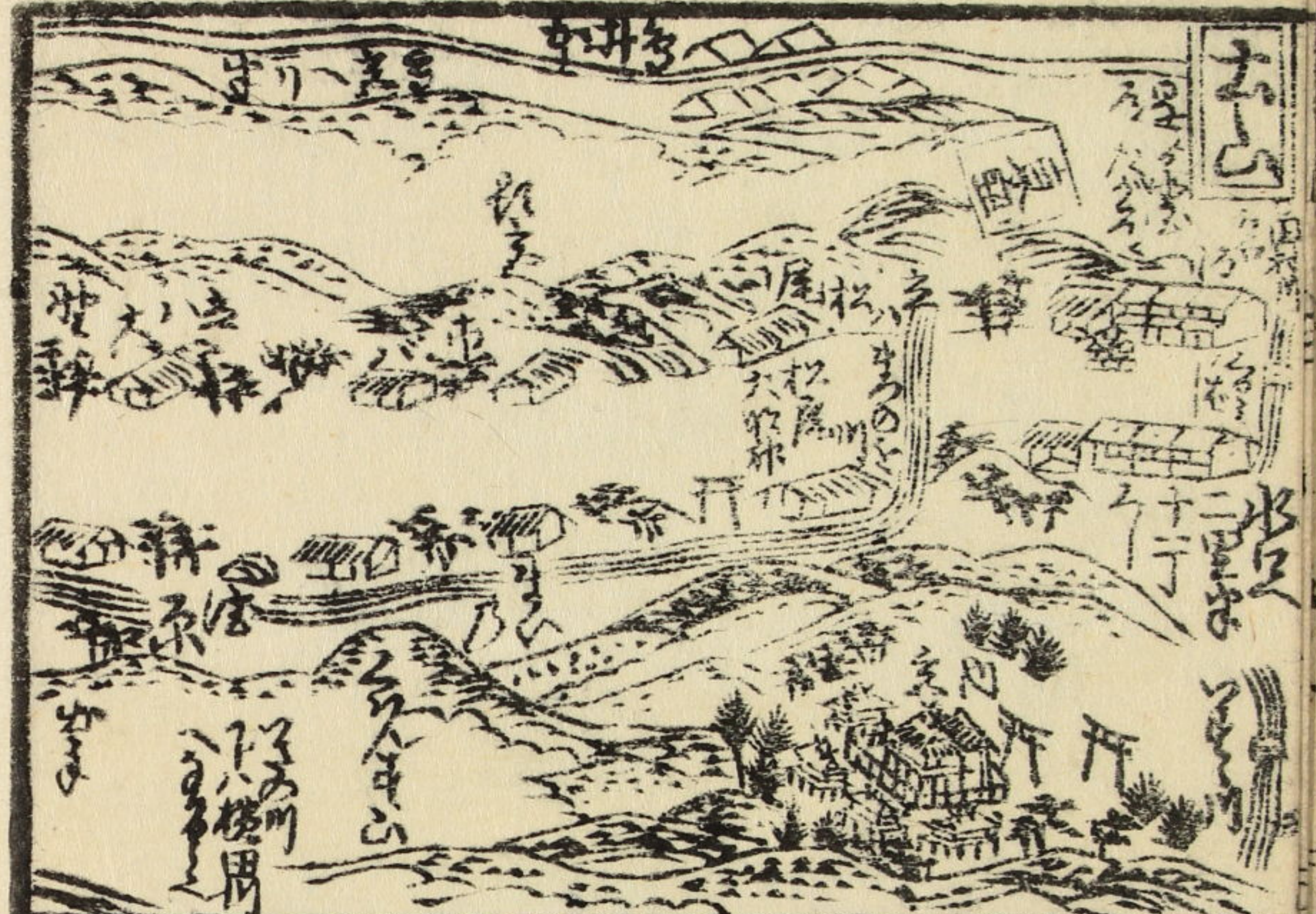








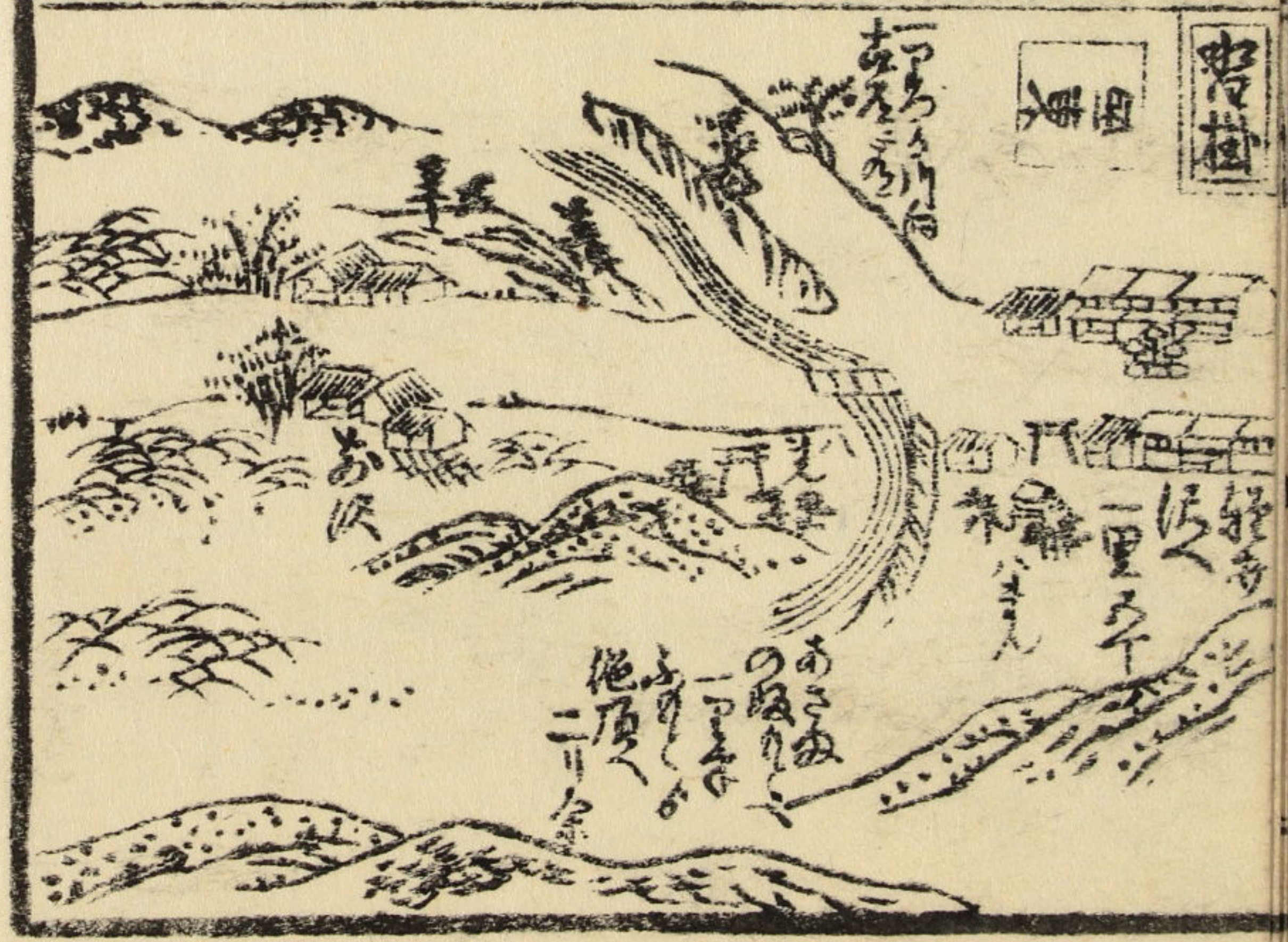
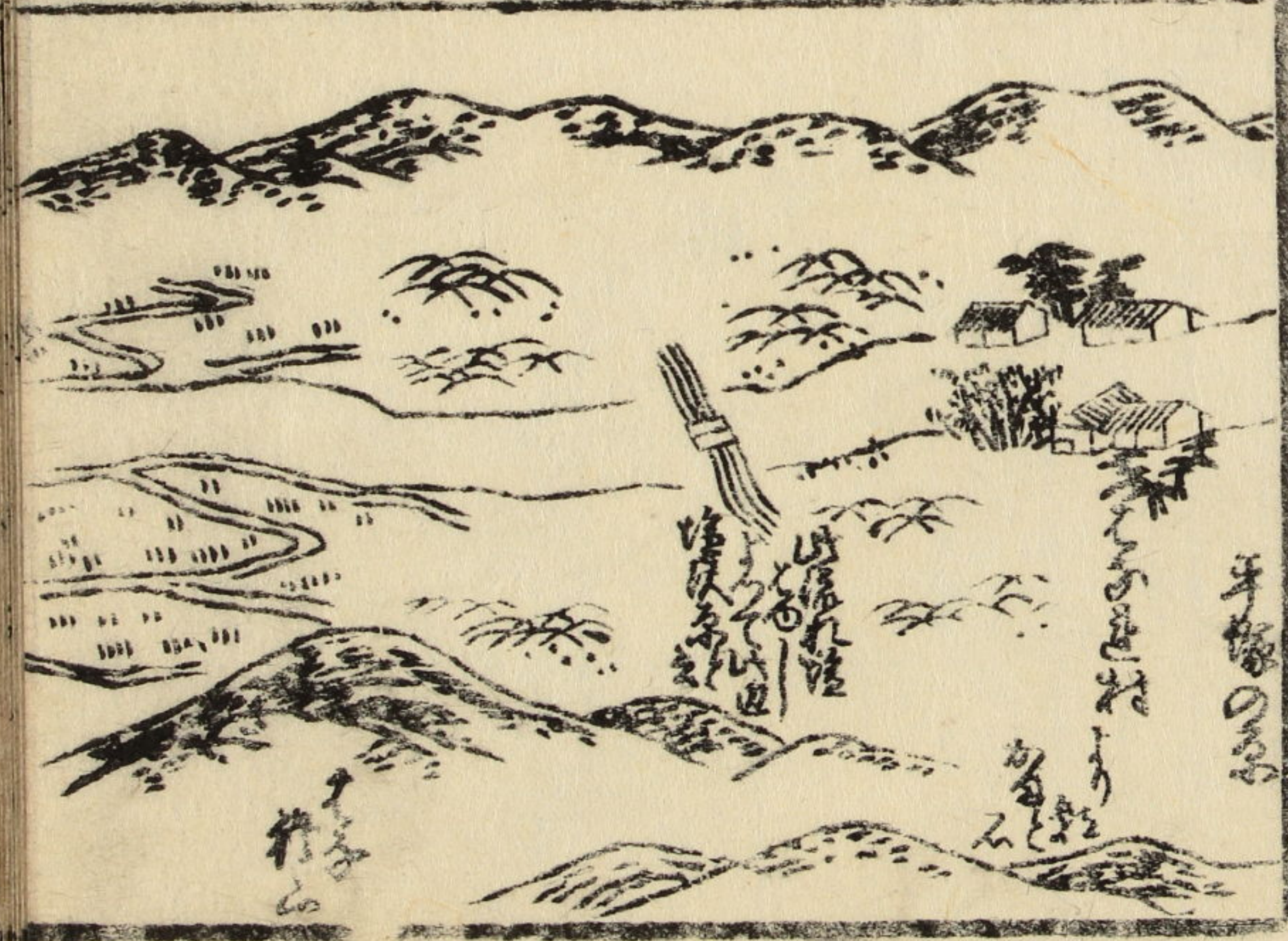
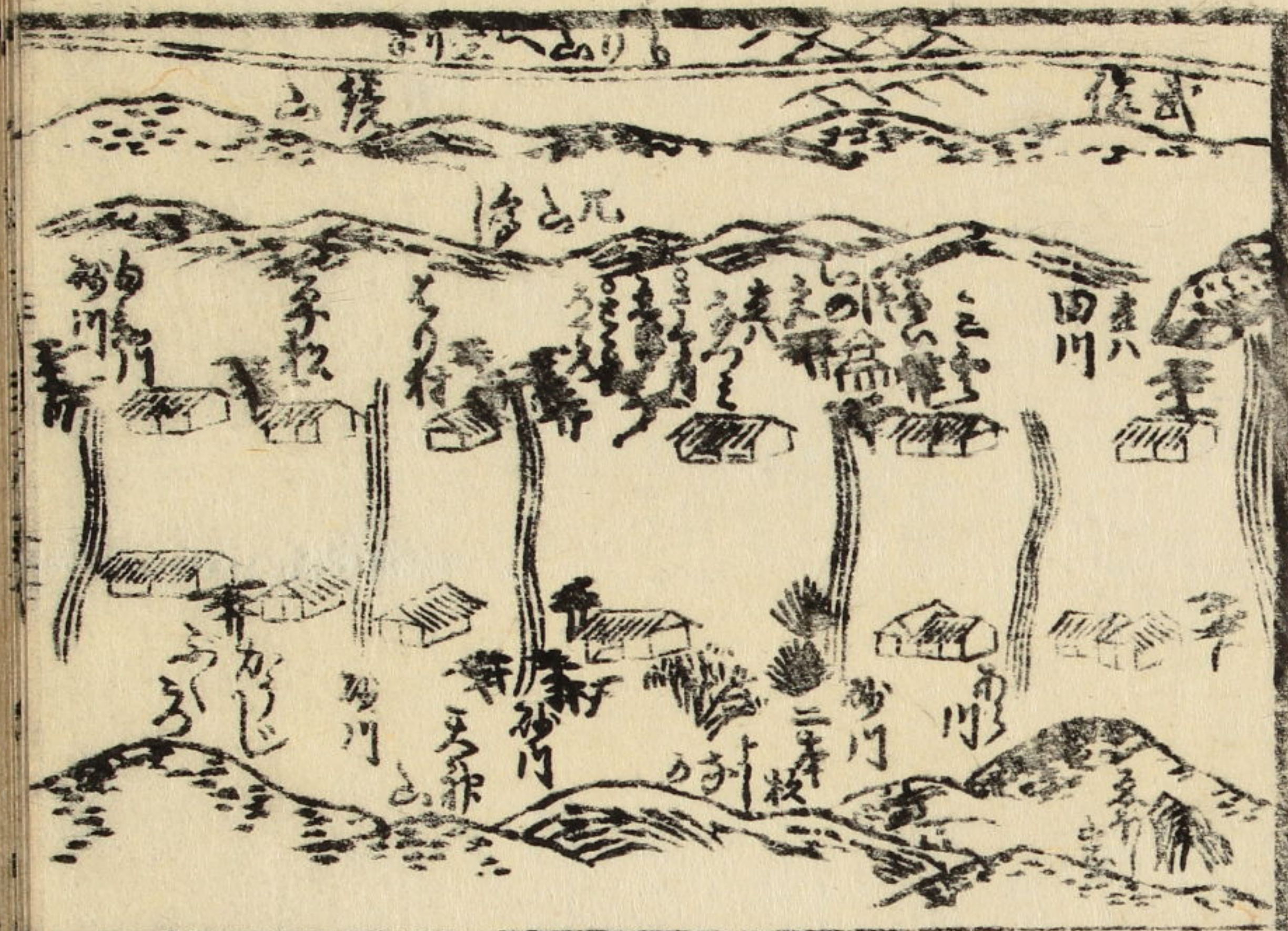
生かすまゝの  
 のりまゝの  
 わさびの  
 山



進み寄りの  
 高乃半里  
 二里  
 其の  
 民

坂訪大明寺

留宿二里三丁



水江

田

石段三重  
十三丁

加茂  
佐波守

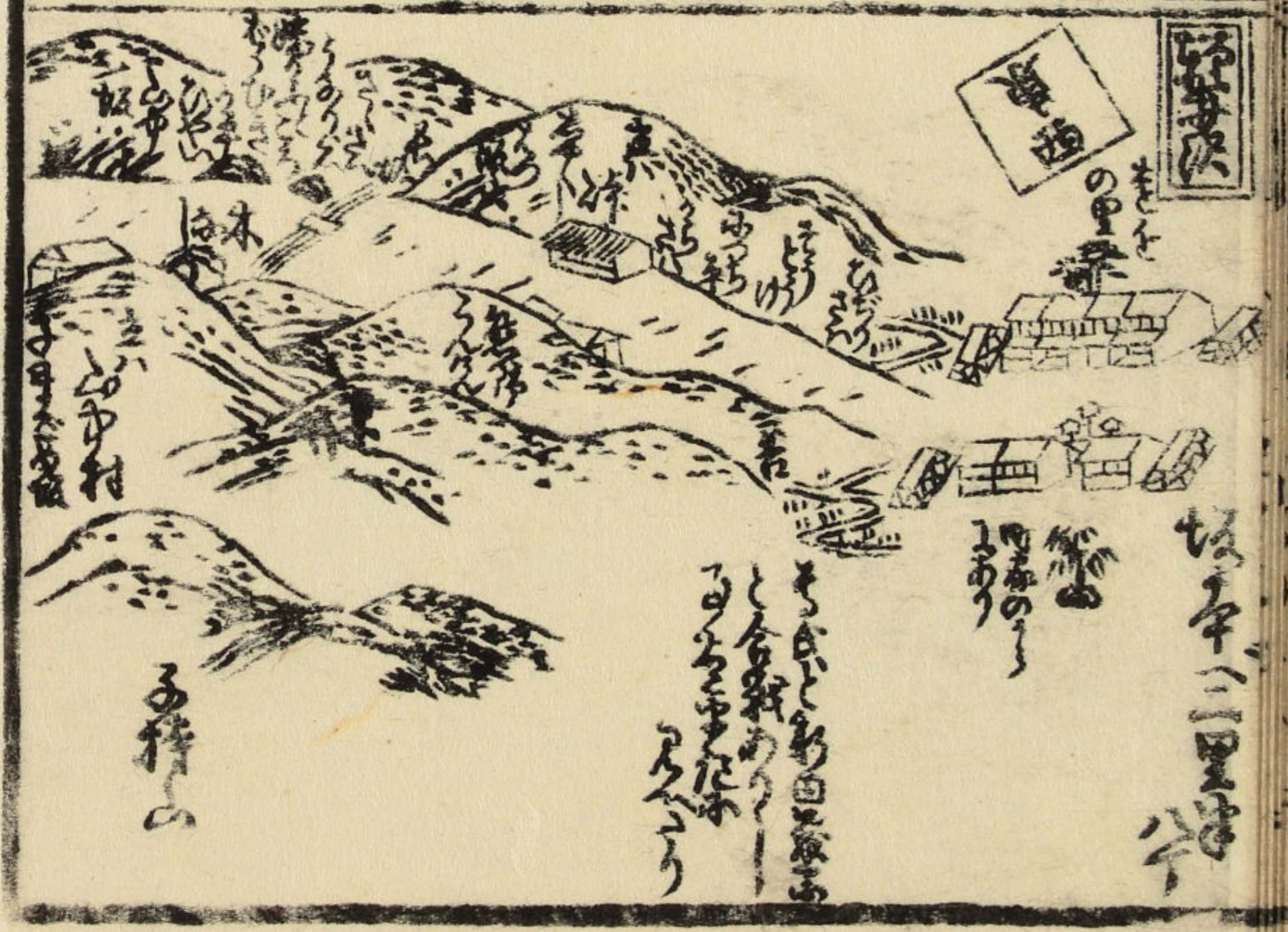
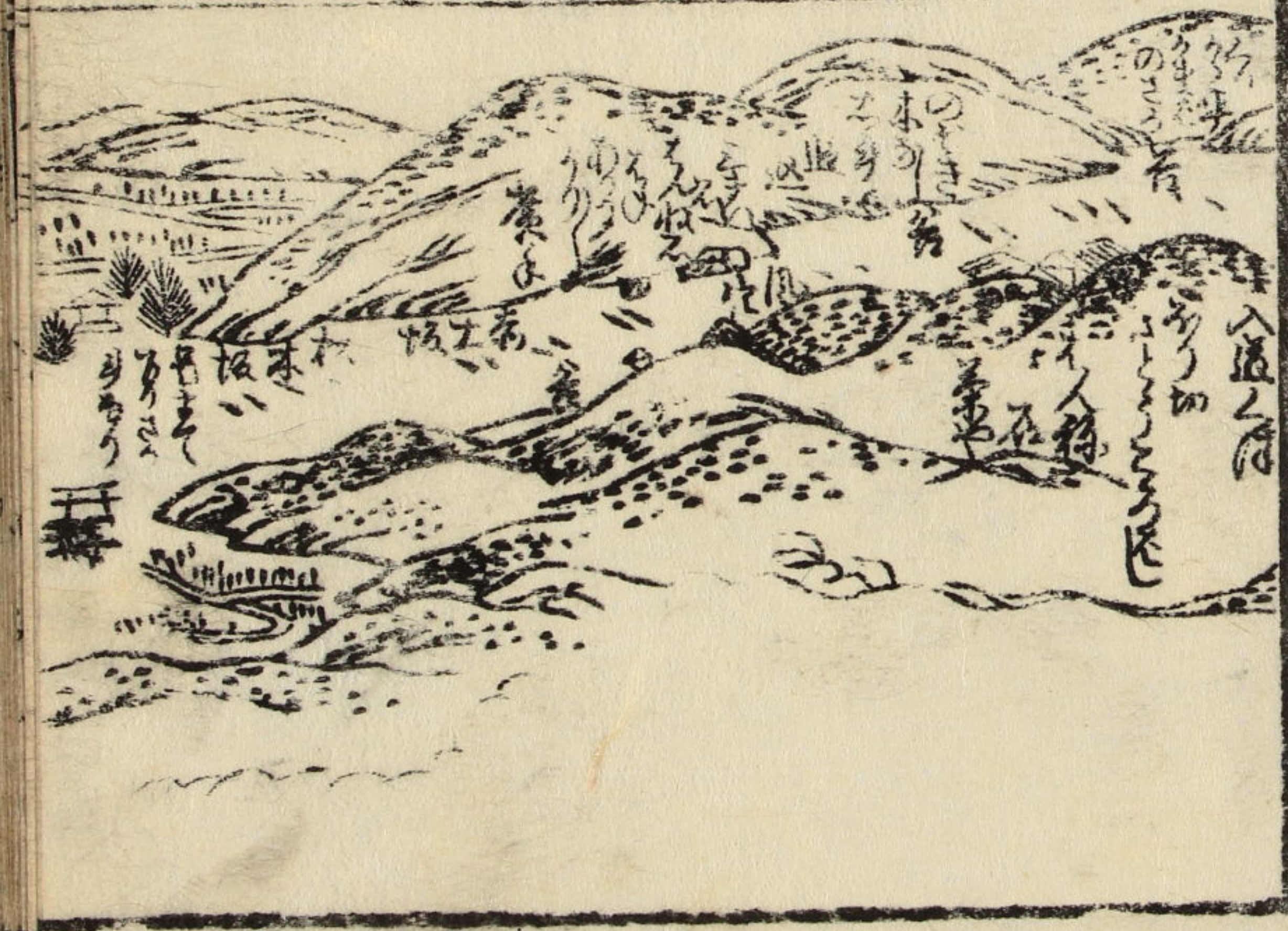
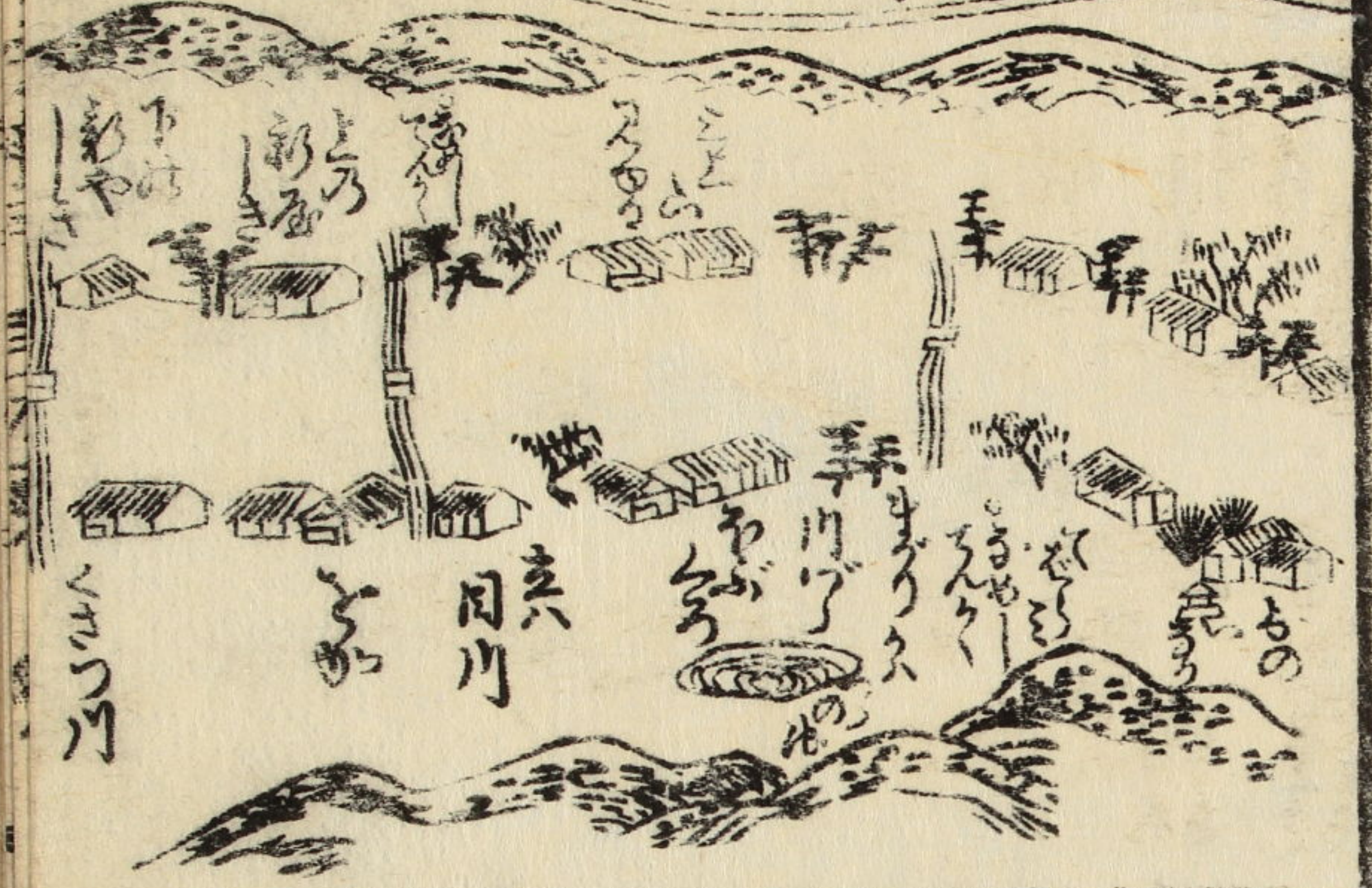
田

田

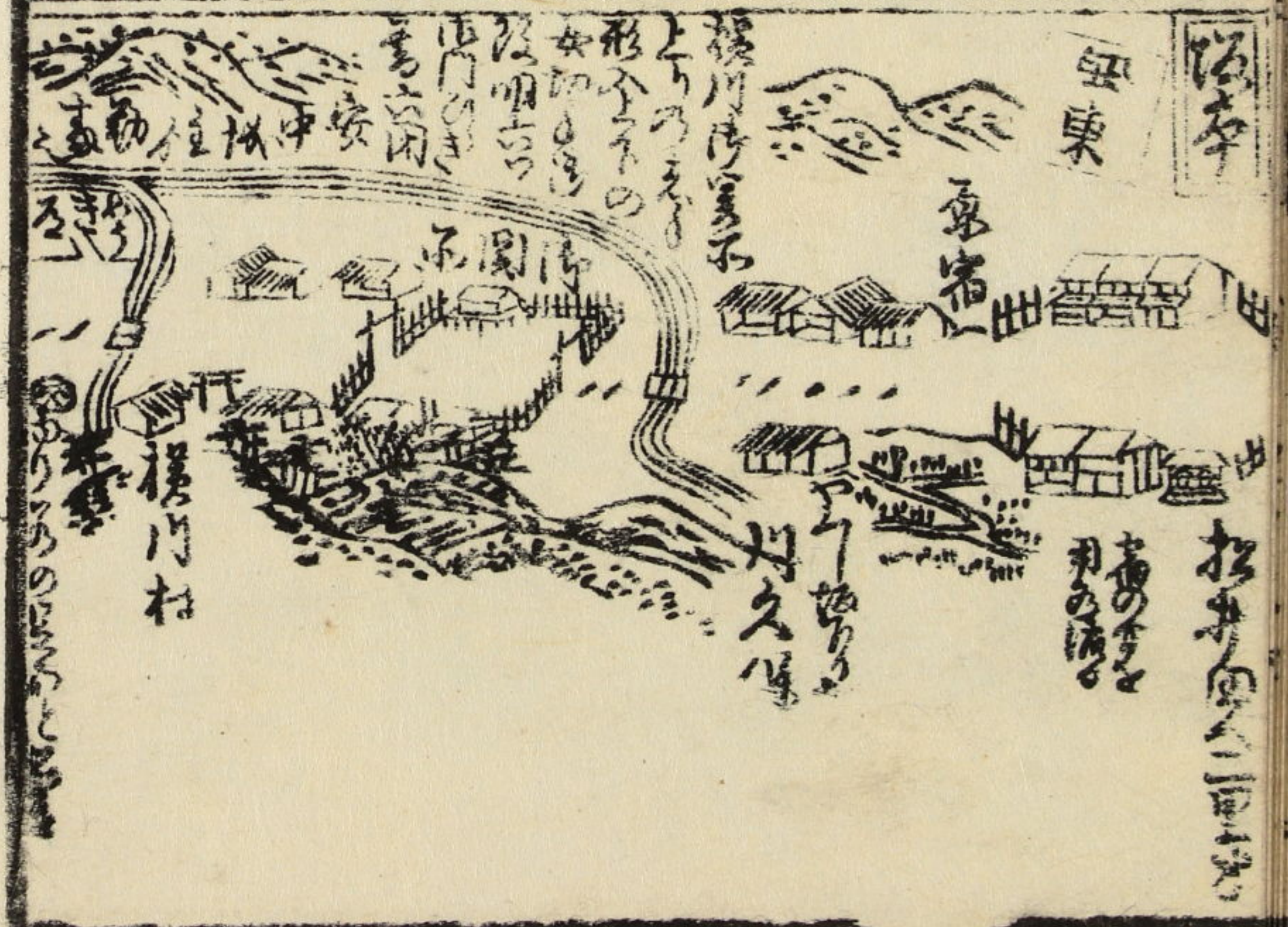
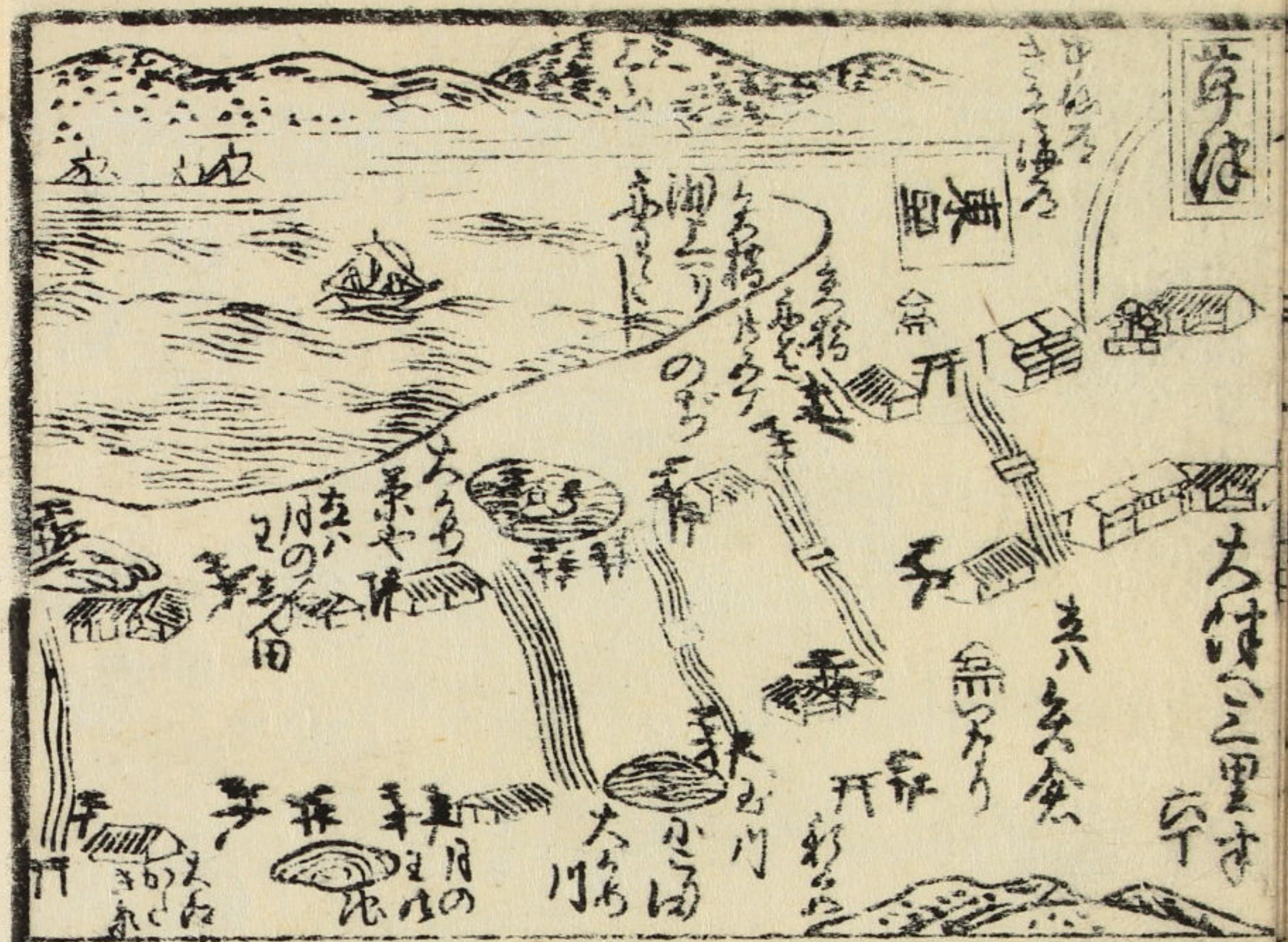
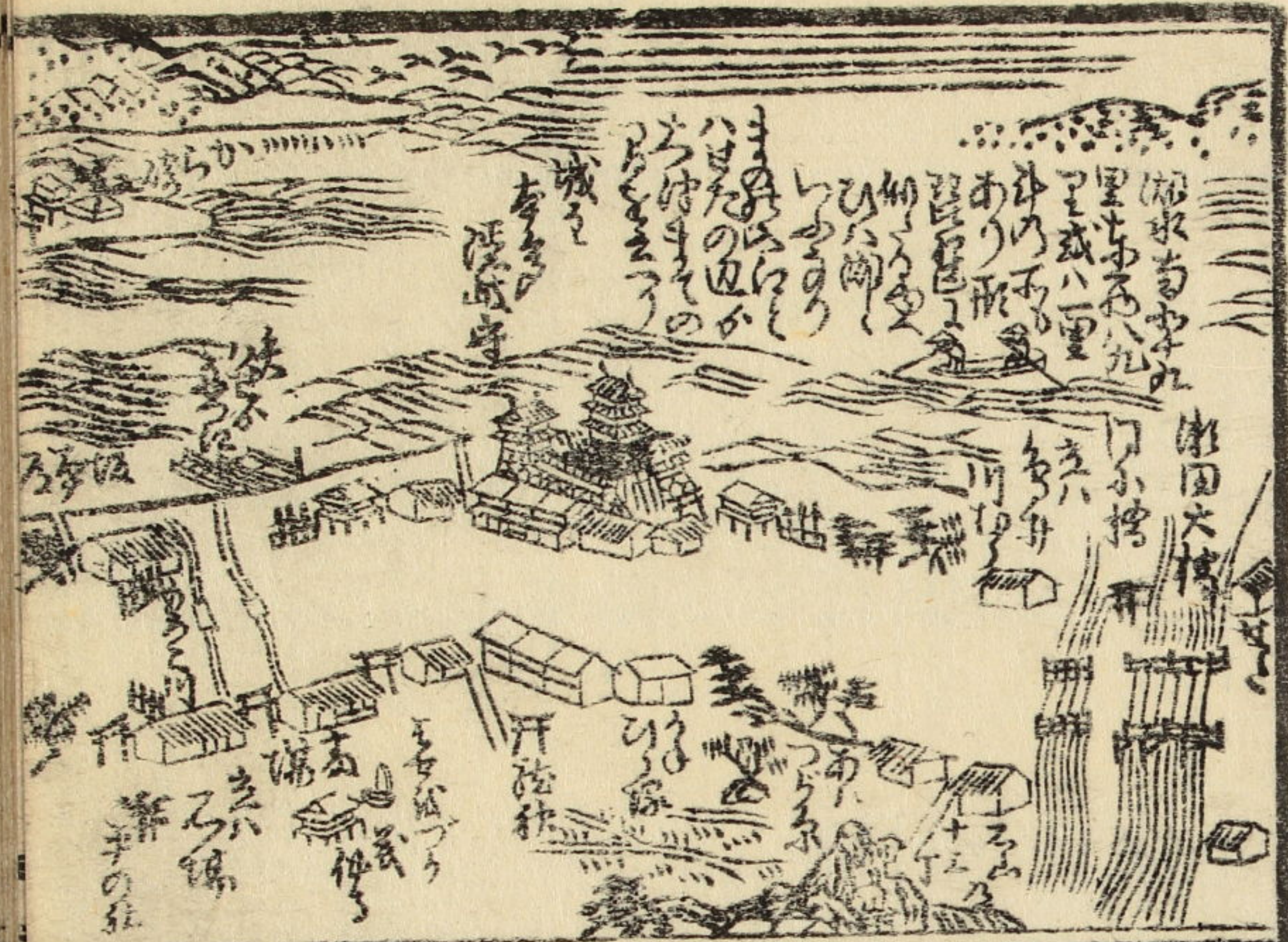
一里半

他原  
二丁

まじは堂









本坂越え道

見附 船入をへ 廿二里半  
之里 船 百五十文

加入ハ 船渡へ 廿二里半  
廿四里 船 百五十文  
本坂越えの舟あり

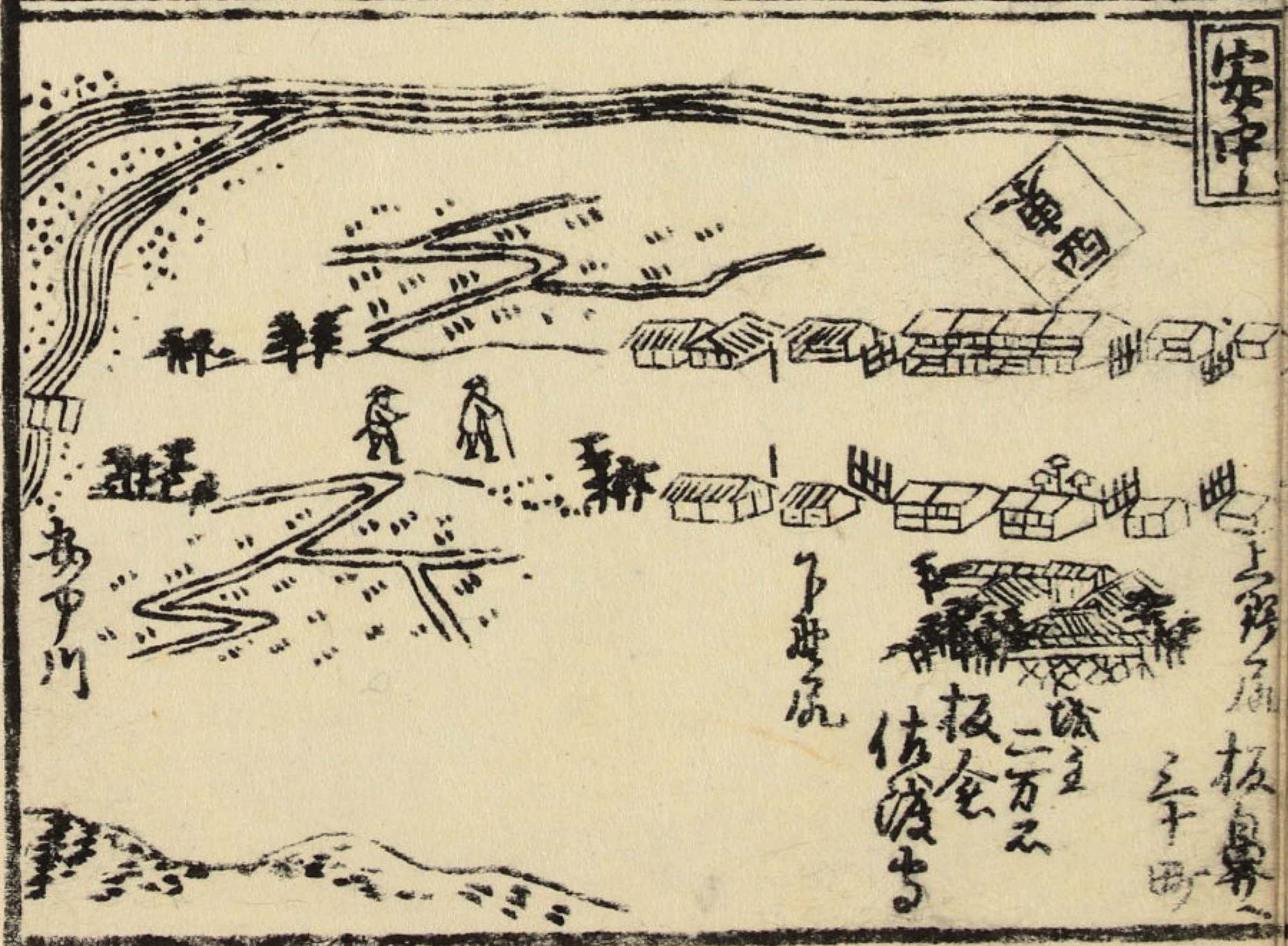
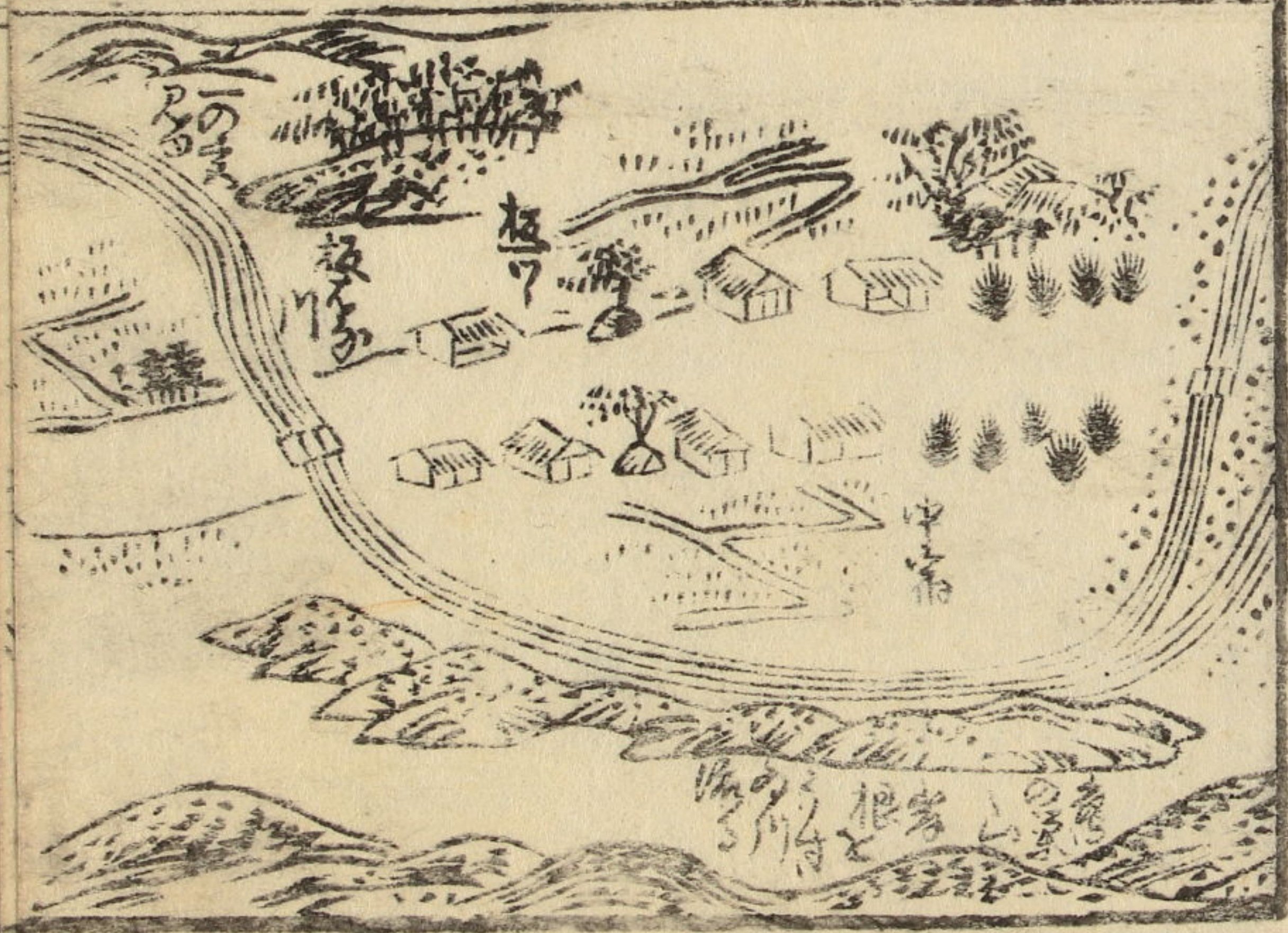
氣吹 二里半 廿二里半  
三里 船 百五十文  
清園所あり 住持女切り及  
舟あり  
舟中あり  
舟中あり

三田市 吹瀬山 廿二里半  
二里半 船 百五十文  
はらり山あり

吹瀬山 舟 廿二里半  
里 船 百五十文  
里より平地あり 舟のり  
舟のりあり

舟

舟より舟あり



東海道上り中仙道記

宮 名古屋一  
 千七百七  
 人 千五百

熱田大明神の社也  
 社領七百七  
 千七百七  
 人 千五百

名古屋 法例一  
 一里半  
 千七百七  
 人 千五百

清洲 稻葉一  
 千七百七  
 人 千五百

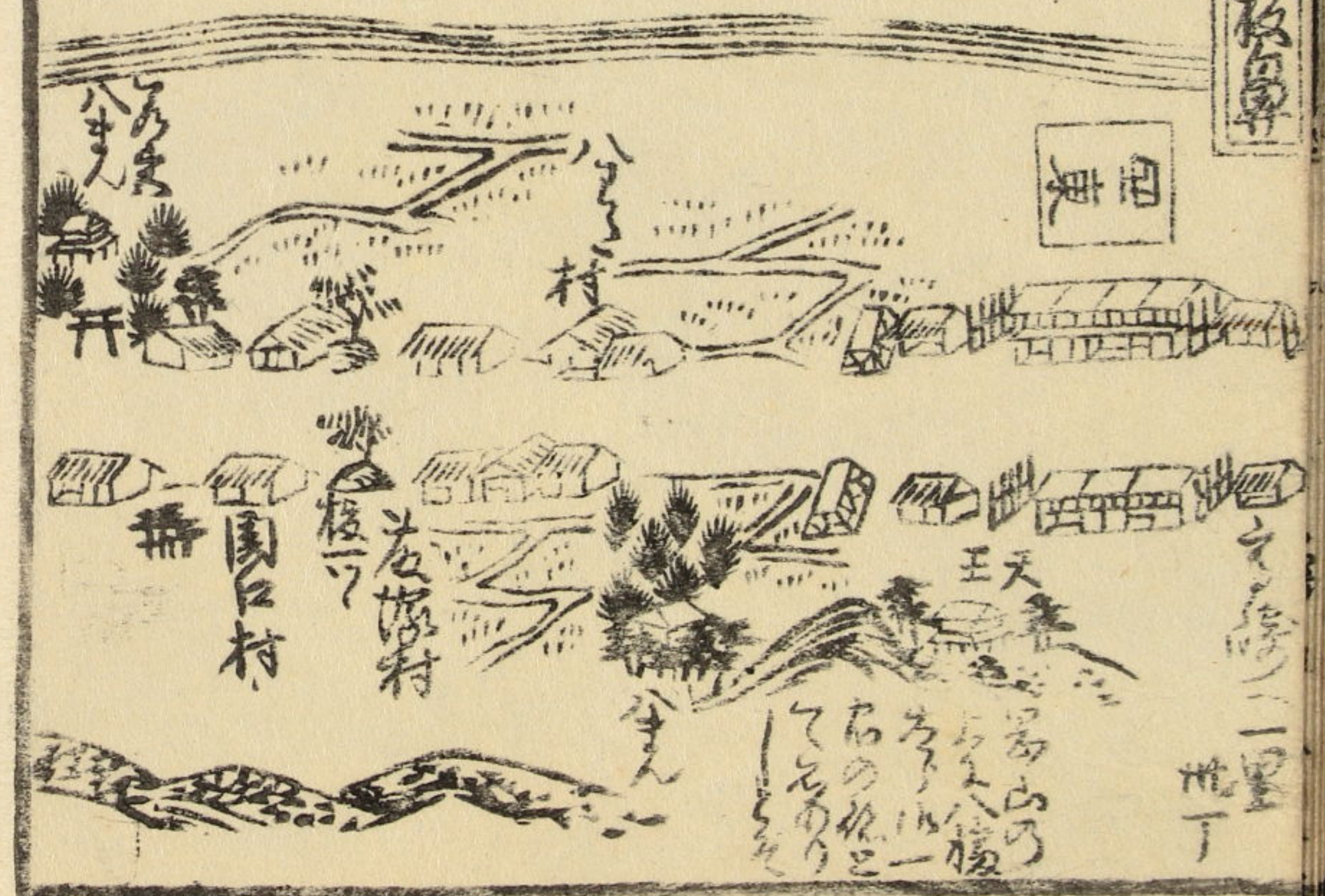
関が社ありあり 稲葉橋  
 千七百七  
 人 千五百

稲葉 稲葉一  
 千七百七  
 人 千五百

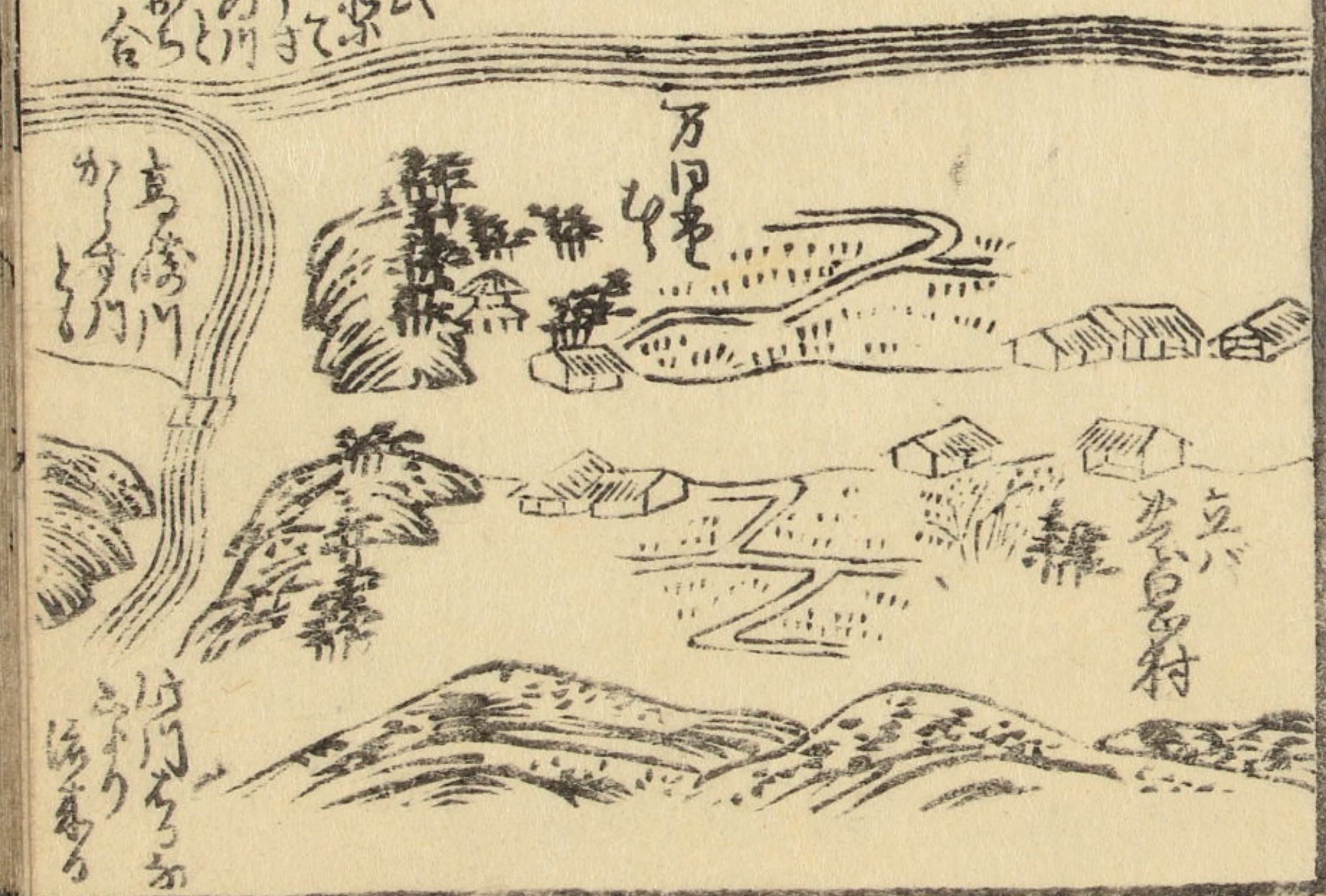
秋原尾越一  
 千七百七  
 人 千五百

尾越 尾越一  
 千七百七  
 人 千五百

板倉



板倉



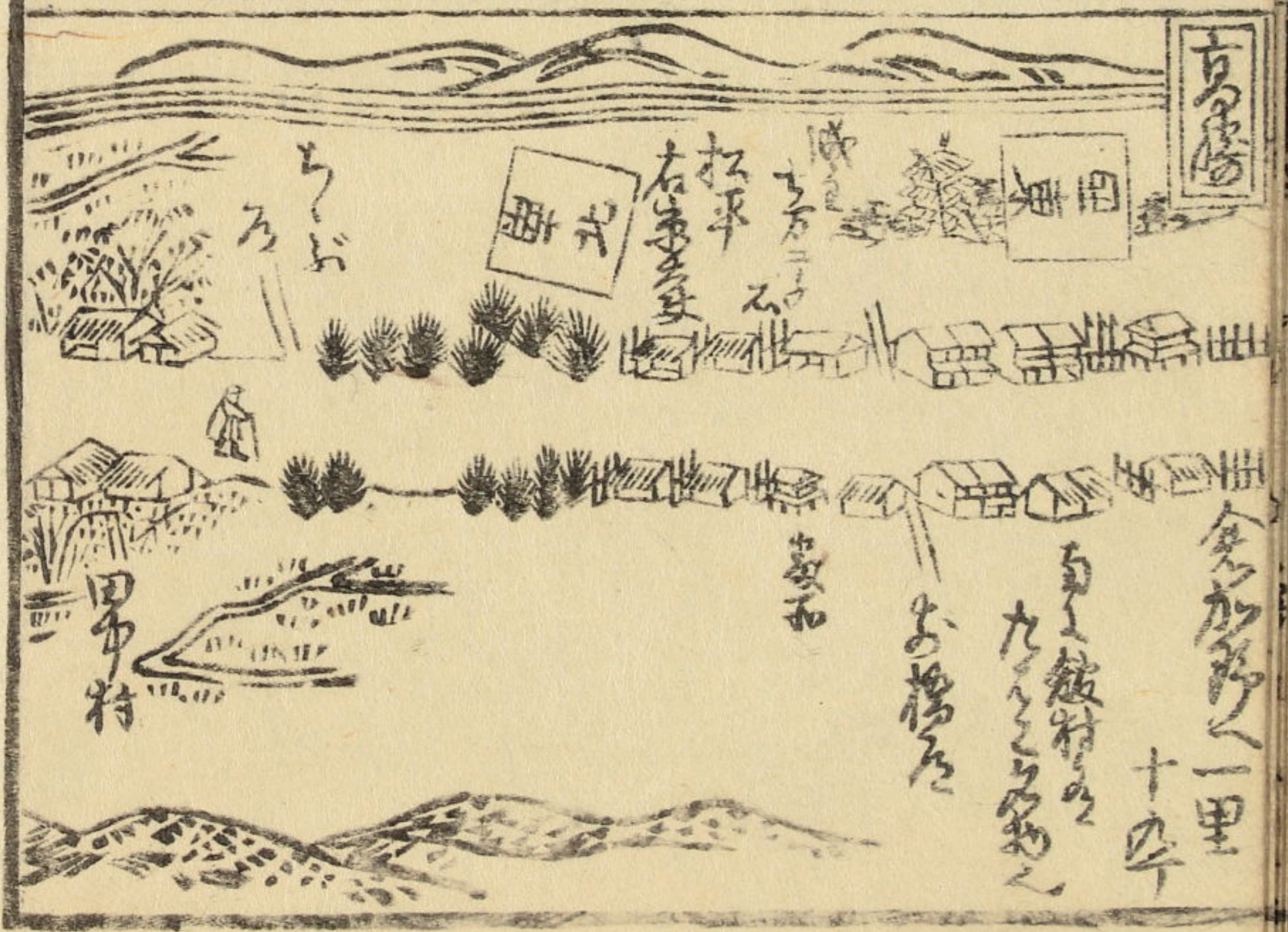
尾城川もあつたけりなり并二  
 の大川なりとあつて一界川  
 そのまじり大川ありまじり

洲股 大堰  
 二里半  
 八半  
 輪  
 人軍二

後村小泉照天殿の宮あり

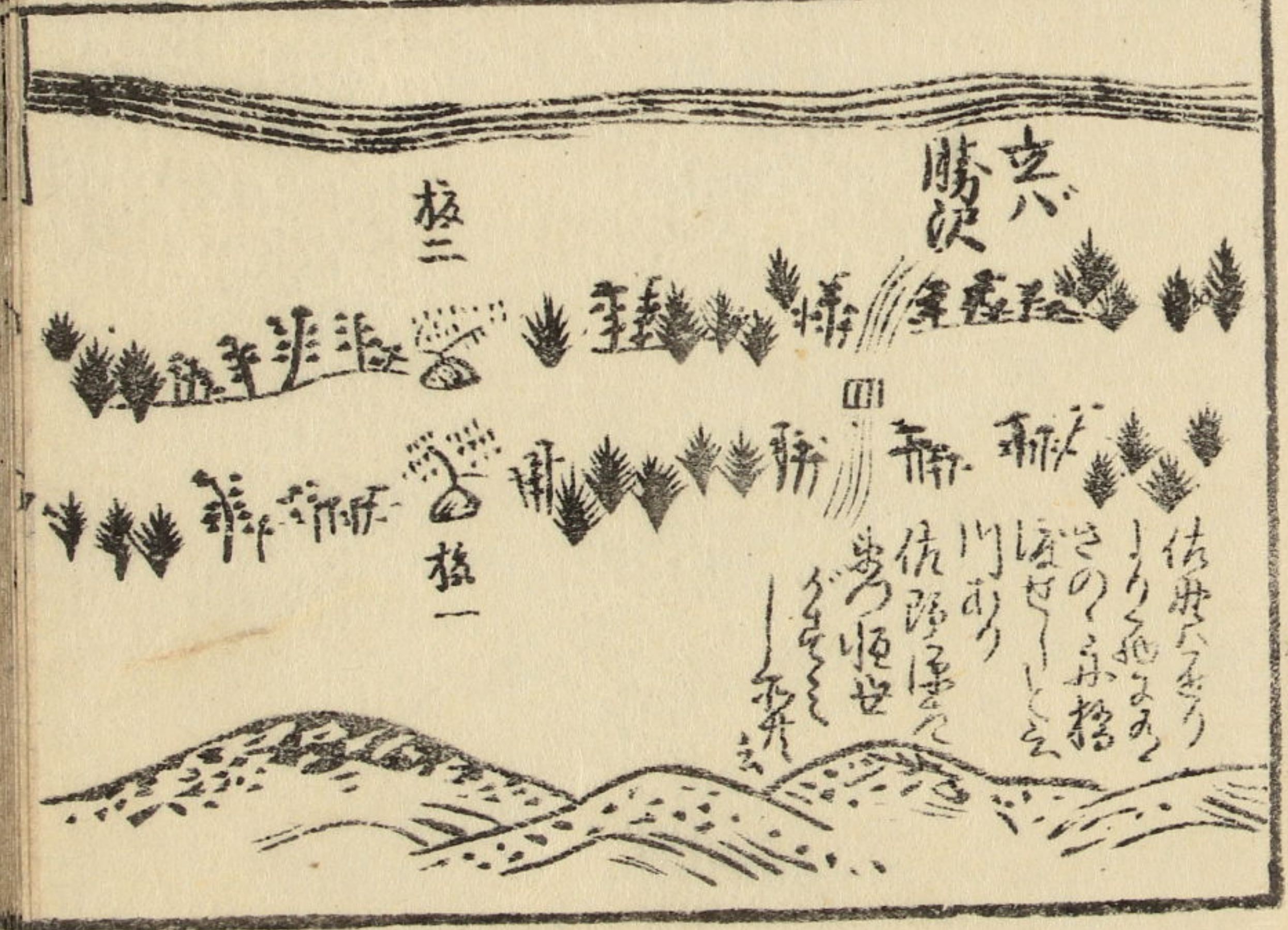
大堰 二里半  
 輪  
 人軍九

名川も地盤長靴物見の



松ありあひ川南宮山月の中  
 山といふ名あり

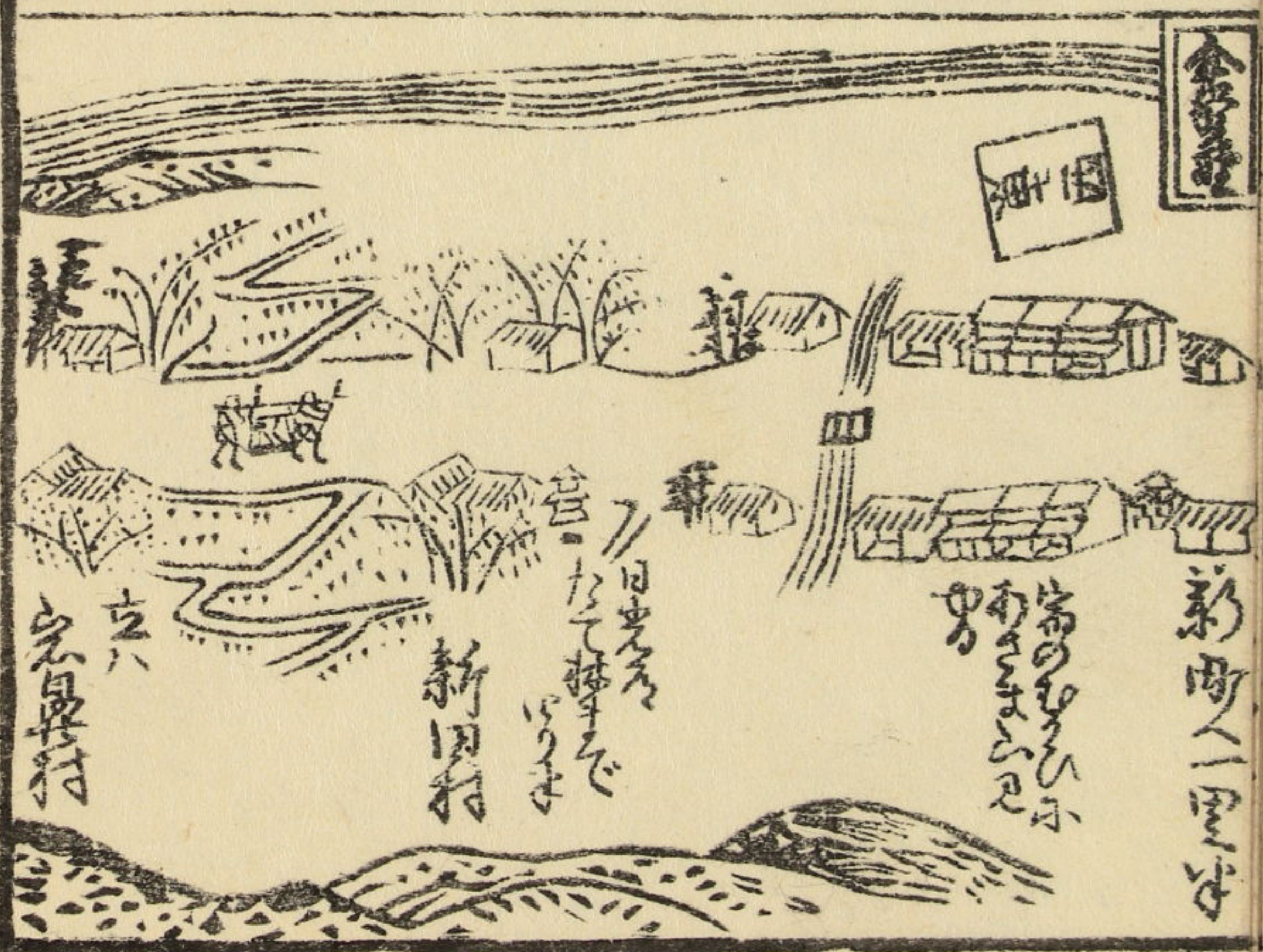
高井  
 是よりあまそて本そ路の記  
 よろしくたれ略



佐々木日記

宮 二里

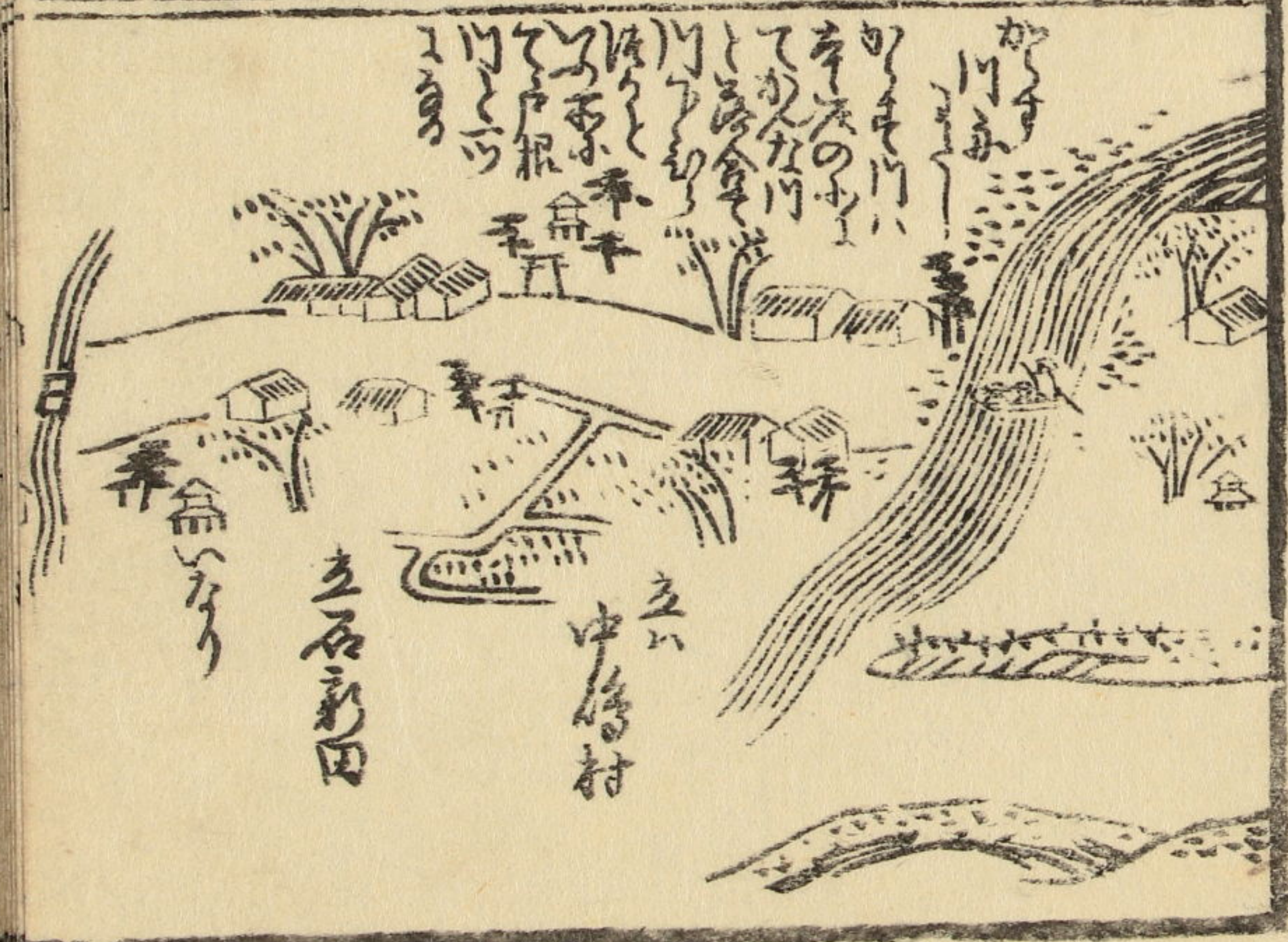
くくし橋 ありしと橋をたらしめりてありしが村あり  
はら橋かすのり村やなげ川  
但しよみ月八る人等ももえり  
万端のり宮原にありハハハ  
宮原にあり 万端 人 十二人  
万端のり宮原にありハハハ  
かす橋あり 未だ之の里あり



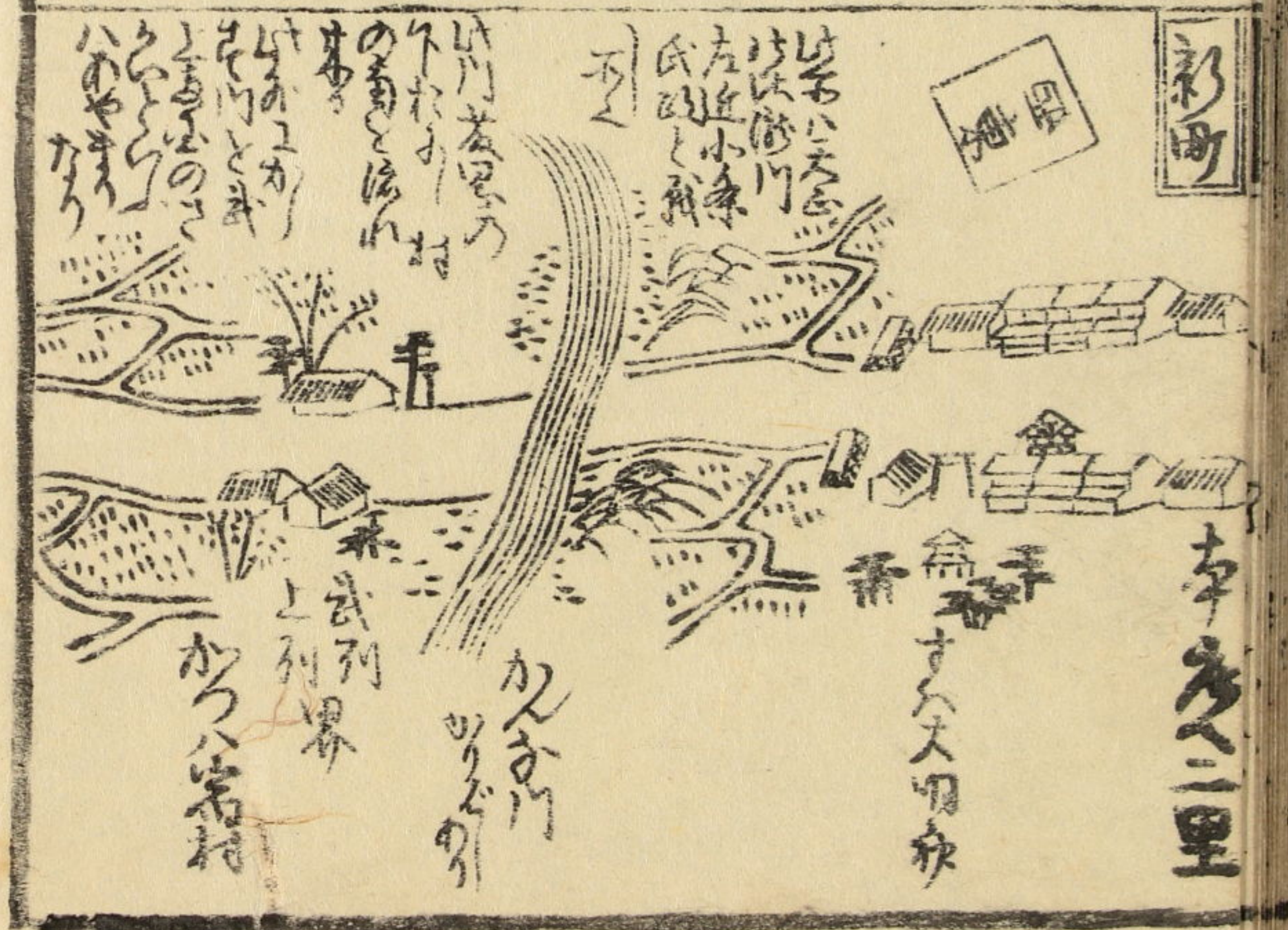
万場 冠守

万場 一里半あり  
下河原村のりなげ川 下河原  
かすのり  
冠守 佐々木  
一里半あり  
人 二十人  
人 二十人

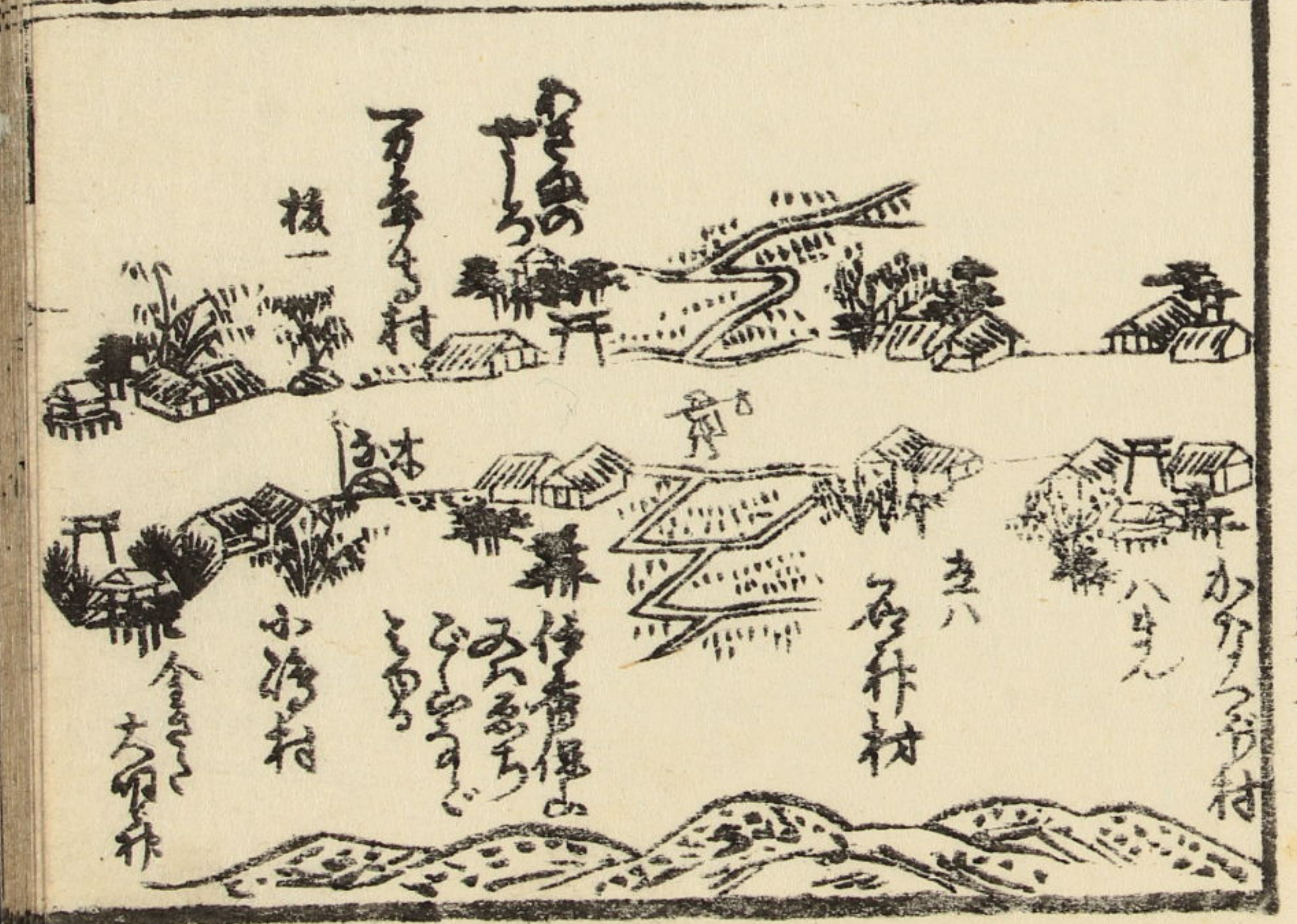
つら市村あり川あり下河原村あり  
ろく村あり川あり佐々木あり  
かすのりは橋のけりありあり  
佐々木 川あり  
宗合ありあり 十七人  
二人あり一徳八人宗 二百人あり  
三人あり一人あり 二百人あり



日人等日二十人余 六百八十支  
 六人、日午人余 八百十四支  
 六人、日午人余 九百七支  
 素名より佐屋へ  
 素合を人余 十九支  
 二人等一艘八人余 四百七支  
 二人、日午人余 七百十八支  
 四人、日午人余 九百廿九支  
 六人、日午人余 千支  
 千支  
 千支



名古金 中敷 千八丁 かる百廿五  
 小松 一里半 かる百廿五  
 額田 一里半 かる百廿五  
 新吉光寺 一里半 かる百廿五  
 廿下砂 二里 かる百廿五  
 中 一里 かる百廿五  
 伏見 一里 かる百廿五  
 是よりよりなる路あり



同大井(4)方石

名豆屋

二里 梶川を

かろ七十八文

梶川

一里半 坂下へ

かろ六十二文

坂下

一里半 内渡

かろ六十二文

内渡

一里半 池田

かろ六十二文

池田

二里 高島

かろ七十五文

高島

二里 土波

かろ八十五文

土波

二里

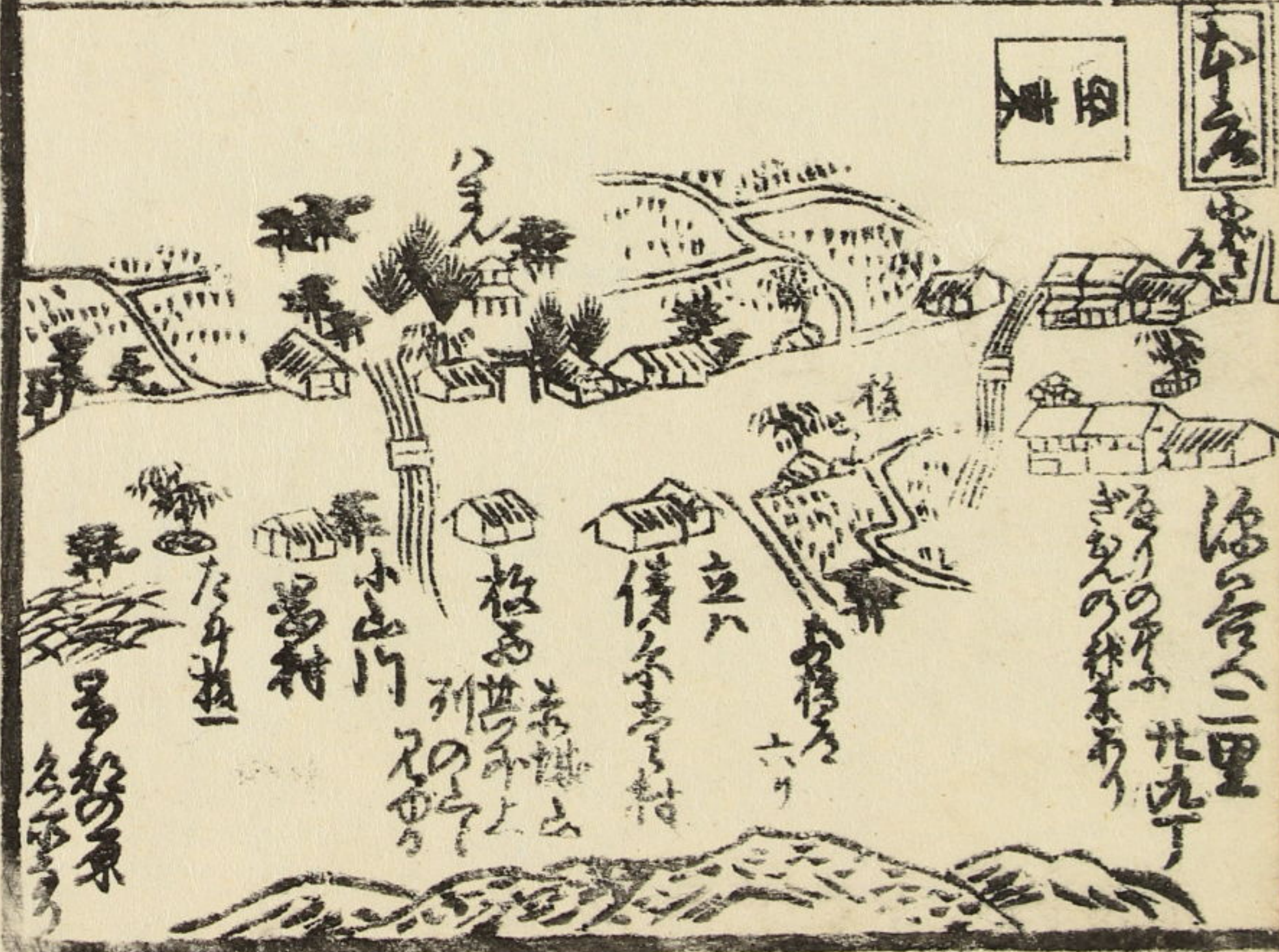
かろ八十二文

中尾

田

海老名二里

かろのりふ 北九丁



登戸

本町へ 三里

かろ百廿五文

本井

本町へ 本町側より

伊勢本宮道

富市

神戸へ 二重三丁

か 百廿五文

退分より別してたの方へ

神戸

白子へ 一里半

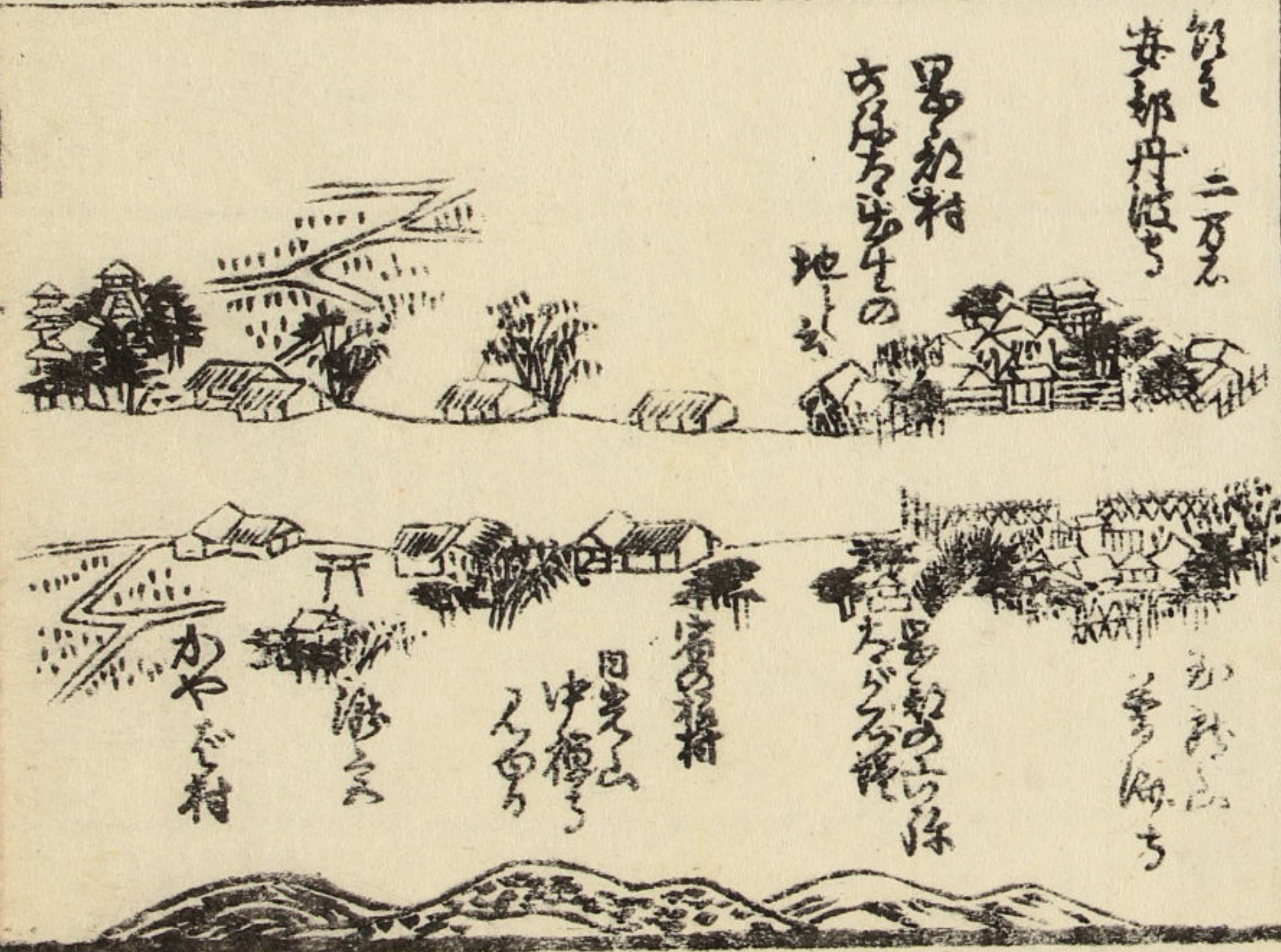
か 百廿五文

一万石 城

本田丹波守

安部丹波守

馬場村 大井方より





天正五年申歲國信孝居越のふ  
まのけりありしに申すと云ふあり  
行程を里中なり

白子

上野へ 一里半  
軽 四十二文

寺家村にたれをいふありけり月  
にちの極くくをいふいひて  
はたのかと云ふて諸国へ

上野

津へ 二里半  
軽 四十二文

はる 名田といふ一向宗の寺  
ありた所むくかへおれり  
右の方より路をありて津

津

二里半  
軽 四十二文

二里半

越え

花巻和泉守

津の町寺町金あり

雲

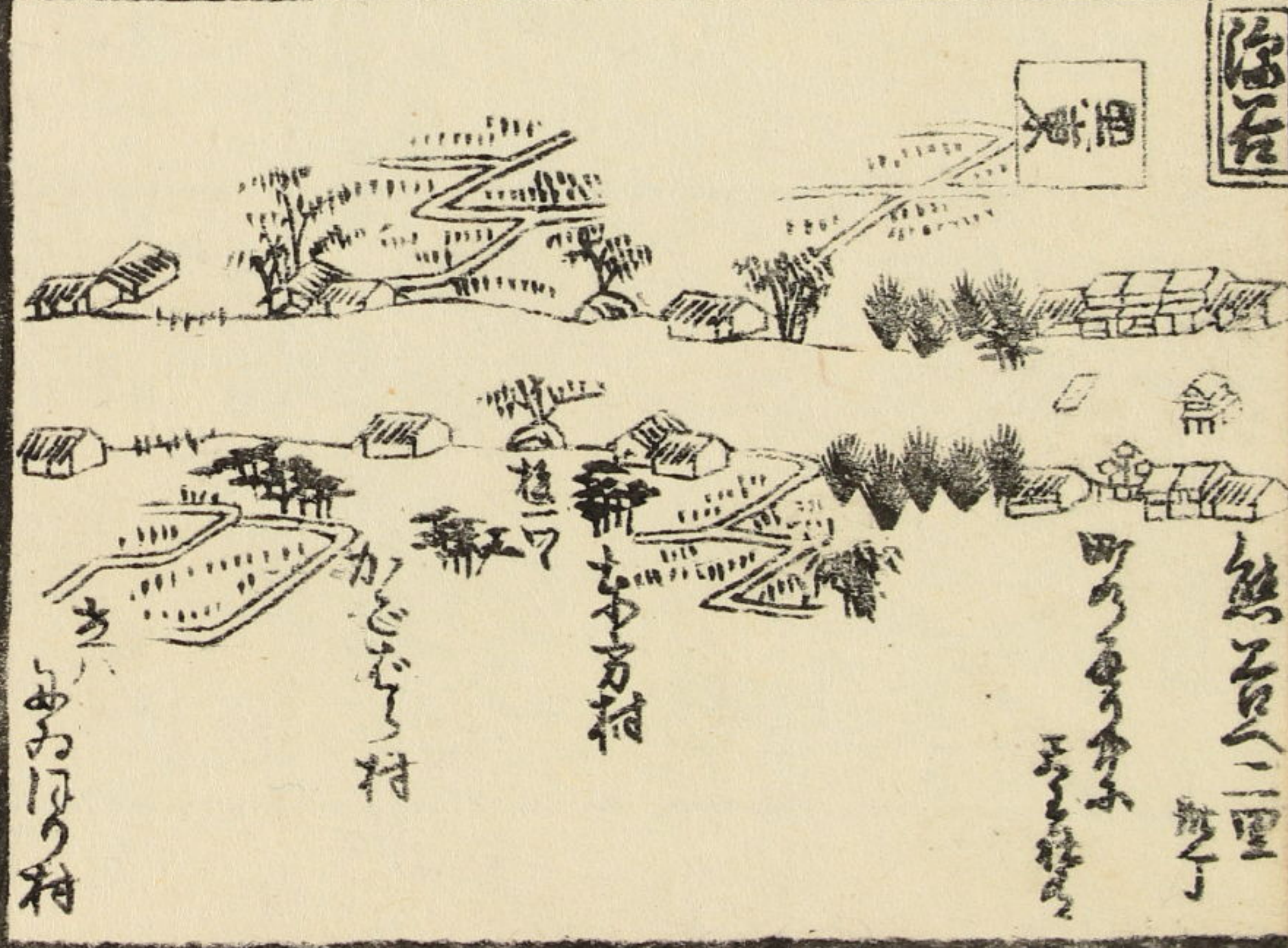
二里半  
軽 四十二文

も津川を流るありて水は  
ありたに津川の布川小  
ありて川筋を流るありた  
ありて川の南にありた  
ありて川の北にありた  
ありて川の東にありた  
ありて川の西にありた  
ありて川の南にありた  
ありて川の北にありた  
ありて川の東にありた  
ありて川の西にありた

松坂

二里半  
軽 四十二文

白子



白子 二里

上野 四十二文

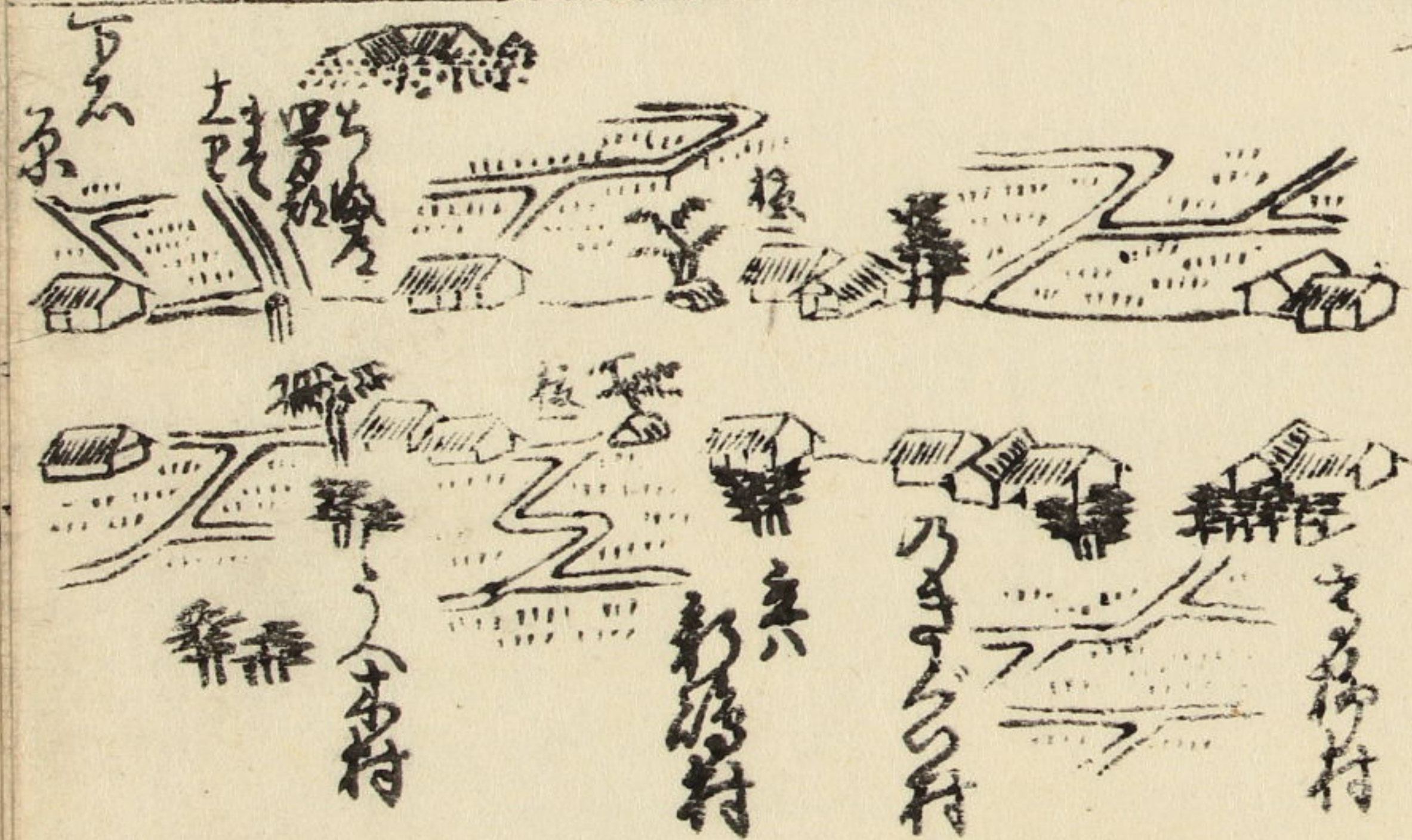
津 四十二文

松坂 四十二文

雲 四十二文

津 四十二文

二里半



松坂 四十二文

雲 四十二文

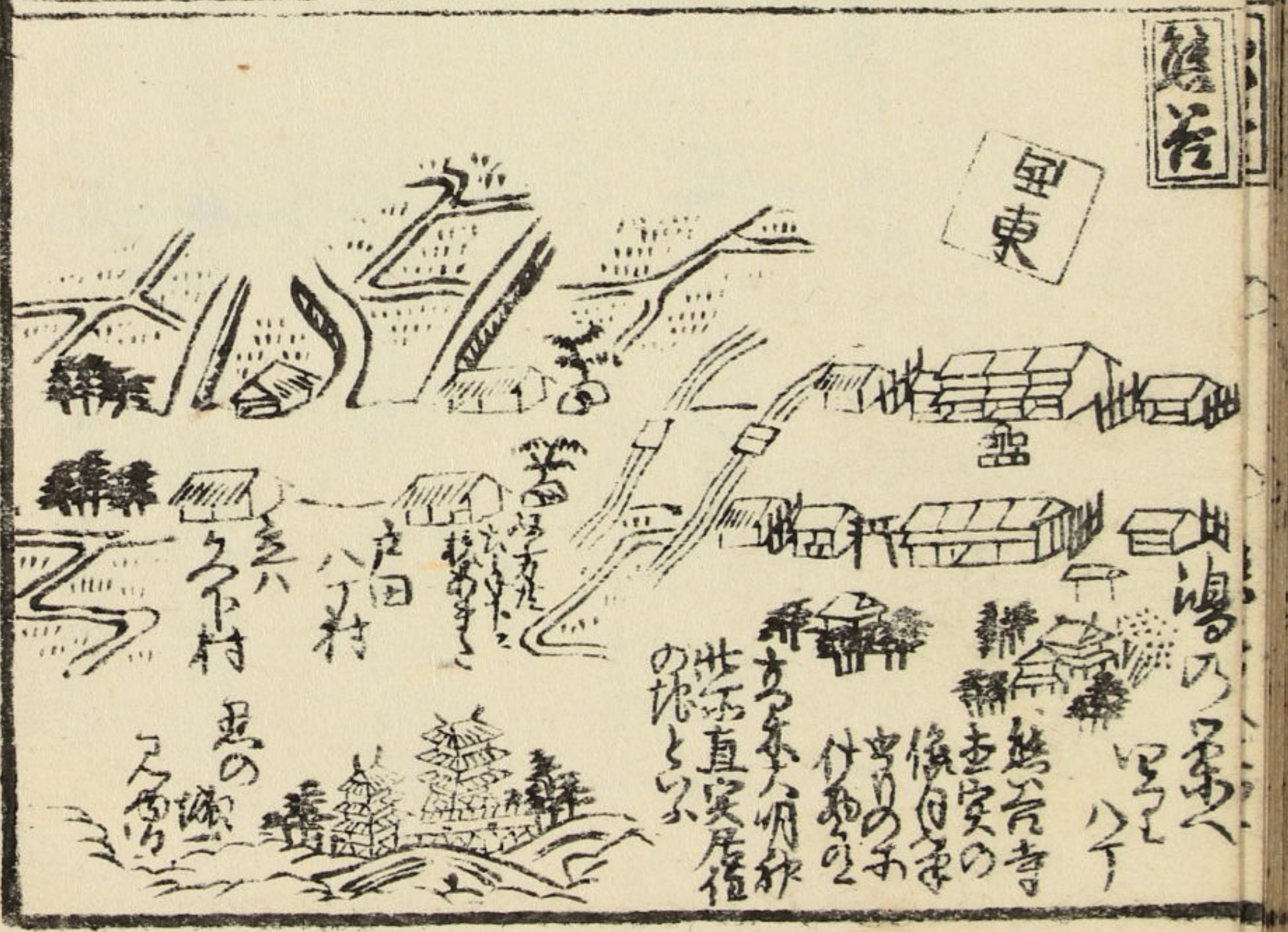
津 四十二文

松坂 四十二文

雲 四十二文

松坂

右に城あり紀伊公府持より大  
 の方町に田丸のむらあり傍田  
 村ありあり 五智め事出する  
 傍田川傍ありゆらあむらむら  
 皇女の多秋のむらむらむらむら  
 後たぬむらむらむらむらむら  
 宮多むらむらむらむらむら  
 方むらむらむらむらむらむら  
 わり 明皇のむらむらむらむら  
 やむらむらむらむらむらむら  
 どののむらむらむらむらむら  
 大佛のむらむらむらむらむら  
 小俣 山奥 千二十支  
 小俣 山奥 千二十支  
 町のむらむらむらむらむらむら



徒あり 高川のむらむらむらむら  
 多むらの人活流のむらむらむら  
 ありむらむらむらむらむらむら  
 一廿九町

山田

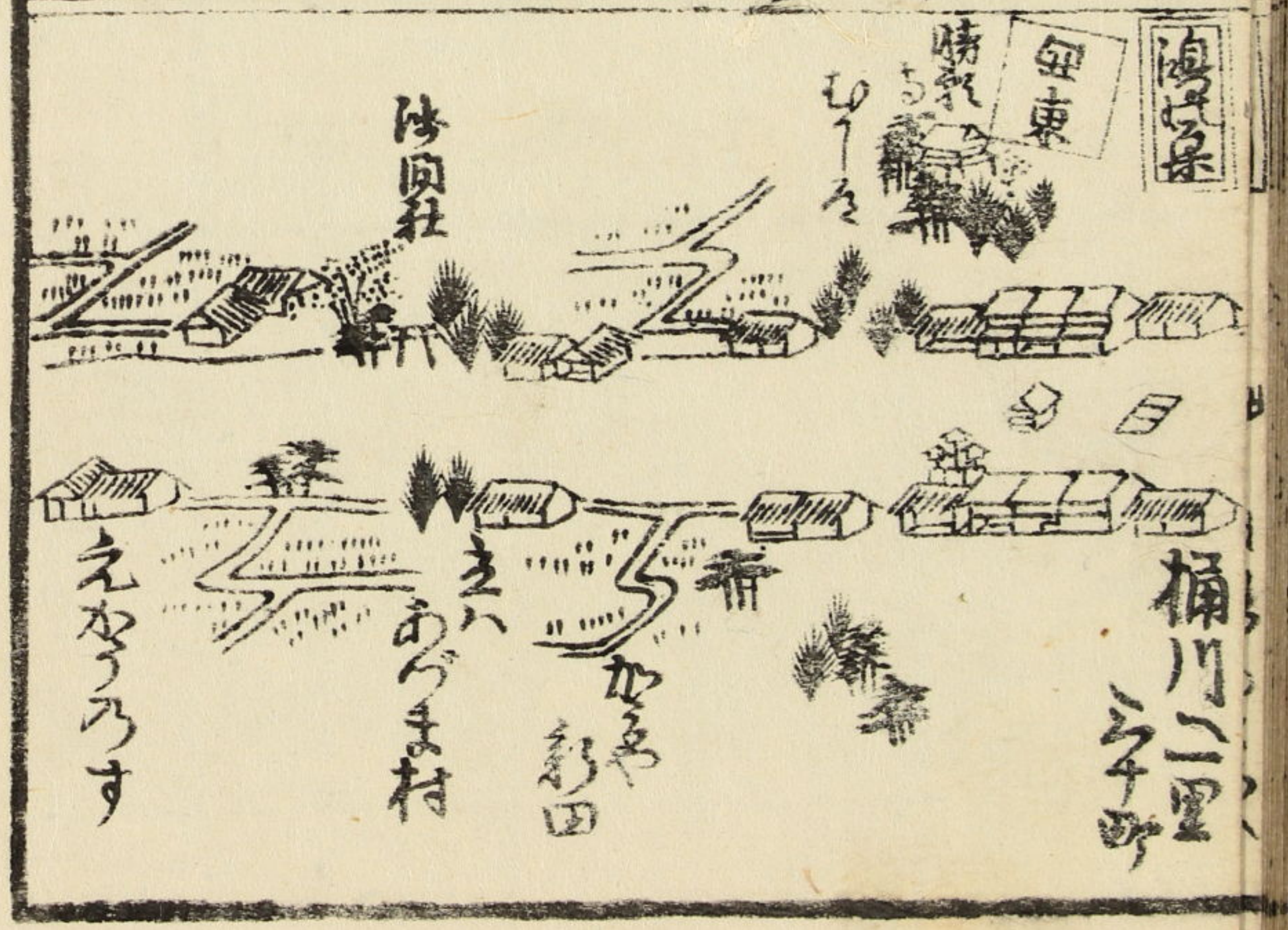
中河系町の入口にむらむらむらむら  
 孝のむらむらむらむらむらむら  
 是京町通のむらむらむらむら  
 大同慶社 上り下りむらむらむら  
 事ありむらむらむらむらむらむら  
 わり 八日本場一志のむらむらむら  
 此町山奥のむらむらむらむらむら  
 の方、月後のむらむらむらむらむら  
 徒下なら町のむらむらむらむらむら



外宮の御門にあり九本  
 木の道八本御門との長石と二  
 本あり一は多岐の事あると  
 本式と八本のみと八町方か  
 の事ありては後述に九本の  
 八本御門より多岐なるなり

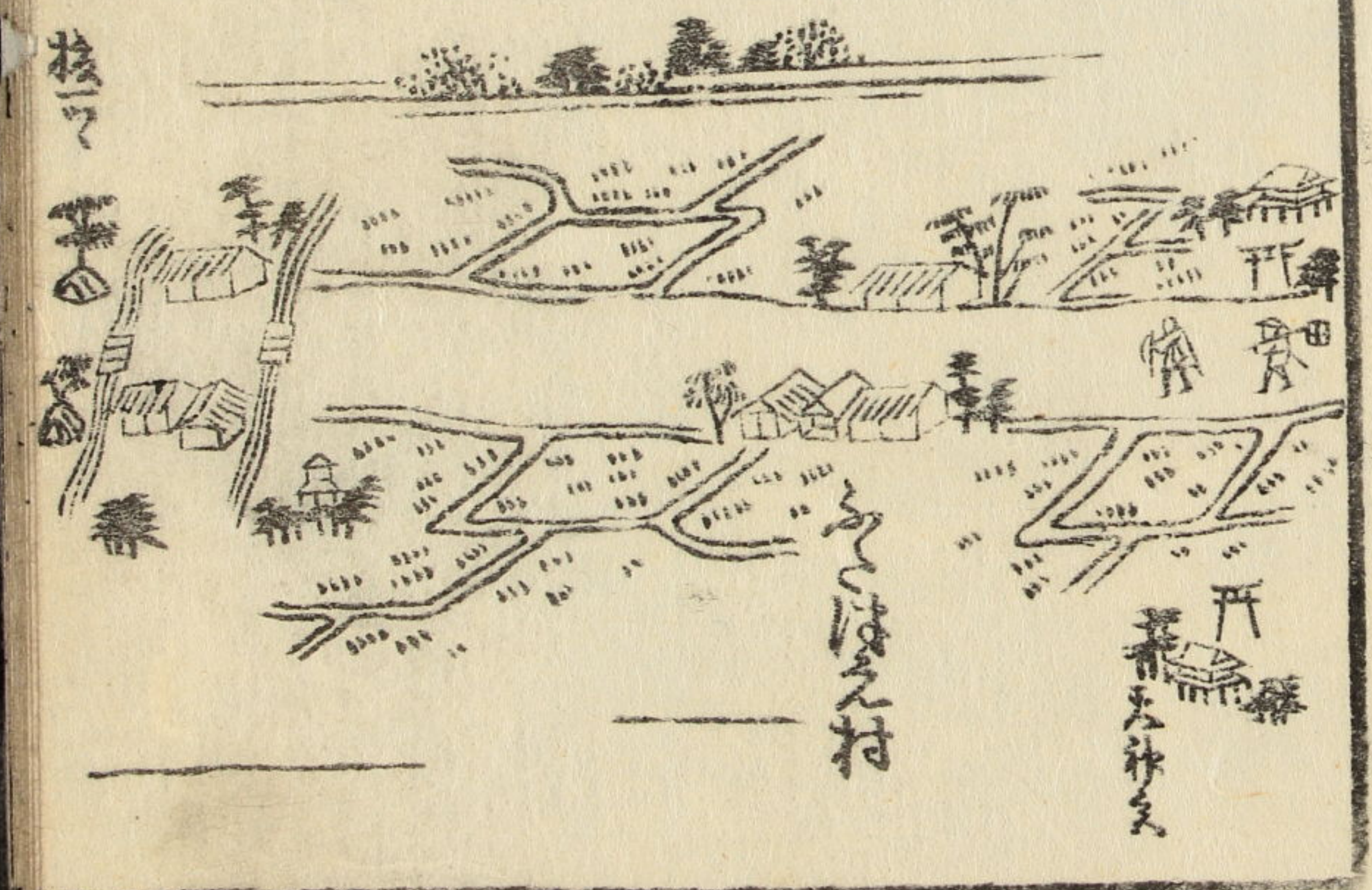
外宮

外宮の御門のありては多岐  
 あり皇宮より皇具伝をて多  
 一入るものと多岐を御門の事  
 と傳て分門の御門も外宮社と  
 おいへる事ありは外宮社といへ  
 なるなり 皇宮社 皇宮  
 御門九丁あり 皇宮社 皇宮



六十八

の後にあり 皇宮より内宮へ  
 町ありたると方御門も多岐  
 廣くをてたると皇宮社  
 小田の事も御見下たの方小田  
 傳の事ありるの山坂のたると  
 ちあり 皇宮社 皇宮  
 治部あり町の事あり御見下  
 の道あり 中絶所ありたの方  
 皇宮社 皇宮  
 浦田ありの村 皇宮 皇宮  
 大とありては皇宮社 皇宮  
 桶川ありの神宮ありの御門



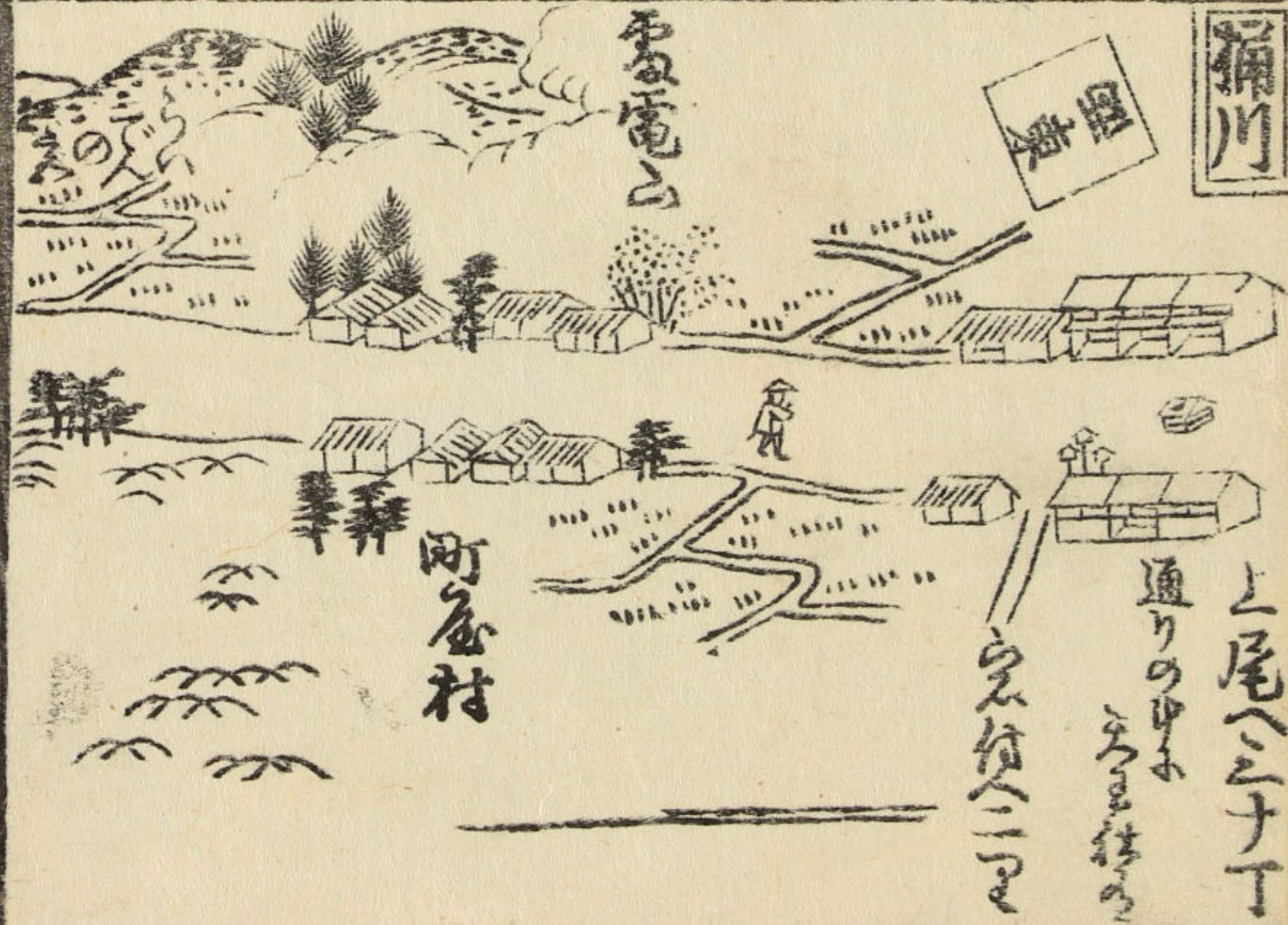
内宮

一二三浦を境門と經て清を社  
と名しすも也 八十八社 傍  
尾のおおろみ千川の向にあり  
内宮系諸終つてとて終り  
字治務ふ下向まへし朝慈  
岳不為人ふの林のたつと方  
のふふはて後ふへし

朝慈嶽

字治ふの林とす字所より 山を  
勝寄の山金剛地とすしり虚空  
岳のふはたなりの本堂のまへと  
連珠の池とす堂のまへより留全  
字なる所のまへとす朝慈村人

福川



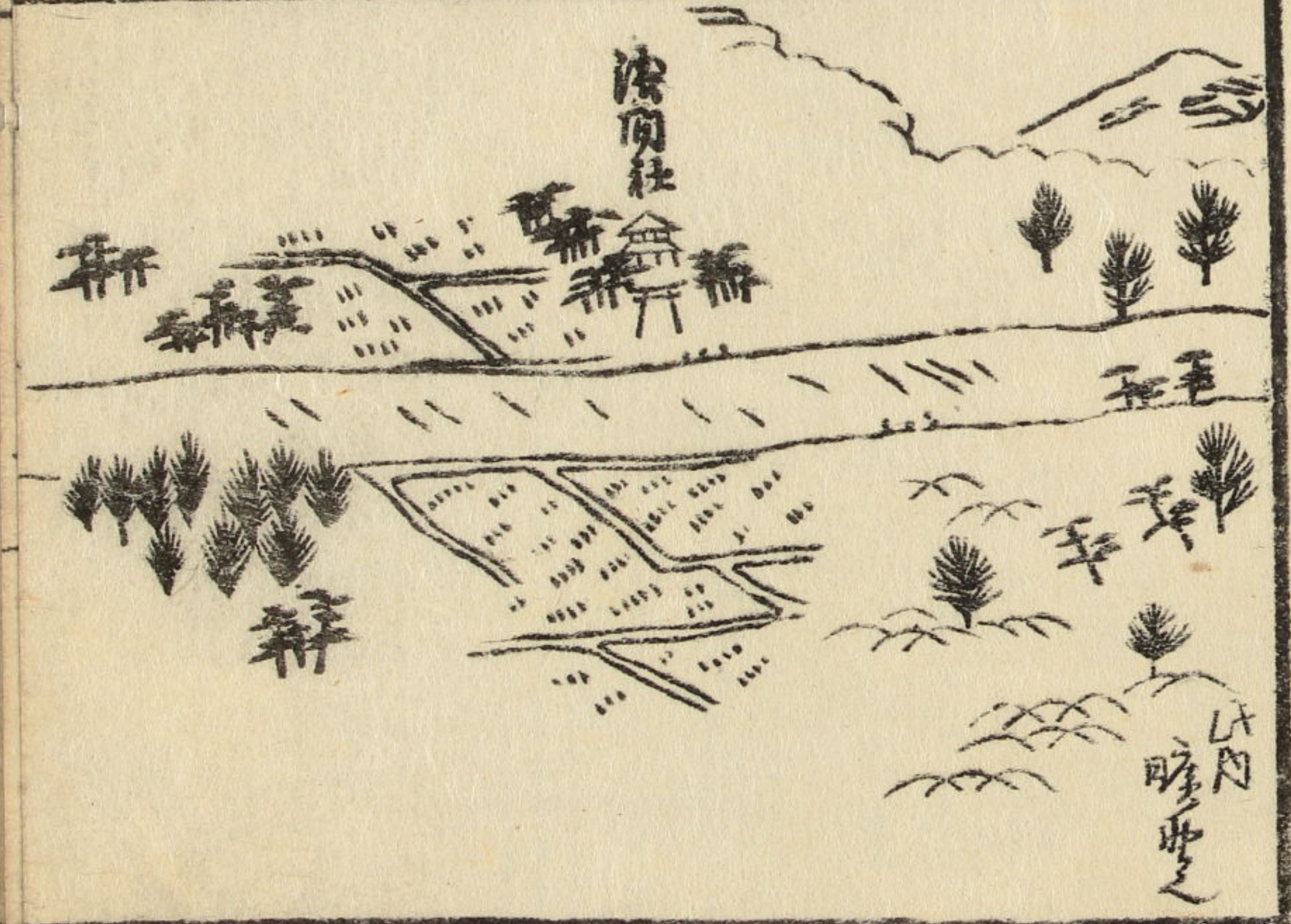
六十六

二見浦

二見浦 二里

二見浦 二里 山田系はる  
川邊 あり 山田系はる  
嶋屋 二見村の山田系はる  
田のあり 二見村の山田系はる  
のちり立石のまへにあり  
まへにあり 二見村の山田系はる  
しりしりあり 二見村の山田系はる

二見浦 二里 山田系はる  
川邊 あり 山田系はる  
嶋屋 二見村の山田系はる  
田のあり 二見村の山田系はる  
のちり立石のまへにあり  
まへにあり 二見村の山田系はる  
しりしりあり 二見村の山田系はる



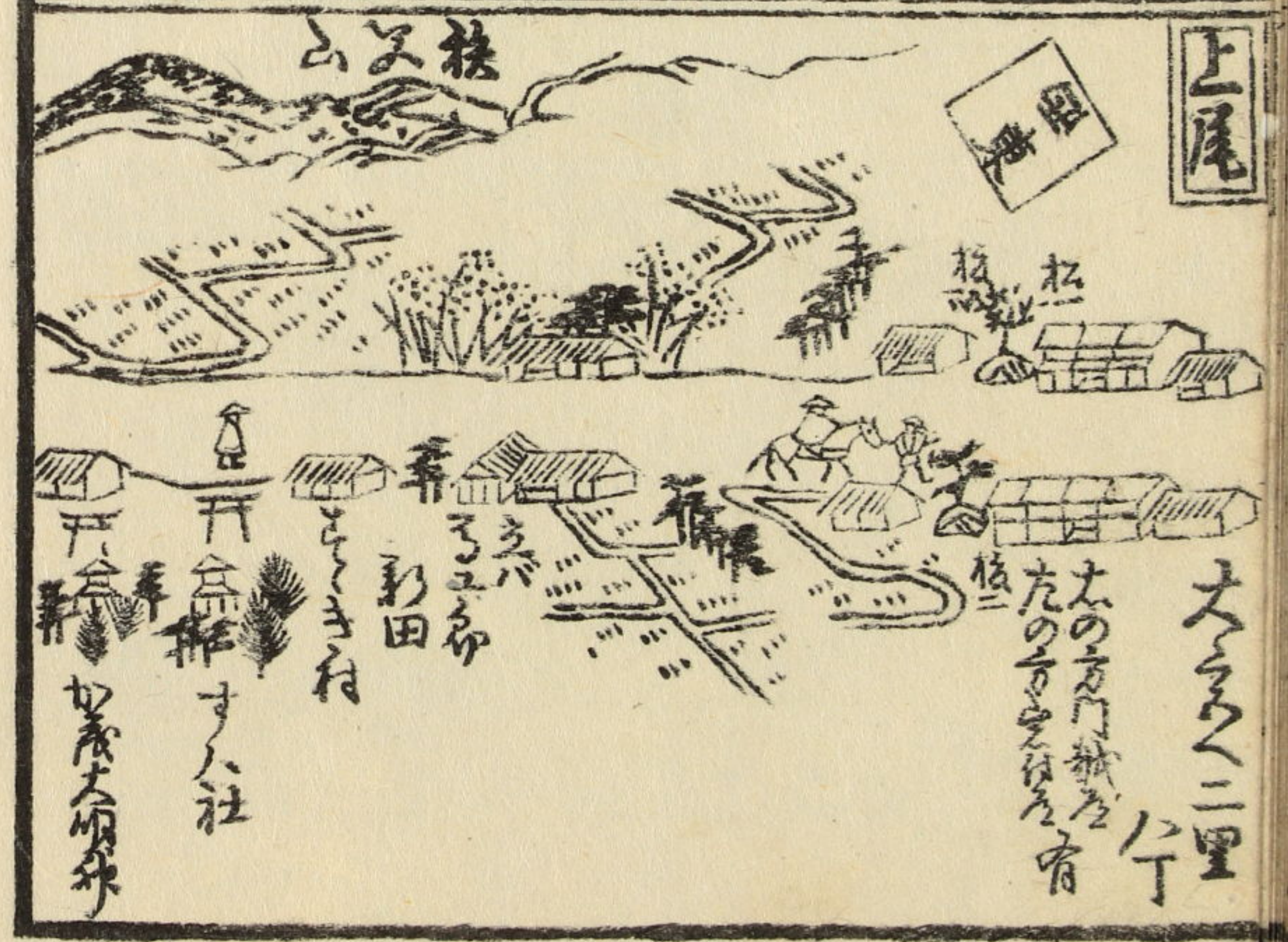
はさきあり 興のまゝなるより  
二町半ありあり 前後松と松  
この松のつらなる 滝森と森  
村のまのたつた 片松のまを  
かまらざるま 星辰と松  
とらふ

### 伊雜宮

この宮より 東のりて 津まで  
のりて 津まで 津まで 津まで  
おき

### 津

津の町より 川より 津まで  
ありあり せいの川 松のり



上尾

大なる二里

大の方面松を  
たの方定はる

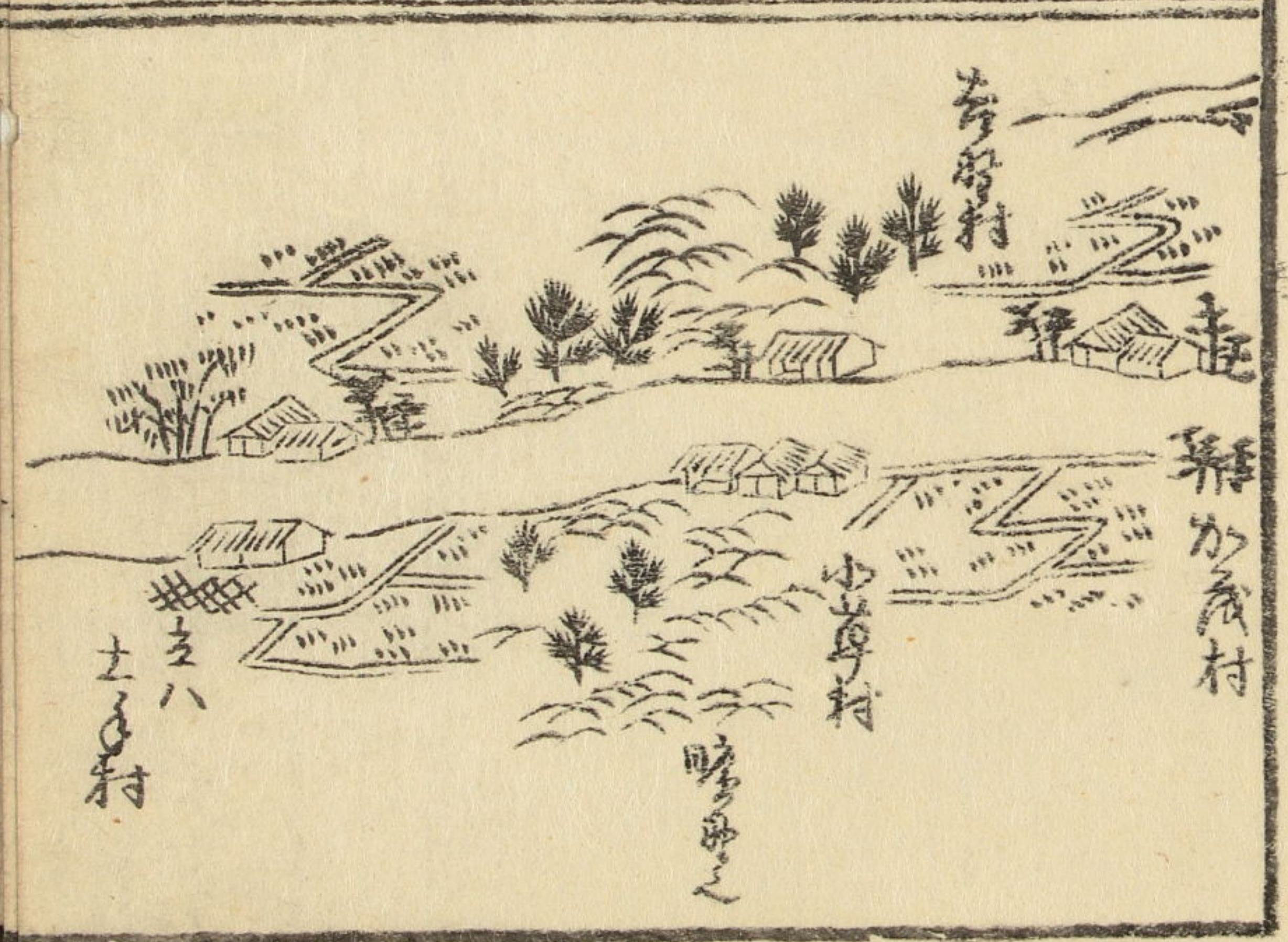
は 長

### 窪田

たの方より 窪田まで  
昔の松のけねとて  
むととて 村ふるら  
あつて 一里の地あり  
の松のあり 窪田まで

### 図

窪田より 窪田まで



窪田

窪田

大津の大坂道

大津 伏見へ

本 百七十里  
輕 百七十里  
人 八十回

幼修寺村のありおる新茶 大森の  
若は越前守の御草子の方  
又の 若森の長深様本所

伏見 淀へ

本 百七十里  
輕 百七十里  
人 八十回

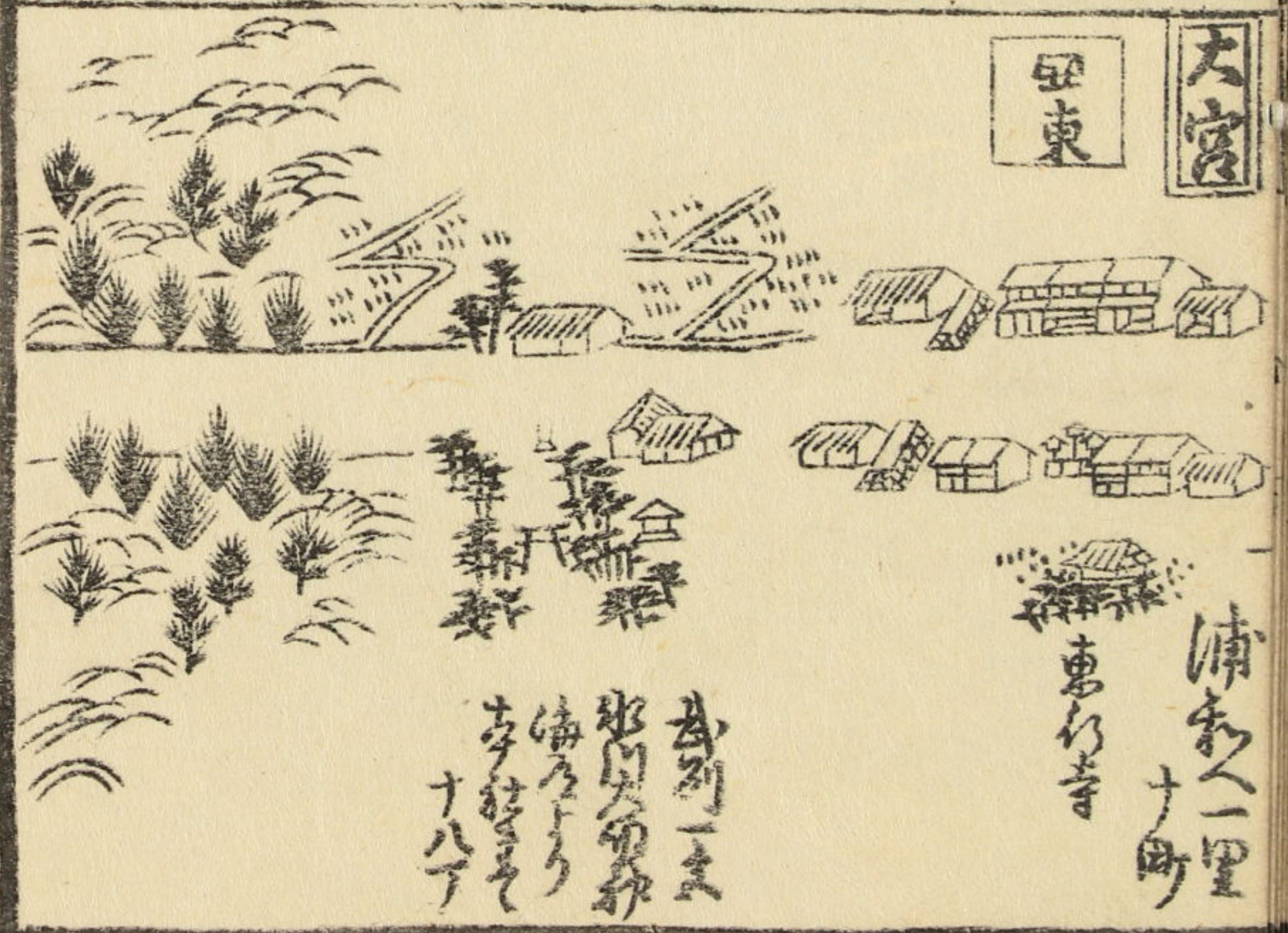
墨守の太坂とよおる 淀屋  
大橋百重の由緒ありあり 冬物ゆ  
ろくろれみちあり

淀 大津へ

本 百七十里  
輕 百七十里  
人 八十回

大宮

東

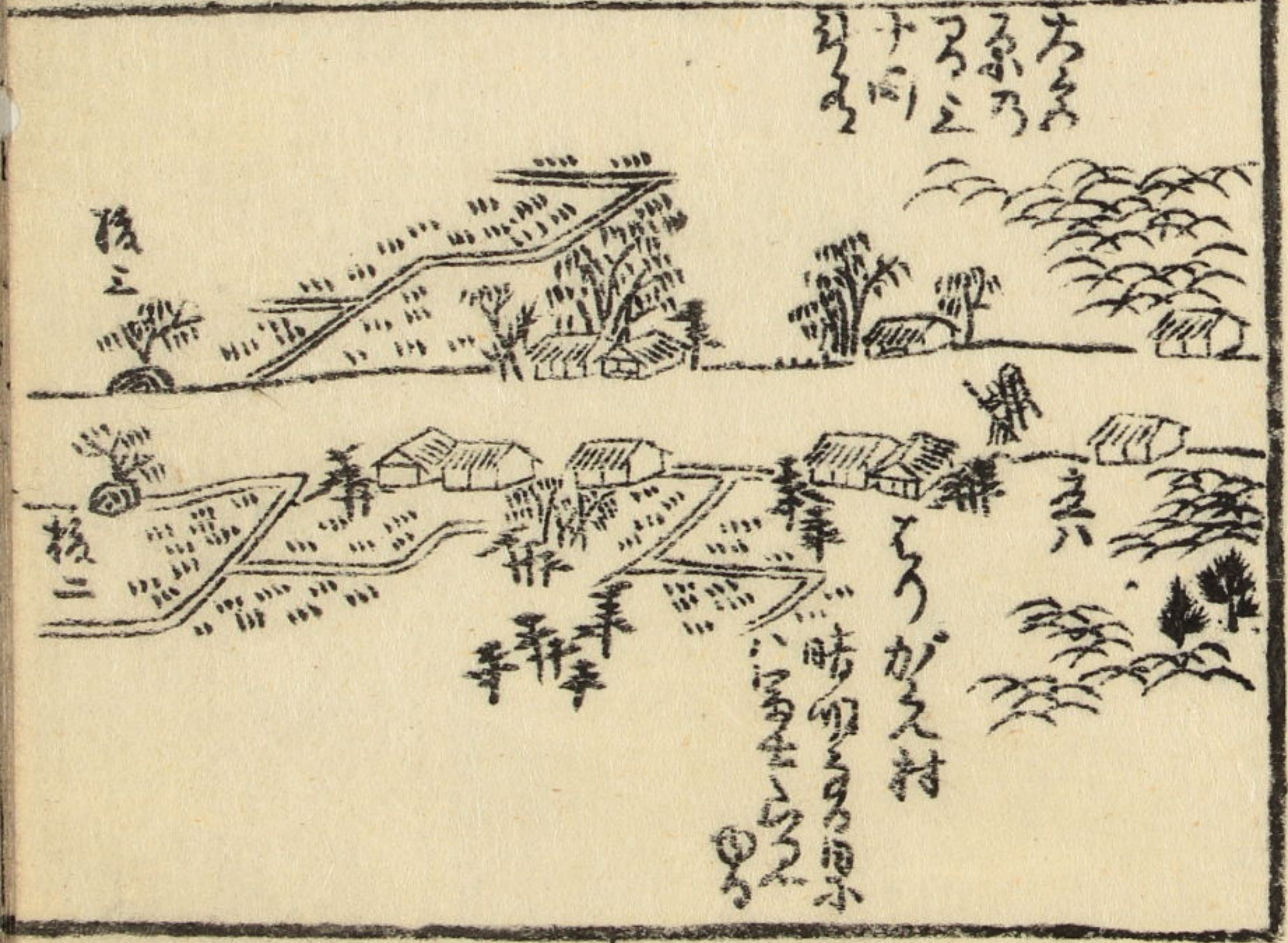


大坂 大津へ

本 百七十里  
輕 百七十里  
人 八十回

依る村大坂の社のあり多し舟お  
立場より大坂より大坂へ舟  
人は六つありて舟あり守りより  
大坂へ二里

大坂  
本別  
十回



日光の山道

この山道は西のなりゆき  
をたうとも餘の乃筋  
まじりつともなほあるとよしとて

中田	二丁	方河	廿九丁
粟橋	二丁	粟橋	廿九丁
物産	二丁	物産	廿九丁
草加	二丁	草加	廿九丁
日光橋	二丁	日光橋	廿九丁

野木

小山

小倉

権宮

法高

今市

この山道は西のなりゆき  
をたうとも餘の乃筋  
まじりつともなほあるとよしとて

野木 二丁  
小山 二丁  
小倉 二丁  
権宮 二丁  
法高 二丁  
今市 二丁

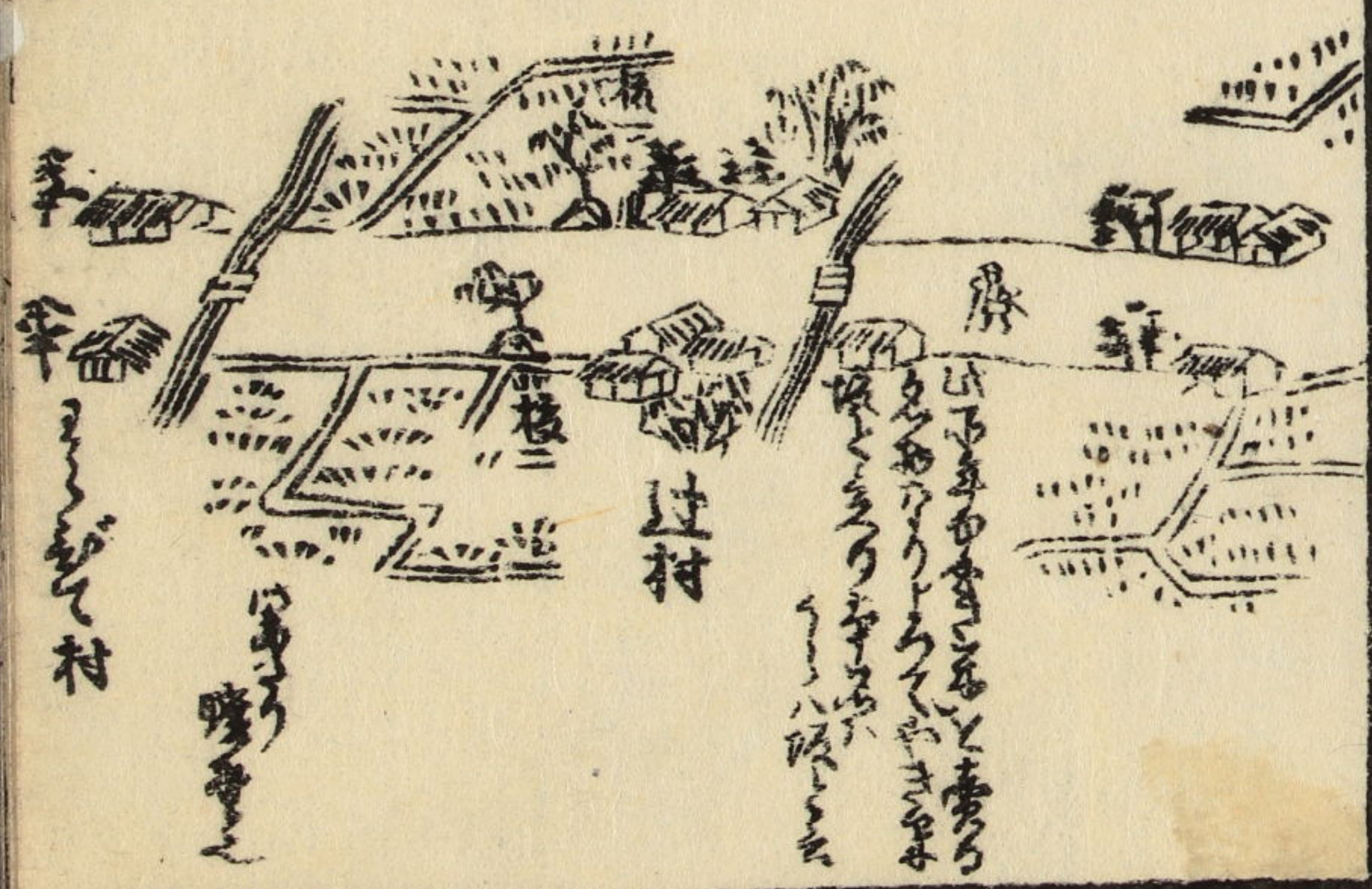
石橋 二丁  
宇敷 二丁  
大沢 二丁

石橋 二丁  
宇敷 二丁  
大沢 二丁

石橋 二丁  
宇敷 二丁  
大沢 二丁

石橋 二丁  
宇敷 二丁  
大沢 二丁

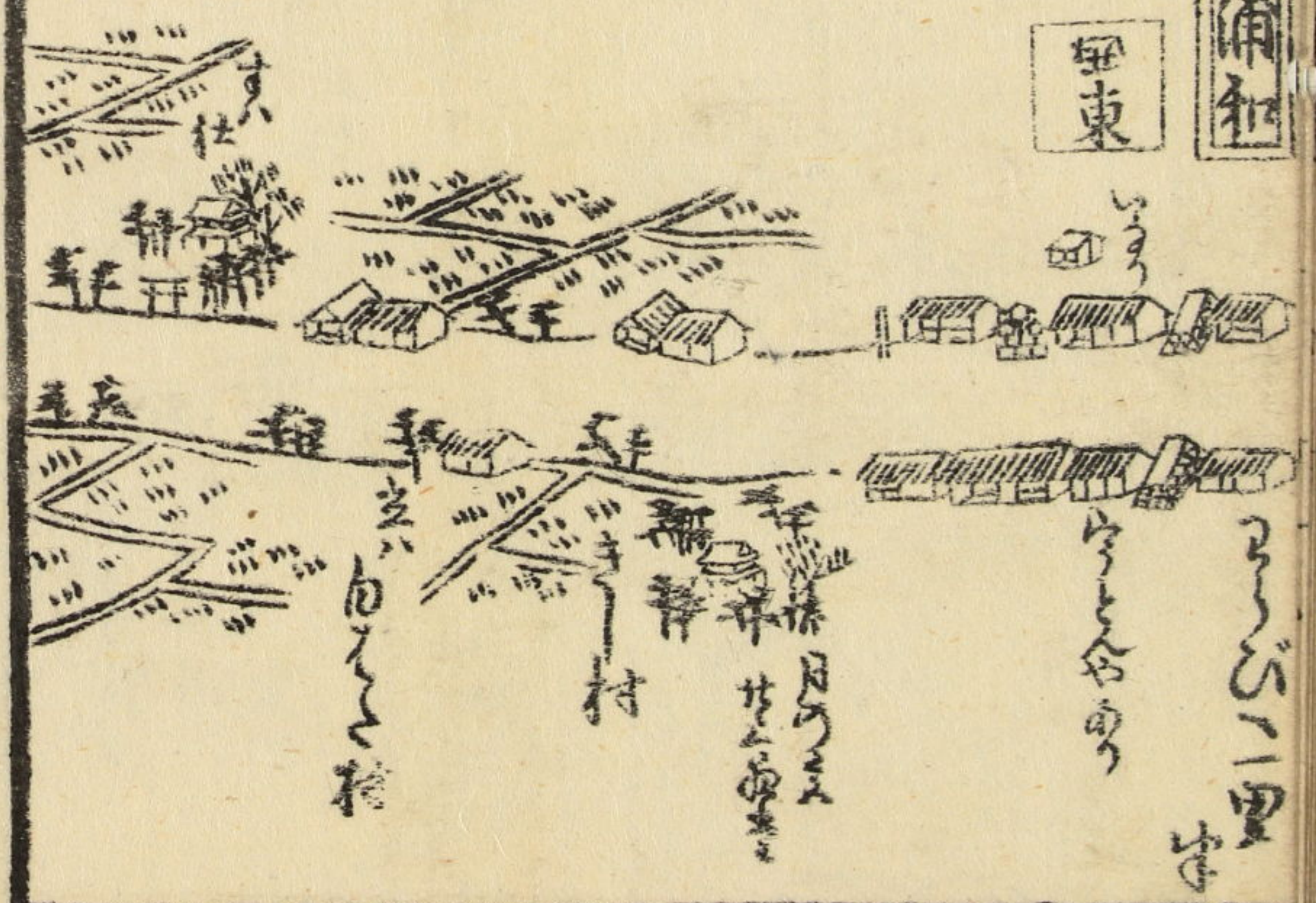
石橋 二丁  
宇敷 二丁  
大沢 二丁



この山道は西のなりゆき  
をたうとも餘の乃筋  
まじりつともなほあるとよしとて

浦和

東



この山道は西のなりゆき  
をたうとも餘の乃筋  
まじりつともなほあるとよしとて

箱根七湯廻り

湯めぐりする人をいへば是れは下り不  
下りかけの湯と云ふ事也

其湯の湯 柳りたす 煮金入

底金 二下 宮下 湯めぐり

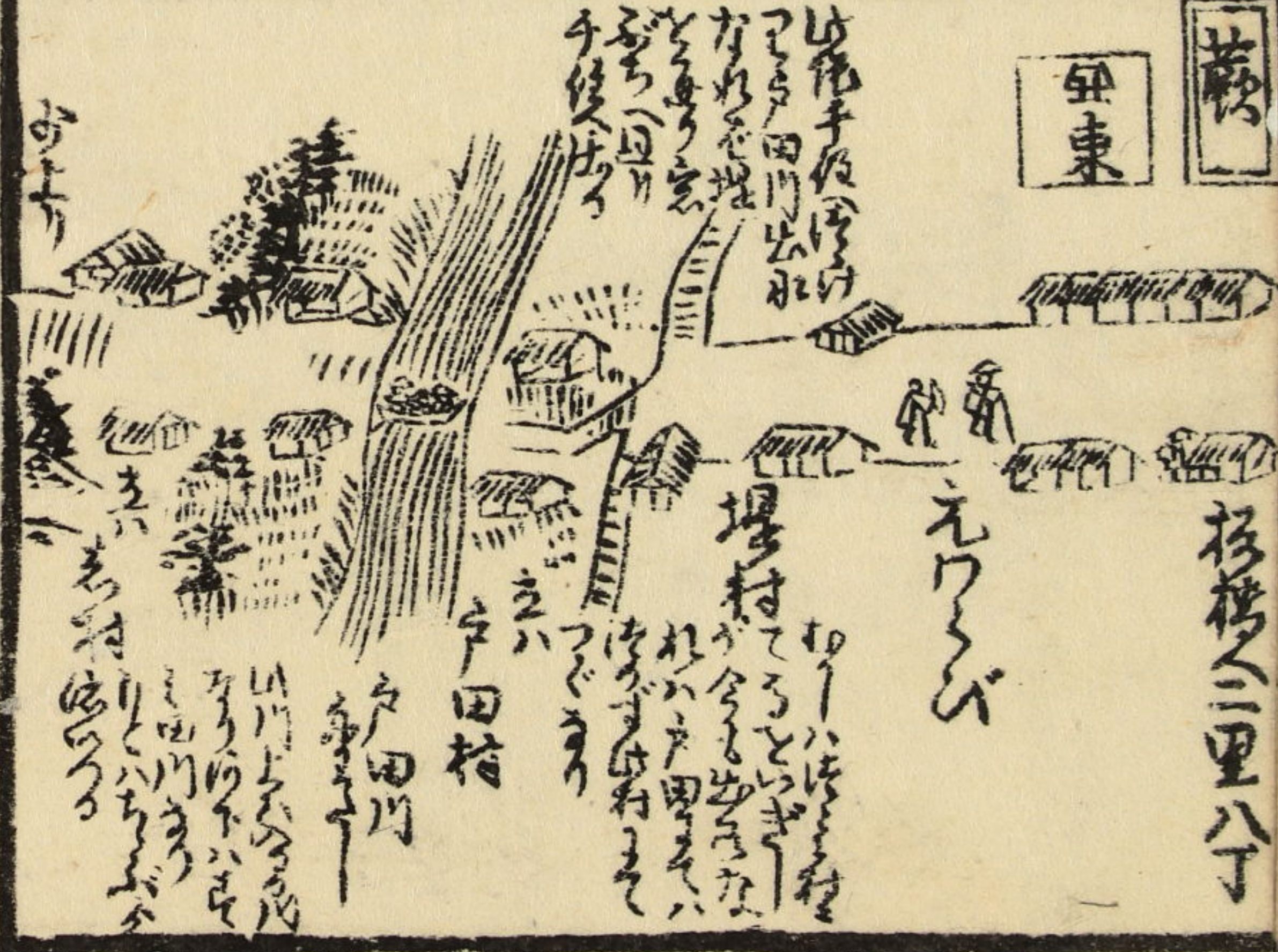
湯めぐり 湯めぐり 湯めぐり

湯本 湯めぐり 湯めぐり

横へつるは八中街なるなり

箱

東



文分乗名と海海七里

船賃附

乗合を余 一里八文

ひらろ二枚 銭半五分 六文

湯の湯めぐり 一里八文 一人八文

榎葉一荷 一里八文 一里

目豆一荷 一里八文 一里

わげ付一荷 一里八文 一里

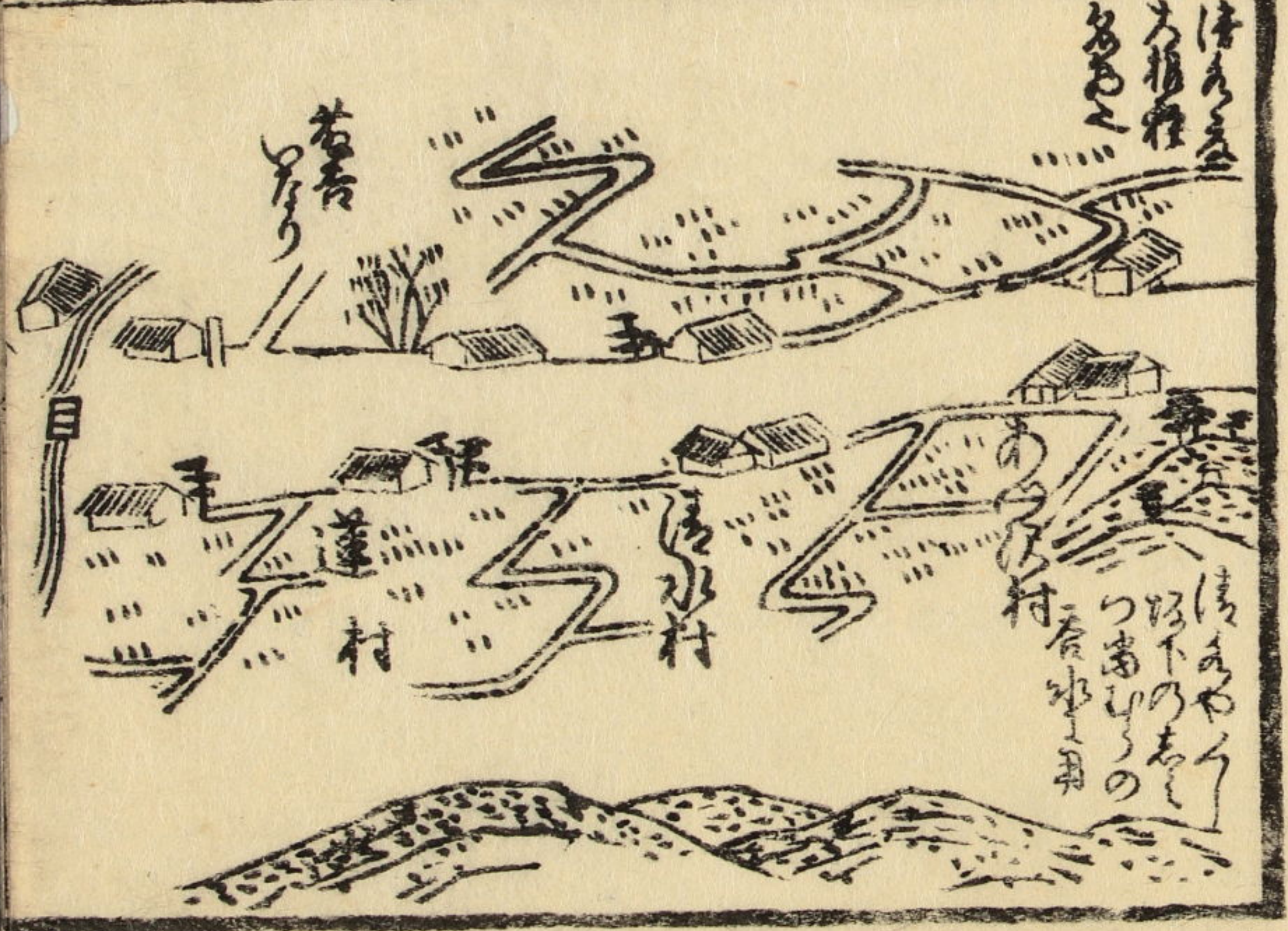
平帯一荷 六十五文

かき袋一荷 百九文

の物一丁 百五十文 二人合

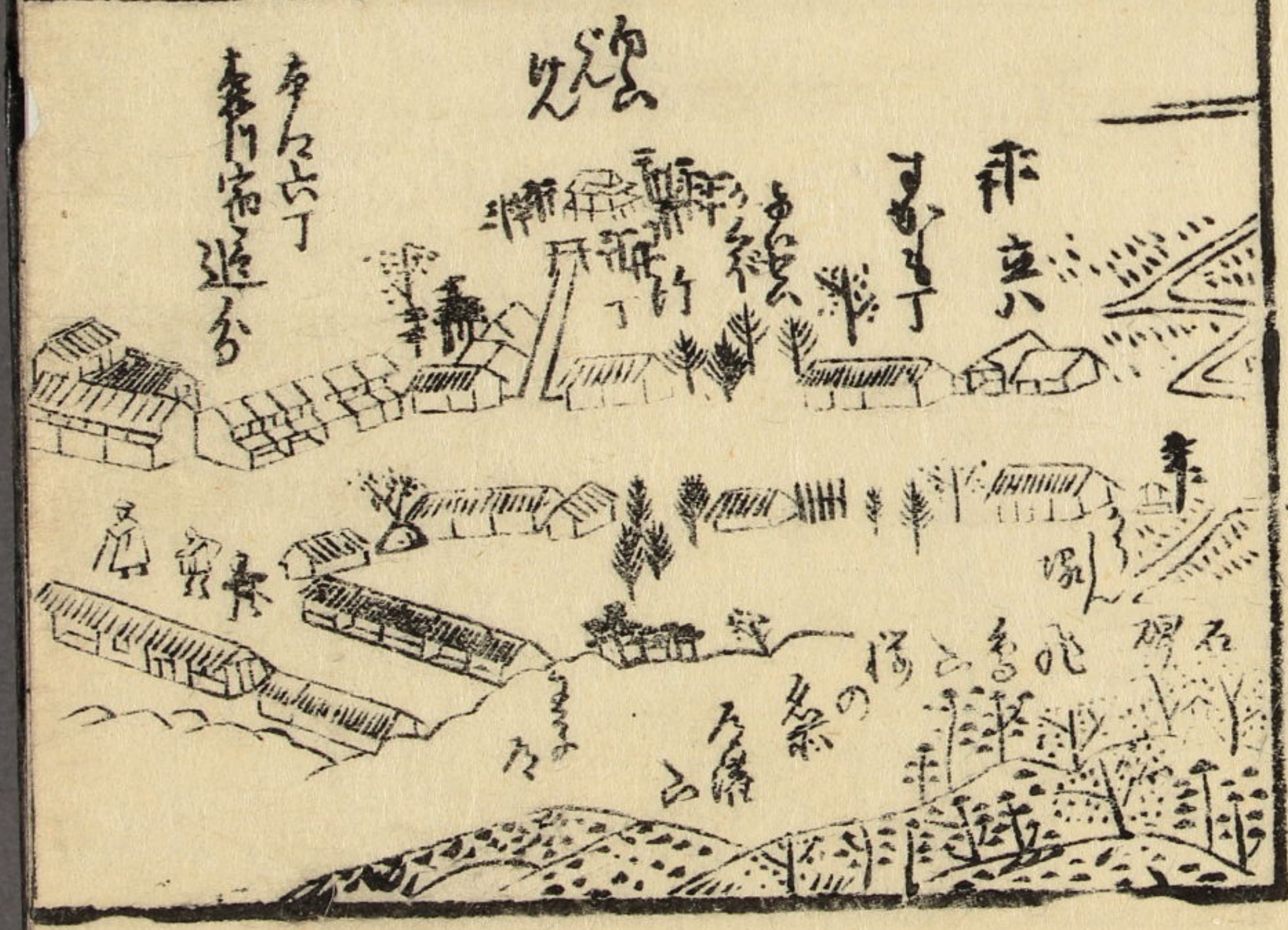
毛掛一掉 二人合 二人合

通子一丈 銭半五分 六文

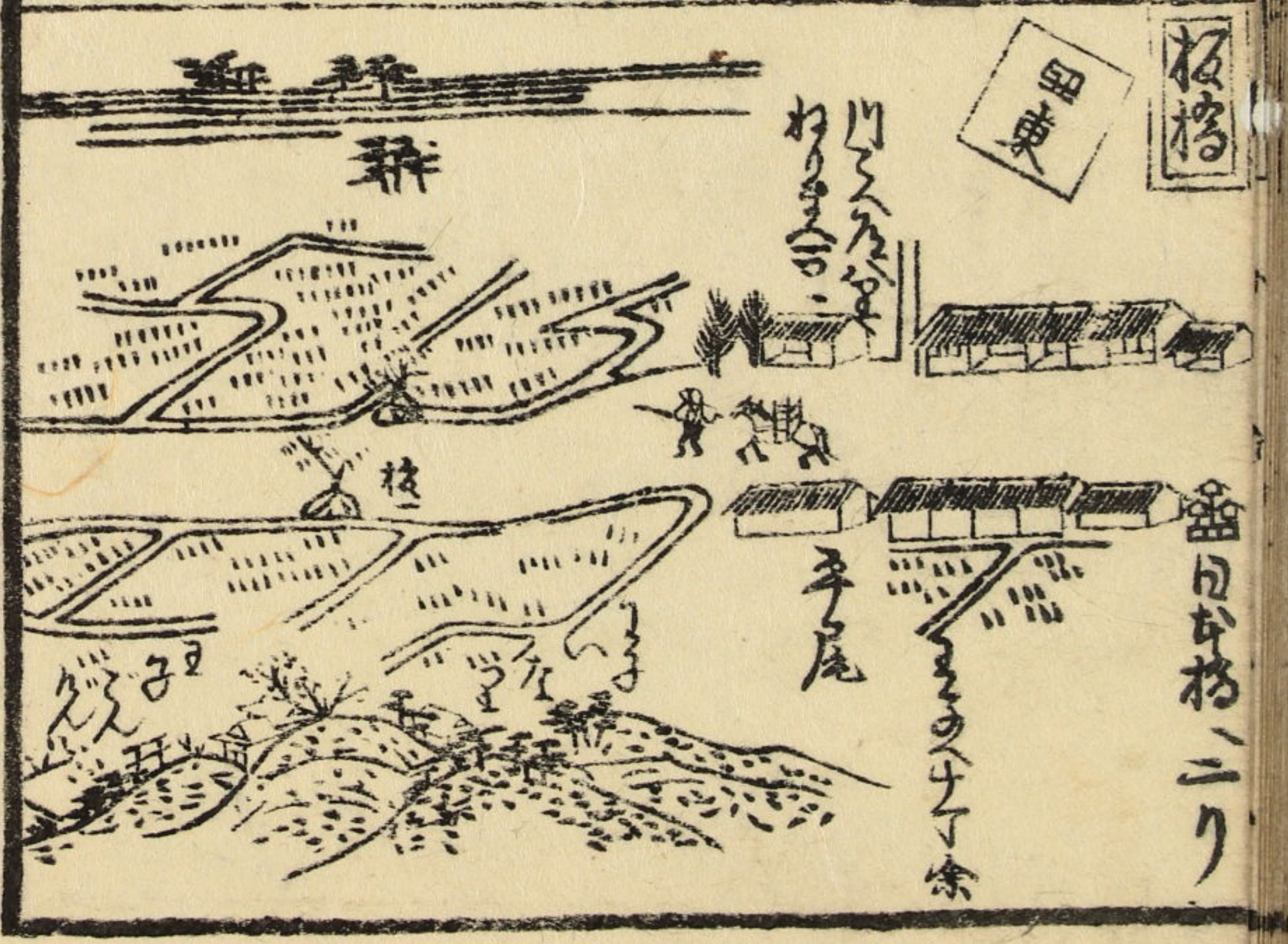




日守分一 四百八十七文  
 とものり 七百十文  
 日守分一 六百八十文  
 日守分一 七百四十二文  
 日守分一 七百八十文  
 とものり 六百二十文  
 日守分一 六百二十文  
 凡悪悪後海とすくハ上リ下リとも小  
 佐也ハ上リ下リ



日守分一 二百九十二文  
 とものり 七百九十二文  
 日守分一 六百九十二文  
 日守分一 四百六十二文  
 日守分一 八百十二文  
 日守分一 二百四十二文  
 とものり 六百九十二文  
 日守分一 二百九十二文  
 日守分一 七百九十二文  
 日守分一 四百六十二文  
 日守分一 八百十二文  
 日守分一 二百四十二文



下リ  
旧市公文と後海十里

船渡附 旧市公文と後海十里

米倉をくち 六十六文  
ひらを枝 四十六文  
あひゆはらもあ六十六文  
換名一為 六十六文 日  
具豆名二為 六十六文 日  
米倉をくち 八十六文 一人あ  
本海をくち 百六十七文  
あひゆはらもあ 百六十七文  
米倉をくち 百六十九文 一人あ  
長持を枝 二百六十九文 日  
米倉をくちとびたらん  
本海をくち 百六十六文

本曾路六十九次船渡附	本馬	人足
京 三	百九十五文	百九十五文
大津 三	百九十五文	百九十五文
茶洲 一	七十文	四十文
守山 三	百六十五文	百十五文
武佐 二	百六十五文	七十七文
色部 一	九十五文	六十五文
高文 一	七十文	四十文
高井 一	八十文	三十四文
出 一	七十文	三十三文
醍醐 一	七十文	四十文
柏原 一	四十文	三十三文
今頃 一	四十文	三十三文
園系 一	七十文	四十文

船渡附とび後 四十二文

あひゆはらもあ 二重二百廿六文  
二人あ 六百八十八文  
あひゆはらもあ 九十九文  
ともゆのり 二百四十二文  
二人あ 二重七百廿八文  
あひゆはらもあ 八百七十七文  
ともゆのり 七十七文  
ともゆのり 六十四文  
二人あ 二重二百廿二文  
あひゆはらもあ 七十七文  
ともゆのり 七十七文  
ともゆのり 七十七文  
ともゆのり 七十七文  
ともゆのり 七十七文  
二人あ 二重二百廿二文

紫井 一	六十文	三十九文	三十文
赤坂 一	六十文	六十七文	八十文
三ツ子 一	七十文	三十三文	八十文
合渡 一	七十文	三十三文	八十文
か納 一	七十文	三十三文	八十文
物部 一	七十文	三十三文	八十文
右田 一	七十文	三十三文	八十文
依見 一	七十文	三十三文	八十文
水部 一	七十文	三十三文	八十文
細谷 一	七十文	三十三文	八十文
大井 一	七十文	三十三文	八十文
中津 一	七十文	三十三文	八十文
馬込 一	七十文	三十三文	八十文

東海道五十三次驛賃附

目録	本馬	輕尻	一人	長
百十七文	七十二文	八十六文		
品川	百二十五文	八十八文	六十五文	
浜崎	百二十五文	八十八文	六十七文	
鎌倉	八十九文	三十八文	三十五文	
戸塚	百七十九文	八十二文	六十五文	
大磯	百七十九文	七十九文	六十五文	
平塚	百九十五文	百二十五文	九十文	
大磯	百九十五文	百二十五文	九十文	

長久保	八十九文	七十九文	三十五文	三十五文
小田	八十九文	七十九文	三十五文	三十五文
箱根	八十九文	七十九文	三十五文	三十五文
御油	八十九文	七十九文	三十五文	三十五文
磯原	八十九文	七十九文	三十五文	三十五文
津久井	八十九文	七十九文	三十五文	三十五文
海老原	八十九文	七十九文	三十五文	三十五文
大磯	八十九文	七十九文	三十五文	三十五文

おのりのろ 九十九文  
 やうのろ 五十四文  
 とものろ 八十九文

御定荷物貫目

一駄荷 三拾六貫目  
 糸掛下 十貫目より  
 輕尻のぬ付 二貫目より  
 人足荷 五貫目

妻籠	九十九文	六十五文	四十八文
このの	百七十九文	九十二文	七十一文
跡尻	百七十九文	七十九文	六十五文
次系	百七十九文	百七十九文	八十七文
上松	百六十九文	百六十九文	七十七文
大磯	八十八文	八十八文	四十九文
藤原	八十八文	八十八文	四十九文
東海	八十八文	八十八文	四十九文
坂川	百十五文	七十文	八十五文
常山	三十文	四十三文	十八文
洗石	八十文	八十五文	四十一文
軽尻	百八文	百八文	八十八文
小田	百八文	百八文	八十八文
和田	百一文	六十文	四十九文



溪松	新	百五文	九十五文	七十五文
藤坂	新	百三十二文	四十七文	十八文
新居	新	百十八文	七十五文	六十九文
白旗	新	八十文	八十五文	四十五文
二川	新	百十四文	七十一文	六十四文
吉田	新	百五文	九十五文	六十八文
涉油	新	六十八文	十九文	十四文
森坂	新	百六十五文	百六文	七十七文
菟川	新	百五文	七十七文	六十九文
愚傍	新	百三十二文	四十七文	十八文

十日廿八日昼八ツ夜五ツ  
 十一日廿六日昼八ツ夜五ツ  
 十二日廿七日昼八ツ夜五ツ  
 十三日廿八日昼七ツ夜四ツ  
 十四日廿九日昼七ツ夜四ツ  
 十五日晦日朝六ツ昼九ツ  
 朝暮六ツ分合れ六ツ分  
 干汐もこれ小同一月の出入て  
 了りしるひも生免乃と皆  
 満干しそをりたり  
 旅之の奇  
 一ツ免元一膳前日とり  
 一ツ免一八枚りひ  
 九日と吉日少せ森

文政五年十一月あつめ終ぬ

森 侯 主

文政五年午六月

風月庄左衛門

吉田四郎右衛門

